サップはタイソンに勝てる、勝てない大論争

平成15年1月21日第三種郵便物認可　平成15年10月9日発行（毎月第2・第4木曜日発行）　第5巻・19号・通巻102号

SRS DX

Special Ring Side

No. 102
2003
9・25 & 10・9 合併号
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

お前は何者だ、マット界に闘いのゴールドラッシュ到来！

タイソンという名の大金鉱脈

SRS DX 9・25 10・9 合併号 NO. 102

TEL.03-3295-4445（編集）
協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

徹底検証◎タイソン、K－1参戦決定の波紋

本体648円

徹底検証 タイソン、K-1参戦決定の波紋!

アメリカ

日本

「いま、こっち（アメリカ）でタイソンと具体的な交渉をしてま〜す」

時代のキーマン 谷川貞治K-1イベントPに国際電話で再び直撃インタビュー

Xデーは大晦日!?

8月15日のK−1ラスベガス大会以来、格闘技界はタイソンのK−1参戦の話題で持ち切り。そして、その波は日本、アメリカに止まらず、まさにワールドワイドな広がりを見せている。そんな中、渦中のタイソンと現地アメリカで交渉中という谷川貞治K−1イベントプロデューサーをキャッチ！交渉状況とタイソン参戦の波紋を聞いてみた。タイソンのK−1参戦により、格闘技界の地殻変動が起きていることは間違いない！

聞き手◎中村カタブツ君

アメリカの谷川貞治［K-1イベントプロデューサー］に直撃インタビュー

ついさっきもプールサイドでタイソンと遊んでましたぁ（笑）

――もしも～し、アメリカの谷川さ～ん、タイソンとの交渉は進んでますか？

谷川 はいはい、進んでますよォ（笑）。なにしろ、もうタイソンとボクはすっかりグッドフレンドで、さっきもプールサイドで一緒に遊んでました（笑）。

――遊んでるんですか？（笑）。

谷川 そうだよぉ。プールに落とされたり、落とそうとしてやっぱり落とされたりとかしてますね、凄いでしょ？（笑）。

――ワッハハハ！ 仕事しに行ったんじゃないんですか？

谷川 バッチリやってますよ（笑）。タイソンに関しては、これまではとにかく試合の権利を得るということが大切だったじゃないですか？ でも、それはクリアしたんで、今度は具体的にいつリングに上がるのかって話になるわけですけど、ハッキリ言ってタイソンはやる気満々ですね。

――ズバリ言って試合はいつになるんですか？

谷川 う～ん、それはまだ決まってないんだけど、年内でやろうと思ったら12月だと思うんですね。来年2月にはタイソンはボクシングの試合の話があるみたいなんで。でも、12月はK―1にとって最大のイベントであるGPの決勝戦がありますからねぇ、そういうことを現実的に考えると12月31日大晦日が第一候補になるとは思いますよ。

――タイソン・ボンバイエ！

谷川 まあ、それはホントどうなるか分からないんですけど、会場は三つ当たってますね。

――ドーム会場とかですか？

Ⓒロイター

▲現在、K-1と具体的な交渉を進めているタイソンは、交渉場所であるホテルに彼女も連れてきているという。谷川プロデューサーの電話の様子では、交渉は順調そうだ

谷川 まぁ、そう。それと一つは日本で二つ目はアメリカ、もう一つはアジアというか、第三国での開催ですね。

――あっ、国単位で考えてるんですね、失礼しました（笑）。

谷川 世界的に反響のあることをしたいですよね。まず、アメリカですけど、ウチの会場を使ってくれという提供者の方々がホントに多いんですよ。で、日本の場合もいろいろと考えてますけど、ボクはね、どこか第三国、例えば中国の天安門広場で開催するとか、そういうふうにできたら面白いなとも思ってますね。

――なんか、谷川さんがドン・キングに見えてきましたね（笑）。

谷川 いやいやいやいや（笑）。でも、そのほうが一気に広がるじゃないですか

――世界戦略ですよね。ボクシング界からはフランソワ・ボタが9月21日のK―1ジャパンに来るということが決まったんですが、まだまだ登場してくるんですよね？

谷川 そうそうそう。凄いですよ。まだ言えないですけど、オリンピックにも出た人たちがやりたいって言ってますよ。

――具体的に名前を出せるような人はいませんか。

谷川 ちょっとね、今、名前を出すとすぐにそこに行く人たちがいるからねぇ。だから、この部分では慎重になりたいんですけど。ただ、本当にランキングの選手とかメダリストがK―1でやりたいということでいろいろ言ってきてますね。

――かなり期待していい、具体的な話になりそうなんですか。

谷川 ボタなんてすぐやりたいって言ってますからね。レノックス・ルイスもやりたいという話もちらっと聞きましたけど。

――ルイスまで！

谷川 でも、まだ全然これからの話なんで具体的なことは何も言えないですねぇ。

――例えば、バルセロナでメダルを取った人とか言っただけで別口で動き出すような人たちがいるわけですね。

谷川 だから、そういうようなことがあるんで本当に慎重にならざるを得ないんですが、ボクとしては本当はしゃべりたいんですけどね。あとはね、アメリカのお金持ちの人たちがいろんないい話をたくさん持ってきてくれてますね（笑）。

――ところで、ちょっと気になったのがタイソンとK―1の契約してるPPVが違うじゃないですか。その辺はクリアできるんですか？

谷川 それはこれからの話なんですけども、ボクシングの場合ですからタイソンのPPVは。だから、そこでやってもい

▲少し翳りを見せたとは言われるものの、依然、日本でのサップ人気は絶大。今度はアルゼのパチスロに。ド派手なパフォーマンスは周りを気持ち良くさせてくれる

徹底検証 **タイソン、K-1参戦決定の波紋!**

タイソンの試合は現実的に考えて大晦日しかないと思いますね

いし、K—1は臨機応変に対応していきますよ。K—1という名前でどうしてもやらなきゃいけないとかそういうことも考えてないし、面白いイベントをやっていきましょうという考え方ですからね。

——ニューヨークタイムズがタイソンVSサップについて報道してるんですよね。

谷川 そう。正式決定ではないけれど、K—1のボブ・サップとタイソンが試合すると報道されて、サップのほうのやる気も凄いですよ。タイソンのトレーナーをやったこともある人をいま付けてますからね。本格的に練習してるんで強くなると思いますよ。

——ちょっと細かいことなんですけど、紙プロでタイソンがリングに上がった日のPPVは実は大していってなかったとか書いてあったんですけど、そうなんですか?

谷川 ああ、それボクもチラッと読みましたけど、PPVの結果って3カ月後にならないと数字が出ないんですよ。だから、8月の興行だったら11月じゃないと分かんないんですよね。

——でも、3万世帯の初期予想が報道されたと書いてありますよ。

谷川 予想も何もK—1はまだそういう予想調査をするような対象にはなってないんですよ。まだまだK—1ってそのぐらいのイベントで、だから大きくしようってやってるんだけどなぁ。

——そうなんですか?

谷川 そうですよ。だってキックボクシング自体、世界的にはまだまだ認知されていないですからね。そこにタイソンが来たお陰で今大きく踏み出せる準備ができつつあるんですよ。ただでも、PPVの会社では5月の大会の倍の数字は出るだろうとは言ってますから、10万に近い数字は出ると思いますよ。

——あの記事の中にも98年8月のラスベガス初進出で約4万世帯と書いてあるんで、その倍と考えれば8万ですからね。

谷川 そのぐらいはいくと思いますよ。

——じゃあ、非常にまことしやかに8月のラスベガス大会は会場に何人入って実売がどうのこうのとも書いてありますけど、それもまた?(笑)。

谷川 そんな主催者も知らないのにどうやって知ったのっていうね(笑)。だって、まだあの大会の報告書は出てないですから。

——ともかく、ボクシング界からのオファーや、楽しめるガセネタも含めて非常に反響は大きいんですね。

谷川 そうそうそう。だからね、本当に名前を言いたい選手とかいっぱいいるんだよなぁ(笑)。

——今回、アメリカでの仕事はタイソンとの試合を煮詰めることと、ボクシング選手に関する話を進めているということでいいんですかね。

谷川 あとはPPVとかの話も含めてですね。やっぱり、タイソンの試合というとお金がかかるものですから、どうやって回収できるかっていうのを探ってるところですね。だって、世界で儲けないと、ハッキリ言って自己破産どころじゃ追いつかないからね(笑)。それだけデカい話だからビックリするようないい話もいっぱいあって、でも、いま言うとそれで動きが変わっちゃう可能性があるんで、しばらく無口の谷川っていうことで、すいません(笑)。

——谷川さんがそこまで慎重になるっていうのは珍しいですからね。

谷川 これでもだいぶしゃべってるんですけどね。タイソンと会ってるっていう話もね、ホントは言っちゃダメみたいなんですよ。

——あ、そうだったんですか(笑)。

谷川 そうみたいですね。でもね、タイソンはホントいい人ですよ。今度はキャッチボールをしようみたいな話もしてますからね(笑)。

——あのぉ、すいません、タイソンとはいったいどんな話をしてるんですか?(笑)。

谷川 契約の話は直接タイソンとしてるわけじゃないですから、結構雑談になることが多いんですよ。今度こんな車に乗ってみたいとかね(笑)。

——それはおねだりですか?

谷川 違う違う、単純に車の話。あのね、彼は結構カワイイんですよ(笑)。だってね、昨日の夜だったかな、飲んでるところにタイソンがたまたま来て、僕らを見つけると「コンバンワ」とか言うんですよ。それで時計をチラッと見て、「モウ、オハヨウデスネ」とか言ったからね(笑)。

——ワッハハハ! 確かにカワイイですよ(笑)。

谷川 でしょう(笑)。だから、みんなタイソンは難しい難しいって言うけど、僕らの印象で言えばキュートなんです(笑)。

——面白いなぁ(笑)。取材とかできないんですかね?

谷川 したいよねぇ。だけど、いまビジネスで来てるからね、ちょっと難しいよね。

——次号で載せたいですよね。

編集部厳選 あくまで希望!

K—1に参戦してほしいボクサー ベスト3

イベンダー・ホリフィールド

レノックス・ルイス

ⒸロイターA

ロイ・ジョーンズJr

谷川プロデューサーから具体的な名前が出てこないので、編集部の独断でK-1にぜひとも参戦してほしい! と考えるボクサーを厳選してみた(っていうか、とりあえず、有名どころを並べてみただけか)。こんな選手たちまで出てくるようになったら、もの凄いことだけど、今の勢いだと、不可能とも思えないような……。あくまで、編集部希望ということで。

K-1を大切にしてくれる人を K-1としても大切にしていきたい

谷川 載せたいよねぇ。でもね、タイソンの試合の確率はいま80%ぐらいあると思いますよ。

——じゃあ、その大晦日になりそうな大会は、タイソンがいて、サップがいて、有名ボクサーたちも続々登場するという感じですか。

谷川 ボクサーの人たちはおいおい出てくるという感じですね。猪木さんが異種格闘技戦をやった時に世界中の格闘家が反応したじゃないですか、チャック・ウェップナーとかウイリー・ウイリアムスとか。そういう形の反応があると思うんでいけるんじゃないかなと思いますけどね。そういうことで面白い選手がいたら試していきたいし、K－1はドンドン新しい選手を育てたいですからね。それがK－1ですから。

——K－1選手からの反応というのは何かありますか？

谷川 ゆっくり話してないですけど、ただ、ホーストが自慢げに「K－1がマイク・タイソンを取った」ってことを地元のラジオでしゃべってたみたいですよ（笑）。

——どうだ、この野郎という感じですかね（笑）。

谷川 感じでしょうね。ベルナルドなんかも今度の大会で勝って、日本で練習してもう一回復活するってやる気になってますね（笑）。

——いい効果ですね。日本人選手はどうですか。

谷川 日本人選手ねぇ、他人事みたいに思わないでほしいなぁというか。

——そうですか（笑）。まあ、あとはアーツはどうなんですか？

谷川 だから、さっき話したホーストのラジオを聞いてたのがアーツなんですよ（笑）。それで「今ホーストがタイソンを取ったってラジオで言ってるけど、ホント？」って、こっちに電話がかかってきましたよ。

——アーツは『プライド』にいくみたいな噂もありますけど、その辺はどうなんですか？

谷川 なんか、オファーはあったとは言ってたよ。ただ、本人がボクに言ったのは「ノー」だったんですけどね。『プライド』のリングに上がったのはノゲイラのセコンドで上がっただけだって。まあ、ボク個人としてはどっちでもいいんですけどね。そういう気持ちがあるんなら、頑張ってくれればいい話だし。

——器がデカいですね。

谷川 いやいや、そういうことでギクシャクしたくないなっていうね。『プライド』の人たちに対しても敵対関係があるわけじゃないし。ボクの今の仕事はK－1を魅力あるリングにすればいいわけだから。ピーターにも信頼はあるし、自分の人生だからまた違うことも選ぶかもしれないですけども、K－1のリングではピーター・アーツというのは功労者だからこれからもキチンと対応していきたいなという気持ちはありますよ。

——K－1側はこれからも変わらずに対応していくということですね。

谷川 ホント、それだけですよぉ。

——ミルコはどうですか？

谷川 ミルコはGPの開幕戦に関しては最終的な返事はまだいただいてないですね。できれば出てほしいし、出ないで『プライド』のチャンピオンを目指すんだったら、それは頑張ってほしいですね。あと、ミルコは雑誌とかで、いろいろ言ってますけど、ボクとしては彼の発言は凄く政治的な感じがしますね。あれは、彼の本心なのかな？　っていう。

——よく分かんないですけどね。ただ、ファンはやっぱり、タイソン対ミルコなんて見てみたいカードですからね。

谷川 ミルコに関しても行き当たりばったりで、いきなりマイク・タイソンとやらせるみたいなことは絶対ありえないですから。K－1を大切にしてくれる人をK－1も大切にしていきたいし、ボブとかジェロム、ベルナルドみたいに。

——功労のある外人は大事にしたいと。なんか、馬場さんみたいですね（笑）。

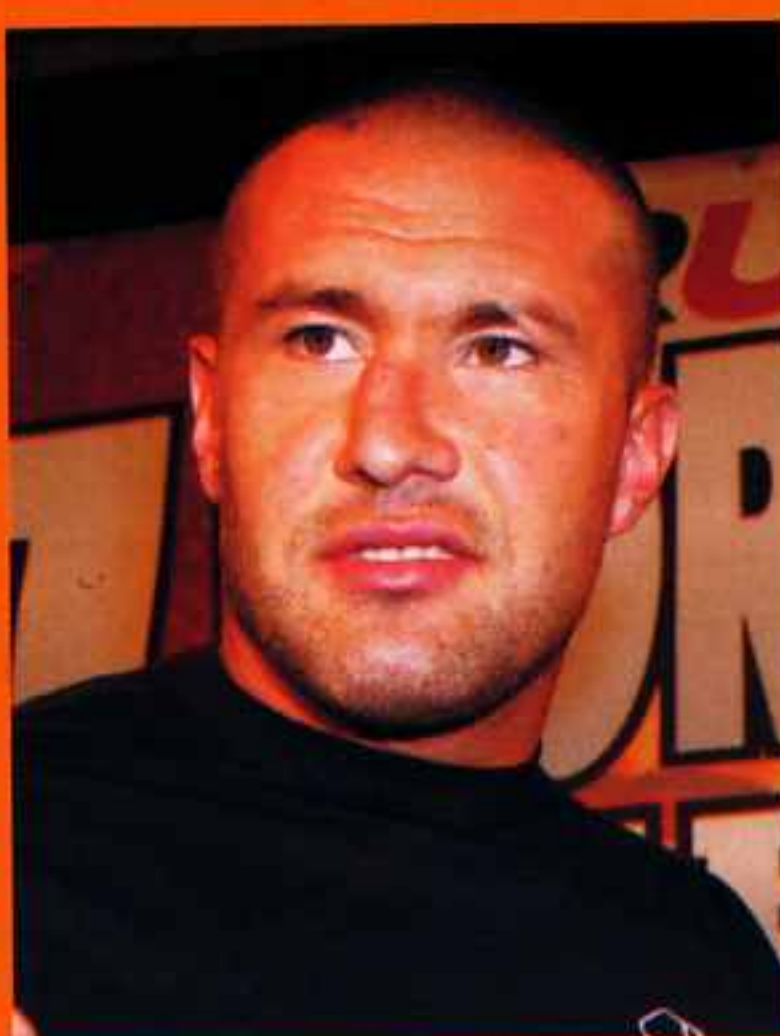
谷川 光栄だなぁ（笑）。でも、外人だけじゃなくて日本人選手も含めてK－1を大事にしてくれる選手に対しては敬意を払って絶対に大切にするんですけど、それはおべっかを使って大切にすることじゃないですよね。ホントにその選手が輝けるような環境を作ってあげるっていうことですよ、ボブ・サップにしろ、ジェロムにしろね。だから、高いお金を払うとか、イージーな相手とやらせるとか、そういうことはファンを裏切ることになるんで、負けてもいいから輝ける環境を作るよっていうのを一生懸命考えていきたいですね。

——だから、その辺が馬場さん的なんですけど、いざプロモーションとなると「今度のサップの相手は白いボブ・サップです（笑）」っていうのが悪のりというか、キラーなんですよね（笑）。

谷川 面白いでしょう（笑）。でも、白いボブ・サップに関しても、ハングリー

▲タイソン戦は、サップ不利の声が圧倒的だが、身体能力がズバ抜けているサップだけに勝利の可能性も十分。ホースト戦の再現もあり得る

▶タイソンの対戦相手の第一候補ボブ・サップは、9・21のステファン・ガムリン戦に向け中邑真輔とともに特訓中

▶王者ホーストは地元オランダのラジオ番組に出演した際、「K－1がタイソンを取った」と喜々としてしゃべっていたという

▶最初に反応したのがバンナ。「ぜひ俺とやらせてくれ！」と意欲をみせた。K－1ファイターは誰もやる気満々だ

11月のK－1MAXはSBさんの活躍と修斗の選手の参戦に期待してます

K－1MAXにもタイソン効果!? 強豪がこぞって参戦に意欲

精神がサップ以上にあったから、じゃあ、最初は少ないけど給料を払うから、一生懸命練習してねっていうところですね。だから、新しい可能性のある人に対してはちょくちょく面倒を見ていく態勢を整えていくんですよ。なんかさ、見えてる選手を当てるのってよくないじゃないですか。例えば、UFCでこのぐらいのランキングにいるとか、こういう活躍したって選手は底が見えちゃいますよね。

――逆に白いボブ・サップはどう化けるか分からないですからね。

谷川　それはある意味、ピーター・アーツもブランコ・シカティックも、アンディ・フグも、まあフグは極真っていうのがあったんですけど、やっぱりK―1がきっかけになったし、ミルコだってサップだってK―1がきっかけになったと思うんですよ。だから、そういうふうに作っていく作業が、ボクはやっぱり楽しいなって感じですね。

――つまり、K―1のKは可能性のKとでもいうか。

谷川　そうですね。可能性であり、加工であり、ときどき空回りすると（笑）。

――ワハハハ！　面白い！　では、K―1MAXの可能性についてはどうですか、拡大拡張の可能性ですね。

谷川　今ね、一番燃えてるのがムエタイですね。いくらヒジがないとはいえ、あんなふうに倒されていいのかという感じで凄く熱くなってるみたいですよ。

――素晴らしい反応ですね。

谷川　僕らはムエタイ幻想ってあるじゃないですか？　でも、K―1ファンにはムエタイ幻想ってないと思うんですよ。だから、そのギャップをいつか埋めたいなっていうか、そのギャップを埋めるにはK―1MAXはぴったりのような気がしますね。あと、もう一つの注目はボクシング界ですね。あのクラスにはたぶん日本人も含めていい選手がたくさんいると思いますから。

――じゃあ、MAXにもボクシング界から刺客がやってきそうなんですか？

谷川　そうそう。外人選手もかなりいると思うし、徳山選手とか竹原さんとかもいつか上がってほしいですね。そうするとK―1MAXも、もう一つステージがあがるんじゃないですかね。

――具体的な話としては、11月の大会にはシュートボクシング勢が登場してくれそうなのが楽しみですね。

谷川　土井君とか緒形君とかやる気満々になってますね（笑）。可能性も十分にありますし、ボクは伊原会長も大恩人ですけど、シーザーさんとは兄弟分ぐらいの絆があると思ってますから。『格闘技通信』時代に一番最初にプロの格闘家で仲良くさせてもらったのがシーザーさんですからね。そういう意味ではシーザーさんとはやっていけると思ってるんで、土井君とか緒形君にはすぐにでも上がってほしいですね。

――あとは修斗の選手ですね。

谷川　五味君がやりたいと誌上で言ってくれたんですよね。今年の日本大会の時には既に五味君とは話してまして、その時はたまたま修斗の試合に出るっていうんで一歩下がらせてもらったんですけどもホントに出ていただければ嬉しいですよ。例えば、五味VS魔裟斗とか、五味VS武田とかそういう試合も面白いですね。

――あとは山本KID選手もK―1に興味を持ってるみたいですね。

谷川　嬉しいなぁ、それは本当に嬉しいですね（笑）。ボク、KID選手をスターにする自信がメチャクチャあるんですよォ。練習環境から何から整えてあげてチャンスを作りたいなって気持ちが凄くありますね。嬉しいなぁ（笑）。でもね、最近のK―1は凄くいい感じがしませんか？

――チャンスが凄く転がり込んできてる気がしますね。

谷川　でしょ？　スタッフの意識も全然変わってるんですよ。前は既成の選手だけで現状を守らなきゃっていう感じになってたんですけど、今なんか新しいことをドンドンやってK―1だからこそスターができるって思えてるんですよ。これだけの環境があるんで。だからこそ選手たちを大切にしていきたいなって思ってるんですよね。

――強くて可能性のある選手がジャンジャン上がってこれる場にしてください（笑）。

谷川　はい。ときどき空回りしますけど、頑張ります。じゃあ、これからタイソンとキャッチボールしてきま～す（笑）。■

SB勢が！

▲シュートボクシングのエース格・土井広之、緒形健一が揃って参戦を表明

修斗勢が！

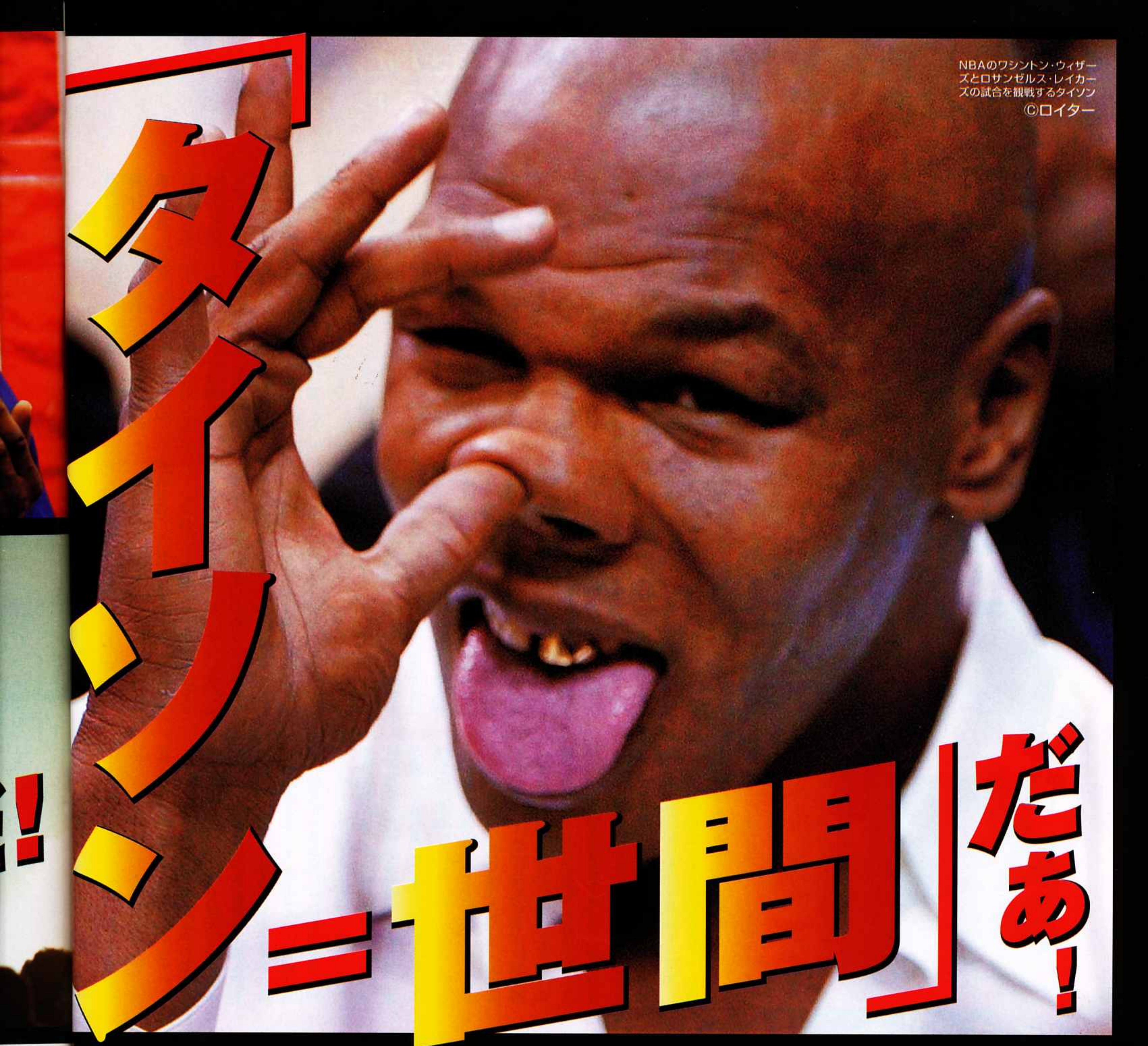
▲修斗ウェルター級前王者の五味隆典、ライト級2位の山本"KID"徳郁も乗り気だ

デ・ラ・ホーヤ出て来～い！

▶世界的に見たら、やっぱり一番出てきてほしいのは、ボクシングのWBC世界王者オスカー・デ・ラ・ホーヤ。この際、みんな出て来～い!!

(C)ロイター

「タイソン＝世間」だあ！

NBAのワシントン・ウィザーズとロサンゼルス・レイカーズの試合を観戦するタイソン
©ロイター

タイソンは表紙のコピーにも書いたが、日本のマット界においては大金鉱脈みたいなものだ。『プライド』、K―1を含めてどんなスター選手も、タイソンと比べたら普通の人に見えてしまう。

それぐらいタイソンは別格的存在なのだ。しかも彼は〝問題児〟ときている。ヘビー級のボクサーとして無敵を誇りながら、社会的スキャンダルを起こし続けた男。

まったく話題には事欠かないファイターである。ボクシング以外のリングで、仮にタイソンが日本で試合をするとなると、日本のマット界はゴールドラッシュになるというのが私の予想である。

マット界にゴールドラッシュよ来たれである。その救世主（メシア）こそタイソンなのだ。タイソンと日本での契約を最初にとったのはK―1。これはラッキーというしかない。K―1がゴールドラッシュになるのか、それともタイソンの周辺がゴールドラッシュになるのか、いったいどっちなのだ。

おいしいところには人が集まるものである。タイソンめがけてあらゆるジャンルの格闘家たちが、これから名乗りを挙げてくる。

それがゴールドラッシュというのだ。さて、今のところタイソンのマット界での試合の第一候補は〝ビースト〟ボブ・サップと言われている。ラスベガスのリング上で向かい合ったあのファーストコンタクトは、インパクトがあった。

そこで面白い現象が起きているのだ。ボクシングの世界においては、タイソンはヒール（悪役）のキャラなのだ。ところがそのタイソンもK―1と関わると、世間の

人たちはタイソンの味方にまわる

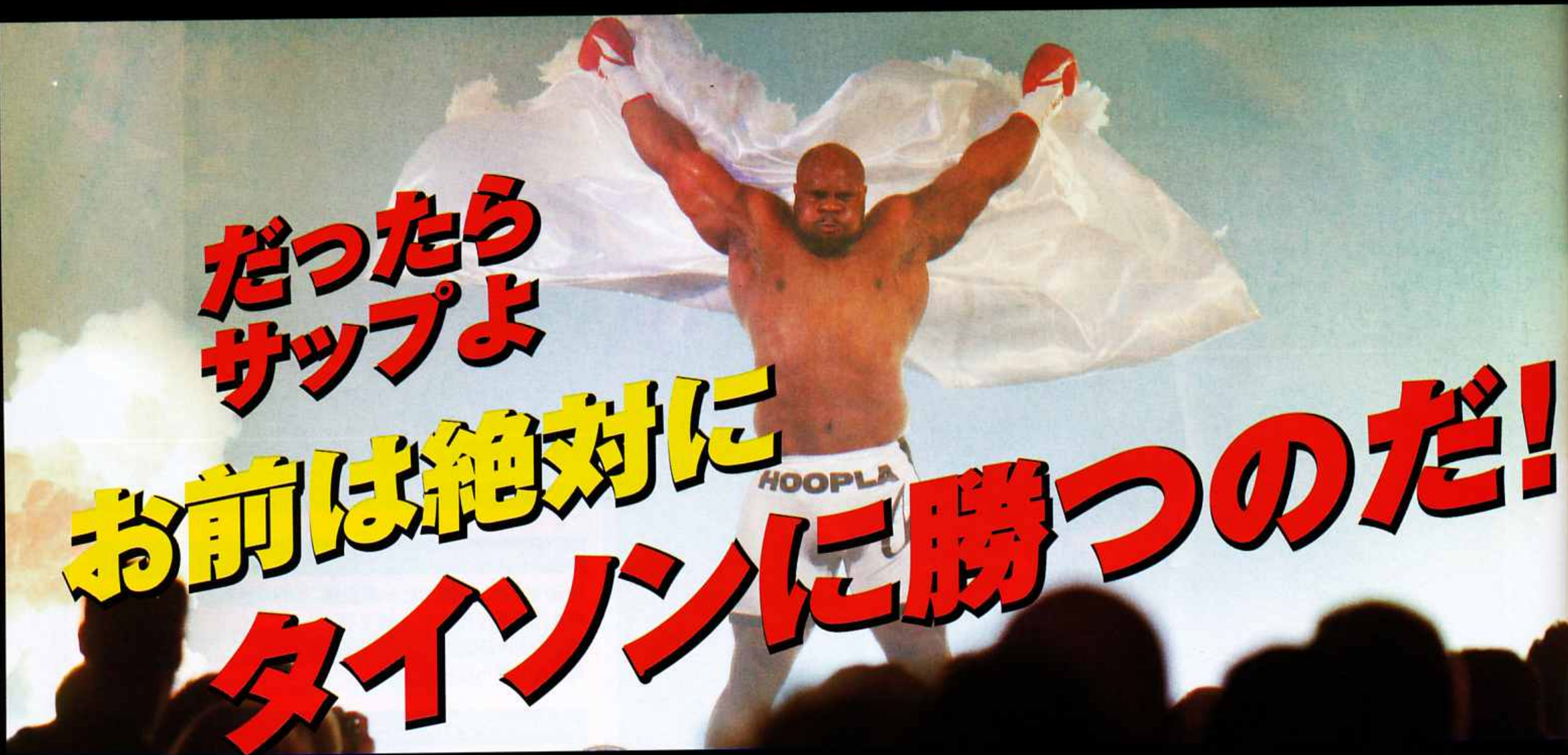
▶クリフォード戦を前にトレーニングのあと報道陣と話すタイソン

▼記者会見中にレノックス・ルイスに突っかかろうとするタイソン。2002年4月29日のことだ

©ロイター

©ロイター

どっちがフェイクなのかはっきりさせてやれ！

だったらサップよお前は絶対にタイソンに勝つのだ！

人たちはタイソンの味方にまわるのだ。つまりボクシングはK—1に対して、上位自我にあるので負けてもらったら困る。

やはりK—1のことを世間は結局は認めていないというか、際物として見ているのだ。世間とはそういうものだということが、ここでもまたはっきりした。

だから私はタイソン対サップの試合が実現したら、それは「世間対K—1」の闘いという見方をしている。世間＝タイソンという図式である。

そうと分かればその世間に一泡ふかせてみせるのが、我々の共通の意志でもある。かつて猪木がアリと闘った時もアリは世間の代表として存在していた。

その世間にいつも立ち向かっていったのが猪木である。猪木はそのプロレス人生において、アリとリングで闘う宿命にあったということである。

世間を敵にするということはどういうことかと言うと、その世間の中には多くの嘘とからくりとだましがあり、世間よ、お前こそがフェイクではないのかと、私はそれが言いたいのだ。

「どっちがフェイクなのか、はっきりさせてやろうじゃないか？」という挑戦状、挑発みたいなものである。猪木VSアリ戦とタイソンVSサップ戦も、そうした視点で見たら面白いのだ。

世紀の大凡戦と酷評された猪木VSアリ戦の真の戦犯は、世間という魔物が試合に介入していたからなのだ。その意味で私はサップが勝ったら、何かが確実に変わると思うのだ。

（ターザン山本）

ンはこんなに違うのだあああああ！

生年月日◎1966年6月30日
年　　齢◎37歳
出 身 地◎アメリカ/ニューヨーク

マイク・タイソン
MIKE TYSON

身長◎182センチ
体重◎102キロ
首回り◎51センチ
胸囲◎109センチ
上腕◎41センチ
ウェスト◎86センチ
太股回り◎69センチ

※タイソンの写真は
1999年のもの

全戦績	56戦50勝（44KO）4敗2無効試合

★主な獲得タイトル

第9代WBC世界ヘビー級王者、WBA世界ヘビー級王者、
第4代IBF世界ヘビー級王者、
第16代WBC世界ヘビー級王者、
WBA世界ヘビー級王者

★ボクシングプロデビュー

1985年3月6日（ヘクター・メルセデス戦　アメリカ）

最近10試合の戦績

●VSイベンダー・ホリフィールド○（1996/11/9）
●VSイベンダー・ホリフィールド○（1997/6/28）
○VSフランソワ・ボタ●（1998/1/16）
△VSオーリン・ノリス△（1998/10/23）
○VSジュリアス・フランシス●（2000/1/29）
○VSルー・サリバーゼ●（2000/6/24）
△VSアンドリュー・ゴロタ△（2000/10/20）
○VSブライアン・ニールセン●（2001/10/13）
●VSレノックス・ルイス○（2002/6/8）
○VSクリフォード・エティエンヌ●（2003/2/22）

徹底比較！ サップとタイソ

生年月日◎1974年9月22日
年　齢◎29歳
出身地◎アメリカ/シアトル

ボブ・サップ BOB SAPP

身長◎200センチ
体重◎165キロ
首回り◎69センチ
胸囲◎153センチ
上腕◎65センチ
ウエスト◎107センチ
太股回り◎94センチ

全戦績 K-1/6戦4勝2敗（3KO）
総合格闘技/4戦3勝1敗 プロレス/3戦2勝1敗

★主な獲得タイトル

東京スポーツ新聞社制定2002年度プロレス大賞MVP

★格闘技プロデビュー

2002年4月28日（PRIDE 山本憲尚戦 横浜アリーナ）

デビュー戦からの戦績

○VS山本憲尚●（2002/4/28）…総合
●VS中迫剛○（2002/6/2）…K−1
○VS田村潔司●（2002/6/24）……総合
●VSアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ○（2002/8/28）…総合
○VSシリル・アビディ●（2002/9/22）…K−1
○VSアーネスト・ホースト●（2002/10/5）…K−1
○VS中西学●（2002/10/14）…プロレス
○VSザ・グレート・ムタ●（2002/11/17）…プロレス
○VSアーネスト・ホースト●（2002/12/7）…K−1
○VS高山善廣●（2002/12/31）…総合
●VSアーネスト・ホースト○（2003/1/19）…プロレス
●VSミルコ・クロコップ○（2003/3/30）…K−1
○VSキモ●（2003/8/15）…K−1

どうなる？ タイソンVSサップ！

ンに勝つための方法

圧倒的にタイソン有利の声が多いタイソンVSサップ戦。果たしてサップに勝ち目はないのか？　サップに勝機があるとしたら、それはどこか？　ボクシング記者歴25年のシュガー・レイ・宮崎氏と格闘伝説BUDO－RAの実戦派編集長、ザンス山田氏に聞いてみた。

宮崎正博
（カリスマ ボクシング記者）

サップよ、K－1ルールの拡大解釈を大いにしろ！

タイソンとサップ、どっちが勝つかって言われてもね（笑）。まず、ボクシングだったら、こういうカードはあり得ないですから。

だって、タイソンは12歳の時からボクシングを始めてジュニアを含めればアマチュアで54戦。プロを含めれば１００戦以上してますよ。だけど、ボブ・サップはフォームを見てる限り、打撃はまるっきりの素人ですよね。だから、サップの勝つ確率は０・01%。試合開始の挨拶で両者が手を合わせますよね。その時に思い切りパンチを入れて偶然いい所に当たれば可能性はありますね。

で、K―1ルールの場合ですけど、さすがに０・01%とは言いません。それこそ、ボクシングのシステムというのはローキックで簡単に壊れてしまうものなんですよ。昔、キックの藤原敏男とWBAの元世界チャンピオンの西城正三が行った試合を見れば分かるとおり、やっぱり違いますからね。

キチンとローキックが蹴れる選手がタイソンとやれば勝てる可能性は十分にあると思いますよ。ただ、タイソンのステップインは速いですから、その処理ができればの話ですけど。あの速さに対応できるのは今のK―1選手ではミルコぐらいしかいないかなぁと思いますね。

もう一つ言えば、ミルコやバンナのようなサウスポーは有利ですね。というのもボクシングのヘビー級にサウスポーはほとんどいないんですよ。サウスポーっていうのは打ち合わないから嫌われてるんです。だから、昔、ジョー・フレジャーっていたでしょ？　彼はもともと左利きなんですけど、オーソドックススタイルに直されてますから。ただ、サップに関していえば、ローキックも蹴れないですからねぇ。

となれば、サップは体重差を利用するしかないと思いますね。タイソンは小さいですし、体重も70キロ差ぐらいありますから。昔、ライトヘビー級でトミー・ローランという選手が、プリモ・カルネラという、のちにプロレスにいった選手とやったのが確か40キロ近く差があったと思うんですけど、その時は全然試合にならなかったですからね。だから、身体が大きいというのはボクシングでさえ、勝敗を左右しますよ。ただ、プリモ・カルネラは、ただ大きいだけじゃなくて、ボクシングをやってましたからね（笑）。

そうは言っても、サップの場合はデカい身体をどう使うかしかないですね。K―1ルールでやればそれはもっと生かせると思いますね。タイソンはニューヨークタイムズの記事で「オレの顔をどうやったら蹴れるんだ。蹴れるわけないじゃないか」と言ってるんで、ちょっとK―1というか、キックに対する認識が甘いというのも付け入るスキはあるんじゃないですか？　ボクシングでは反則ですけど、ピボットブロー（バックハンドブロー）も許されるとなったら、有効な技だと思いますね。結局、タイソンは耳に噛み付いてはいますけど、基本的にはボクシングルールの中でズッとやってきた人間ですよね。だから、K―1ルールで許されるプッシュや首相撲、突進をうまく利用して、体力を１００%生かせれば勝機が出てくる可能性はありますね。

ボクシングルールになくて、K―1ルールにある技を最大限に活用すれば勝てるんじゃないかなと。ルールの隙間というか、ルールのないところを狙っていけばいいと思いますね。まあ、ホントにそれしか思い当たらないですね（笑）。■

識者に聞く!
サップがタイソ

▼サップが勝つには、首相撲でタイソンの動きを止めてローキックを出す方法しかない。試合までパンチの練習なんかせず、この練習だけすれば、もしかしたら倒せるかもしれない

山田英司
（格闘伝説BUDO－RA編集長）

サップはパンチの練習をしちゃダメざんす!!

どっちが勝つかと言えば、99%タイソンですよ。ですから、どっちが勝つかってこと自体ナンセンスで、問題は残る1%はどうやったら生じさせることができるかってことだと思うんですよ。

タイソンは相手がボブ・サップだから受けたってのもあると思うんですよ、だって負ける要素がないもんね。まぁ1%くらいはあるけど。

で、私がもしサップのセコンドについたとして、残り3カ月間で何をするかっていうと、1%を生じさせるために、サップにはパンチを使わせない。サップはパンチの練習をしちゃダメざんす。

で、今までサップはパンチで押してきたんだけど、あれはK—1ルールの中だから生きたことで、ボクサーにあんなことやったって、サップはただの素人なんだから。飛んでくるパンチをどう対処するかで言ったら、タイソンは世界一巧いわけだから、そんなところで勝負しようとしたら絶対にダメざんす。

サップにはもちろん、クリンチさせるんだけども、タイソンはクリンチには弱いわけですよ。彼はボディムーブが速いわけだから、それが止められちゃうと、『あしたのジョー』の矢吹ジョーとホセ・メンドーサの試合で、メンドーサが肩を押さえてボディを打たせる場面があったじゃないですか、あれと同じで、肩の動きを押さえられたらパンチが効かないわけ。どうやってその状態を生じさせるかというと、首相撲に組むわけですよ。で、首相撲状態で何をやったらいいかと言うと、首を押さえて左右のローキックを打つっていうのが、一番いいと思うんですよ。首を押さえてヒザ蹴りっていうのはインプットされているけど、ヒザ蹴りをやる時のスキよりも、ローにいくほうがより安全なんですね。

タイソンは首を掴まれたら、当然ボディを打ってきますよ。サップはボディが弱いから、ただ組むだけだったら、ボディでやられちゃう。だから、ボディも打たせたらまずいわけで、それには組んでからのローだったら、サップの体重を活かせますよ。ボクサーの弱い足を痛めつける、それを忠実にできたら、K—1ルールで勝てるでしょうね。パンチを打つとしたら最後の最後、本当は最後まで打たないほうがいいんですけどね。

ようするに、いかに、ズラすかってことのわけですよ。測定基準をズラす。話がそれるけど、それを一番理解していたのが大山倍達で、大山倍達は実際の、普通の競技の中に、自分を置かないわけですよ。だから相手を牛にしたり、瓦にしたり、10円玉曲げたり、比較できないところで強さを見せた。だから彼に対する幻想が膨らんだわけです。

それが分かっているから、最強は何かっていう時に、極真ルールの場にムエタイを連れてくるわけですよ。極真ルールでムエタイが勝てるわけないじゃないですか。で、勝ったという事実を作って、極真が最強で、史上最強のカラテだとももっていくわけですよ。大山倍達は、そのへんを理解していた男で、武術的なんですよ。競技の連中っていうのは普通はそういうのが分からないからね。強いて言えば、それが分かっていたレスラーがアントニオ猪木でね。彼はズラシを異種格闘技戦の中でやったわけですよ。立ち技の人間に寝技でいったら、全然できないですよ。今回の場合もそれと同じように、サップがボクシングのタイソンを相手に、いかに競技のズラシを行うかっていうのが、勝つためのカギですよ。■

あらためて検証する、栄光と失墜の螺旋軌道

“最強”か“最悪”か マイク・タイソンという男

▲97年6月28日、ホリフィールドとのリマッチ。相手の耳を食いちぎるという暴挙に、ネバダ州アスレチック・コミッションはファイトマネー3000万ドルの中から300万ドルの罰金（史上最高額）、さらに1年間のサスペンドを通達した

Ⓒロイター

これまでマイク・タイソンというボクサーのバイオグラフィーに、いったいどれだけの言語が用いられたのか、想像するのも容易ではない。有名無名を問わず、はたまたボクシングに対する知識のあるなしにもかかわらず、膨大な数の人々がこの『地上最強の人間像』に迫りたがった。この私も今回ここで著すタイソンのライフ・ストーリーはいったい何度目になるのか、と、指折り数えても「はて?」と2度3度と数え直すままに、いまだはっきり思い出せないでいる。

正直言って、単純なサクセス・ストーリー、もしくは時代の生んだ最大のスターボクサーのライズ・アンド・フォール……アンド・ライズを繰り返したって、読者の方々は「ははん、またか」と思われるかもしれない。

だからこの数百、数千番目の『最強伝説』は、あえてマイク・タイソンの不倒伝説が一度は潰えた日のことから書き起こそうかと思い立つ。

あれは忘れもしない、1990年2月11日のことだ。この日、私はマイク・タイソンが闘う統一世界ヘビー級タイトルマッチをレポートするために、東京ドームのリングサイドに座ることになっていた。米国のペイ・パー・ビュー放送に合わせて午前早くから前座は開始された。デビュー2戦目の『天才』辰吉丈一郎が、前タイ王者を豪快な逆転KOで仕留め、『逆転の貴公子』と呼ばれたスリリングなカウンター・パンチャー、高橋ナオトが5度ものノックダウンを食らって無惨な判定負けを喫した。そういう前ふりを経て、いよいよ世界ヘビー級タイトルマッチは開始される。

相手は高性能爆弾というニックネームを持つジェームス・ダグラスという。ミドル級で世界ランカーだった父を持ち、高校時代はアメフトのトップ選手として活躍した。TKOで敗れてはいるもののIBF世界ヘビー級王座の決定戦に出場した過去も持つ。それほどの挑戦者を迎えながら、予想は圧倒的にタイソンに傾いていた。われわれ記者同士で組んだ予想表は、最初の3Rまでの王者KO防衛に集中した。実際の金が動く、米国ラスベガスのスポーツ・ブックでは、オッズ師が『43対1』という途方もない掛け率をはじき出していた。

しかし、妙な予感めいたものが私にはあった。極寒の季節、どういうわけか突然、南から吹き込んできた湿った暖風が露を作り、道行くガラス窓はどれも白く煙っていた。そういう異常な朝だったこともある。それ以上にタイソンの体調不良が気になった。数日前、後楽園ホールで行われた有料公開練習では、パートナーのパンチでダウンも喫している。またその心の乱れについても情報があった。恩師カス・ダマト直系のトレーナー、ケビン・ルーニーを解雇した後、さまざまなトレーナーがタイソンについたが、誰もこの23歳を制御できないと言われた。この時はアーロン・スノーウェルという黒人の新進指導者がついていたが、タイソンはスノーウェルの言葉にまったく聞く耳を持たなかったという。

そしてゴングを迎える試合は、悪い予感が的中する。8R、ダグラスの連打にピンチに陥ったタイソンは、この時こそ逆転の一撃でダウンを奪い返したのだが、10R、再びチャレンジャーの猛攻にさらされる。私の視野からリングサイド・カメラマンの影の中に転落していったタイソンが、再び立った時、口には逆さのマウスピースをくわえ、その目は異常にギ

暴力沙汰、金銭トラブル、レイプ、逮捕 そして前代未聞の“耳噛み”試合……

ラついたまま焦点を失っていた。もはや闘える状態にないのは、私の目だけでなく明らかだった。

この結末は『100年の一度の番狂わせ』と呼ばれた。ダグラスほどの強敵を相手にして、そんな大仰な表現が使われる。タイソンはそれほど凄かったのだ。同時に私も恥をかいた。実はこの試合を展望する専門誌に、「タイソンは宇宙一強い。負けるわけがない」と書いていたのだ。いまや懐かしい笑い話だが、試合直後には「宮崎記者は即刻土下座すべきだ」という投書もあった。

生まれて初めての挫折を経験したタイソンは、その夜、部屋に引きこもったまま一歩も外に出ようとはしなかった。いつもははしたなく盛り立てる取り巻き連中も、この日だけは近付くことは許されなかった。ただひとり、最も信頼を置いていた日本人のカメラマンだけを部屋に呼び入れ、一晩中、自らの苦悩を語ったという。会話の内容は伝わってはいない。しかし、貧困と家庭の不幸から這い出て、拳一つでこんな高いところまでやってきた男の孤独が、その言葉のひとつ一つに包まれていたのは想像に難くない。

マイケル・ジェラルド・カークパトリック・タイソンは1966年6月30日、ニューヨークの下町ブルックリンに生まれた。姉と兄がいるが、彼が物心がつく頃には父親はいなかった。家庭を捨て行方をくらましたのだ。母子家庭は苦しい経済状態の中で、ゲットー（貧民窟）を転々とした。タイソンは姉をただひとりの例外として、誰にも心を開かない少年として育っていった。友人はアパートの屋上で飼っていた鳩だけだった。

そんなタイソンがくっきりと変貌する日がやってくる。日頃、無口なタイソンをいじめていた悪童たちが、その鳩を縊り殺したのだ。タイソンは生まれて初めて激怒する。そして秘められた自分の力に気付くことになる。悪童たち全員を殴り倒してしまうのだ。この瞬間から、立場は逆転した。タイソンが少年ギャングの親玉になった。12歳ですでにヘビー級の体重があった肥満児は、殺人以外の悪事を全て経験していたという。36度も警察に補導され、ついに「日常生活では矯正不能」と少年院にぶち込まれる。

タイソンはここでボクシングと出会う。少年院内のボクシングジムで動く姿を見て、看守はハッとひらめいた。「この子はとんでもなく強くなるんじゃないか」。名トレーナーと誉れ高いダマトを少年院に招いて、タイソンの練習を見せた。もう70を出ていたダマトも、初めて経験する至高の才能に驚いた。ダマトはすぐに自分が身元引受人になって出所させる。16の年に母親が死去したのを機に養子縁組までした。そしてタイソンを高校に通わせ、同時に自分が持ちうるボクシングの知識のあらん限りを、この少年の体と頭脳に埋め込んでいった。

アマチュアでスタートしたタイソンのボクシングはすぐに頂点近くまで到達する。15歳でジュニア・オリンピックのチャンピオンとなった。16歳でシニア大会に出場するようになっても、トップクラスを維持し続けた。1984年、ロサンゼルス五輪代表の座を最後の決定トーナメントで逸すると、すぐにプロ転向を決意する。

翌春、18歳のタイソンの快進撃が始まる。公称の身長は180センチ。しかし、実際のところは175そこそことも言われる豆タンクのような体ながら、強靭な筋肉とバネから生み出されるスピード、パンチング・パワーはケタ外れだった。次々に対戦相手をなぎ倒した。デビューと同じ年の秋、つまり1985年11月、恩師ダマトは死去するが、タイソンの勢いは止まらない。

1986年11月、デビューから1年8カ月、20歳と5カ月のタイソンは、WBC世界ヘビー級チャンピオン、トレバー・バービックに挑む。そして遠慮なくその豪打を浴びせかける。わずか2Rで打ち倒されたバービックが、宇宙遊泳するようにリングを転げ回る中、レフェリーはカウントアウトをコールし、ここに史上最年少の世界ヘビー級チャンピオンが誕生するのだ。

WBA、IBF、ライバル王者を撃破して統一チャンピオンになるまで、それから1年もかからなかった。後は無人の野を行く圧倒的な強さだった。1988年には21度も王座を防衛したラリー・ホームズを4Rで失神させた。3月、初めての日本のリングでトニー・タッブスを2RでTKOに打ち破る。タッブスは元WBA王者だが、それでもこの一戦はミスマッチと言われた。

そして同年6月、最後の難敵と言われたマイケル・スピンクスと対戦する。その後返上したのだが、史上初めてヘビー級王座を獲得したライトヘビー級王者となったスピンクスは、独特の間合いと、きわめて繊細な技巧の持ち主だった。しかし、タイソンのパワーはどこまでも圧

ⓒ日刊スポーツ

▲プロ最初の敗北は90年2月11日、東京ドーム。ジェームズ・バスター・ダグラスにKO負け。43−1の掛け率が覆る大アップセットだった

徹底検証 タイソン、K-1参戦決定の波紋!

それでもなお、タイソンは最大のスター・ボクサー K-1でもその拳で巨万の富を築き上げるのか

倒的だった。

ニュージャージー州アトランティックシティ、この米国のイーストコーストを代表するカジノシティで行われた一戦には、世界中のボクシングファンが集まった。かくいう私もその一人だ。億単位の人々が見ることのできた試合時間は、たったの91秒だ。タイソンの猛攻の前にスピンクスは3度倒れ、惨殺劇はそのまま終了するのである。

タイソンの天下はあと10年以上揺るぎないと言われた。バービックを破った夜、タイソンは「史上最年少の世界ヘビー級チャンピオンになったオレは、史上最年長の世界ヘビー級チャンピオンにもなってみせる」と豪語したが、それも決してホラには聞こえない。当時、最年長のヘビー級王者の記録は1950年代のジャージー・ジョー・ウォルコットが持つ37歳だったが、タイソンならそんな記録を破るのはいともたやすいのではないか、とそう思えた。

そして37戦全勝（33KO）、WBC王座獲得以降も9勝7KOと無敵の名をほしいままにしたタイソンは、ダグラスとの対戦で初めて挫折する。

あれから13年、タイソンは37歳になっている。その間に、いろんなことがありすぎた。1991年、ミス・ブラック・アメリカをレイプしたとして懲役6年の刑を受け、3年間服役した。1995年にカムバックし、すぐにWBAとWBCの世界王座を奪うが、イベンダー・ホリフィールドの強打を浴び、TKO負けを喫する。1997年、ホリフィールドとの再戦は、正気を失ったタイソンが耳を噛みちぎるという暴挙に出て失格負け。期間無期限のサスペンドも食らった。1999年に再びリング活動が許され、6人の対戦者を打ち倒したが、そのうちの2戦はゴング後のパンチなどでノーコンテストになる。昨年6月にはレノックス・ルイスと最強決定戦を行うものの、8RKOで完敗。さしものタイソンもボクサーとしての黄昏を迎えたとも言われたが、今年2月にはスピードスター、クリフォード・エティエンヌをたったの48秒でノックアウトして、まだまだ健在なところを見せた。

ヘビー級のボクシングシーンには、この13年の間にも、さまざまなスターが登場した。45歳で20年ぶりに世界ヘビー級王座返り咲きの離れ業を演じたジョージ・フォアマンを始め、リディック・ボウ、ホリフィールド、そしてルイス、それからビタリ、ウラジミールのクリチコ兄弟。しかし、一貫して変わらないのは、ボクシング界最大のスターが、やはり『マイティ』もしくは『アイアン』を頭に冠したリングネームを持つ、マイク・タイソンその人であることだ。

リングで稼いだ360億もの金もすっかり使い果たしたと言われるタイソン。K―1という新しい格闘フィールドでも、その拳で再び巨万の富を生み出そうとするつもりか。その動向から、決して目を離せない。■

©ロイター

▲最新の試合は今年2月22日のクリフォード・エティエンヌ戦。1R49秒でKOし、あらためて実力を誇示するとともに、試合前の会見では顔面にマオリ族のタトゥーを施して登場し、世界中を驚かせた

激動のタイソン事件史

年月日	出来事
1966年 6月30日	ニューヨーク市ブルックリンのスラム、ベッドフォード・スタイブサンドで生まれる。フルネームはマイク・ジェラルド・カークパトリック・タイソン。
1978年	暴行、強盗と非行を繰り返し、鑑別所タイロン・スクールへ送られる。
1978年	看守の元ボクサー、ボビー・スチュワートと出会い、ボクシングを習う。
1980年	名トレーナー、カス・ダマトが保証人となって鑑別所を出所。ダマトの英才教育を受ける。
1981年	15歳以下が対象の全米ジュニア・オリンピックで優勝。
1984年	全米ゴールデン・グローブ大会ヘビー級優勝。
1984年	専任コーチ、テディ・アトラスと衝突。原因はタイソンが12歳の女の子を暴行しようとしたため。
1985年11月 4日	ダマト死去。
1988年 2月 5日	テレビ女優ロビン・ギブンスと結婚。
1988年	かつての対戦相手で世界ランカーのミッチェル・グリーンとストリートファイト。右手を骨折。
1988年	妻ロビンとその母親に暴行。同年、離婚。
1988年	プライベートを追いかけるテレビカメラを殴り壊す。
1988年	ダマト・ファミリーと決別し、ドン・キングと契約。
1988年	2人の女性から暴行容疑で訴えられる。
1991年 7月19日	ミス・ブラック・アメリカ、デジリー・ワシントンのレイプ容疑で取り調べを受ける。
1992年 3月	レイプ事件で懲役6年の刑が確定、収監される。
1995年 3月	仮釈放。
1997年 6月28日	ホリフィールドとの再戦でバッティングにブチ切れ、相手の耳を食いちぎって3R失格負け。
1997年	医師モニカ・ターナーと再婚。
1998年 3月	ドン・キングとの間に金銭闘争が勃発。話し合いの最中、キングの顔面に蹴りを入れる。コンビ解消。
1998年 3月	WWF（当時）の『レッスルマニア』にサブレフェリーとして登場。レスラーをKOする。報酬は3000万ドル。
1999年10月23日	オーリン・ノリス戦で1R終了後のパンチでKO。無効試合に。
2000年 1月29日	ジュリアス・フランシスを2RTKOするも、レフェリーの制止を聞かずに殴り続ける。
2000年10月20日	アンドリュー・ゴロタ戦で相手の試合放棄に切れ、試合後の尿検査を無視。6カ月のサスペンド。
2002年 1月	モニカ夫人が裁判所に離婚訴状を提出。原因はタイソンの「不義」。離婚協議は成立し、慰謝料650万ドル（約7億8700万円）を支払うことに同意。
2003年 8月	連邦裁判所に破産申請。「浪費と周囲の悪影響の結果」、3億ドル（約364億円）を使い果たしたとされる。
2003年 8月15日	K-1ラスベガス大会を観戦。ボブ・サップを挑発し、リング上で乱闘となる。

※その他ストリートファイトによる警察沙汰、多数。

ワクワク怪物ランドへようこそ！

9・21K—1ジャパンに危険度Eの怪物たちがやって来る！

▼前回のK—1ジャパンで、ただ1人好評価を得たバタービーン

怪豚！

バタービーン
〈アメリカ/チーム・バタービーン〉

暴走山脈！

モンターニャ・シウバ
〈ブラジル/シッチ・マスター・ロニー〉

▲武蔵のたっての願いで無期限停止処分が保留処分となり、ジャパンGPに出場することになったモンターニャ。この凶悪かつ人間離れした体格を持つ男が日本代表にでもなったとしたら、悪夢としか言いようがない

元祖ビースト！

ボブ・サップ
〈アメリカ/チーム・ビースト〉

▲2年前の自分のようなガムリンと闘うサップ。そもそも、ジャパンに怪物が集まりだしたのは、この男の反則暴走がきっかけか？　タイソン戦を前にモチベーションが上がるサップ。得意の総合ルールでの暴れっぷりに期待

▼一昨年、戦慄のハイキックで安田忠夫を葬った凶悪男のローゼ。怪人キモとのVT対決は壮絶になりそうだ

懲役太郎！

レネ・ローゼ
〈オランダ/チーム・ピーター〉

怪人！

キモ
〈アメリカ/DC7〉

▲ラスベガスでサップに敗れたキモも、虎視眈々とサップへのリベンジを狙っている

新怪獣白サップ！

ステファン・ガムリン
〈アメリカ/DC7〉

©K—1

▶元NFLでプロレスの特訓も受けていたと言われるガムリン。まるで、昨年デビューしたサップのような経歴だが、この1年間K—1が密かに育てていた怪物なのだ。体格もサップと同じぐらいで、201センチ、165キロ。サップの活躍によって、格闘技界以外からもK—1参戦希望者が増えているのだ

最終情報！ 9・21 K-1 SURVIVAL 2003

K—1ジャパンは怪物たちの草刈り場か！ まだまだこんな怪物たちがジャパンを狙っている!?

本誌編集部推薦！ “オーバー300王者” マット・ガファリ

▲本誌一押しのK—1ジャパンに出てほしいファイターはこの人、“巨腹”マット・ガファリ！　オーバー300王者とオーバー200センチ王者の対決は夢の対決と言っていいだろう。そして、ガファリ以外にもZERO—ONEには素晴らしい怪物が揃っている。ミスター・ゼットン、アダモチャンたちの参戦も希望したい

新日本プロレス軍団！

▲こちらも出番がなくなってしまった新日本プロレスの柴田勝頼。新日本とK—1の対抗戦も楽しみだ

柔道軍団も!?

▲吉田道場の中村和裕が前回のK—1ジャパンに参戦したことで、柔道勢の参戦にも期待したい！

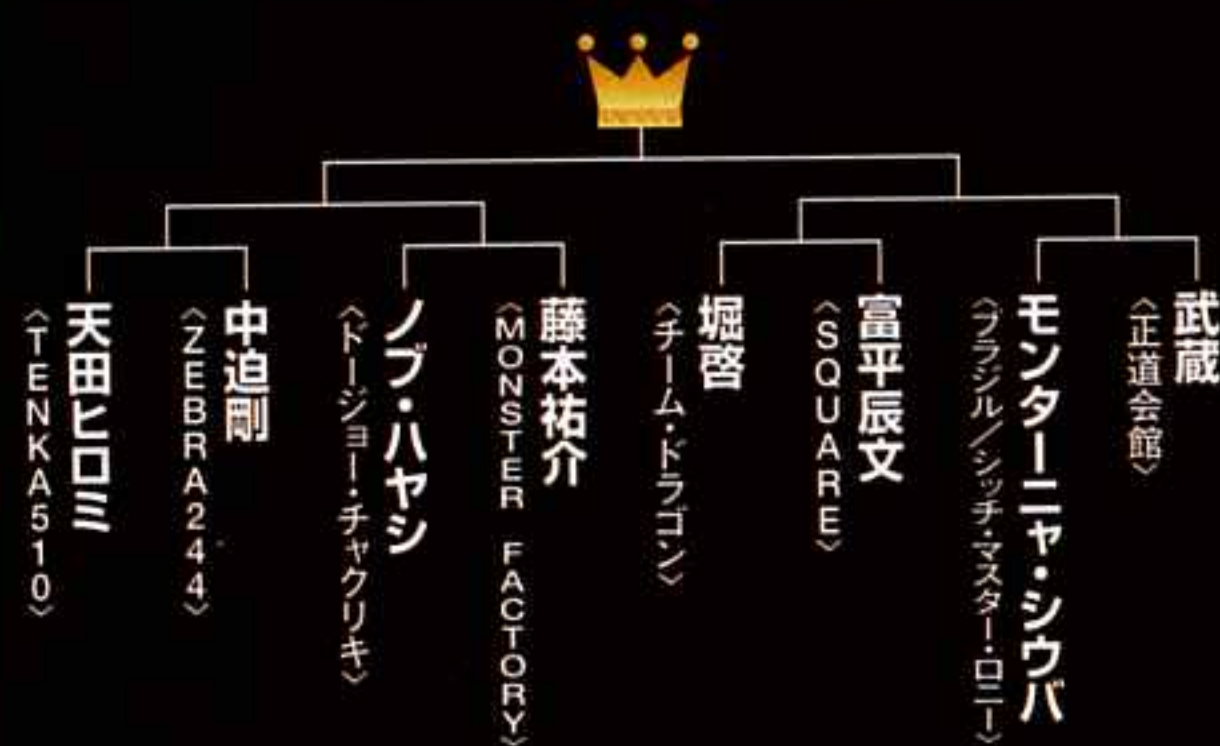
TOA率いるサモアン・ビースト軍団！

▲今回は出番はなかったが、TOA率いるサモアン軍団のこれからの暴れっぷりにも期待がかかる

ワンマッチ対戦カード

		VS	
	ボブ・サップ〈アメリカ/チーム・ビースト〉	VS	ステファン・ガムリン〈アメリカ/DC7〉
	キモ〈アメリカ/DC7〉	VS	レネ・ローゼ〈オランダ/チーム・ピーター〉
	ジェロム・レ・バンナ〈フランス/ボーアボエル&トサジム〉	VS	シャカ・ズール〈南アフリカ/スティーブズ・ジム〉
	マイク・ベルナルド〈南アフリカ/オーランド・チーム〉	VS	バタービーン〈アメリカ/チーム・バタービーン〉
★リザーブファイト	大石亨〈日進会館〉	VS	出畑力也〈正道会館〉

ジャパンGP決勝トーナメント

- 武蔵〈正道会館〉 vs モンターニャ・シウバ〈ブラジル/シッチ・マスター・ロニー〉
- 富平辰文〈SQUARE〉 vs 堀啓〈チーム・ドラゴン〉
- 藤本祐介〈MONSTER FACTORY〉 vs ノブ・ハヤシ〈ドージョー・チャクリキ〉
- 中迫剛〈ZEBRA244〉 vs 天田ヒロミ〈TENKA510〉

いったいどうなる、ジャパン勢！

▶怪物たちがなぜか集合してきてしまったことによって、危機に瀕しているジャパン勢。モンターニャとの決着をつけるために、自らXに指名した武蔵だが、谷川プロデューサーからは「吐いた唾を飲むことがあるからな」、角田プロデューサーからは「正直、不安がある」などと言いたい放題言われていた。頑張れ、武蔵！

9月21日のK—1ジャパン横浜アリーナ大会は、怪物たちの祭典となる。K—1ジャパンはいつの間にか怪物たちの居心地のいい空間になってしまったが、もはや大会自体がなんでも有りの空間。だから、〝白いサップ〟が来ようが無期限停止処分を食らったはずのモンターニャが図々しくもジャパンGPに出場しようが、違和感なんか感じようもないのだ。

一歩間違えれば、前回のようにファンやマスコミから大ひんしゅくを買う恐れだってある。しかし、一方でミルコやサップといったスターが誕生したりする可能性があるのもK—1ジャパンなのだ。

今回やって来る、白いサップことガムリン、バタービーン、キモ、ローゼ、そして極めつけのモンターニャ。いずれも、いつサップのようにタイソンの対戦相手候補として名前が挙げられてもおかしくないポテンシャルの持ち主なのは確かである。

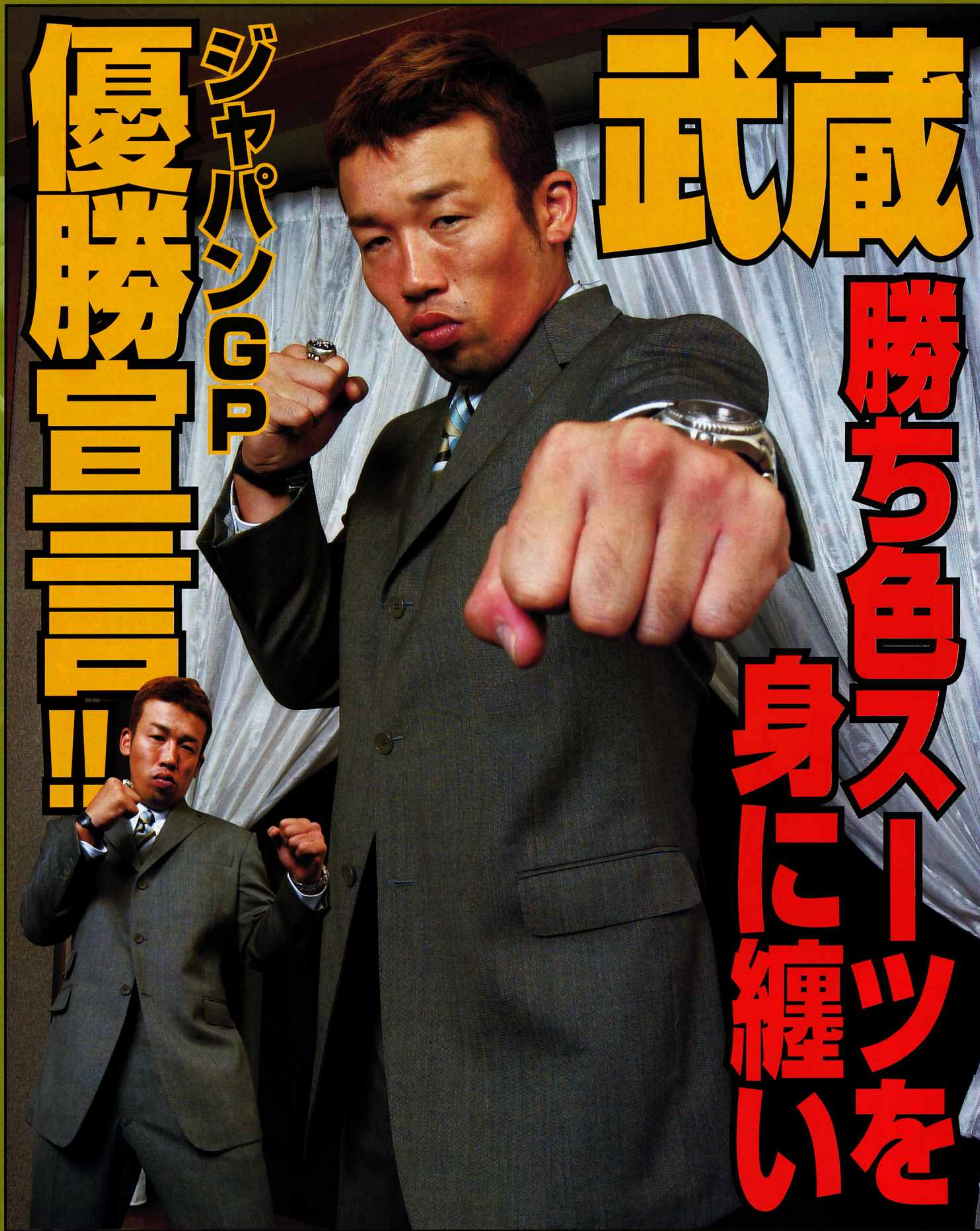
また今回来ない連中でも、中西学を破ったサモアのTOAや、K—1に喧嘩を売った新日本プロレスの柴田勝頼、さらには吉田道場の中村和裕など、K—1に来る選手たちの幅は大いに広がっている。ひょっとしたら、柔道軍団の参戦だってあるかもしれない。

タイソンがK—1で試合をするかもしれないというご時世である。誰がK—1に上がってもおかしくはないのだ。最後にリクエストしたいのは、現在のマット界で最も愛されているデブ、マット・ガファリの参戦。これは、本当に見たい！　ということで、9月21日は怪物たちの宴を体感せよ！ ■

武蔵

勝ち色スーツを
身に纏い

ジャパンGP
優勝宣言!!

9•21 K-1 JAPAN GP
最終情報！番外編

まずは、因縁のモンターニャを完全KO！

—いやぁ、驚きましたよ、武蔵さんがジャパンGPの初戦の相手にモンターニャ・シウバを指名したのには。

武蔵　やっぱり、この前の試合があぁいう形（モンターニャの失格）で終わって、決着がついてないんで。あんなムチャクチャな反則で一方的にやられたのを思い出すだけでも腹が立ちますからね。

—まだ怒ってるみたいですね。珍しいですよね、武蔵さんがそこまで感情を表に出すのって。

武蔵　ほんとボコボコにしてやらないと気がすまないですね。対戦できることになったら、ジャパンGPは無視して、果たし合いのつもりでやりますよ。

—見ている側としても、あの試合は消化不良だったんで、武蔵さんの、今回の怒りの指名というのは、絶対に支持しますよ。きっちり倍返ししてくださいね。

武蔵　はい、やりますよ。

—ところで、武蔵さんは"ゲン"を担いだりしますか？

武蔵　ゲンですか？　う〜ん、少しはありますかね。いい勝ち方をした時のトランクスは、次の試合でもはいたり。神頼みとか、そういうのはあまりしたことないんですけどね。

—トランクスとか、試合で身に付けるものにはやっぱり気を使います？

武蔵　それはありますよ。気に入ったもので試合すると、気分がいいですからね。入場曲と同じなんですよ。入場曲も自分が最高にノレる曲を選ぶじゃないですか。入場の瞬間なんて、最高にイケイケムードになっているんで。その時に、どれだけ気分良くいけるか、みたいなのってあるじゃないですか。それがもし、いきなり違う曲がかかったりしたら、「アレ〜ッ」ってコケちゃいますからね（笑）。やっぱり全てがその時には揃わないといけない。パーフェクトな状態で試合に出て行かなくてはいけないというのはあるんで、トランクスも同じですね。それをはいた瞬間、「どうよ、オレのトランクスは！」みたいなね（笑）。

—武蔵さんはパチンコとかは？

武蔵　やらないです。賭事はやらないですね。まぁ、やったことはありますけど。

—あまり勝てない？

武蔵　というより、そういうところで運を使いたくないんですよ。ラスベガスに行った時もギャンブルは1回もやらなかったですね。

—あっそうですか、徹底してますね。でも、たしかに、勝ったら運を使っちゃうみたいな気がするし、負けるのもイヤですもんね。

武蔵　はい。だから、運が溜まるように。あんまり運を使うようなことはしないのが一番かなと。

—そういう意味では、いま武蔵さんが着ている"勝ち色スーツ"は、全身に運が溜まってきそうですね。

武蔵　そうですね。着ているものからパワーがもらえたらいいですよね。結局、自分でやれることって練習しかないじゃないですか。でも、自分ではどうしようもない部分ってあると思うんですよ。だから、そういう"運"というか、パワーみたいなものがもらえるんであれば、なんでも身に付けたいですね。

—ちなみにこの"勝ち色スーツ"、さすがに試合でリングに上がる時には着れないでしょうけど、武蔵さんとしては、どんな時に着たいと考えてます？

武蔵　やっぱり試合前の記者会見とか、「ここが勝負だ！」って時にはぜひ。

—なるほど、それでは最後に、今年の武蔵さんの勝ち色は、表地がグリーンで、裏地がゴールドということですが。

武蔵　自分の勝ち色なんてあまり考えたことなかったんですけど、なんかこのスーツ着てたら、パワーが溜まってくるような気がしますよ（笑）。超人ハルクも緑色ですしね（笑）。

—ハッハハハ、たしかに。武蔵さんも超人ハルクみたいに、モンターニャ戦は大暴れしてくださいよ（笑）。

武蔵　見ててください！ ■

▲武蔵の着ている勝ち色スーツは79,000円（シャツ、ネクタイは含まれません）。勝ち色スーツは49,000円からのパターンオーダーとなっています。（注：時計、指輪に関しましては武蔵選手の私物です）

武蔵の勝ち色スーツは表地・グリーン×裏地・ゴールド。これで必勝間違いなし！

さようなら、格闘技コンプレックス!

文◉ターザン山本

やっぱり凄いぞ、〝世界の荒鷲〟

やっぱりさぁ、プロレスはハレンチでなければだめだ。こういう言い方をすると〝世界の荒鷲〟は怒るかもしれないが、坂口さんが一夜限りとはいえリングに復帰するのは、どうみても一般的にはハレンチに見える。

ハレンチとは常識と異なる出来事のことをさす。60歳を過ぎている引退した人が、なぜ、いまさら試合をする必要があるのか?

まして坂口さんは一度、引退したレスラーは、絶対に現役にカムバックすべきではないと、言い続けてきたからだ。その信念を曲げて今回、坂口さんは9月14日、名古屋レインボーホールのリングに上がる。

よくそこまで決心してくれた。我々からすると「待ってました!」という気持ちである。たぶんこの件については、プロレスファンはみんな歓迎しているはずである。それでこそプロレスなのだと、言いたくなってくる。

プロレスはプロレスなのだ。これをずっと我々に言ってきたのが、馬場さんだった。それが実をいうと格闘技に対抗できる唯一の方法でもある。

プロレスファンは非常識的なことを〝面白がる〟という特異な感性を持っている。世間の人にそれを求めても無理。期待するだけ無駄だ。

ここにきて時代は真っ二つに割れようとしている。格闘技が好きなものは「PRIDE」やK－1の試合を見に行けばいいのだ。

その人たちはもはやプロレスに関心を持つ必要はない。それと別の形でプロレスを面白がる人は、大いにプロレスを楽しめばいい。

昔はプロレスと格闘技をクロスオーバーさせたり、融合させたり、あるいは対決させたりしてきたが、もはやそれ自体が、説得力のないものになってきているのだ。

格闘技は格闘技、プロレスはプロレス。ファンやお客がそういう考えになってきているのだから、その部分においてはプロレスの側にチャンスが出てきたと言えるのだ。

要は格闘技とプロレスがなぜ、これまで小競り合いを続けてきたかというと、それはお互いにコンプレックスを抱えていたからだ。このコンプレックスはまことにやっかいな存在。

一種のトラウマと同じだ。プロレスの側から格闘技を意識すると、いいパターンと悪いパターンの2つがあり多くは、泥沼にはまっていった。

格闘家と試合で対決してもほとんど敗れ去っていったことだ。このダメージは今でも続いている。それを吹っ切らせたのが坂口さんなのだ。

坂口さんからすると、もう、格闘技を意識することはやめろ。オレたちはオレたちのプロレスをやっていけばいいのだという主張である。

私は坂口さんの復帰宣言を、そんなふうに理解している。あんなことはとてもじゃないが「PRIDE」やK－1にはマネができない。

それをやってしまったら最後「PRIDE」とK－1のポリシーとコンセプトが、壊れてしまうからだ。人のできないことをやる。それがプロだとしたら坂口さんの今度の件は、格闘技側に対して一発かましたとも言えるのだ。

新日本はそういうことをガンガンやっていくべきなのだ。迷っている場合ではない。悩んでいても始まらない。非常識だが面白いことを、堂々と厚かましくやっていくのだ。

新日本は8月28日の大阪大会から勢いみたいなものが出てきた。やっと自信をつかんだというか「ああ、プロレスってこれをやればいいのか……」と悟ったというか。気が付くのが遅い。

もっと前に、もっと早く気付くべきだった。坂口さんは自分の息子である憲二さんまで、試合のセコンドに付けるというのだ。これって海の向こうのWWEがやっていることと同じだ。

WWEはプロモーターのビンス・マクマホン一家が父親、息子、娘までアングルとして出場してきた。

それがプロレス的なリアリティとして、ファンの支持を受けたのだ。もしかするとそのことがプロレスにとって生き残っていくための唯一の手段、方法だったのかもしれない。

マクマホンは誰よりもそのことに気付いたのだ。試合も重要だがサイドストーリーも大切だという考えだ。

WWEから学ぶものがあるとしたらその一点である。ただ、それを小さな団体がやっても意味はない。新日本のような

坂口復帰！
これがプロレスだあ！
新日本、吹っ切れた！
格闘技コンプレックス、消えた！
よし、よし、よし！
それでいいんだ！
いけ、いけ、やれ、やれ！
新日本、今、面白い

©Essei Hara

がやっても意味はない。新日本のようなスケールのでかい団体がやった時、より効果は大きくなるのだ。

格闘技の世界からするとバカバカしいと思われること、冗談にしか思えないことを、プロレスはやればいいのだ。

それがすなわちファンタジーに見えるかどうかだけである。坂口さんのリング復帰はファンタジーにうつった。

〝世界の荒鷲〟という言葉を、我々の前に復活させてくれただけで、ファンタジーになっているではないか？

9月14日、名古屋のレインボーホールで坂口さんの入場テーマ曲が流れてくるだけで、我々は条件反射的に興奮する。

まさしくパブロフの犬的反応である。昭和のプロレスファンなら9月14日、名古屋に行けである。行って損をすることはない。むしろ自分の中に眠っていた記憶を、会場で甦らせてくれるだけでも、幸せというものだ。

プロレスファンにはそういった記憶という大きな武器がある。この目に見えない財産は生かさないと……。

新日本に元気が出ればプロレス界も面白くなる。このメジャー団体がここ数年、格闘技に対してトラウマという病気にかかっていたのは、不幸の限りだった。

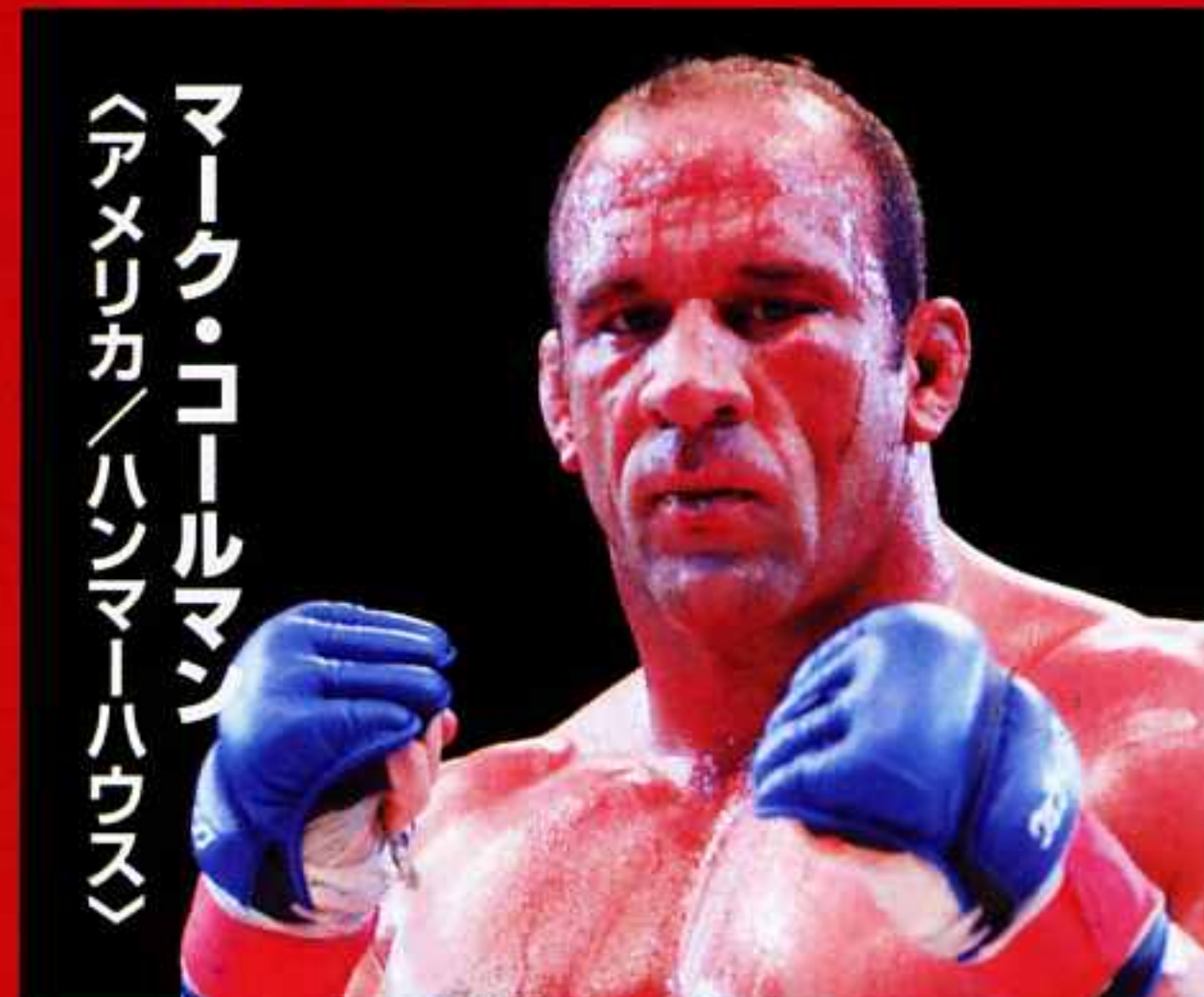
誰よりもプロレスファンが不幸だったと言える。それは仕方がない。プロレスファンも新日本と同じようにトラウマにかかっていたからだ。

でも、もう安心しろ。そういうこととは関係のない世代が、新しいプロレスファンとして続々と我々の前に登場してきたからだ。

新日本はその新しい世代のファンを相手にして、どんどん非常識なプロレスをやっていくのだ。新しいファンはそれを十分に楽しんでくれるからだ。そうなるともう私の出番はない。私は最も古い時代のファンだからだ。■

10・13新日本ドーム大会
『アルティメット・クラッシュ』第2弾
菊田に近藤もみんな出ろ！

噂にあがっているのはこいつらだ！

外敵軍団

マーク・コールマン
〈アメリカ／ハンマーハウス〉

菊田早苗
〈パンクラスGRABAKA〉

近藤有己
〈パンクラスism〉

新日本プロレス軍団

ジョシュ・バーネット
〈アメリカ〉

スミヤバザル・ドルゴルスレン
〈モンゴル／モンゴル・プロレス協会〉

新日本プロレスは10月13日の東京ドームで『アルティメット・クラッシュ』をやる。

あれは面白い、ドームで興行があるたびに、私なんか毎回やってほしいと思っている。なぜ、面白いかというと、それによって新日本の若手の選手や、外国人選手にチャンスを与えられるからだ。

『アルティメット・クラッシュ』の試合に出ることは、絶対に一つのステータスになる。そこではバーリ・トゥードのできる選手とそうでない選手が、はっきりと区別されてくる。それでいいのだ。

プロレスしかできない人はプロレスに打ち込めばいいし、バーリ・トゥードができる人は、その能力を証明してみせればすむ話。

今後、多くの格闘家が新日本のリングに流れてくると、私はそう予想している。彼らはそこでプロレスをするもよし、また『アルティメット・クラッシュ』に出場してもいい。大事なことは彼らの受け皿になってやることなのだ。

さて、10・13ドームでぜひこの『アルティメット・クラッシュ』に出てもらいたい選手がいる。

パンクラスの近藤選手と菊田選手の2人である。前回の『アルティメット・クラッシュ』ではパンクラスの謙吾選手が負けているので、そのリベンジを兼ねて、パンクラスはこの2人のエースを投入してはどうか？

特に私が期待しているのは菊田選手だ。彼が新日本のリングに上がること自体が、きわめて刺激的ではないか？　相手はジョシュ・バーネットかスミヤバザルのどちらかで決定だ。　（ターザン山本）

最新情報！ 10.5『PRIDE武士道』

日本初登場ハウフ・グレイシーは三島☆ド根性ノ助が迎撃か？

対戦相手は予測不能！……

ハイアン・グレイシー
〈ハイアン・グレイシー柔術アカデミー〉

ヘンゾ・グレイシー
〈ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉

対戦相手は……やっぱり桜井“マッハ”速人でしょ!?

監督はホイス！

ホドリゴ・グレイシー
〈グレイシー・バッハ・アカデミー〉

対戦相手は……ここは高瀬大樹でどうだ！

ダニエル・グレイシー
〈ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉

対戦相手は……小路晃か？ 重量級なら浜中和宏か？

10・5たまアリで『武士道』の名をかけた団体対抗戦が実現

“男の中の男の一族”が一斉蜂起！ グレイシーVS日本代表5対5マッチ

&日本人メンバーを大胆予測

かねてから噂にあったように、10・5『プライド武士道』では、グレイシー一族と日本人による5VS5対抗戦が行われることとなった。今回、発表されたのはチーム・グレイシーの5人。なんと、あのホイスが監督を務め、『プライド』における一族の復権へ一丸となって乗り出す。

日本代表のほうはまだ未発表だが、リリースされている出場予定選手の中から、ウェイト面などを参考にカードを予測してみたい。

まずヘンゾだが、試合によって体重に幅があるものの、ベストは80キロ弱。ということで、これはもうマッハ（通常77キロで試合）の出番だろう。『武士道』のエース的存在としても期待がかかるマッハとグレイシーの初遭遇、かなりスリリングである。

日本初登場となるハウフ・グレイシーは70キロ強ということで、相手どしては普段70キロで闘う三島が適任ではないか。こちらもグレイシーとは初対決だ。

これまで杉浦貴、中邑真輔らと闘ってきた重量級のダニエルの相手は、小路晃、もしくは浜中和宏が見込まれる。チャンスを得るのはどっちだ？

80キロ代のホドリゴには、高瀬（がいいかなと）。若きテクニシャン同士の対戦だけに、この試合の盛り上がりが『武士道』の試金石にもなるはず。となると同体格のハイアンの相手は……。今のところ出場予定メンバーには見当たらず、予測不能と言うしかない。もしかすると、とんでもない隠し玉がいるのかも。その辺どうなんでしょう、ADの佐伯さん!? ■

総評

“週ゴン”をチェックせよ!

文◉ターザン山本

**初々しかった中嶋君
少年はどんな大志を抱くのか…**

「X―1」。

この試合リポートというか、総評は書きづらいものがある。たとえ仕事として、プロとして書けと言われても無理だ。さすがに私の中で「ちょっとつらいものを見てしまったなぁ……」という印象があるからだ。

こういうことは正直に言ったほうがいいのだ。今の時代、もう、嘘は通用しない。その嘘にも許せる嘘と愛嬌のある嘘があり、それは私も認める。

でも「X―1」は黙して語らずというのが、一番いいのでは……。そう言いながら私は「X―1」について、決定的なことを言っているのと、同じことを書いているのだ。

まず、客が入っていなかった。横浜文化体育館の2階は、ほとんどガラガラに近かった。それなのに1階のアリーナのうしろの席は、きちんと〝ひな壇〟になっている。

この客入りだとそこまでする必要はない。並べる席の列を少なくすればいいからだ。中央に金網のリングが置かれている。けだるいBGMが試合前の館内に流れていた。

こういう時、観客はさびしい気分になりがちだ。客が入っていないと興行がお祭りにならないからだ。

会場は寒風が吹きすさぶ荒野と化す。まるで誰もいない北の地の荒野のど真ん中にリングを持ってきて、そこで試合をやっている感じなのだ。

私はそういうつもりで「X―1」の興行を見た。会場に入った瞬間から早くも私はスイッチを切り換えたのだ。

これならショックもない。

「X―1」を「PRIDE」と同じレベルとして語ってはいけない。比べること自体がそもそもできない。WJプロレスのボスである長州力には、一度でいいから超満員になった「PRIDE」のさいたまスーパーアリーナに足を運んで、自分の目でしかと試合を見てもらいたい。そこに来ているお客のハートとニーズを知ってほしい。

それをやっていたら「X―1」は絶対にやれないはずだ。長州の頭は市場リサーチがゼロ状態に等しい。

我々は「面白いもの」「凄いもの」「最高のもの」をすでにいろいろ見てきているのだ。長州と我々の間にはすでに大きい落差があるのだ。

私は長州にこの際、言いたい。自分が理解しがたいもの、自分の性に合わないもの、自分が否定してきたものは最後まで否定し続けろと。

そうしないと長州のアイデンティティさえおかしくなってしまうのだ。私は2階から本部席に座っている長州を見たが、私の中であれはNGだ。

ここまで言ったら「X―1」という大会がいったい、どういうものであったのか読者にもだいたいのことは想像がつくはずだ。ひとことで言うと技術的レベルがバーリ・トゥードの試合にしては、非常に低かったということである。

しかし私はあらかじめそれは予想していたことなので、それについてあれこれ言うつもりもない。金網もなぜかおかしかった。選手がもつれあって金網によりかかると、その金網が選手の体重でぐにゃっと大きく曲がってしまうのだ。

いまにも金網が切れそうになる。その証拠にリングの中に入る扉の部分がはずれてしまった。それで休憩時間が1試合早くなって扉の修復作業をやっていた。試合中、セコンドにいた人たちが金網が倒れないように両手で押さえていた姿もこっけいに見えてしまう。

こういうことはプロレスの専門誌には何も書かれていないと思う。あったことは事実なら全て書く。これからの専門誌はそのように方向転換すべきだ。

それが新しい時代の専門誌ではないのか? まずいことや臭いものにはふたをするやり方は、すでに過去の負の遺産と言うしかないからだ。

果たして『週刊ゴング』の〝GK〟こと金澤編集長は、この「X―1」の大会をゴング誌上でどう書くのだろうか?

GKは長州番記者としてキャラが成立している人間。その長州がやった「X―1」はお世辞にもほめられたものではない。これはカバーしようにもカバーしきれないものがある。

この日、9月6日は日本武道館で全日本プロレスが興行をやっていた。プロレス関係者の多くは、おそらく武道館のほうに行ったのではないか? 私の友人が「山本さん、さっき入口の所で〝GK〟さんを見ましたよ」と報告してくれた。やっぱり〝GK〟はこっちに来たのだ。

それはこっちに来ないとおかしい。こ

9・6 横浜文化体育館

X-1 MIXED MARTIAL ARTS

“GK”金沢編集長がこの『X-1』大会をどう書くのか それが最大の興味だあああああああ……

それはこっちに来ないとおかしい。これは〝GK〟に限らずプロレス記者は全日本の武道館よりも、絶対にWJの「X—1」を見に来るべきなのだ。

私は「X—1」に来なかった記者は、記者として認めない。人は何をプライオリティにするかによって、その人間の価値観が分かるのだ。

たしかに「X—1」はしょっぱいと言ってしまえば、それまでの話だ。語るべきものがない。あるとしたら中嶋君の初々しさだけだ。しかし、それもまだプロとしてはデビュー戦なので、あの試合内容では完全開花とは言えない。

相手に恵まれないことには、どんなに才能と素質に恵まれていても、輝くことはできないのだ。初代タイガーマスクのデビュー戦は、あのダイナマイト・キッドだったことを思い出してほしい。

そう考えると〝昭和の仕掛け人〟新間寿氏は、藤波辰巳の売り出しにはニューヨークのマジソン・スクエア・ガーデンを使った。この場合は舞台に華（はな）があった。MSGのリングに立った藤波は、そこで初めてドラゴンスープレックスを披露しているのだ。

中嶋君の売り出しにもそういう気の使い方は必要ではなかったのか？　過剰性の欠如はエンターテインメントにとっては、悪と言ってもいいのだ。

そう考えると「X—1」に果たして次はあるのだろうかと思ってしまう。でも私はこの興行を見に行ったことについては、自分で満足している。

「ここに来た人はみんな偉い！」というのが、私の結論である。がっかりした人、腹が立った人もいるだろう。それは言うな。言うだけ切なくなる。

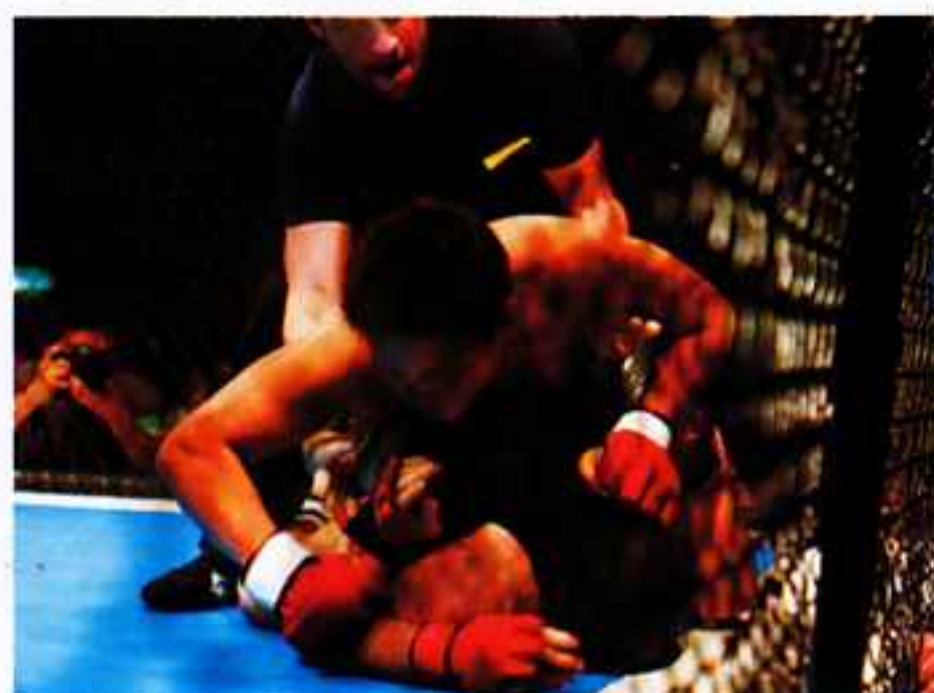
あの会場風景を視覚として記憶にとどめることができたのは大きい。興行は風景論でもあるからだ。それはすなわち長州という人の心の風景でもあるのだ。■

X1 MIXED MARTIAL ARTS 9・6 横浜文化体育館

衝撃！15歳の天才空手少年・中嶋勝彦VT秒殺勝利デビュー！

撮影◎乾晋也

▲いくら天才とはいえ、15歳の少年にこんなクソ度胸があるものなのだろうか？　とにかくお見事！

▲天才空手少年の名前に相応しくきれいなハイキックを見せた中嶋勝彦。これで相手のジェイソン"ゴールデンボーイ"レイはダウン

▲相手がダウンするとすかさずバックマウントで殴りにいった中嶋。レフェリーが試合を止めても殴り続けた

▲控室の前で試合を見届けた長州が中嶋を抱き寄せる。見よ、この長州の嬉しそうな顔を！　しかし、大会終了後長州は「急用ができた」とのことで、ノーコメントで帰ってしまった……

★第6試合/X-1ルール（3分3R）
○中嶋勝彦×J"ゴールデンボーイ"レイ●
（1R1分25秒、TKO勝ち）
※バックマウントでのパンチ連打

正直、大感激！マグマ王者・健介快勝！

▼相手のクリスチャン・ウェリッシュをフロントスープレックスで投げた健介。トドメはフロントネックロックでギブアップ勝ち。やっぱり健介の勝ち姿は清々しいものがある

◀初代WMG（ワールド・マグマ・ザ・グレーテスト）王者の佐々木健介も日本での初VTで快勝！　しかし、試合後に右手の親指に骨折の疑いが判明

★第7試合/X-1ルール（3分3R）
○佐々木健介×Cウェリッシュ●
（1R2分35秒、フロントネックロック）

Xファイル入りは確実!?ミステリー興行、『X-1』！

▼これが『X－1』で使用された金網のリング。観衆は2940人と寂しい入りだった。ちなみに、ラウンドのインターバルに流れた曲は『Xファイル』で使われていた曲

▲金網は意外に弱く、選手が押し込まれると思いっきり伸びて壊れそうな雰囲気が漂っていたのだが、案の定、第4試合には金網のトビラが壊れてしまった。急きょ休憩を入れて修理。ジョンストンも困り顔だ

▼K－1からは武蔵が来場し、中嶋君に花束を渡した。しかし、場内放送で武蔵のことは紹介されず……。なぜだ？

◀中嶋君の1試合だけ解説を務めた佐々木健介の奥さん北斗晶

【その他の試合結果】

★第1試合/X-1ルール（3分3R）
●デヴィッド・ヴェラスケス（1R1分06秒、KO勝ち）ジム・チョンボン・キクチ●

★第2試合/X-1ルール（3分3R）
●ジェフ・フォード（1R2分58秒、TKO勝ち）フィリップ・プリース●

★第3試合/X-1ルール（3分3R）
●ダニエル"オガー"ピューダー（3R判定3-0）ジェイ・マコーン●

★第4試合/X-1ルール（3分3R）
●ジミー・ウェストフォール（1R1分33秒、TKO勝ち）アダム"バーノン"グエラ●

★第5試合/X-1ルール（3分3R）
●ゲイブ・ガルシア（1R2分41秒、TKO勝ち）ジョン・フィッチ●

★第8試合/インターコンチネンタルチャンピオンシップ（3分3R）
●ボビー・サウスワース（2R41秒、TKO勝ち）ブライアン・バード●

★第9試合/X-1ルール（3分3R）
○ダン・ボビッシュ×Bキャストー●
（1R1分35秒、TKO勝ち）
※タオル投入。

K-1、『プライド』でも見たい！こいつが、ダン・ボビッシュ！

▶メインイベントに登場したのは元KOTCのチャンピオンだったダン・ボビッシュ。この男の闘う姿をK－1や『プライド』でも見てみたい

▶フィニッシュは相手のベイシル・キャストーを金網に押し込んでのマウントパンチ。この日、出場した選手の中では抜群の光を放っていた

堀辺正史×ターザン山本
祝・ジャパボク
お披露目記念対談

リアリズムが時代を支配する！

撮影◎山口比佐夫

PRIDEよ、修羅の道を突き進め！

ターザン山本
〈プロレス大道芸人〉

“格闘技の哲人”
堀辺正史
〈骨法創始師範〉

祝・ジャパボク お披露目記念対談

ヒョードルとミルコの非情なまでの勝利と桜庭の無情な敗北が印象に残った8・10『プライドGP』開幕戦。そこに見えたのは徹底したリアリズムだった！　このリアリズムが支配する時代を我らが堀辺正史師範とターザン山本が一刀両断ぶった斬る！

私的欲望は善であるというのが、資本主義社会の基本ですから（堀辺）

ターザン　先生！　さっそくですが、今日はね、時代を総括したいと思うんです。時間軸を過去に振り返って。1990年代の初めから、UFCが出てきて、グレイシーが出てきて、K－1が出てきて、そのことによって現在のマット界のベクトルが形作られたと思うんですね。このね、時代のベクトルはどこに行こうとしているのか？　これを僕は一番聞きたいんですよ。

堀辺　まあ、一言で言うと、″リアリズム″ということですよ。

ターザン　先生、それですよぉ！　これまでは選手もマスコミもファンものんびりしたポジションで確立されていたけども、リアリズムによってどのようにみんな揺さぶられてきたんでしょうかね。

堀辺　これは問題を整理しなければいけませんね。まず、試合におけるファイト内容がリアリズムになったということですね。

ターザン　そのリアリズムになったというのは、ルールがもの凄く緩和されて、バーリ・トゥードになったということですね。

堀辺　そうです。それがまず一つ！　UFCが出現して変わったというのは、まさにリング内の試合内容が変化したところです。まず、これが軸になっていますね。

ターザン　UFCが出現したことによって、各団体がバーリ・トゥードに出ざるを得ないと。そういうことになりましたよね。もの凄いリアリズムで。この時代のニーズはなんなんですか？　先生、いったい、何を壊そうとしているんですかぁぁぁ？

堀辺　一つには見果てぬ夢、「最強とはなんなんのか？」というのが、やる側の選手の中にも団体の中にもあったんですよ。ずっとそれを求めてきたんです。しかし、競技方法が細分化されてきたことによって、自分たちの競技の中で「最強だ！」って言っていたでしょう。

ターザン　それを分かりやすく言うと、自称最強なんですよ。それでバランス良く、格闘技界は成り立っていたんですね。

堀辺　そうです、そうです。自分たちで「最強だ！」って言っていればよかったんですよ。だから、見ている人も思い入れの世界だったんです。だからね、UFC以前は山本さんの言葉で言うと、全て自称最強だったんです。しかも、当時は闘う方法論を持たなかったので、非常に牧歌的な自説が通ったと。

ターザン　ハッキリ言ってしまえば、予定調和の最強だったわけですよぉ！

堀辺　それが、UFCの出現でブチ壊れてしまったんです。それによって、リアリズムが生まれたわけですね。

ターザン　でも、ブチ壊れたら困ったでしょう、自称最強の人たちは。

堀辺　今でも困っていますよ。でも、見ている人たちは最強っていうものを知りたいんですから。そうすると、ジャンル別の格闘技よりも「プライド」などに人が流れてしまうわけですね。

ターザン　よ〜するに、ファンもマスコミも非常にドライと言うか。それに押されてしまって、「プライド」みたいにならざるを得ないと。

堀辺　そうです。そうすると、もう一つ見えてくるんです。私はあの「プライド」のリングをマスリングと呼んでいるんですけど、今までジャンル別にやっていた格闘技は多くの人の関心を集められなかった。でも、本当に最強を決める試合形式が生まれたことによって、関心を持ってくれる層が圧倒的に増大したわけですね。

ターザン　間口がガチャーッと広がりましたよね。

堀辺　広がったことで何が一番大切かと言うと、お金が集まるようになったということです。

ターザン　ああ、注目されますからね。

堀辺　今までの格闘技っていうのは、だいたいは4年に1回のオリンピックとかでしか、注目を浴びることはできなかった。でも、「プライド」みたいな場が生まれたことによって、お金が集まると。そこで勝ち続ければ、選手にもお金が入るようになったんです。

ターザン　先生、その発想はこの世界で起こっているグローバルスタンダードと同じ発想で、リングをオープンにして闘って、勝った者だけ生き残るという極めてアングロサクソンの思想がモロ出しになっていますよね。

堀辺　モロ出しですね。自分がリアリズムと言ったのは、リング上の話だけではなくて、それを軸として選手たちがどのようにこの資本主義社会の中で、映画俳優やプロ野球選手だとかの他のジャンルの人に匹敵するお金を初めて稼げるようになったかということなんですね。

ターザン　先生、資本主義のリアリズムと言ったら、欲望が際限なくエスカレートするものですよね。

堀辺　そう、私的欲望は善であるというのが、資本主義社会の基本ですから。

ターザン　そうすると闘いもそれにつられて、欲望の際限なき沸騰というか、メチャクチャエスカレートしていくんじゃないかと思うんですよ。「プライド」は資本主義的な闘いの典型みたいなもんですね。

堀辺　いや、まったくそのとおりですよ。最近、そのイメージをヒョードルとミルコにもの凄く感じますね。

ターザン　僕はそれと同時に桜庭のシウバへの3連敗に非情なまでの資本主義の論理が見えたんですよぉ。ヒョードルとミルコという勝利者が握っている栄光と、桜庭の敗北のコントラストが凄いなと。

堀辺　非常に「プライド」的資本主義で

堀辺正史×ターザン山本
祝・ジャパボク
お披露目記念対談

『プライド』は資本主義的な闘いの典型みたいなもんですね（ターザン）

すね。

ターザン　先生、この生き方に未来はあると思います？

堀辺　いや、ないです。

ターザン　ない！　先生、僕はあると答えてくれると思っていたんですよぉ（笑）。なんでないんですか？

堀辺　いや、ないんですよ（笑）。

ターザン　じゃあ、どっかでストップをかけないといけないですね。

堀辺　いや、ストップをかけても止まらないです。これは続いていくんです。これを極限までやっていった時に、最終的な破局を迎える時が来るんですね。私はそう思って見ているんです。

ターザン　ああ、そう？　まだしかし、そこまでいっていませんね。

堀辺　まだいってない。上昇曲線を描いていますよね。

ターザン　そうですよね。でもヒョードルとミルコの強さは、僕なんかから見ると、ちょっと引いてしまうんですよねぇ。

堀辺　分かります。そのとおりです。私がなんでヒョードルがリアリズムの代表選手なのかと言うと、彼は柔道とサンボをやってきましたよね。サンボでも強いんですよ。でも、彼は『プライド』のリングでまったくサンボらしさを見せないでしょう。今までの選手だったら、自分がやってきた競技の枠の中で勝ちたいという気持ちがあるんですよ。

ターザン　それがアイデンティティだからですよ。自分が育ってきた。

堀辺　ところがヒョードルは『プライド』の試合がどういうものか理解し、サンボなんか使えないと思ったら、長い間やってきたサンボでも使わないんですよ。

ターザン　しかし先生、コピィロフなんかは拘りますよね、ボロボロに負けてしまいましたけど。あの敗北を見て、ヒョードルはこれではダメだというので、チェンジしてしまったんですね。あえせざるを得ないわけなんだから。僕からしたらコピィロフは美しいんですよぉ。コピィロフは『プライド』はこのままいったら破局するって予言していたんですよぉ。でも自分たちの仲間から最強のヒョードルが誕生しているんですよね。その自己矛盾をどう思います、ロシアン・トップチームの。ヴォルク・ハンなんかも時代に取り残されてしまうんですよ。美しいんですよぉ、ハンもコピィロフも！

堀辺　よく分かります。その中に桜庭も入っていたんですよ。いま言った人たちはリアリズムに徹しきれない人たちなんですよ。桜庭の敗因もいろいろあるんだけど、最大の敗因は、桜庭選手の中にあるダブルスタンダードの価値観なんです。一つは勝負に徹した闘い。つまり勝負論ですね。しかし、UWFで育てられてきた桜庭には観客論が骨の髄まで染み込んでいるんです。だから例え負けるようになっても、自分のほうから仕掛けていかなかったら、このリングが成り立たないという思いに駆られて闘っちゃうわけなんですよ。これはもう、彼の性格なんですよ。

ターザン　これはもの凄いハンデを背負っていますねぇ。

堀辺　背負ってますよ。だから、桜庭選手が勝つには観客論を捨ててない限りは、技術革命をやってもダメなんです。これがポイントです。

ターザン　そのとおりですよぉ。ヒョードルに観客論はないですよ。

堀辺　だから、強いんです！

ターザン　ワッハハハハ。そういうことですよね（笑）。簡単に言っちゃうと。

堀辺　それもリアリズムなんですよ。

ターザン　でも先生、それはクソリアリズムですよ。クソを付けないとダメですよ、ハッキリ言ったら。

堀辺　でも山本さんね、人類の戦争の歴史を見るとね、やはりそれと同じことが起きているんですよ。昔の戦争は兵隊が派手な服装をして、太鼓を叩きながら目立つ格好をして闘ったんですよ。でも、それは一番狙撃されやすいんですよ。だから、そういうことを第一次世界大戦ではやめたんです。それをもし戦争にロマンを求めていたら、その国家は19世紀にこの地球上から消滅していたわけですよ。だから、リアリズムっていうのは怖ろしいんですよ。

ターザン　リアリズムというのは、哲学がないですよ。哲学なき戦略ですよ。

堀辺　これはジャングルの掟ですよ。ジ

KOした相手でもトドメを刺しにいくこの姿こそ、ミルコがリアリズムの体現者であることを示している

極限の極限までいくと闘う哲学が生まれてくるんです（堀辺）

ャングルの掟を貫徹しようとするわけですから。そこには人間の荒廃が生まれてくるんですよ。

ターザン　だから、ヒョードルとミルコ、特にミルコは強いなぁと思うんですけど、もの凄い冷たさを感じるんですよ。

堀辺　感じますね。でも、ああじゃないと勝てないんですよ、現実問題として。

ターザン　だから、今回イメージ的に、ボブチャンチンは暖かいなぁと感じたんですよ。勝ち負けを超越して、人間の生き方を見ちゃうんですね。冷たいのと暖かいのとは違うなぁと感じるんだよねぇ。

堀辺　そのリアリズムっていうのは、いま言ったように人間の荒廃に繋がるんです。人間の高貴な部分を壊していく、優しさとかね。でも闘いはそういう方向に進むんですよ。その闘いが極限まで行った時に、そのまま進むか、救済の理屈を作り出すかっていうところで、人間の文化は変わるんですよ。日本の侍たちもね、闘いに次ぐ闘いでそのリアリズムに行き着いた時に、彼らは自分たちの人間性を破壊させないために、ある思想を生み出したんです。それこそが武士道なんです！

ターザン　先生！　闘いというのは生きるか死ぬか、命のやり取りでしょう？　宮本武蔵にしろ、柳生一族にしろ、みんな物を書いて、哲学を残すじゃないですか。あれはなんなんですか、いったい？

堀辺　両極端は一致するという言葉がありますよね。人間、修羅の道の極限の極限まで行った時に修羅のままで終わる人もいれば、修羅の場に身を投じたことによって、それを乗り越えようとする人もいるんです。日本の場合は闘いの武術を武士道や武道に昇華させたんですよ！

ターザン　先生！　でも、『プライド』はすでに資本主義の最先端にいっちゃっていますよぉぉ！

堀辺　山本さん、まだこのノールール系の闘いっていうのは、資本主義の理屈に入ったばっかりなんですよ。

ターザン　ああ、そう？　ただ、プロレスは負けた者にも救いを求めるという、独特のパラドックス的な思想があったけれども、すでに資本主義の理屈でボコボコにされましたもんね、跡形もなく。これは時代の必然なんですか？

堀辺　いや必然ですね。プロレスはなくなるでしょう。

ターザン　ええ！　いやなくなることはないけれども……。

堀辺　いや、なくなるというのはね、社会的な機能がなくなるという意味でね。

ターザン　だから、プロレスが最大の被害者だと、この時代のベクトルの中ではね。で、僕はそのあとに遅れてそれが格闘家にくるんじゃないかと思うんです。プロレスが時代の役割を終えようとするように、今度は格闘家、格闘技団体に移るんじゃないかと。

堀辺　もう移っていますよ。でも、それは今の時代を反映していますよ。結局、日本で起こっていることも、終身雇用制であるとか年功序列制とか、ある種共同体的な家族的な会社の中で多少お荷物になる人間でも、会社に対して忠誠心を持っていれば、会社でそれなりに面倒を見ていたでしょう。

ターザン　先生、驚いたのはね、どんな会社でも平気でリストラするでしょう。凄いですよね、今の日本の社会。格闘技の世界も同じですよぉ。

堀辺　同じです。だから、社会で生きている人たちがそうだから、リングの中で甘いことをしていると、「俺たちよりも甘いことをやっているな」としか見えないんです。そういう意味では、ノールール系というのは時代に合っているんです。

ターザン　しかし、日本人というのは判官贔屓があるので、例えばなんとしても今回は桜庭に勝ってもらいたいという気持ちで、希望と夢を持って会場に足を運ぶわけですよ。桜庭が勝たないと俺も救われないというね。こういうファンの心情をどう思います？

堀辺　健全ですよね。一言で言って、健全でしょう。そういう気持ちがなくなったら、人間は人間じゃないでしょう。

ターザン　それなのに、勝てない現実、リアリズムが厳然としてあるという。この時代の矛盾っていうのは凄いですよね。

堀辺　でもね、山本さん、どっかでそれを求めていたのも真実なんですよね。これを見たいと。よく山本さんも週プロで書いていたじゃないですか。「どっちが強いかハッキリさせろ」って。そういう願望もあるでしょう？

ターザン　そういう願望もありますよね。でも、そこまで行き過ぎるな……と。

堀辺　ワッハハハハ。

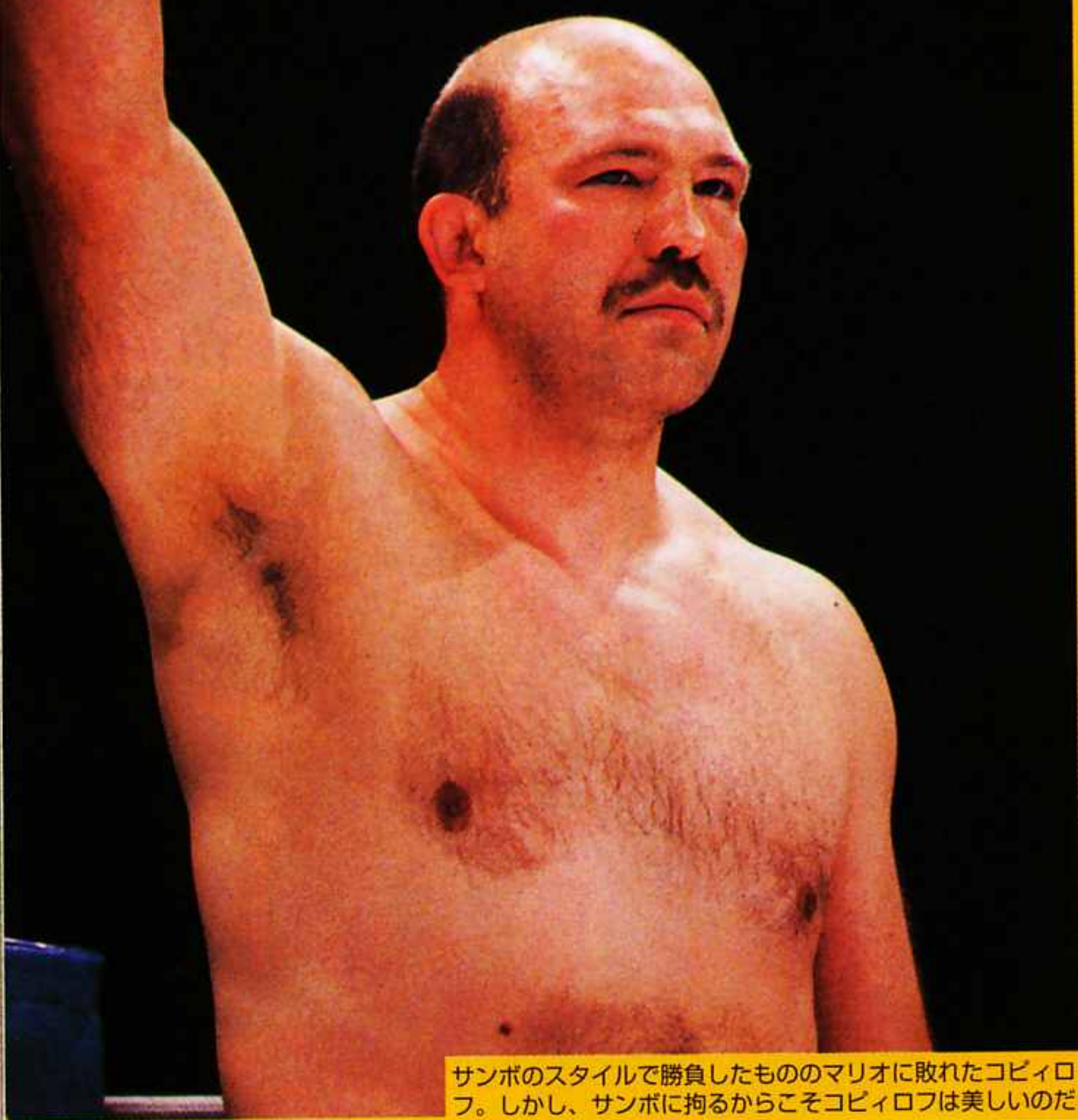
ターザン　見たい願望はあるけれども、そこまで見たくないと、そういう2つの分裂したものがあるでしょう。しかし、今はハッキリ言って、エスカレートしているでしょう。時代がアクセルを踏みすぎているというか。

堀辺　まあ、やらせるだけやらせるしかないんじゃないですか？

ターザン　ここまで来たら？　先生、無責任なことを言いますねぇ！（笑）。

堀辺　ワッハハハハ。でも世の中というのはそういうものだと思いますよ。

ターザン　先生、あまりにもリアリズムに行き過ぎちゃって、僕みたいに見るのも切なくなると観客とか時代が飽きたりしないですかね。

堀辺　いや、飽きますよ。

殴って、倒して、また殴る。ヒョードルこそ、ミスター「打・倒・打」！

堀辺正史×ターザン山本
祝・ジャパボク
お披露目記念対談

じゃあ、まだ始まったばっかりじゃないですか（ターザン）

ターザン 飽きるうう？ 先生、今日はムチャですねぇ！（笑）。対談が終わっちゃうじゃないですか！

堀辺 山本さん、そうは言うけど、歴史から学ばなきゃいけませんよ。ローマのコロシアムで王様たちが奴隷を闘わせましたけど、最後には飽きましたよ。だから、極論を話しているようだけども、この極論を話すことによって、あることが見えてくるんですね。何が起きてくるか。

ターザン 一つの答えですよね。どういう答えが見えてくるのか。あるいは現時点での答えですよね。これはいったいなんなんでしょう。

堀辺 山本さん、格闘技の本来の姿に戻っただけなんですよ。それを私は原点回帰と呼んでいるんです。

ターザン 原理主義ですね、これは格闘技界の。

堀辺 原理主義です。文明化した世界で一匹の雄と雄が闘うことの意味が見えてくるんですよ。そして闘う哲学が生まれてくるんです。

ターザン ああ、なるほどね。

堀辺 だから、先ほども言いましたけど、武士道はそうやって生まれてきたんです。

ターザン じゃあ、まだ始まったばっかりなんですね。でも、日本国民というのは、物事を曖昧にし、ハッキリと物事を言う人間は小沢一郎のように嫌われてしまいますよね。

堀辺 山本さんとか私とかね（笑）。だから、私が『プライド』に対して言いたいのは、今回『プライド武士道』っていうのが生まれるけれども、本来『プライド』は武士道をテーマにしなければいけないんですよぉ。

ターザン ああ、なるほどね。

堀辺 『プライド』が本当に武士道をテーマにすれば、極限の闘いを進めても世間と矛盾をきたさないんですよ。なぜなら、闘いの原点を究める男たちと武士道を究める男たちが繋がるからなんです。

ターザン でも、今の日本人には理解する土壌はないと思うんですよね。先生の言っていることは非常に逆説的だから、理解できないと思うんですよ。

堀辺 でもね、『プライド』みたいな影響力のある人たちが、そういうことを言い出したら、若者たちはその価値観に従ってくるんです。

ターザン 若者は変化しますか？

堀辺 いや、変化しますよ。ああいう派手なところが言い出したら。例えば、ビートたけしがそういうことを言い出したら、聞く耳も持つんです。誰が言うかなんですよ、俺が言うから聞かないんであってね（笑）。

ターザン 先生、世の中っていうのは、そういうものなんですよね（笑）。いい加減なものなんですよ。

堀辺 いい加減なもんなんですよ。ビートたけしが言ったら、大したことじゃなくても「おお、そうか」ってなるけれども、堀辺正史やターザン山本が言ったら、唾かけるから。

ターザン ワッハハハ。どんな対談なんですか、これ。

堀辺 でも、そんなもんでしょう？（笑）。

ターザン いや、世の中なんてそんなもんですよ。屁みたいなもんですよぉ！

堀辺 屁以下ですよぉ！（笑）。

ターザン まあ、格闘技の世界は運命の真っ只中にありますね。今が一番面白いんじゃないですかぁ。

堀辺 今が一番面白いんでしょうね。壁を乗り越えた時代。

ターザン 壊れてますよぉ！ みんな壊れてますぉ！

堀辺 いや、壊れてますよ。でも、破壊の張本人はターザン山本と堀辺正史じゃないかって言った人がいるらしいね（笑）。

ターザン ああ、そう？

堀辺 週刊プロレスでノールールを推進したってことで。でもそれは仕方がないんですよ。いつの時代でもある程度できあがったシステムなんかは、壊れる時がくるんです。だからいま我々は混乱の時代にいるんですね。

ターザン 先生、これは混乱どころじゃないですよ。動乱ですよ！

堀辺 動乱ですね。

ターザン 戦乱というかね。

堀辺 動乱の時代だから、人は顔にどうらんを塗って生きているんですよ（笑）。

ターザン むむむ……。先生が一番ムチャですよぉぉぉ！ ■

サンボのスタイルで勝負したもののマリオに敗れたコピィロフ。しかし、サンボに拘るからこそコピィロフは美しいのだ

日本武道の神髄はジャパボクにあり！

骨法の行く道は修羅の道！

▲組み技限定の武者相撲から次の段階に進むと全局面打撃の骨法98手が待っている。この骨法98手こそ、噂の「ジャパボク」なのだ

衝撃の新型格闘技ソフト『ジャパボク』完成！　すでに各誌で取り上げられているので、ご存知の方も多いと思う。しかし、何を隠そう一番初めに目撃したのは、本誌なのである（本誌95号の4ページ参照）。

およそ3カ月前。『プライド26』の見どころを骨法の堀辺師範に取材に行った日のことだ。道場をうっかりのぞき込んだ私は、衝撃的な場面を目撃した。白い道衣に身を包んだ男たちが、これまた白いボクシンググローブを着け、防具もなしにひたすら打撃の攻防を繰り返しているのだ。しかも、それは立ち技での攻防時ばかりでなく、寝技の攻防になってでもある。

マウントポジションでの攻防はもちろん、バックに回り、普通ならば関節技でも狙いに行きそうな場面でも、彼らは打撃による攻撃しか頭にないのか、ひたすら相手に対して打撃攻撃を加え続ける。しかも、後頭部だろうがなんだろうがお構いなし。総合格闘技にありがちな膠着もなく、選手たちはひたすら動き続け、ひたすら相手をぶちのめしにいく。まさにこれは狂気の沙汰である。

そう、この狂気の沙汰のような格闘技こそ、しばらく沈黙をしていた骨法が生み出した『ジャパボ

堀辺正史×ターザン山本
祝・ジャパボク
お披露目記念対談

骨法は黙っている時が一番怖い！

▶『ジャパボク』は日本武道。試合は蹲踞から始まる

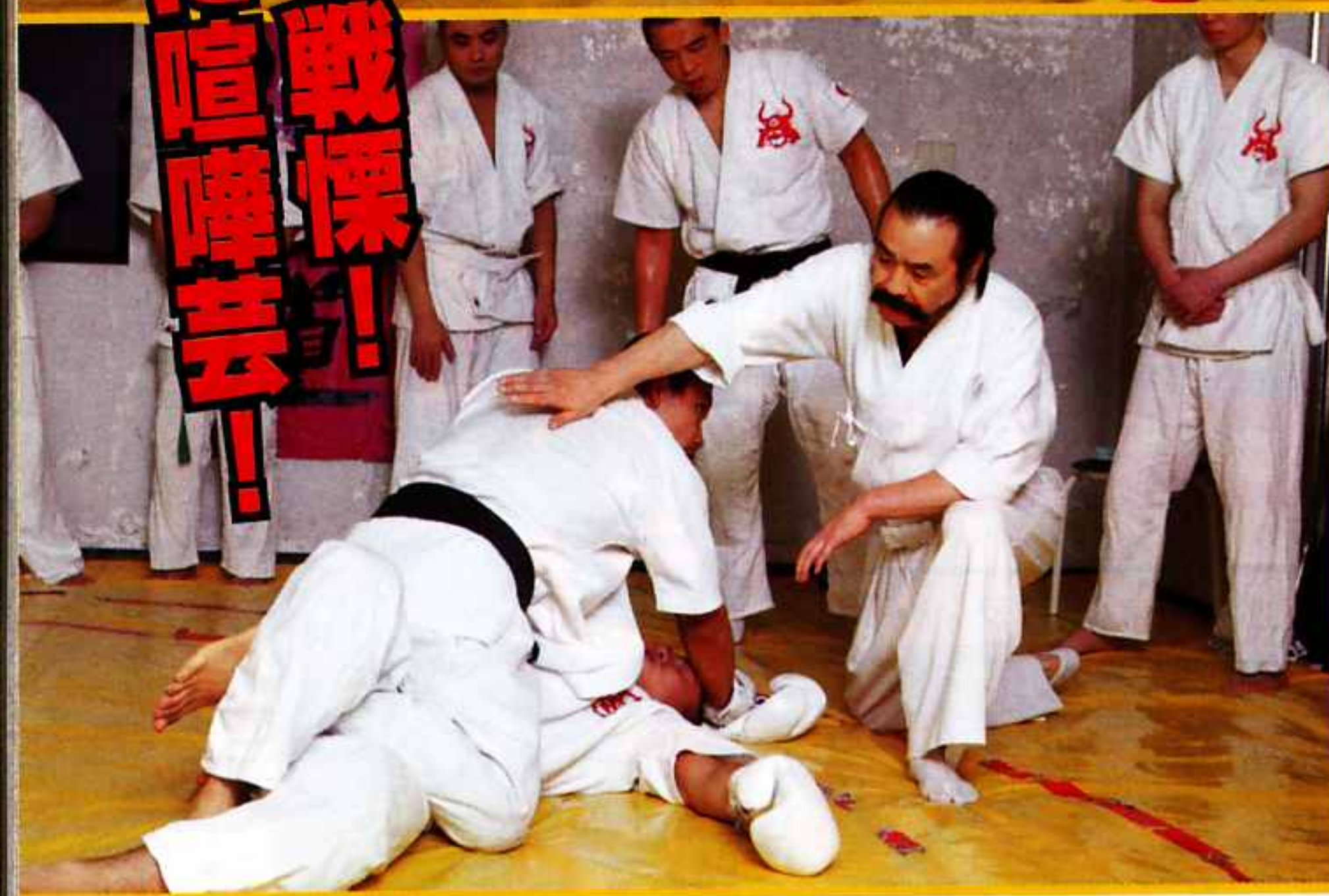
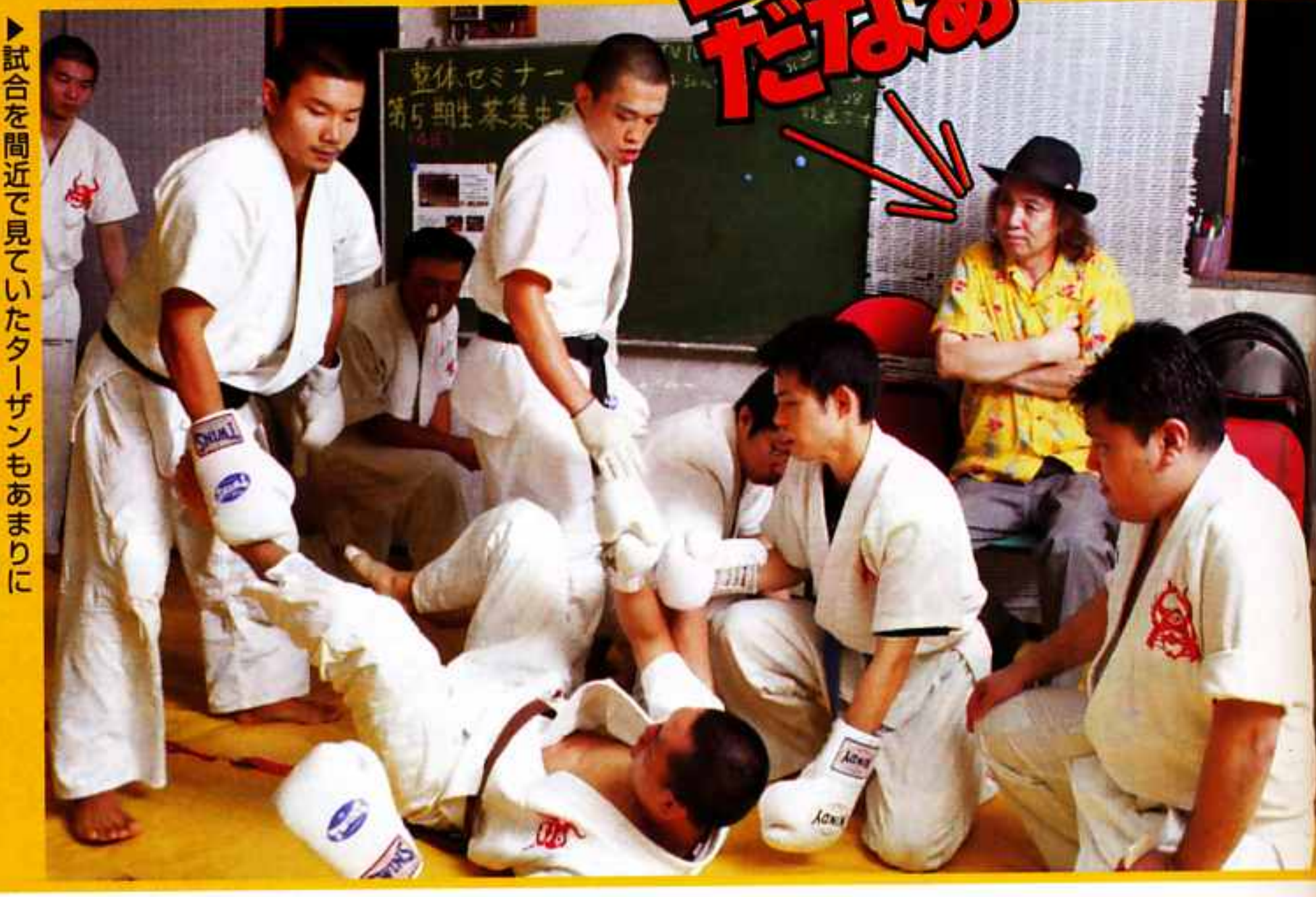
◀全局面打撃なので、どんな状態でも容赦なく相手をぶん殴る。時にはバックに回って後頭部を殴ることもある

全局面打撃の戦慄！これぞまさに喧嘩芸！

▶立ち技の攻防も極めて特殊。相手の足を刈るようなローキックや、ヒザを目掛けてのヒザ蹴り、そして腕をラリアットのように使って、足を刈りにいく動きもある

◀相手を壁に追い詰めたとしても、攻撃の手を緩めることはない。とにかくひたすら攻撃あるのみ

ムチャだなぁ……

▶試合を間近で見ていたターザンもあまりにも激しい攻防に「ムチャだなぁ……」と一言

◀相手を完全にKOして一本！　敗れた選手はボロボロ状態だ。道場での試合でここまでするとは……

格闘技こそ、しばらく沈黙をしていた骨法が生み出した『ジャパボク』なのだ。『ジャパボク』とは、ジャパニーズ・ボクシングスタイルの略称で、「今は日本人がいなくなった」と嘆く堀辺師範が、日本を意識した格闘技を作ろうと完成させた、究極の全局面打撃制格闘技。これは、骨法にある組み技の武者相撲と呼ばれる段階を経た者が行える骨法98手にあたるもので、日頃、堀辺師範が現在の総合格闘技の主流と主張する、「打・倒・打」の理論を色濃く反映している格闘技なのである。

初めて目撃してから3カ月経ったが、選手のレベルも上がっており、今回の取材ではより高度な攻防が繰り広げられ、かつ膠着もないので鑑賞用格闘技としても楽しめるものになっていた。しかし、その攻防の激しさはやはり凄い。一部始終を見届けていたターザン山本さんが「ムチャだなぁ……」とこぼす気持ちもよく分かる。

しかし、この激しさこそ、この『ジャパボク』の神髄なのだ。修羅の場に身を投じることによって、武士道を究めんとするのが、この『ジャパボク』完成の目的。それを象徴するかのように、黒帯の選手には道衣の肩の部分に日の丸が縫いつけられている。これは、黒帯の選手にしか許されておらず、日の丸を付けていない人間は「真の日本人ではない」ということなのだそうだ。これは、厳しい！

現在の日本を憂い、真の日本人誕生のために完成された『ジャパボク』。「うちは沈黙している時が一番怖いのよ」という堀辺百子局長の言葉どおり、怖ろしい新型格闘技ソフトが誕生した！（小松）

『ジャングル・ファイト』に異常事態発生！
アマゾンの密林に“柔術怪獣ヒカルドン”が襲来！

密林の大決闘！
9・13『ジャングル・ファイト』
最終情報！

謎の新怪獣ヒカルドンはヒカルド・モラエスだった！

決定対戦カード

中邑真輔	VS	シェーン
村上和成	VS	リー・ヤングガン
LYOTO	VS	ステファン・ボナー

その他の出場予定選手

マーク・シュルツ〈アメリカ〉、ダリオ・アモリン〈ブラジル道場〉

ジャスティン・マッコリー
〈ロス道場〉

カルロス・バヘット
〈ブラジリアン・トップチーム〉

猪木軍の最終兵器か？

マーク・シュルツ　プロフィール

1984年ロス五輪のレスリング（フリースタイル、82キロ級）で金メダルを獲得したレスリングエリート。総合格闘技では第9回UFCに出場し、『プライド』の番人ゲーリー・グッドリッジにTKO勝ちした実績を持つ。今回は久々の総合出場となるが、『ジャングル・ファイト』のメインイベントを務めることが決定している。猪木曰く、「プロレス的センスもある」とのことだ。ちなみに年齢は42歳、体重は97キロ！

ヒカルドン、衝撃の『ジャングル・ファイト』参戦決定！　アマゾンで行われる興行に相応しく、東宝の怪獣映画に出てきそうな名前だが、ヒカルドンはれっきとした柔術家。そう、ご存知の方も多いとは思われるが、ヒカルドンとは、かつてリングスや『プライド』で暴れまくった、柔術怪獣ヒカルド・モラエスの新リングネームなのだ！

　ということで、選手の名前一つで、いちいち楽しい魅惑の『ジャングル・ファイト』も、いよいよ目前である。「中止になるんじゃないか？」との不穏な噂も飛び交う中、3カードが決定。日本からは新日本プロレスの中邑真輔と村上和成が出陣し、“猪木2世”LYOTOのアマゾン凱旋も決まった。

　彼らに加えて、外人勢はロス五輪（1984年）の金メダリストの肩書きを持つマーク・シュルツに、前記のヒカルドン、カルロス・バヘットと、微妙に懐かしいメンツが名前を連ねる。

　そして、アマゾンに行けないあなたに朗報！　なんと、『ジャングル・ファイト』がスカパーと日テレで放映されることが決定！　日本にいながらにして、魅惑のアマゾン大決戦を楽しめるぞ！ ■

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・サイド

No.102 9・25/10・9合併号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

今年の大一番を
考える!?
初秋腹ぺこ座談会

コテコテdeパリ
タイソン戦の開催都市、
緊急決定……!?

出席者◎谷川貞治（K-1イベントプロデューサー）
ターザン山本（パリでコテコテの腹ぺこ大王）
小松モグラドン（本誌“3軍の補欠”編集部員）
司　会◎柳沢忠之（本誌“バッティング巧者”御目付役）

ラスベガスから帰ってきて、一皮剥けたことは確かだよぉ

山本　おいっ！　谷川ぁ。俺はもう腹ぁへって、腹へって。ハングリーもハングリー、大ハングリーですよぉ！

谷川　じつは僕も、お腹が空いているんですよお。朝から何も食べてないもんなあ。

山本　おまえはにわかのハングリーだろぉ。その点、俺は筋金入りの腹ぺこだからねぇ。糖尿病の食事制限はホントにツライよぉ。

小松　で、最近、血糖値は下がってはいるんですか？

山本　そんなもん、簡単に下がるわけねえよぉ。それにさぁ、また先週末に歌舞伎町で朝まで遊んだし。

――まあ、ズバリ言って、いつ何時でも非常に自業自得というか（笑）。

山本　歌舞伎町のキャバクラで朝まで遊んで、2時間しか寝ないで競馬に行ってしまったしなぁ。

――ズバリ言わなくても、日々が死へのカウントダウンというか（笑）。

山本　ホントにメチャクチャ疲れるよぉ。

――山本さんに限っては「ほどほどにしてください」って言うだけ野暮だからなあ。だから、迷わず、死のロードへ向かって突っ走ってください（笑）。

山本　そういえば谷川はこの前、ボブ・サップと記者会見をしてたん？

谷川　あ、アルゼさんの記者会見ですね。『ビースト・サップ』というパチスロ機ができましたという会見で。

山本　儲かるなぁ、サップは。今やハングリー精神ゼロの男ですよぉ！

谷川　たしかにハングリー精神がなくなってますねえ。

山本　1年前はあれだけ貧乏たれだった男がさぁ……。

――貧乏たれ（笑）。

谷川　僕がサップを呼んで「今から試合の話をします」って言うと、凄くかわいい顔になりますからね。

山本　ビースト様も、今やただの人になっちゃったなぁ。

谷川　試合の話をすると、母親に叱られてる子供のような顔になっちゃうんですよね。

山本　なんとかして、ケツに火をつけてやらなきゃいかんなぁ。

小松　で、山本さん。今日は前フリはいいんですか？

山本　おまえが前フリをしろよぉ。100号を過ぎても、ま～ったく成長しない男だなぁ。

小松　えーっと……今年も8月が終わって9月になりましたが……。

――で？

小松　………。

谷川　今年の夏の格闘技界はどうだったの？

小松　…………さあ、どうだったんでしょう。

――んあ～！

谷川　パンクラスの10周年記念大会はどうだったの？

小松　ジョシュ・バーネットがキング・オブ・パンクラス無差別級のチャンピオンになって、新日本の選手たちと上井さんが大喜びしてましたね。

――ダハハハハッ！　〝新日本プロレス代表〟のジョシュが勝って（笑）。

谷川　我が盟友の上井さんにとって、最良の一日になったんだぁ。それは良かった。

――んあ～！

谷川　山本さんはラスベガスから帰ってきて、何か変化はあったんですか？

山本　ラスベガスから帰ってきて、一皮剥けたことは確かだよぉ。

――57歳にして、一皮剥けた（笑）。

山本　これはいいことだよぉ。

――どう思うんだ、モグ。この歳にして「一皮剥けた」って言える人生は（笑）。

小松　……どうなんでしょう？

――んあ～！

谷川　キミは百皮くらい剥けてみろよぉ。

――剥けてみやがれ（笑）。

山本　で、今日のテーマはなんだぁ？

小松　やっぱり、タイソンの件ですね。「ホントにリングに上がるのか？」ということをK―1イベントプロデューサーに直に聞きたいんですけど。

山本　難しいだろう、それは。タイソンの出国は可能なん？

谷川　まあ、これから調整していきますけどね。タイソンが日本へ来て、試合ができるような環境を整えなくちゃいけないってことですよね。でも、僕は可能だと思ってますけどね。イギリスでボクシングの試合をした時も、そういう調整をして実現していますからね。まあ、その前にすぐにでもアメリカへ行って、タイソンと直に話を進めなくちゃいけないんですけどね。僕はまたすぐにでも、アメリカへ行ってきますよ。

山本　えっ？　ラスベガスから帰ってきたばかりなのに、また行くん？

谷川　ええ、すぐにでも。

山本　ついに世界を股にかける男になったなぁ、谷川も。

谷川　いや、それはずっと前からですけど。

小松　で、本当にタイソンの試合は実現するんですか？

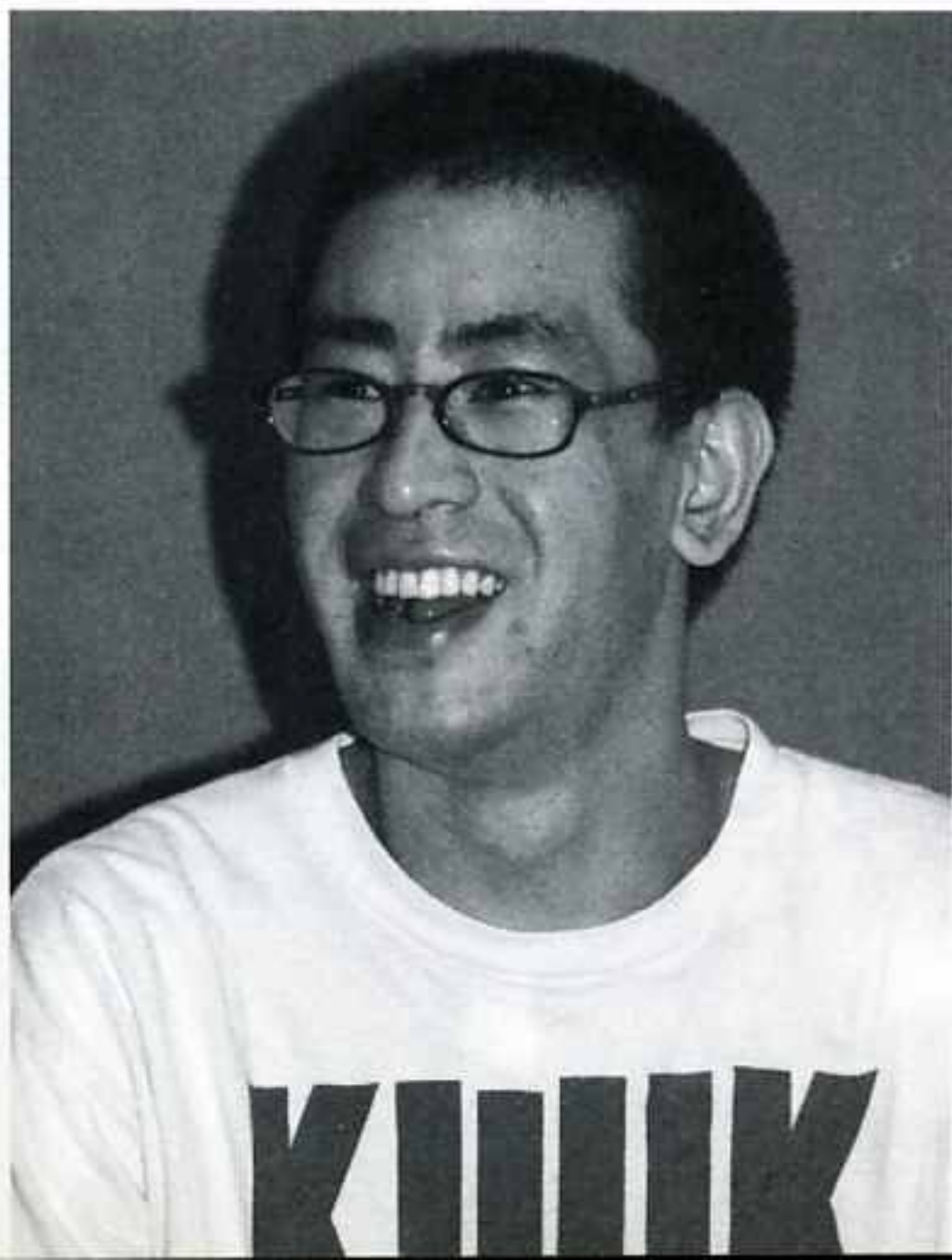
山本　うむむむっ！

谷川　そんなこと、僕に聞かれても分からないよぉ。

――んあ～！

俺はあいつの化けの皮が剥げたと思うんだけどなぁ

山本　でも、実現させるにはアメリカでやるしかないんじゃないかぁ？
谷川　だったら、アメリカでやってもいいんじゃないですか。日本でもアメリカでもなく、第三国でもいいし。
山本　でも、ボブ・サップがK―1の1回戦とかでアッサリ負けたら終わりでしょ、この話も。
谷川　それは関係ないんじゃないですかね。でも僕はね、マイク・タイソンがK―1ファイターに負けるとしたら、その選手は唯一ボブ・サップだと思うんですよ。
山本　あ……、そう？
谷川　サップだけは、攻撃が予測不能ですからね。
山本　いやぁ、弱いよぉ、あいつは。
谷川　いえいえいえ（笑）。逆に言えば強いですよ。素の強さはもう、天下一品ですからね。
山本　でも、今はもうモロに弱さが出てるよぉ。へっぴり腰だもんなぁ、試合では。
谷川　それは技術的な弱さですからね。技術的な弱さっていうのはもちろんあるんですけど、キモ戦を見てもそうですけど、素の強さは凄いですよ。
山本　いやぁ、俺はあいつの化けの皮が剥げたと思うんだけどなぁ。
――あ、山本さん的にはサップも皮が剥けた（笑）。
谷川　そこは山本さんと見解が違いますけど、僕はK―1ファイターの中で唯一タイソンに勝てるのはサップだと思いますけどね。タイソンって、実際は身体が小さいですからねえ。追い詰めてブン殴ったら吹っ飛ぶと思いますよ。逆に言うと、間合いを空けて競技として闘ったら、タイソンは強いでしょうけどね。
山本　あ、なるほどなぁ……。
谷川　だから、ジェロム・レ・バンナやマイク・ベルナルドのような選手のほうが、タイソンは闘いやすいんじゃないですか。
山本　懐に入ってくるのは速いからなぁ、タイソンは。
谷川　ただ、サップは身体が全然違いますからねえ。体重はタイソンのほぼ倍ありますし。そういう意味では本当に予測不能だなという感じがしますけど。
山本　でも、サップはもうK―1では勝てないんじゃないの？
谷川　そう言われると、K―1のリングが一番ヤバいかもしれないですよねえ。
山本　で、今年のグランプリの1回戦でサップは誰と闘うん？
谷川　僕はジェロム・レ・バンナと当たったら面白いと思ってるんですけどね。
――ダハハハハッ！　キラー・プロデューサー魂爆発（笑）。
山本　間違いなくひっくり返されるよぉ。
谷川　でも、サップの場合は誰と当たっても、闘い方は同じなんですから。
山本　で、谷川プロデューサーの推薦枠は誰なん？
谷川　一応、ミルコからまだ最終的な返答がないんですけど、優先順位ではミルコ、フィリォ、アビディ、ベルナルドですね。まあ、ベルナルドはジャパンGPの時にバタービーンとの対戦がありますから、そこでバタービーンが勝てば、彼を出したいんですけどね。あとはフィリォとアビディは推薦したいなと思っているんで。まあ、K―1はこれからちょっと盛り上がりますよ。
――……ちょっと？（笑）。
谷川　いや、大いに盛り上がりますよ。
――ダハハハハッ！
谷川　あとは今、世界中のヘビー級のプロボクサーがK―1で試合をやりたがってるんですよ。
山本　あ、そう？
谷川　タイソン効果が大きいんですよ。
山本　K―1をやりたがってるん？
谷川　ジャパンGPにも第11代IBF世界ヘビー級王者のフランソワ・ボタとかが視察に来ますから。次からはやるんじゃないかと思うんですけど。
山本　おいっ！　最近、髪の毛が増えたと思ったら、おまえだったんかぁ！
谷川　へ……？
山本　日本のドン・キングは谷川ぁ、おまえだったんかぁぁぁ！
谷川　いえいえ（笑）。まあ、今では問題なく髪も立ちますけどね。
――今年の年末には間違いなく立ってるでしょうね（笑）。
小松　で、それはボクサーVSK―1ファイターみたいなことなんですか？
谷川　いや、ヘビー級のボクサーをK―1ファイターにしたいよね、いい素材の選手たちは。
山本　そういえば、新聞で見たけど、サップは新日本の道場で練習するんかぁ？
谷川　いやいや、中邑真輔選手とかがトータル・ワークアウトに来てくれて、一緒に練習してくれるんですよ。もう実際に始めてますよ。
山本　ということは、ボブ・サップのコーチのチームを作るということかぁ。
谷川　ええ、そうですね。マット・ヒュームとかが総合格闘技を教えて、ボクシングはタイソンのスパーリング・パートナーで世界チャンピオンの選手がいるんですけど、その選手に教えてもらって。で、K―1に関しては金泰泳さんとかが教えて、プロレスは中邑選手とかにスパーリングを手伝ってもらって……。で、5年後にはボブ・サップが「体重170キロの忍者」として完成するっていう感じでいきたいな、と。
――ダハハハハッ！
谷川　考えてみれば大変ですよね。次は総合、その次はK―1、さらに次はボクシング、プロレス……みたいな感じで。まあ、サップに関してはとにかくタイソンとの試合を組むことが最優先課題ですよね。
――山本さん、サップがタイソンに勝っ

日本のドン・キングは、おまえだったんかぁぁぁ！

たら、格闘技界はどうなると思います？（笑）。

山本 サップには負けてほしいねぇ。

谷川 いやいやいや、サップが勝ったら凄いことになりますよ。

――「キンシャサの奇跡」再びですよ（笑）。

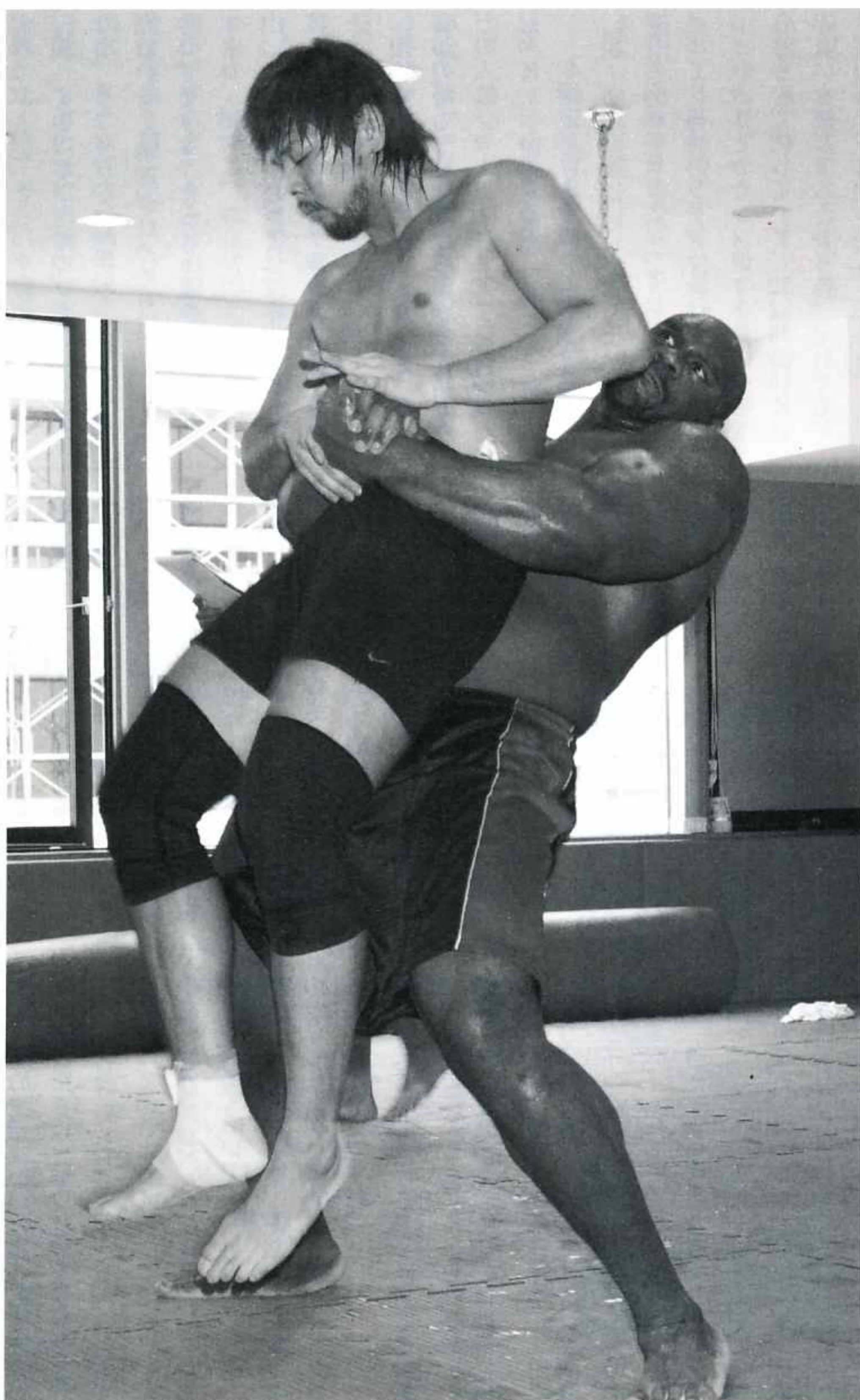
谷川 いや、キンシャサの奇跡を超えると思いますよ。

――タイソンの昔の試合のビデオ、観たことあります？

山本 ……………ないねぇ。

――デビュー戦から何十戦も入ってるビデオを観たんですけどね。あれを観ると、サップが勝つ可能性もあるなぁ、と思って（笑）。とにかくね、十数年前の、全盛期の頃の試合がたくさん入ってるんだけど、タイソンはボブ・サップのようなタイプの選手が苦手なんですよ。身体の大きい選手につかまれて、上から抑え付けられたり、自分のお株であるもの凄い圧力を逆にかけられたり。

谷川 ジャブの巧い選手と、ホールディングの巧い選手に弱いよねえ、タイソンは。ホリフィールドとか。あれじゃあ、僕がタイソンでも耳も噛みたくなるよなあ。

――ダハハハハハッ！

谷川 だって全然、懐に入れないんだもん。

――まあ、ポイントはクリンチだよね。タイソンは抱えられると、本当に振りまわされちゃうからね。だから、サップとの体格差は本当に面白いだろうな。

谷川 山本さん、ボブ・サップがタイソンに勝ったら、格闘技界は大変なことになりますよぉ。

山本 でも、タイソンは勝ち抜いたほうがいいよぉ。その後も確実にビジネスになるからなぁ。

谷川 まあ、プロデューサーとしては1回で終わらせるつもりは、さらさらないですけどね。

――ビジネスを考えても、ボブ・サップが勝ったほうが全然その後が大きいですよ。

山本 ……そう？

――だって、タイソンは負けても価値が落ちないじゃないですか。レノックス・ルイスにも負けてますしね。

谷川 サップが勝ったらってシミュレーションするだけで、ホントにワクワクしますよぉ。

山本 でも、サップはミルコ戦を機に、怖いもの知らずの野性味がなくなったよなぁ。あの後遺症は大きいよぉ。

谷川 ただ、大きな試合になればなるほど、サップは頑張ると思うんですよ。そこで失うものの大きさとかも、ちゃんと理解していると思うんで。

――ルールはともかく、『Dynamite!』のノゲイラ戦くらいは頑張ると思うんですよね。

谷川 あれくらいは頑張るでしょう。楽しみだなぁ……、ぜひ実現させたいですね。

小松 で、本当に実現するんですか？

谷川 だから、僕にも分からないって、それは。

――んあ～！

谷川 僕はね、もしも総合ルールだったら、逆にサップはタイソンに負けそうな気がするなあ。

――ダハハハハッ！ 逆の結果？（笑）。

谷川 だって、総合ルールだったら、タイソンは何をしでかすか分からないでしょ（笑）。

――さっき言ったビデオを観ていてもね、

でも実現したら、猪木さんは大ショックだろうなぁ

やっぱりインサイドに入ってからのヒジ打ちとバッティングは天下一品ですからね、あれは。

谷川 んぁ～！　頭突きとヒジ打ちなんだぁ。

――それが本当に速すぎて、分かっていてもレフェリーが見極められないんですよ。でも、明らかにそれを狙ってるんだよね、タイソンは。「こいつは、とんでもないヤツだなあ」と思いましたよ。

山本 スピードはホントに速いからなぁ。

谷川 ただ、その当時から比べたら完全に衰えてますからねえ、スピードに関しては。

小松 今でも練習はしてるんですか？

――走ってるらしいよ、毎日。まあ、間違いなくボブ・サップよりは練習してるだろうな（笑）。

谷川 でも、ボブ・サップが勝たないかなあ。そうなったら面白いんだけどなあ。間違いなく地球がひっくり返りますよ（笑）。そうなったらK―1が見直されますよね、絶対に。

山本 そういう意味では、本当にK―1にとってチャンスもチャンス、ビッグ・チャンスだなぁ。

谷川 本当にそうですよ。キンシャサの奇跡の時も、専門家から何から、ほとんどの人はジョージ・フォアマンが勝つと思っていましたからね。

――9割方がそう予想してたからね。

谷川 あの試合は間違いなくモハメド・アリの引退の日だと思ってましたからね。だって、当時のフォアマンはジョー・フレイジャーとかケン・ノートンとかを2Rくらいで倒していて、40戦40勝40KOみたいな感じでしたからね。それでもアリが勝ちましたからね。

――誰かに頼んでボブ・サップに「ささやき攻撃」を伝授してもらわないとね（笑）。

山本 でも、あのアリは自己演出に長けた選手だったからねぇ。

谷川 ボブ・サップにも次の課題として、それくらいのことは与えられると思いますけどね。フォアマンもザイールでの敗戦以降、2年間くらい試合ができなくなっちゃいましたからね。それほど敗戦のショックが大きかったというか。

――で、仏門に入ったんだっけ？（笑）。

谷川 試合後の控室で「ハレルヤ」って聞いたらしいんだよね。

山本 でも、アリほどのカリスマはボブ・サップにはないもん。それは無理だよぉ。アリは溜めて溜めて、最好調の状態をキンシャサに持っていったからなぁ。

谷川 ある意味、アリほどのカリスマはないんですけど、ボブ・サップは本当に予測不能だと思いますよぉ。だって、キモ相手にあんな試合をするんですもん。

――まあ、当たっちゃうんだもんな、あのパンチが（笑）。

谷川 そういう意味でも、しつこいようですがK―1ファイターの中でタイソンに勝てる可能性があるのはサップだと思うんですよ。何をしでかすか分かりませんからね。タイソンにモンゴリアン・パンチとか出しそうじゃないですか。驚くだろうな、タイソンも（笑）。

――ダハハハハッ！

谷川 蹴りで勝てるとは思わないけど、パンチで倒しそうな気はしますね。

山本 蹴りは出しちゃダメですよぉ。

――ぷぷぷぷっ！

山本 あの蹴りは子供以下ですよぉ。

谷川 サップが思いっきりパンチを振りまわせば、タイソンも倒れるんじゃないかと思うんですよ。そういう意味では凄い試合になりそうな気がするんですけどね。

山本 まあ、実現したとして、その奇跡が起こるかどうかだねぇ。

谷川 21世紀最大の奇跡が起こるかどうかですよ。

――まあ、実現するだけで奇跡ですけどね（笑）。だって山本さん、山本さんは50数年の人生の間に「猪木VSアリ戦」と「タイソンVSボブ・サップ戦」を観られるっていうのは、凄まじい贅沢ですよ。

山本 でも実現したら、猪木さんは大ショックだろうなぁ。

谷川 ショックなんですかねえ……。

山本 だって、あっちは「ジャングル・ファイト」だよぉ。

――ダハハハハハッ！

谷川 その発想はいいと思うんですけどね。子供たちに一番ウケそうだもんなあ。「え？　負けたらピラニアに食べられちゃうの」って思うよねえ。

小松 ぜひ、食べられてほしいですね。かじられるくらいでもいいですけど。

谷川 ということで、夏以降の格闘技界のポイントは、タイソンと「ジャングル・ファイト」ですね。

――……はあ？（笑）。どういう比較だ！

谷川 ズバリ言って、そこには非常に男のロマンがあるというか。

――ちょっと聞きたいんだけど、世間的にはタイソンの件は実現しないと見られているの？

山本 いや、実現すると見てるよぉ。

谷川 「ニューヨーク・タイムス」で報道されてからは、マスコミやファンの意識が変わりましたよね。

山本 あれ以来、みんな肯定的な発想をしてますよぉ。むしろ、「ジャングル・ファイト」は本当にあるのかどうかというねぇ。

――それはあんまり視野にないでしょ（笑）。ブラジルの日系新聞にも出てないでしょうから。

山本 これで本当に中止だったら、ドラマチックなんだけどなぁ。もはや、ここまできたら実現してほしくないよなぁ。

――で、「ジャングル・ファイト」はどこでやる予定なの？

小松 マナウスとかいうところらしいです。アマゾン川の上に桟橋を設置して、そこにリングを作るらしいですけど。

――へえ～（笑）。

山本 あの場へ行ったら、歴史の証人になれるもんなぁ。

――いや、歴史の偽証人にされるかもし

それは正解ですよぉ。予測不能の闘いだもんなぁ

れないですけどね（笑）。

谷川 でも、そのリングまで電気が持ってこられないっていう話も聞いたんだけどなぁ。

小松 そこは永久電気で……。

――「えー、ズバリ言って先ほどは非常にちゃんと点いたんですけど、ボルトが一個取れてしまいましたというか」って（笑）。

谷川 伝説の興行になってしまうのかなぁ……。

――で、誰が出るの？

小松 先日発表してましたよね、マーク・シュルツとか。

――……誰？　それ（笑）。

小松 なんか、猪木さんの最終兵器らしいですけど。

――何人目の最終だよ（笑）。

小松 でも凄い経歴ですよ。ロサンゼルス五輪のレスリング金メダリストらしいですから。

――……ロス五輪って、おい、何年前の話だよ（笑）。

山本 ロス五輪って1984年だよぉ。19年も前の話ですよぉ！

――ぷぷぷぷっ！

小松 あとはヒカルドンとか……。

――は？　誰？　それ。

小松 リングスとかに出ていたヒカルド・モラエスです。

山本 なんか、とんでもないことになってるなぁ、「ジャングル・ファイト」は。谷川のK―1ジャパンのほうは、大丈夫なんかぁ？

谷川 K―1ジャパンは凄いですよお。

山本 ボブ・サップの対戦相手は決まったん？

谷川 決まりました。ステファン・ガムリンという選手なんですけど。

山本 ガファリ？

谷川 んあ～！

小松 僕は見たいですけどね、サップVSガファリ戦は。

――目が弱点の者同士の対決（笑）。

谷川 まぁ、このガムリンという選手がまた、ボブ・サップと経歴がまったく一緒なんですよ。ひとことで言ってしまえば「白いボブ・サップ」ですね。

――ホワイト・ビースト（笑）。

谷川 NFL出身で、身長201センチ、体重165キロくらいあって。

小松 凄いじゃないですか。

谷川 アメフト引退後にプロレスをやろうとして、なかなか声がかからなくて挫折して、この1年ぐらいずっと総合格闘技のトレーニングをしてきたんですけどね。

山本 どこで総合を学んできたん？

谷川 キモのところですね。

小松 あ、DC7ですか。

――なんか、サップに対する言い分がイカしてるらしいですよ（笑）。

谷川 そうそうそう。

山本 なんて言ってるん？

――「おまえはNFLで1軍の補欠だったろう！　俺は2軍のレギュラーだ！」って（笑）。

小松 あ、そう言われるとどっちが上なのか分からないですね。

谷川 で、ストリート・ファイト500戦無敗らしいからね。要するにボブ・サップは、2年前の自分と闘わなくちゃいけないんですよ。僕はけっこう難敵だと思いますよお。「サップの闘争本能を呼び覚ます第2弾！」ということで。

山本 それ、何日にあるん？

谷川 9月21日、横浜アリーナです。

山本 なんで、そういう選手をマッチメイクしたん？

谷川 いや、へタに名前がある選手で「このくらいの強さだな」って測られるような選手よりも、どうせだったらそういう未知で予測不能な選手のほうがいいかなあと思いまして。

山本 それは正解ですよぉ。予測不能の闘いだもんなぁ。

――大型ダンプカーの正面衝突ショーみたいなもんですよ（笑）。

山本 興奮するなぁ、それは。ラスベガス大会の興奮再びですよぉ。

小松 また一皮剥けますか。

山本 また人生観が変わりますよぉ。あ、そういえば俺は最近、世の中も変わったと思ったんだよねぇ。あの時間帯で、誰もがテレビで世界陸上の女子マラソンを見てるんだもんなぁ。

――瞬間視聴率で40パーセントを超えましたからね。

山本 で、プロ野球中継が7パーセントくらいなんだよなぁ。それを聞いて、世の中変わったなぁと思ったよぉ。

谷川 だって、世界陸上の室伏広治のハンマー投げは深夜のあの時間帯で、平均視聴率が16パーセントですよ。

――末續慎吾の200メートル決勝でも、朝方の4時過ぎで平均12パーセントぐらいだったからね。

山本 それは、世の中がま～ったく変わったということよぉ。ということは……、つまりキーワードは「パリ」だなぁ。

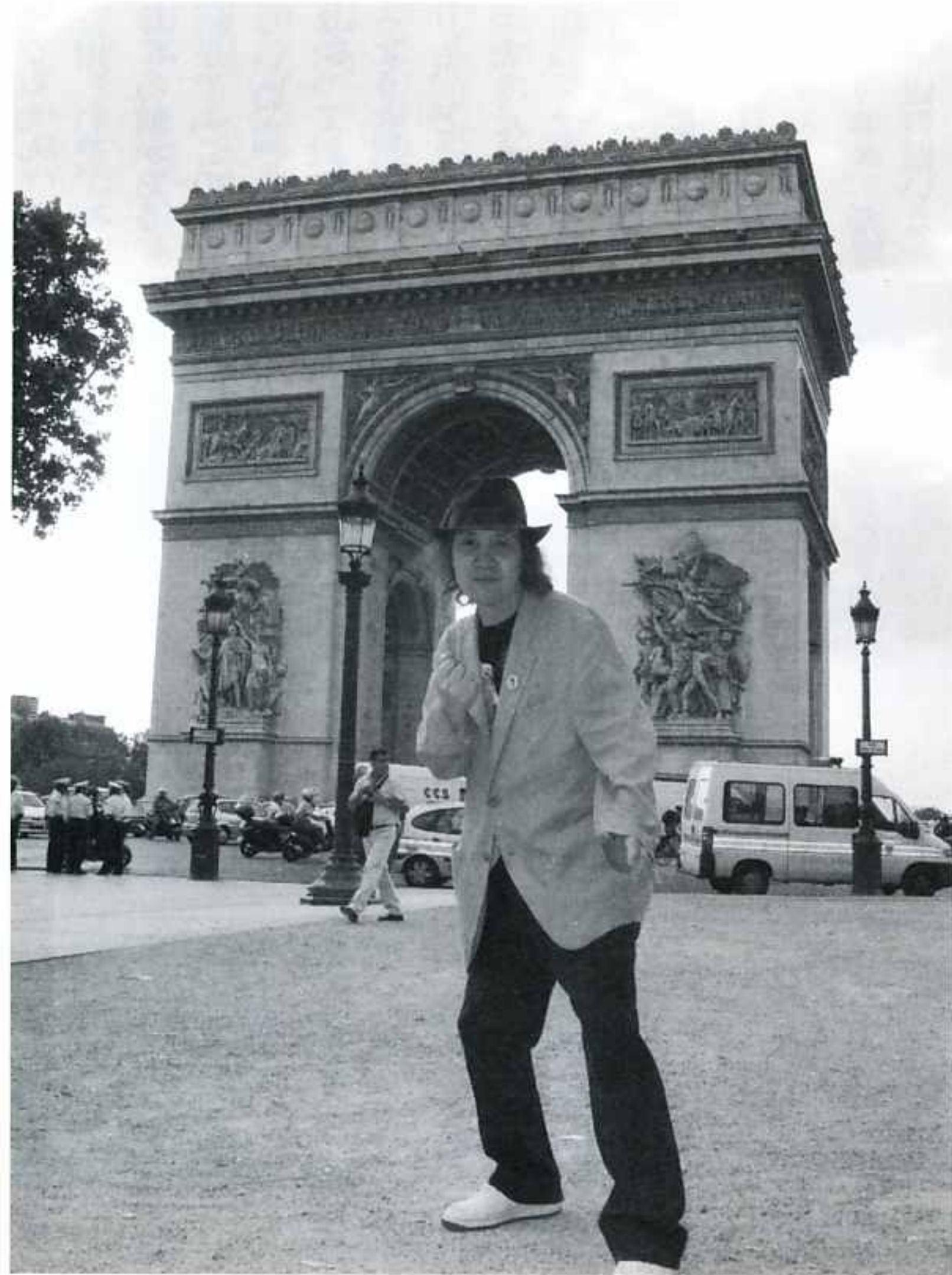
――ダハハハハッ！

小松 6月に行ったのに、山本さんの中では、今になってようやく「パリ革命」が起きましたか。

山本 俺は断じて言うけど、現代のキー

▲9・21『K―1サバイバル』でサップと闘うステファン・ガムリン。無名だが201センチ、165キロとわずかながらサップより大きい上に、ストリート・ファイト500戦無敗の強者だとか

タイソンの試合はぜひとも パリで実現させてくれぇ！

ワードはパリですよぉぉぉ！
――いや、断じて言うけど、それは絶対に違う（笑）。
谷川　凄く私的なキーワードですねえ、それは（笑）。
山本　やっぱりパリはいいよぉ。あれ、パリじゃなかったら成功しませんでしたよぉ。
谷川　でも、山本さんが言うようにホントに変わりましたよね。あの時間帯であれだけの視聴率が取れるということは。
山本　まあ、この流れは世界水泳から始まったんだよねぇ。バルセロナの世界水泳が盛り上がって、パリの世界陸上が盛り上がって、次の世界柔道はどこだぁ？
小松　大阪です。
――ぷぷぷぷっ！
山本　それ、ダメだよぉ。パリとかチェコとかでやらないとぉ。
――なぜチェコで（笑）。でも、世界水泳とか世界陸上で考えられるポイントは、海外で行われていて生放送というのがデカイですね。海外との時差がポイントなんだろうな。逆に日本の時間に合わせてやっていること自体が、いい影響を生まないのかもしれない。
山本　それだと日常的時間だからなぁ。非日常時間だからこそ、興味が湧くんですよぉ。
谷川　たしかにそれもありますね。
山本　女子マラソンなんかを見るとさぁ、国民性というか、性格がよく出るよなぁ。日本人は平均的に頑張るという主義で、突出したものが1位にいるとケタ違いの能力の違いを見せつけられるもんねぇ。だから日本の女子選手は2、3、4位を取ったけど、1位と比べたら完璧な差なんだよなぁ。突出した者と団体主義の対立構造が見えて、あれは興味深かったねぇ。
――女子マラソンでは、北朝鮮の選手も笑えましたよね（笑）。実況や解説で「コバンザメ」とか言ってて、それはさすがにマズイだろうと思ったんだけどね。
山本　形を変えた差別用語ですよぉ。
――解説の増田明美が、「いや、コバンザメというか『影のように』ですね」とかって訂正していて（笑）。
谷川　織田裕二まで「北朝鮮は薄気味悪いですねえ」って言ってたね（笑）。
山本　まあ、美女軍団がいる国だからなぁ。あれこそ最大のフェイク集団だもんなぁ。「将軍様の写真が風で歪んでる」とか言って、泣き叫んでるんだもんなぁ。まず、美女軍団という命名が凄いよなぁ。
小松　ユニバーシアード大会なのに、競技のことはまったく報道されずに「美女軍団」ばっかり流れてましたからね。
谷川　まあ、そうやって考えてみると、タイソンの試合は海外でも全然大丈夫だなあ。むしろ海外でやったほうがいいかもしれないですねえ。
山本　ぜひともパリでやるべきですよぉ。
――それは山本さんがまたパリに行きたいだけ？
山本　それもありますよぉ。
小松　パリはまたエコノミーで…。
山本　うむむむっ！　まあ、そこから話は飛ぶけど、野村克也監督は凄いねぇ。俺はぜひ優勝してほしいよぉ（※結果は三菱ふそう川崎に敗れ、惜しくも準優勝）。あれ、単なる社会人野球の調布市のチーム（＝シダックス）ですよぉ。優勝したら、阪神の星野監督とまた対立概念ができていいよねぇ。
小松　対立概念……？
山本　星野監督があれだけ活躍すると、前監督の野村監督がダメ監督みたいに言われがちだったけど、ところがどっこいだもんなぁ。あれは見事なリベンジですよぉ。
小松　あ、そういう考え方ですか。
山本　だって野村監督は68歳でしょ。で、女子マラソンの小出監督も凄いし、常総学院の木内監督も凄いよなぁ。俺はこの3人が今年のMVPだと思うなぁ、やっぱり。
――ずいぶん早いMVPだな（笑）。
山本　この3人は凄いですよぉ。木内監督には本当にプロ野球の監督をやってほしいねぇ。オリックスの監督候補っていう話もあるんでしょ。それぐらいプロ野球も破廉恥になってほしいなぁ。とにかくこの歳とった最強トリオは凄いよぉ。
――べつにトリオを組んでるわけじゃないですけどね（笑）。
山本　俺が強引にトリオを組ませますよぉ。現代日本の希望の星ですよぉ！
――希望というには、かなり枯れてますけどね（笑）。
山本　これからのキーマンは人生経験豊富な、コテコテのおっさんですよぉ。よ～するに、キーワードは「コテコテ」ですよぉ。
――「コテコテ」（笑）。じゃあ、「コテコテのパリ」ということで（笑）。
山本　そーゆーことですっ！
――じゃあ、パリでコテコテだったら完璧なんだ（笑）。
山本　完璧も完璧、究極のパーフェクトですよぉ！
小松　つまり、6月に取材に行って「パリでコテコテだった俺は、完璧だ」ってことですか？
山本　あ、そうとも言うよなぁ。
谷川　んあ～！
――パリでコテコテで、しかも糖尿病でいつも腹ぺこ（笑）。まあ、そのしぶとさは現代には必要ですけどね。
山本　おいっ！　谷川ぁ。タイソンの試合はぜひともパリで実現させてくれぇ！
谷川　んあ～っ！　■

9/11THU〜9/26FRI

CALENDAR

9/11 THU	★『SRS・DX』102号発売日
9/12 FRI	
9/13 SAT	■PRIDE GP 決勝戦/チケットオフィシャルサイト発行発売⬅p47 ■U-STYLE/チケット発売⬅p47
9/14 SUN	■MA日本キック連盟/東京・ディファ有明（16:30〜）⬅p49
9/15 MON	■DEEP/東京・大田区体育館（15:00〜）⬅p46
9/16 TUE	
9/17 WED	
9/18 THU	
9/19 FRI	
9/20 SAT	
9/21 SUN	■シュートボクシング協会/大阪府立体育会館（13:00〜）⬅p48 ■日本女子ボクシング協会/ゴールドジムサウス東京ANNEX（15:00〜）⬅p50 ■K-1 JAPAN GP 決勝戦/神奈川・横浜アリーナ（16:00〜）⬅p46 ■修斗/愛知・名古屋国際展示場ポートメッセなごや（16:00〜）⬅p47 ■ニュージャパンキック連盟/東京・ディファ有明（17:15〜）⬅p49
9/22 MON	
9/23 TUE	■MA日本キック連盟/千葉・袖ヶ浦市臨海スポーツセンター（16:30〜）⬅p49 ■DEMOLITION/神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館（17:00〜）⬅p48 ■シュートボクシング協会/東京・後楽園ホール（17:30〜）⬅p48
9/24 WED	
9/25 THU	
9/26 FRI	★『SRS・DX』103号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

DEEP

DEEP 12th IMPACT
9月15日（月・祝）　東京・大田区体育館

◆開場/14:00　試合開始/15:00　フューチャーファイト開始/14:30　◆入場料/SRS15,000円　アリーナA席10,000円　アリーナB席8,000円　2階特別席10,000円　2階指定席7,000円　3階指定席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップイサミ、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP事務局、DEEPオフィシャルサイト http://www.deep2001.com　◆会場アクセス/JR京浜東北線蒲田駅東口より徒歩15分、京浜急行京浜蒲田駅より徒歩10分、梅屋敷駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード
〈DEEPミドル級タイトルマッチ〉
上山龍紀 vs 須田匡昇
（U-FILE CAMP.com）（CLUB J）

桜井“マッハ”速人 vs 長南亮
（マッハ道場）（U-FILE CAMP.com）

ドス・カラスJr vs ブラッド・コーラー
（メキシコ/AAA）（アメリカ/チーム・エクストリーム）

三島☆ド根性ノ助 vs 加藤鉄史
（総合格闘技道場コブラ会）（PUREBRED大宮）

MAX宮沢 vs 百瀬善規
（荒武者総合格闘術）（禅道会）

桜井隆多 vs 藤沼弘秀
（総合格闘技R-GYM）（荒武者総合格闘術）

石井淳 vs 鋼侍
（超人クラブ）（総合格闘技塾破天荒）

K・O・King

K・O・King Fighting Championship
11月1日（土）韓国・オリンピックフェンシングスタジアム

◆開場/18:00　試合開始/19:00　◆入場料/VIP席35,000円（お土産付）　ロイヤル席25,000円　S席15,000円　A席7,000円　B席3,500円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/DEEP事務局　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード
アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ vs キモ
（ブラジル/ブラジリアン・トップチーム）（アメリカ/ジョー・モレイラ柔術）

キム・ジョン・アン vs ブラッド・コーラー
（韓国）（アメリカ/チーム・エクストリーム）

美濃輪育久 vs ダン・スバーン
（フリー）（アメリカ/ミシガン・スポーツ・キャンプ）

ジェレミー・ホーン vs アンジェロ・アロウージョ
（アメリカ/チーム・エクストリーム）（ブラジル/ブラジリアン・トップチーム）

滑川康仁 vs ファビアーノ・カボアニ
（フリー）（ブラジル/ブラジリアン・トップチーム）

リム・ジュン・ス vs 木村仁要
（韓国）（CMA誠ジム）

チェ・ジョン・ギュ vs 濱田順平
（韓国）（CMA誠ジム）

キム・ジン・ホ vs 宮本猛
（韓国）（CMA誠ジム）

K-1 JAPANシリーズ

K-1 SURVIVAL 2003～JAPAN GP 決勝戦～
9月21日（日）神奈川・横浜アリーナ

◆開場/15:00　試合開始/16:00　◆入場料/SRS席20,000円　SS席12,000円　S席6,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット（Lコード：34202）、CNプレイガイド、eプラス、キョードー東京☎03-3498-9999　◆会場アクセス/東海道新幹線、JR横浜線、市営地下鉄線新横浜駅より徒歩5分　◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999　◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード
〈K-1 JAPAN GP 2003〉
武蔵（正道会館）
モンターニャ・シウバ（ブラジル/シッチ・マスター・ロニー）
富平辰文（SQUARE）
堀啓（チーム・ドラゴン）
藤本祐介（MONSTER FACTORY）
ノブ・ハヤシ（ドージョー・チャクリキ）
中迫剛（ZEBRA244）
天田ヒロミ（TENKA510）

〈スーパーファイト〉
マイク・ベルナルド vs バタービーン
（南アフリカ/オーランドチーム）（アメリカ/チーム・バタービーン）
ジェロム・レ・バンナ vs X
（フランス/ボーアボエル＆トサジム）

～総合ルール～
ボブ・サップ vs ステファン・ガムリン
（アメリカ/チーム・ビースト）（アメリカ/DC7）
キモ vs レネ・ローゼ
（アメリカ/DC7）（オランダ/チーム・ピーター）

新日本プロレス

Ultimate Crush
10月13日（月・祝）東京ドーム

◆開場/13:00　試合開始/15:00　◆入場料/プレミアムシート50,000円　アリーナA30,000円　アリーナB15,000円　1階スタンドA10,000円　1階スタンドB7,000円　2階スタンドC5,000円　2階スタンドD3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-000）、ローソンチケット（Lコード：35627）、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、相鉄ジョイナス、eプラス、プロレス格闘技DX http://kakutoudx.gignosystem.com、楽天チケット http://ticket.rakuten.co.jp、闘魂SHOP渋谷店☎03-5778-6360、闘魂SHOP大阪店☎06-4396-5050、闘魂SHOP名古屋店☎052-332-6890　◆会場アクセス/JR総武線水道橋駅より徒歩3分、都営地下鉄三田線水道橋駅より徒歩1分、営団地下鉄丸の内線、南北線後楽園駅より徒歩1分　◆お問い合わせ/新日本プロレスリング☎03-5468-3111

K-1

K-1 ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2003 開幕戦 ALL STARS
10月11日（土）大阪ドーム

◆開場/14:00　試合開始/16:00（予定）　◆入場料/SRS席32,000円　RS席20,000円　SS席12,000円　S席8,000円　A席6,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/ローソンチケット（Lコード：54029）、チケットぴあ☎0570-02-9999、CNプレイガイド06-6776-1199、eプラス　◆会場アクセス/JR大阪環状線大正駅より徒歩7分、地下鉄大阪ドーム前千代崎駅より徒歩3分　◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー大阪☎06-6233-8888　◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手
〈K-1 GP 2002 ベスト8ファイター〉
アーネスト・ホースト（オランダ/ボスジム）
ジェロム・レ・バンナ（フランス/ボーアボエル＆トサジム）
レイ・セフォー（ニュージーランド/ファイトアカデミー）
マーク・ハント（ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム）
ボブ・サップ（アメリカ/チーム・ビースト）
ピーター・アーツ（オランダ/メジロジム）
ステファン“ブリッツ”レコ（ドイツ/ゴールデン・グローリー）
※ジャパンGP 2002 優勝者を除く

〈K-1 ラスベガス大会優勝者〉
カーター・ウィリアムス（アメリカ）

〈K-1 スイス大会優勝者〉
ビヨン・ブレギー（スイス/ボスジム）

〈K-1 パリ大会優勝者〉
アレクセイ・イグナショフ（ベラルーシ/チヌックジム）

〈K-1 メルボルン大会優勝者〉
ピーター・グラハム（オーストラリア）

〈K-1 世界最終予選優勝者〉
レミー・ボンヤスキー（オランダ/メジロジム）

K-1 WORLD GP 2003 決勝戦
12月6日（土）東京ドーム

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線水道橋駅より徒歩3分、都営地下鉄三田線水道橋駅より徒歩1分、営団地下鉄丸の内線、南北線後楽園駅より徒歩1分
◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

K-1 ワールドMAX

K-1 WORLD MAX～世界王者対抗戦～
11月18日（火）東京・日本武道館

◆詳細未定
◆会場アクセス/営団地下鉄東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線九段下駅2番出口より徒歩5分
◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
9月21日（日）愛知・名古屋国際展示場ポートメッセなごや 第2展示館

◆開場/15:00 試合開始16:00 ◆入場料/SRS席12,000円 RS席8,000円 S席6,000円 A席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ ◆会場アクセス/地下鉄名城線名古屋港駅または築地口駅下車より市バス「ポートメッセなごや」行きで終点下車 ◆お問い合わせ/ALIVE☎052-744-0802

決定対戦カード
阿部裕幸 vs ジョン・ホーキ
（AACC） （ブラジル/ノヴァ・ウニオン）

今泉堅太郎 vs ジェレミー・ボルト
（SKアブソリュート） （アメリカ/インテグレイテッド・ファイティング・アカデミー）
※マルコ・ロウロは負傷により欠場

〈ブラジリアン柔術マッチ〉
杉江“アマゾン”大輔 vs トム・カーク
（ALIVE） （アメリカ/インテグレイテッド・ファイティング・アカデミー）
※ディビッド・バディーリャは引退により欠場

松下直揮 vs 朴光哲
（ALIVE） （K'z FACTORY）

梅村寛 vs 田中寛之
（ALIVE） （直心会格闘技道場）

〈新人王決定トーナメント・バンタム級準決勝〉
赤木康洋 vs 塙真一
（ALIVE） （和術慧舟會 千葉支部）

〈新人王決定トーナメント・バンタム級準決勝〉
藏田圭介 vs HIRO
（ALIVE） （総合格闘技STF）

木部亮 vs 加納学
（ALIVE） （相補体術）

原弘文 vs 寿丸。
（TEAM JUNFAN修斗道場） （総合格闘技秋本道場）

U-STYLE

PRO-WRETLING U-STYLE
10月6日（月）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/全席種4,000円 ◆チケット発売/一般発売：9月13日（土） ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、後楽園ホール、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、書泉ブックマート、ファイター☎03-3354-1903、大山アメリカン、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、ビデオショップチャンピオン☎03-3221-6237、デポマート☎03-3515-6507、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、プロレスマニア館03-5276-0304、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、格闘技プロショップ東京イサミ☎03-3352-4083、DEEP事務局☎052-339-0303 ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/U-FILE CAMP☎044-932-0282、DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード
〈1DAYトーナメント出場選手〉

上山龍紀 大久保一樹

佐々木恭介 越後隆
（以上U-FILE CAMP.com）

藤井克久 伊藤博之
（UFO） （フリー）

原学 木村直生
（格闘探偵団バトラーツ） （EVOLUTION）

※他、ファン感謝祭として、観客参加型のイベントを企画中

パンクラス

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
10月4日（土）グランキューブ大阪

◆開場/17:30 試合開始/16:30 ◆入場料/SS席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席5,000円 D席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ☎06-6363-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎06-6369-6633（Lコード：53844）、eプラス、TICKET JEB http://ticketjeb.tv、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、神戸住吉・富万☎078-811-6222、リングソウル☎078-333-6690、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp/ ◆会場アクセス/JR大阪環状線・阪神電鉄福島駅、JR東西線新福島駅、大阪市営地下鉄中央線・千日前線阿波座駅より徒歩10分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード
ネイサン・マーコート vs 長谷川秀彦
（アメリカ/コロラド・スターズ） （SKアブソリュート）

伊藤崇文 vs 花澤大介
（パンクラスism） （総合格闘技道場コブラ会）

前田吉朗 vs 渡辺智史
（パンクラス稲垣組） （総合格闘技道場コブラ会）

藤原大地 vs 吉信
（パンクラス稲垣組） （四王塾）

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
10月31日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席5,000円 D席4,000円 立見3,500円 ※当日券は一律500円増し ◆チケット発売/9月27日（土） ◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Lコード：33296）、CNプレイガイド、eプラス、TICKET JEB http:ticketjeb.tv、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップ・チャンピオン、水道橋・マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
11月30日（日）東京・両国国技館

◆開場/15:00 試合開始/16:00 ◆入場料/VIP席（最前列、パンフレット付き）30,000円 SS席12,000円 A席8,000円 B席6,000円 2階A席7,500円 2階B席5,500円 ※当日券は一律500円増し ◆チケット発売/先行発売：10月20日（月）～24日（金）パンクラス☎03-5792-0815、10月20日（月）～31日（金）パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp、10月31日（金）後楽園ホール大会にて 一般発売：11月1日（土） ◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Pコード：38690）、CNプレイガイド、eプラス、JEB TV http://ticketjeb.tv、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp ◆会場アクセス/JR総武線両国駅より徒歩1分、都営大江戸線両国駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PRIDE

PRIDE 武士道
10月5日（日）さいたまスーパーアリーナ

◆開場/15:00 試合開始/17:00（予定） ◆入場料/VIP席50,000円（専用入場ゲート・グッズ付） RRS席23,000円 スタンドS席13,000円 スタンドA席6,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-700）、ローソンチケット（Lコード：30222）、CNプレイガイド、eプラス、楽天チケット http://ticket.rakuten.co.jp/、サンクス、髙田道場☎03-5794-5030、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、TOKYO文庫TOWER、BCG☎03-3560-7911、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、公式堂☎052-241-2511、新日本プロモーション http://www.shinnichi-pro.co.jp/、DSE☎03-5464-1531、PRIDEオフィシャルサイト http://www.so-net.ne.jp/pride/、PRIDE携帯端末オフィシャルサイト ◆会場アクセス/JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線さいたま新都心駅より徒歩2分。JR埼京線北与野駅より徒歩7分 ◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5464-1531

出場予定選手
桜井“マッハ”速人
（マッハ道場）

高瀬大樹
（フリー）

小路晃
（フリー）

浜中和宏
（髙田道場）

三島☆ド根性ノ助
（総合格闘技道場コブラ会）

中村和裕
（吉田道場）

LYOTO
（ブラジル）

ヘンゾ・グレイシー
（ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）

ホドリゴ・グレイシー
（ブラジル/グレイシー・バッハ・アカデミー）

ハイアン・グレイシー
（ブラジル/ハイアン・グレイシー柔術アカデミー）

カーロス・ニュートン
（英領バージン諸島/ローニン）

ケビン・ランデルマン
（アメリカ/ハンマー・ハウス）

エメリヤーエンコ・アレキサンダー
（ロシア/ロシアン・トップチーム）

PRIDE GRANDPRIX 2003 決勝戦
11月9日（日）東京ドーム

◆詳細未定 ◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付） RRS席30,000円 スタンドS席16,000円 スタンドA席7,000円 吉田秀彦応援シート16,000円（応援グッズ付） ◆チケット発売/PRIDE携帯端末オフィシャルサイト先行発売：9月13日（土）、特別先行電話予約：9月14日（日）、PRIDEオフィシャルサイト先行発売：9月14日（日）HPアドレス http://www.so-net.ne.jp/pride/、一斉発売：10月4日（土） ◆会場アクセス/JR総武線水道橋駅より徒歩3分、都営地下鉄三田線水道橋駅より徒歩1分、営団地下鉄丸の内線、南北線後楽園駅より徒歩1分 ◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5464-1531

出場予定選手
吉田秀彦
（吉田道場）

ヴァンダレイ・シウバ
（ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー）

クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン
（アメリカ/チーム・オオヤマ）

チャック・リデル
（アメリカ/ピット・ファイト・チーム）

シュートボクシング協会

THE FORCE

9月21日（日）大阪府立体育会館 第2競技場

◆開場12:00　試合開始/13:00
◆入場料/SRS席10,000円　RS席7,000円　S席5,000円　A席（自由席）4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/龍生塾各支部、龍生塾公式ホームページ http://www7.plala.or.jp/ryuseijyuku/
◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/『THE FORCE』大会事務局☎06-6351-7994

決定対戦カード

及川知浩vs X
（龍生塾）

重虎vs 伊賀弘治
（国士会館）（龍生塾）

ファントム進也vs 市政貴文
（龍生塾）（大阪ジム）

"S" of the World vol.5

9月23日（火・祝）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、板橋大山アメリカン☎03-3962-6443、レッスル渋谷店、書泉ブックマート、チャンピオン☎03-3221-6237、シュートボクシング協会☎03-3483-1212
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

決定対戦カード

アンディー・サワーvsカルロス・コンディッド
（オランダ/リンホージム）（アメリカ）

土井広之vsビクトー・ヘルナンデス
（シーザージム）（アメリカ）

宍戸大樹vsレミギウス・モリカビュチス
（シーザージム）（リトアニア）

三原日出男vs歌川暁文
（シーザージム）（U.W.F.スネークピットジャパン）

J-NETWORK

Through The Fire

10月19日（日）東京・ニューピアホール

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場料/SRS席10,000円　RS席7,000円　S席6,000円　入場券4,000円　※入場券以外の3席種は当日1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、J-NETOWORK各ジム
◆会場アクセス/JR山手線、京浜東北線浜松町駅北口より徒歩7分、都営地下鉄浅草線大門駅より徒歩10分、東京臨海新交通ゆりかもめ竹芝駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

全日本キックボクシング連盟

KNOCK DOWN

9月27日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30（17:30フレッシュマンファイト開始）
◆入場料/RS席10,000円　S席6,000円　A席4,000円　※当日は全席種1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171 http://www.aj-kick.com

決定対戦カード

大月晴明vsアンドレ・ロンキー
（AJパブリックジム）（イタリア）

花戸忍vsゴーンピポップ・ペッティンディー
（高橋道場）（タイ）

〈全日本ヘビー級タイトルマッチ〉
安部康博vs西田和嗣
（建武館）（S.V.G.）

〈全日本フェザー級挑戦者決定戦〉
石川直生vs山本元気
（青春塾）（REX JAPAN）

〈ウェルター級挑戦者決定戦〉
千葉友浩vs山本優弥
（TEAM-1）（空修会館）

新日本キックボクシング協会

MAGNUM 3

10月12日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、伊原道場
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3780-1338

出場予定選手

石井宏樹（藤本）　マサル（トーエル）
菊地剛介（伊原）　松本哉朗（藤本）
北沢勝（藤本）　加村健一（伊原）

決定対戦カード

西山誠人vs金沢久幸
（アクティブJ）（TEAM-1）

SHINvs山内祐太郎
（アクティブJ）（AJパブリックジム）

ママドウ・サリューvs白川裕規
（町田）（S.V.G.）

GCMコミュニケーション

DEMOLITION 030923

9月23日（火・祝）神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館

◆開場/16:00　試合開始/17:00
◆入場料/S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、JebTVオンラインチケット http://ticketjeb.tv/gcm/
◆会場アクセス/JR京浜東北線、根岸線・東急東横線・市営地下鉄桜木町駅より徒歩15分、JR京浜東北線、根岸線・市営地下鉄関内駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/GCMコミュニケーション☎03-3538-5801

決定対戦カード

久松勇二vs長谷川秀彦
（TIGER PLACE）（SKアブソリュート）

門馬秀貴vs長岡弘樹
（A-3）（ロデオスタイル）

宮本優太朗vs金井一朗
（XXX）（パンクラスism）

西野聡vs西内太志朗
（和術慧舟會 東京本部）（U-FILE CAMP.com）

井口摂vs書間貴雅
（バトラーツB-CLUB）（ストライブル）

出場予定選手

外山慎平
（和術慧舟會 東京本部）

中村大介
（U-FILE CAMP.com）

花田和弘
（XXX）

Result!

DEMOLITION atom
9月3日（水）東京・渋谷Club atom

第5試合
○NUKINPO！（判定2-0）宮下トモヤ×
（P'sLAB東京）（バトラーツB-CLUB）

第4試合
△龍ヶ崎五郎（判定0-0）出見世雅之△
（Team Roken）（和術慧舟會GODS）

第3試合
○ヒートたけし（1R1分16秒、TKO）佐藤直登×
（和術慧舟會千葉支部）（ストライブル）

第2試合
○高橋渉（2R1分38秒TKO）久保輝彦×
（高田道場）（禅道会）

第1試合
○鈴木徹（1R1分46秒、アキレス腱固め）浅井聖勝×
（和術慧舟會岩手支部）（ストライブル）

キックボクシング

リアルディール実行委員会

バトルステージREALDEAL
9月27日（土）Zepp Fukuoka

◆開場/17:00　試合開始/18:30　◆入場料/特別リングサイド7,000円　リングサイド5,000円　1F指定席4,000円　2F指定席4,000円　スタンディング2,800円　※1ドリンクオーダー制、当日券は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：945-480）、ローソンチケット（Lコード：85711）　◆会場アクセス/市営地下鉄唐人町駅より徒歩10分　◆お問い合わせ/リアルディール実行委員会☎092-845-7027　公式ホームページ http://www.realdeal.jp/

決定対戦カード

〈JMLミドル級王座決定戦〉
龍二 vs 井上慎一郎
（リアルディール）（リアルディール）

R.I.S.E.プロモーション

R.I.S.E. 5th
9月28日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00　試合開始/16:30　◆入場料/リングサイド4,000円　指定席3,000円　立見2,000円　※当日券は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前　◆お問い合わせ/R.I.S.E.プロモーション☎0422-21-0616

決定対戦カード

オロノー・ボームアンウボン vs 望月竜介
（タイ）（U.W.F.スネークピット）
疾風 vs 水野章二
（チームBB）（湘南格闘クラブ）
小平良平 vs 所一通
（TARGET）（チームBB）
尾崎圭司 vs 末廣智明
（チームドラゴン）（大道塾）
宮本岳司 vs 御神火
（数見道場）（チームBB）

〈トーナメント出場決定戦〉
AKAMINE vs 林徹
（TARGET）（クロスポイント）
藤倉悠作 vs 崎村匡如
（田中塾）（大道塾）
松田恵理也 vs 石島大吾
（チームドラゴン）（数見道場）

MA日本キックボクシング連盟

EXPLOSION-3
9月14日（日）東京・ディファ有明

◆開場/16:00　第1部試合開始16:30　第2部試合開始18:00
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　S席8,000円　A席7,000円　B席5,000円　C席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、連盟加盟ジム
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/MA日本キック連盟事務局☎055-228-2326

決定対戦カード

マグナム酒井 vs 大野崇
（士道館）（正道会館）

〈MA日本フェザー級タイトルマッチ〉
山田健博 vs 小林秀紀
（東金）（マイウェイ）

水町浩 vs 小石原勝
（士道館・村上塾）（習志野ジム）

泉雄策 vs 中西一覚
（山木）（谷山）

藤曲シン vs 中村洋人
（谷山）（武勇会）

阿部泰彦 vs 武井豊
（新潟山木）（谷山）

※第1部は3回戦8試合の予定

ADVANCE1
9月23日（祝・火）千葉・袖ヶ浦市臨海スポーツセンター

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/RS席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　2階席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、花澤ジム、連盟各ジム
◆会場アクセス/JR内房線長浦駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/花澤ジム☎0438-62-7967

決定対戦カード

井手本高司 vs Kタカハシ
（DANGER）（新潟山木）

神谷友和 vs 加瀬大策
（橋本）（DANGER）

丸山昌宏 vs アツシ
（拳伸）（ビクトリー）

緒原光一 vs 笹谷淳
（DANGER）（橋本）

〜総合ルール〜
基流 vs 藤井徹
（拳伸）（湘南格闘）

ニュージャパンキックボクシング連盟

VORTEX Ⅷ
9月21日（日）東京・ディファ有明

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　当日立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎043-202-1161

決定対戦カード

石毛慎也 vs フィクリ・ティアティ
（東京北星）（オランダ/ムシドジム）

藤原国崇 vs ナーサソー・サクルパン
（拳之会）（タイ）

川津真一 vs セークサック・シンクロンシー
（町田金子）（タイ）

岩井信洋 vs 岩田洋
（OGUNI）（八王子FSG）

中村篤史 vs 石黒竜也
（北流会君津）（東京北星）

エミル vs 吉野健太郎
（E.S.G）（渡辺）

真二 vs 赤羽秀一
（OGUNI）（WSR）

天昇山 vs 宮原康介
（キング）（日進会館）

日本キックボクシング連盟

2003 首領（どん）底シリーズ
10月25日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　指定A席5,000円　指定B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、ファイター
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

松本浩幸 vs 難波博志
（八王子FSG）（載空道）

姉崎祐二 vs 山田大輔
（翔勇MI）（杉並）

若生浩次 vs 三苫純次
（大阪真門）（SOLID FIST）

松永淳 vs 鈴木宏明
（渡辺）（JK国際）

アマチュア

アマチュア修斗

第10回全日本アマチュア修斗選手権大会
9月15日（月・祝）愛知・北スポーツセンター

◆試合開始/11:30　◆会場アクセス/市バス・名古屋駅発「中切町4丁目」下車より徒歩7分　◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

アマチュアシュートボクシング

第18全日本アマチュアシュートボクシング選手権 力炎館大会
10月26日（日）東大阪アリーナ

◆試合開始/10:00　◆会場アクセス/近鉄奈良線八戸ノ里駅より徒歩10分　◆お問い合わせ/大会事務局☎06-6782-7174

日本女子ボクシング協会

Fighting Angel 3
9月21日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/14:30　試合開始/15:00　◆入場料/SRS席8,000円　RS席6,000円　A自由席4,000円　スタンディング2,500円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、日本女子ボクシング協会　◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前　◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会☎03-3485-4446

決定対戦カード

〈日本フライ級王座挑戦者決定戦〉
山口直子vs柴田早千予
（山木）（白龍）
ジプシー・タエコvs山田香子
（山木）（MUSTANG）

〜エキシビジョン・マッチ〜
ライカvs柴田貴之
（山木）

古賀友子vs渡邊真理香
（シュガーレイ）（F.I-TEN）
亜利弥'vs小八ヶ代真紀
（Fギャラクシー）（山木）
櫻田由樹vs須賀寿江
（SPEED）（鴨川）
八尾基代vs藤本りえ
（ソルジャーファクトリー）（ドリーム）
彩菜真vs飯島里子
（山木）（フィオーレ）

Fighting Angel 2003 Final
11月30日（日）東京・六本木velfarre

◆詳細未定　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/女子ボクシング協会☎03-3485-4446

決定対戦カード

〈WIBA世界フェザー級タイトルマッチ〉
ライカvsX
（山木）
〈日本フライ級タイトルマッチ〉
八島有美vs猪崎かずみ
（Fギャラクシー）（鴨居）

出場予定選手

マーベラス（SPEED）
菊川未紀（桶川）
柴田早千予（白龍）

極真会館

第8回オープントーナメント 全世界空手道選手権大会
11月1、2、3日（土、日、月・祝）東京体育館

◆開場/10:00
◆入場料/SRS席（3日間通し券、パンフレット・記念品付き）50,000円　SS席（3日間通し券、35,000円）　S席13,000円（当日15,000円）　A席8,000円（当日10,000円）　B席4,000円（当日5,000円）　※SRS席とSS席は、前売りのみの販売
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/極真会館総本部、全国各支部、一撃オフィシャルショップ☎03-5785-1608、各有名プレイガイド
◆お問い合わせ/極真会館総本部☎03-5992-9200

空手道禅道会

バーリトゥード2003 オープントーナメント リアルファイティング空手道選手権大会
10月5日（日）長野・ビッグハット

◆試合開始/未定
◆入場料/1,500円（当日1,800円）　※中学生以下無料
◆会場アクセス/JR長野駅よりバスで『ビッグハット前』下車、徒歩5分
◆お問い合わせ/日本武道空手道連盟　長野事務所☎026-293-6944

日本国際空手協会

第7回全日本空手道選手権大会
9月28日（日）神奈川・川崎市とどろきアリーナ

◆開場/10:00
◆会場アクセス/JR南武線・東急東横線武蔵小杉駅から1番乗り場より市バス『溝05、杉40』系統で春日神社下車または、2番乗り場より東急バス『宮内経由溝口』行きで等々力グランド入口下車すぐ
◆お問い合わせ/勇心会空手道事務局☎03-5393-9763

真樹道場

2003オープントーナメント 第4回全日本空手道選手権大会
9月14日（日）愛知・豊田市体育館

◆開場/9:30　試合開始/10:00
◆入場料/自由席2,000円（当日3,000円）　小中学生1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、公式堂☎052-241-2511、真樹道場 愛知本部☎0565-24-3861、真樹ジム愛知☎0565-24-8166、ルート☎0565-31-1121
◆会場アクセス/名鉄豊田市駅より徒歩20分
◆お問い合わせ/真樹道場☎0565-24-3861

大道塾

2003北斗旗全日本空道無差別選手権 第19回北海道大会及び各交流試合
9月21日（日）北海道・帯広の森体育館 第2・3体育室

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/十勝バス駅前バスターミナル2番乗り場から、大空団地線または白樺学園線に乗車。『帯広の森体育館前』にて下車　◆お問い合わせ/大道塾帯広支部☎0155-41-6445

2003北斗旗全日本空道無差別選手権 第29回東北大会及び各交流試合
9月28日（日）宮城・南方町武道館

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/東北自動車道『古川I・C』、『若柳金成I・C』より自動車で約30分　◆お問い合わせ/大道塾登米支部☎0220-52-5522

2003北斗旗全日本空道無差別選手権 第21回九州・沖縄大会及び各交流試合
10月5日（日）福岡・ももちパレス柔道場

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/地下鉄空港線藤崎駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/大道塾九州本部☎092-522-0964

2003北斗旗全日本空道無差別選手権 第36回関東大会及び各交流試合
10月12日（日）東京・中央区立総合スポーツセンター 第1武道場

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/都営地下鉄新宿線浜町駅より徒歩2分　◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

2003北斗旗全日本空道無差別選手権 第30回西日本大会及び各交流試合
10月13日（月・祝）三重県立 ゆめドームうえの

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/近鉄線伊賀神戸駅よりタクシーで約7分　◆お問い合わせ/大道塾名張支部☎0595-63-1791

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9900
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
オデッセー ☎03-3408-0331
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
チャンピオン ☎03-3221-6237
書泉ブックマート ☎03-3294-0011
フィットネスショップ水道橋 ☎03-3265-4646
後楽園ホール ☎03-5800-9999
e+（イープラス） http://eee.eplus.co.jp ☎03-5749-9911

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9花茂ビル3F
☎03-5464-1531

S.W.A 撃圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021 東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒400-0046 山梨県甲府市下石田2-19-17
☎055-228-2326

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒260-0016　千葉県千葉市中央区栄町39-3　トーワビル1F
☎043-202-1161

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212

極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

《6・26 96号》

●完全速報/6・8 PRIDE.26横アリ大会/ヒョードルvs藤田和之、ミルコvsヒーリング、高瀬大樹vsアンデウソン・シウバ、浜中和宏vsニーノ・シェンブリ ほか
●最新情報/6・29『K-1 BEAST Ⅱ』さいたま大会/中西学インタビュー、TOA×ターザン山本 異文化交流対談
●特集/7・5 K-1 WORLD MAX さいたま大会 最強、最高のメンバーが集結！
●大会レポート/5・31 K-1 WORLD GP スイス大会、6・1 SB後楽園ホール大会
●海外大会速報/UFC43 クートゥアーvsリデル、キモvsアボットほか
●seriesジョシカク/茂木康子、6・4 SMACK GIRL
●SRS・DXの注目/数見肇インタビュー、DEEP情報◎TAISHOインタビュー

《7・10 97号》

●最新情報/8・10 PRIDEミドル級トーナメント、真夏の話題、強奪！　吉田秀彦、ミドル級GP参戦！
●直前情報/6・29 K-1 BEAST Ⅱさいたま大会/金沢克彦週刊ゴング編集長インタビュー、バタービーン、モンターニャ・シウバって何者？
●最新情報/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会/谷川貞治イベントプロデューサーに聞け！
●緊急特集/ターザン山本のパリ定義旅行！/6・14 K-1パリ大会レポート
●最終情報/7・5 K-1 WORLD MAX/魔裟斗、武田の強さを検証！　編集部予想
●SRSDXの注目！/五味隆典インタビュー、DEEP大阪大会最新情報
●seriesジョシカク/１５（いちご）、6・8 女子サンボ

《7・24 98号》

●完全速報/7・5 K-1 WORLD MAXさいたま大会/MAX万歳！激闘完全レポート&魔裟斗インタビュー
●緊急企画/徹底検証◎6・29 K-1 BEAST Ⅱ/角田信朗 競技統括プロデューサーインタビュー&試合レポート
●最新情報/8・10 PRIDE GP 2003 開幕戦/吉田秀彦・シウバインタビュー
●最終情報/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会/フィリォインタビュー
●インタビュー/新間寿（JUNGLE FIGHTとは何か？）、石井宏樹（新日本キック）
●大会レポート/6・25 DEEP後楽園大会、6・27 修斗広島大会
●seriesジョシカク/八島有美、6・25 女子ボクシング、7・6 SMACK GIRL

《8・14&28合併号 99号》

●見所ガイド/8・10 PRIDE GP 2003 開幕戦/田村潔司インタビュー、桜庭和志公開練習、アリスター・オーフレイムインタビュー、ミドル級ワンポイント見所
●祝100号記念対談/テリー伊藤×ターザン山本（前編）
●最新情報/K-1観戦ガイド◎7・27メルボルン大会&8・15ラスベガス大会
●最新情報/9・6 X-1 横浜大会、佐々木健介インタビュー、会見/長州力
●インタビュー/ホースト&イグナショフ、伊原信一・新日本キック会長
●大会レポート/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会、7・13 DEEP大阪大会
●seriesジョシカク/坂口一美、7・20 全日本キック、キーラ・グレイシーが来る！

《8・28臨時増刊号 100号》

●大会速報/8・10 PRIDE GP 2003 開幕戦/吉田秀彦vs田村潔司、シウバvs桜庭和志、ミルコvsボブチャンチンほか
●最新情報/9・6 X-1 横浜大会　衝撃！　長州力SRS・DXに見参
●祝100号記念対談/テリー伊藤×ターザン山本（後編）
●SRS・DXの注目/8・31パンクラス情報、初代タイガーマスク復活インタビュー
●100号記念座談会/これからの専門誌はどうなる！？
●9・21 K-1ジャパン出場者インタビュー（前編）/富平辰文、藤本祐介、中迫剛、武蔵
●seriesジョシカク/篠原光、8・6 SMACK GIRL

《9・11 101号》

●緊急特集/業界震撼！！　タイソン、K-1参戦決定！　谷川プロデューサー インタビュー、ターザン山本の見たタイソン、ボクソング界から見たタイソンのK-1参戦、K-1ラスベガス大会レポート
●特別企画/ジャングルファイトを100倍楽しむ方法、藤岡弘、インタビュー
●最新情報/9・21 K-1 SURVIVAL～JAPAN GP決勝戦～
●PRIDE GP振り返り企画/田村潔司インタビュー、桜庭和志、吉田秀彦情報
●インタビュー/佐伯繁、黒崎健時［温故知新企画］
●SRS・DXの注目/世界柔道2003、8・31パンクラス最終情報、極真合宿
●seriesジョシカク/ナナチャンチン、初秋のジョシカク最新情報

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで
※編集部では受け付けておりませんのでご注意ください。

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

『お笑い男の星座2』書評コンクール最優秀作品発表&全文掲載!!

博士　さぁすっかり夏休みも終わってしまったが、格闘技界は凪の状態になるのだろうか?

玉袋　去年のようにウ～ンDynamite!　爆発後の格闘技界のようには凪になりませんよ!　夏が過ぎれば台風の季節、8月の終わりから9月の頭まで沖縄にバカンスに来てる俺はいま台風真っ最中ですよ!　う～んハリケーン!

博士　おまえはホントに呑気だな。

玉袋　俺は沖縄のリゾートにいたのでまったく格闘技界の状況を把握してないんですけど、何かありました?　風の噂では猪木様がジャングルで行方不明になったって噂は耳にしましたが……。

博士　行方不明にはなってないよ!　ジャングルファイトは確実に動き出してるよ!

玉袋　密林の奥に住む幻の原人バーゴンも参戦するらしいですよ!

博士　川口探検隊のいんちき外人は参戦しないよ!　興行自体が幻と噂されたジャングルファイトも実現する運びとなったみたいだ。

玉袋　猪木様はピラニアの餌食になるそうですね。

博士　ピラニアと一緒に泳ぐんだよ!

玉袋　そして、骨だけになったピラニアに指を食いちぎられるんですよ!

博士　だからそれが川口探検隊の超マヌケ名シーンだろ!　おまえ完全にリゾートボケしてるよ!

玉袋　でも、こっちで噂になってるのが、船木が旗揚げしたプロレス団体が秒殺だらけの試合だったってことですよ。

博士　いつの話してるんだよ!　パンクラスは旗揚げ10周年興行だったの。どこのプロレス団体も景気が悪い中10周年を迎えたパンクラスは立派だよ。

玉袋　その船木は今やヒゲもじゃで孤島で暮らして苦労してるみたいですからね。

博士　そりゃテレビドラマの『Drコトー診療所』の話だよ!

玉袋　その大会で団体のエースの近藤は女子に負けたみたいですね。やっぱりスマックガールの時代ですよ。

博士　女子じゃなくてジョシュだよ!

玉袋　新日本プロレス生え抜き外国人選手ですね。

博士　生え抜きじゃなくて引き抜きだよ!　鈴木みのるは風になって新日の飯塚に勝利。

玉袋　勝ったみのるは風になってリング上から禿になったライガーを挑発!

博士　風だか禿だかややこしいよ!

玉袋　負けじと勝った菊田は甲高い声で死刑廃止論のマイクパフォーマンス!

博士　そりゃ菊田のお父さんが主張してるんだよ!

玉袋　主張といえば、発売から2カ月経つのにもかかわらず業界から絶賛の嵐の『お笑い男の星座2』ですよ!

博士　直木賞作家の重松清さんには週刊朝日で「見事な文章芸」と賞され、週刊文春では鹿島茂さんから「羞恥心ゆえに恥じらいを超越した人間に憧れるキッドの面目躍如たる一冊」と賞された。

玉袋　さすが、プロ。お世辞がうまい。

博士　お世辞じゃないよ。そして、夏休み特別企画として俺たちのホームページで行われた一般読者から送られてきた『お笑い男の星座2』の読書感想文コンクール「書評の星座」の優秀作品をここで発表する。

玉袋　最優秀賞を受賞された方には8月8日にめでたく誕生した博士のご子息の小野たけし君をプレゼントします。

博士　なんでうちの赤ん坊をプレゼントするんだよ!　他では買えないし、テレビじゃ絶対に放送できない浅草キッドの漫才DVDをプレゼントだ!

玉袋　では順次、優秀作品を発表します。まず今回は女子部から当選した、「2軍で補欠」さんの作品、「非卒論『お笑い男の星座』論」からです。

例えば——。私が尊敬してやまないお笑い芸人松本人志が自らの著作内にて「真の笑いは女には理解できない」と語るのを目にした時。

SF作家の巨匠レイ・ブラッドベリが叙情的かつ幻想的な言葉で私をうっとりさせておきながら実は、彼の往年の名作は「〝過去〟のことで首をひねり、きびきびと〝今〟と取り組み、ぼくらの〝未来〟に高遠の希望を持っているありとあらゆる男の子たち」に捧げられたものであるのを知った時。

決して嫌いではないけれど最新ヒット曲にうとい私がカラオケに誘われれば必然的に持ちネタはつき連れへのジェネレーションギャップを噛み締めながら行き着く1曲。ゴダイゴ「THE GALAXY EXPRESS 999」その中の一節。

「そうさ君は気づいてしまった　やすらぎよりも　素晴らしいものに　地平線に消える瞳には　いつかまぶしい男の光」の部分を心静かに歌い上げる時。

私は嫉妬する。「男」という生き物に嫉妬する。

「か、か、か、かっこいいいい～!!」……いいよなあ、男は、男はいいよ。

うん、闘う男は誰がなんと言おうとかっこいい。

こんなこと言ったら田嶋陽子に叱られそうだけど、でもやっぱりあたしは男にしか分からない世界というものが確実に存在していると思う。

それは武道館の大観衆に1人挑む松本人志の背中であったり、詩的な言葉で少年期のロマンチシズムを綴るブラッドベリの魔力であったり宇宙空間を彷徨いながら徐々に男の光を放ち始める星野鉄郎の瞳であったりする。

彼らは闘ってなお世間でいうところのいわゆる「勝ち組」に属する男たちだと思う。何をもって勝ち組と認定するかを問われれば具体的に答えられなくてすみません。でも勝ち組じゃん、なんとなく。男は闘ってなんぼ!　勝負に勝ってなんぼ!　そう思っていた。この本を読むまでは。

あたしは甘かった。甘ちゃんだった。闘いどころを知っている男に重要なことは勝敗なんかじゃない。闘うべき時に闘えるか否か。闘うべき場所で闘い続けることができるか否かってことなんだ!　その果てが白星だろうと黒星だろうと問題じゃない。

星は星であり放つベクトルは違えどその輝きに嘘偽りのないということこそが真実。彼らは力づくでスプーンをねじ曲げる超能力者であり、本来持ち合わせていなかったはずのフェロモンを自力でひねりだす木村拓哉であり、鳴かぬウグイスを殺したのでも待ったのでもなく、鳴かせてみた豊臣秀吉である。

彼らは決して「選ばれた」のではなく「選ばせた」男たちなんだと思う。

深夜、あぐらにくわえタバコで「プラモ狂四郎」を読みふけるあたしは多分一般女子に比べたら確実に男度は高いだろう。

それは過去、連想ゲームで白組リーダー加藤芳郎が「女」という解答を導き出すためにヒントに「あぐら」「くわえタバコ」「プラモ狂四郎」というキーワードを大和田獏に投げ付けた事実がないことからも明らかである。

そんなあたしがこの本を読み終えてさらに自分内男度沸点が高まるのも当然だ。なのに。そんなひげもじゃなあたしが、ふと気付けばこんな気色悪いことを考えていた。「ああ、このBカップのへこい胸で彼らを包みあげてあげたい!　戦士たちの束の間の休息の地となりたい!」

恐っ。でも本当。

自分の中の男度アップと母性本能開眼ってのはものすごく矛盾していて、おめえどっちに行きてえんだって感じだけれどもどうもすぐには結論が出そうにないので総称して「アドレナリンが分泌されました」ってことで逃げようと思う。

それにしても「女子供は無用」な世界に惹かれてしまうのはもしかして自分が「女子供」だからだったりするからなのかも?

最後に。この本の感想文を書くと決めた時点から今現在まで悩んでいますというたわ言を。感想文というからにはそれを読んだ第三者に「へ～、おもしろそ～じゃんこの本」って思わせなきゃいけないはずなんだけれどその「おもしろそ～」なポイントが見事にすぱっと枝別れしておりまして。

かいつまんで言えば「内容」と「文章力」もしこれが卒論「お笑い男の星座論」なんてのだったら別項目で「著者浅草キッドのその巧みな言葉遊びとレトリックに……」云々記してんだろうなあなんて思ったり。結局、そこに深入りしたらこりゃとんでもねえ字数になると言い訳してさらっと流す方向で話し進めてますが、栄えある我が家の便所文庫争奪戦に見事勝ち抜いた実績と一作目の『芸能私闘編』にて彼らの師匠ビートたけしが放った、「バカ野郎!　おまえらは誰かを好きになりすぎるんだよ!」って台詞にぐっときちゃったって感想で察してください。それにしても……男って、ほんとバカ!!

玉袋　う～ん、我ながらよく書けた書評だ。

博士　おまえが書いたんじゃないだろ!■

キッド渾身の最新作発売!
『お笑い男の星座2』

お笑い男の星座2　浅草キッド

▲文藝春秋より絶賛発売中!

PANCRASE HYBRID WRESTLING
PANCRASE 2003
HYBRID TOUR
8.31★両国国技館

パンクラス10周年

近藤、ジョシュに未来ある〝玉砕〟

〝血の轍〟!!

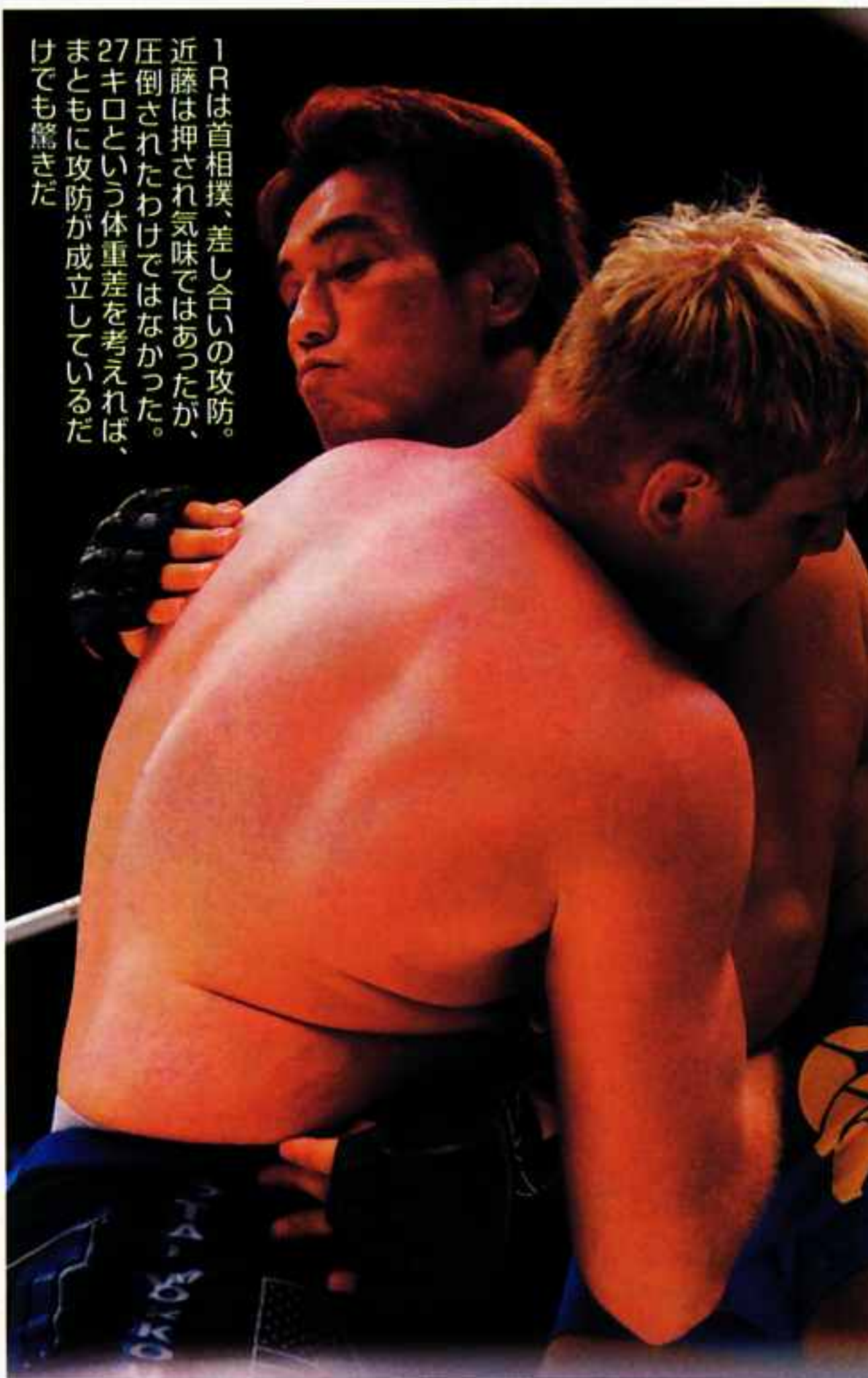
ジョシュのマウントパンチで出血。最後はチョークスリーパーで仕留められた近藤だったが、10周年記念大会のメインは期待を上回る名勝負となった

恐るべし近藤

体重差27キロでも真っ当に攻防が成立！

離れるとジョシュがパンチ。近藤も真っ向から打ち返し、ジョシュをグラつかせるシーンまであった

UWFマニアでもあるジョシュ。〝U系〟ベルトがかかった試合とあってか、異様にテンションが高かった

▼2R、サバ折りのような形でテイクダウンすると、マウントからパンチを打ち込んでいったジョシュ。しかし近藤も巧みなディフェンスで決定的な一打を許さない

1Rは首相撲、差し合いの攻防。近藤は押され気味ではあったが、圧倒されたわけではなかった。27キロという体重差を考えれば、まともに攻防が成立しているだけでも驚きだ

1993年9月21日のことは、今でもよく覚えている。東京ベイNKホールでの、パンクラス旗揚げ戦。ぼくは20歳の大学2年生で、プレ旗揚げイベント（そんなものまで行ってたのだ）で買ったロゴ入りTシャツを着込んで会場に足を運んだのだった。

そこで見たのは、とんでもない試合ばかりだった。いわゆる〝秒殺〟の連続。全5試合のトータル試合時間が13分ちょっと。プロレスラーたちが〝ガチンコ〟の試合を繰り広げていた。

プロレスなのに格闘技。いやプロレスだからこそ格闘技、か。UWFに求めていたのはこれなんだ、と頭でっかちのプロレス&格闘技ファンだったぼくは思った。それから何年か、パンクラスの首都圏興行は全部見に行った。まさかその時は、将来自分が格闘技雑誌の記者になって、この団体の10周年記念大会のレポートを書くことになるとは思わなかったが。

同じ頃、新潟県長岡市に住む18歳、高校3年生の近藤有（たもつ）少年も、プロレス雑誌やビデオでパンクラスの試合を見て興奮していたに違いない。ぼくと違って、その時すでに「パンクラスに入ってプロレスラーになる」と決めていたんだと思うが。

太平洋を隔てたアメリカ西海岸にも、時期こそちょっとズレていたかもしれないが、パンクラスの試合に大きなインパクトを受けたオタク少年ジョシュ・バーネットがいた。「パンクラスの試合は全部見てるよ。近藤のこともデビュー戦から知ってる」とジョシュ。後にその団体のチャンピオンになる

と、その時考えていたかどうかは

“プロレスラー”ジョシュ、意地のジャーマン2連発！

だが、最後まで奇跡の予感はあった！

ジャーマンで投げられた次の瞬間、近藤は素早く立ち上がってジョシュの顔面にヒザ！　ここが最大の勝機だった

3R。マウントからスルリと抜け出して立ち上がった近藤に、ジョシュがジャーマンを2連発。特に2発目は「KOしたと思った」という。しかし……

と、その時考えていたかどうかは分からないけども（今度聞いてみようと思う）。

〝そもそもの始まり〟。それをジョシュは濃厚に意識していた。試合後、彼はこんなことを言っている。

「この勝利は新日本プロレス、UWF、パンクラス、そしてみんなのものだ」

「プロレスは弱くない。プロレスはリアルで、UWFは死んでない。それを証明できたんだ。この2年間、みんなこのベルト（無差別級）のことを忘れてただろ。でもボクは忘れちゃいなかった。これが原点なんだよ。ここから全てが始まったんだ」

他団体とはいえ、これほど王者にふさわしい男もいないだろう。ジョシュの出場によって、パンクラス10周年大会はより意義深いものになったと思う。

そして近藤有己。この男は、言葉ではなく闘いぶりでパンクラスの歴史を感じさせてくれた。

無差別級キング・オブ・パンクラス王座決定戦として行われたこの試合。近藤86・9キロ、ジョシュ113・8キロと、両者には約27キロもの体重差があった。常識で考えれば、〝顔面あり〟のフルコンタクト・ファイトでこの差は無茶にもほどがある。

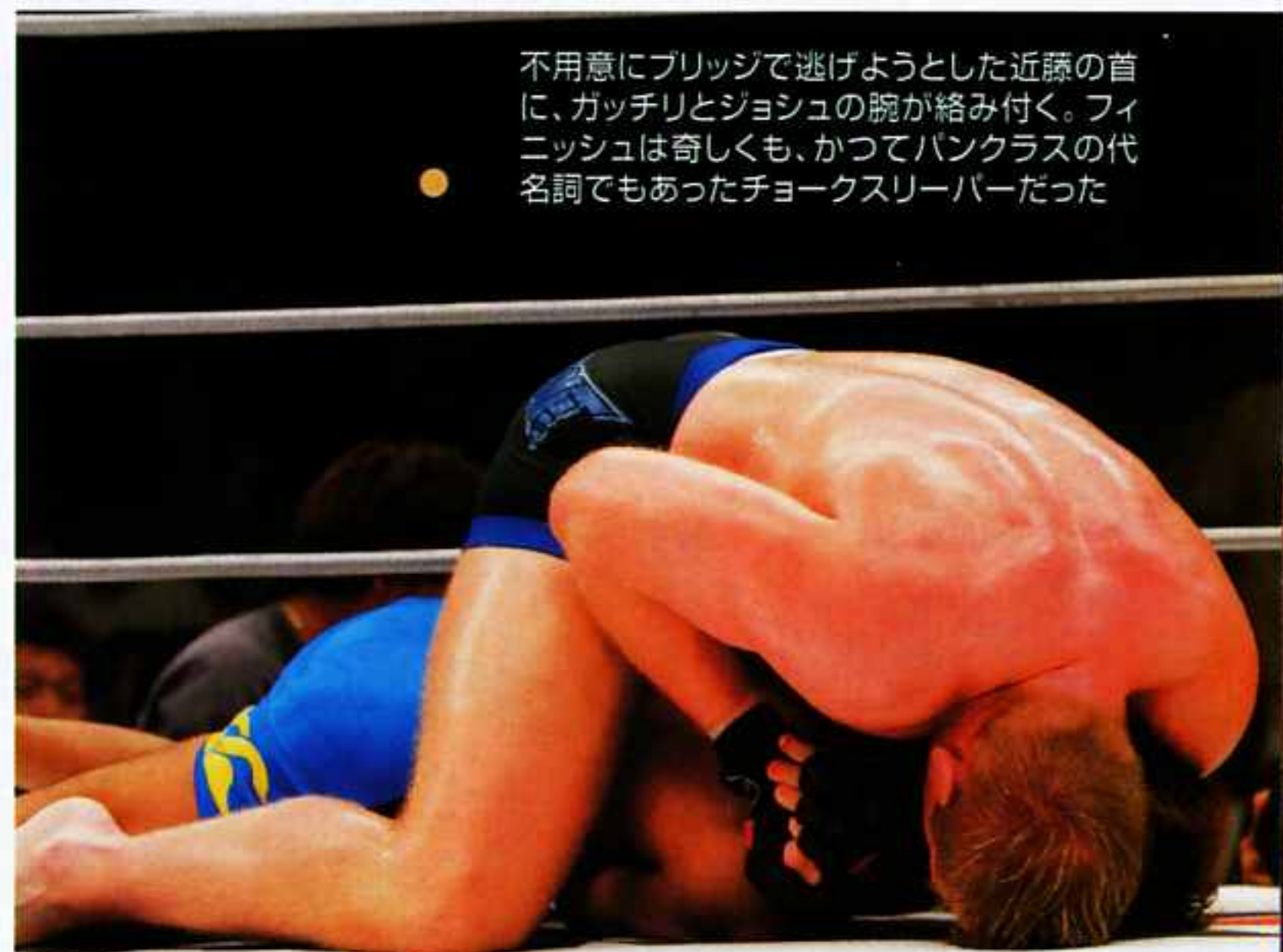
しかし、近藤はそんな無茶なはずの試合をものの見事に成立させてしまった。もちろん、差があるのは間違いないから押されはする。でもそれが、例えば手足が長いとかパンチが強いとかスタミナがあるとか、そういった闘いにおける〝一要素〟でしかないように見えてくるのだ。いくら体格差があっ

壮絶フィニッシュ！

この男に“王位継承権”あり

やはりジョシュは強かった。試合後の近藤は「玉砕ですね」。しかし、ジョシュは玉砕する価値のある相手だったと言える

近藤のヒザをしのぐと、ジョシュは再びテイクダウンしてマウント。体重を浴びせられたダメージもあって近藤は苦しい表情

不用意にブリッジで逃げようとした近藤の首に、ガッチリとジョシュの腕が絡み付く。フィニッシュは奇しくも、かつてパンクラスの代名詞でもあったチョークスリーパーだった

★第8試合/無差別級キング・オブ・パンクラス王座決定戦（5分3R）

○J・バーネット × 近藤有己●
〈新日本プロレス〉 〈パンクラスism〉
（3R3分26秒、チョークスリーパー）
※バーネットが第10代王者に

たって、それは絶対的なものじゃない、と。

1Rは差し合いの攻防。ジョシュが組み付いてコーナーに押し込み、お互いヒザや細かいパンチを繰り出していく。離れてはパンチの打ち合い。いずれも近藤は真っ向から勝負にいき、それどころか“あわや”というシーンまで作ってみせる。

2R以降はジョシュが（まさに体格差を活かした）テイクダウンとマウントパンチで攻勢に出るが、ここでも近藤は常識に屈しなかった。かなり長時間下になっていたのだが、粘りに粘って最後の一撃だけは打たせない。2R、3Rとも近藤はマウントから自力で脱出してみせた。

3Rにはジャーマン2連発を食らいながら、投げたジョシュよりも素早く立ち上がってヒザ蹴りを連打。2R以降は劣勢が続いていたし、最後にはチョークスリーパーで仕留められてしまったのだが、近藤の闘いは最後の瞬間まで“奇跡の予感”を漂わせていた。

敗れたとはいえ、近藤には本当に凄いモノを見せてもらったと思う。近藤は「予想以上、イメージ以上の圧力があった」と言っているが、ここまでやったこと自体、常識ってやつに毒されてるぼくらからすれば“予想以上”だ。

心・技・体というものを軸に様々なデータをもって選手の能力を因数分解したとしても、近藤という男だけは決して割り切ることができない。常識が通じない男。安易な分析を許さない男。それが近藤有己である。

そんな選手が育ったのも、パンクラスならではだろう。近藤自身

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
8.31★両国国技館

After the fight

バーネットのコメント

勝

「これまでで最高の試合だった。『伝説になる試合をしてやる』と近藤に言ったけど、それができたね。近藤は最高の相手。スピリットをリングで感じたよ。"なんて凄いヤツなんだ"って思いながら試合してた。試合を楽しみすぎた感じ。ジャーマンでKOしたと思ったのに、立ってきた。シンジラレナイ！ このベルトはパンクラスの原点で、ここから全てが始まったんだよ。このベルトは10年前、プロレスの強さ、総合スタイル、本物のプロフェッショナル・レスリングを見せるために作られたもの。2年間、みんなこれを忘れてたけど、ボクは忘れてなかった。これがパンクラスの最高のベルトで、世界でも最高のベルトの一つ。最強の証なんだ」

近藤のコメント

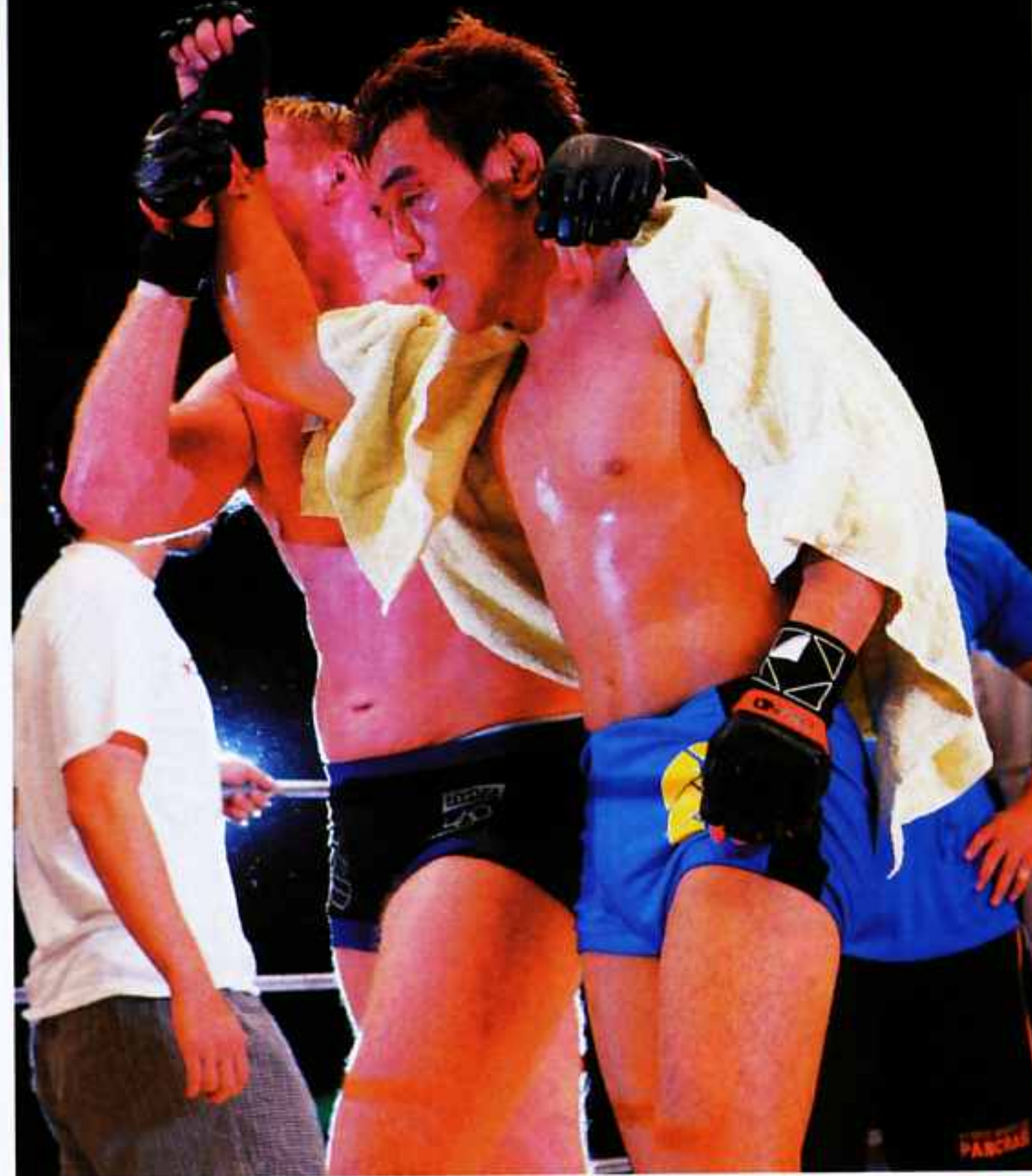
負

「玉砕ですね。パンチも手応えがなかったです。動きのある状況にもってけなかった。圧力がありましたね。2発目のジャーマンは効きました。来るって分かってたんですけど。一番効いたのは、最後に倒されたやつ。相手にも僕の様子がおかしいって感じが伝わったんで、一気にこられて。悔しいですね。このまま終わりたくないですね。僕の中での無差別への挑戦です。予想以上、イメージ以上の圧力があったんで。ただ、それを今回で記憶にインプットできたんで。そこからまた補って、無差別で闘える選手になっていきたいです。今回はその第一歩で玉砕したっていう。海外の体重の重い選手が集まってるところに行って経験を積みたいです」

新日本にベルト流出！ 11年目はどう転がる!?

試合後、セコンドについた中西学やこの日の試合に出場した飯塚高史もリングに乗り込んで新日本プロレスの旗を掲げる

▶リングを降りたジョシュは放送席の高橋義生と握手。双方とも対戦に積極的だけに、対戦は濃厚と見られる

「これまでで最高の相手だった」と近藤を称えたジョシュ。しかし近藤の表情は……

◀支度部屋で「乾杯！」。"プロレス"のタイトルマッチには欠かせない光景だろう

そんな選手が育ったのも、パンクラスならではだろう。近藤自身の類い稀な才能もあるだろうが、それを伸ばし切ることができたのは、パンクラスだけだったと思える。近藤が"他のどこにもない"特異な個性を持つファイターになったのは、きっとパンクラスがそういう団体だったからなのだ。

パンクラスは"ハイブリッド・レスリング"を標榜しているのだが、ただ闇雲になんでも取り込んできたわけではなかった。その歴史を振り返ってみると、貪欲というよりむしろ意固地だったような印象もある。VTへの対応やオープンフィンガーグローブ、ラウンド制の導入も決して早かったとは言えない。なぜかと言えば、全部自力でやろうとしていたから。「それが今の趨勢だから」「みんなそうしてるから」という理由で何かをやったことはほとんどなかった。一時期は"鎖国"すらしていたのだ。

あくまで自力で進化しようとしてきたから、パンクラスでは他で当たり前のことも当たり前じゃなかった。ずいぶんと遠回りもした。"総合格闘技"の流れに添ったルール変更後には、出遅れる者や取り残される者もいた。その代わり、近藤のような世の趨勢や常識の範疇外の強さを持つ選手が育つこともできたのだ。

自力の歴史。それはパンクラシストたちの体を張った実験によって作られたものだ。その轍（わだち）は、流れた血や折れた骨の上に成り立っている。ジョシュ戦で近藤が流した血も、きっとこの先の歴史において、とてつもなく大きな礎になるはずだ。（橋本）

菊田、UFC常連を圧倒！ そしてやっぱり判定勝ち……

グラバカという名の因果な稼業

「課題は一本取ること」と言って臨んだシノシック戦だが、極めることができず。判定勝利のコールにも、菊田は放心状態

★第7試合/ライトヘビー級5分3R
○菊田早苗×E・シノシック●
〈パンクラスGRABAKA〉 〈マチャド・ブラジリアン柔術〉
（3R判定3-0）
※採点…30-26、30-27、30-27

やっぱりなぁ、と思った。そして、やっぱりなぁ、と思ってしまった自分がちょっと哀しかった。菊田早苗が〝やっぱり〟一本取れずに判定で終わった瞬間のことだ。

実に21カ月。2001年12月の渡辺大介戦以降、菊田は一本勝ちから遠ざかっている。だから試合前に「今回の課題は一本取ること」と繰り返し言ってもいたのだ。なのに、である。

大会前日に行われたパンクラス10周年記念パーティーで対戦相手エルヴィス・シノシックの長身と手足の長さを目の当たりにし、「デカイですねぇ……強いな、あれは」と警戒していた菊田。だが、試合が始まってみればはっきりと実力差を見せつけ、シノシックを圧倒してみせた。

試合開始直後、蹴りをキャッチして得意の大内刈りでテイクダウン。さらにパスガードしてサイドポジション、そしてマウント奪取と大攻勢をかける。またポジションを進める様が、まるで歌舞伎役者が見栄を切る時のようにピシッとキマッていて見応え充分。これぞ日本人で唯一アブダビ・コンバットを制した〝寝技世界一〟の菊田劇場である。

ただ、最近はそこから先、ポジショニングはうまいけどどうにも極められないいじれったさも含めて菊田劇場になってしまっているのが辛いところ。

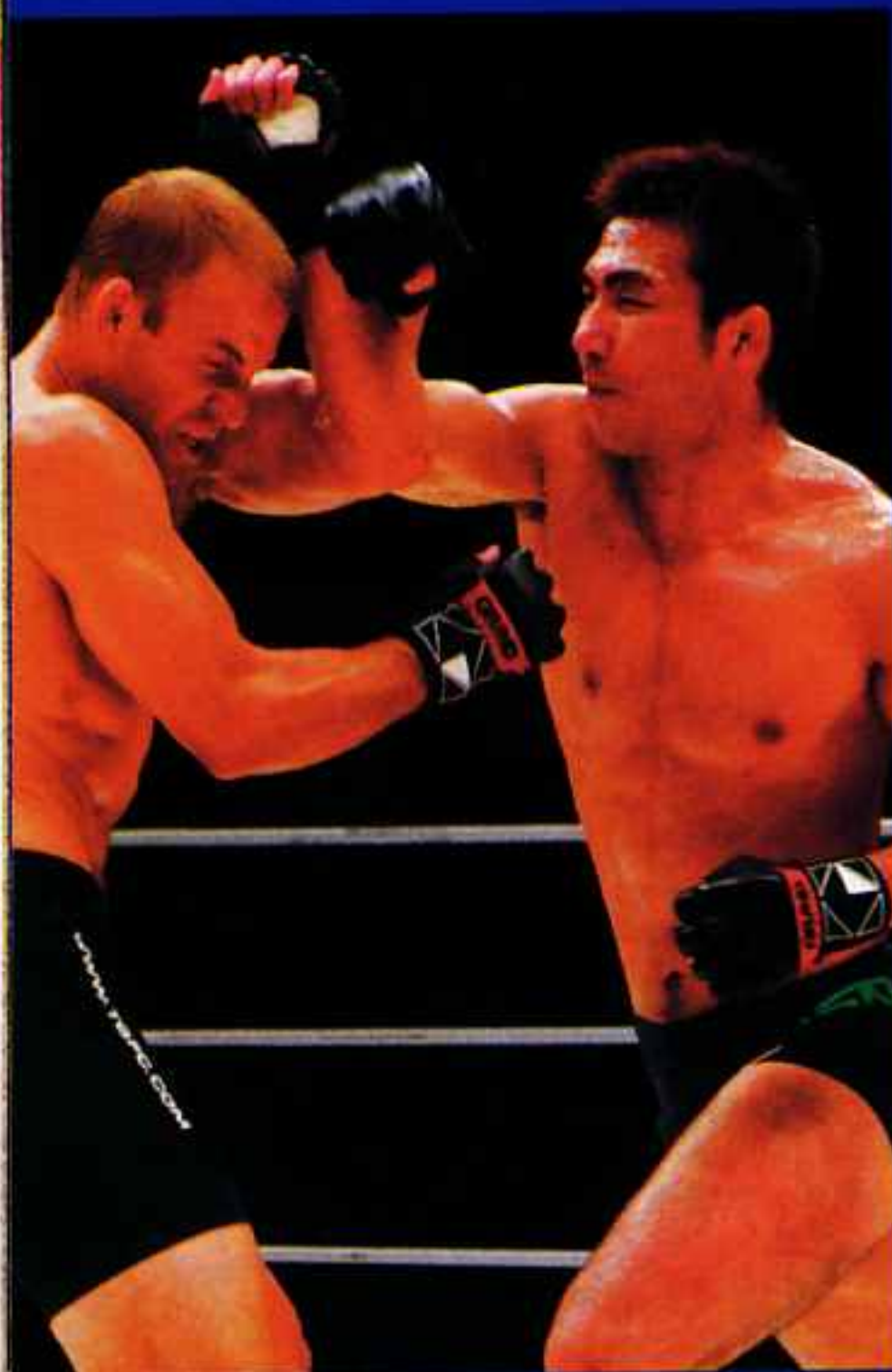
1Rは肩固めの体勢に入るもスルリと抜けられ、2、3Rは再三にわたって腕絡みにトライするも、タップを奪うことができない。むしろムキになって極めようとすればするほど、極めるポイントや違

郷野、佐々木、三崎も本領発揮ならず

たった29秒、金的で続行不能 郷野の不憫さときたら……

▼郷野聡寛はシュート・ボクセのニルソン・デ・カストロと対戦したが、ファースト・コンタクトで蹴りが金的に入ってしまう。結局、続行不可能ということで反則勝ちとなった。試合後、郷野は救急車で病院に

▲「ブラジルから36時間かけて日本に来たのに……」わずか29秒で試合が終わってカストロも唖然。「再戦? もちろん。次は腰から下は蹴らないよ」

▼足を剥離骨折しながら試合に臨んだ佐々木有生は、エバンゲリスタ・サイボーグから急きょ相手が変わってヒース・シムズ(チーム・クエスト)と対戦。得意の左ミドル、ハイを的確にヒット、3Rにはパンチで KO寸前に追い込むなどして3−0の判定勝ち。ただ、ケガもあってかスローペースで、迫力という面では物足りなかったような

▲ミドル級に階級を下げたヒカルド・アルメイダ(ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー)と対戦したのが三崎和雄。アルメイダは減量、三崎はケガで3週間練習ができず、とお互い本調子ではない中での闘いは、テイクダウンとパウンドで上回ったアルメイダの判定勝ち(2−0)となった

▲ラスト30秒、パンチの連打でKOを狙うもタイムアップ

うますぎる故のジレンマなのか『今日はボクが一番ダメ』(菊田)

2R、3Rに再三仕掛けたストレート・アームバーだが、シノシックの腕の長さもあってかフィニッシュに至らず

1Rからマウントを取るなど攻めに攻めた菊田。肩固めは極まったと思われたのだが

とにかくポジショニングのうまさはケタ外れ。それ自体が見せ場とも言えなくはないが、やはり一本勝ちが見たいというのがファン心理だろう

ばするほど、極めるポイントや違う技へ移行するタイミングを見誤ってしまったという感じらしい。

「(詰めが)甘いっすねぇ。(相手は)逃げ方を熟知しているというか、ディフェンスをちゃんとやってましたね。あっという間に終わっちゃった。僕が(グラバカで)一番ダメでしたね。難しいっすねえ、一本取るのも」(菊田)

たしかに一本取るのは難しい。でも、もっと難しいのは今の菊田の立場だろう。例えば他の日本人で、UFCの常連シノシックをここまで圧倒できる選手がいるだろうか? あるいは菊田が敵地UFCで同じような試合をしたら手放しで大絶賛されていたと思う。

菊田のレベルの高い試合を見続けていくうちに、我々はつい〝菊田早苗の試合〟に対するハードルを高く設定するようになっていたのだ。もちろん「菊田ならそれを超えられるはず」という期待感があるからなのだが。

実力と知名度(それにウェイトカテゴリー)がバッチリ噛み合う相手がなかなかいない、という現状も悩みの一つだろう。パンクラスをほったらかしにしてUFCや『プライド』に出るというわけにもいかないだろうし。

実力ゆえのジレンマ。それは他のグラバカ勢も一緒だろう。これまで「勝ち負けにこだわらず」とか「玉砕覚悟で」みたいな試合をしていればイメージも違ったんだろうが、それを嫌い、徹底して勝負にこだわってきたから今のグラバカがあるのも事実。因果な稼業と言うしかないが、だからこそ見続ける甲斐もある。

(橋本)

パンクラスVS新日本プロレス本格開戦！

新日本プロレスのサンボマスター飯塚高史と相まみえる鈴木。試合前には秒殺宣言まで口にしていたのだが……

鈴木みのる劇場大爆発！

俺たちがパンクラスだ！ナメるなバ〜カ！

▲判定は3−0で鈴木。ただ、このルールで判定勝ちというのはファンも鈴木自身も納得できないところだろう

アマレス歴は高校までの鈴木と、サンボ特訓によって高校生レベルの実力はあると長州に言われた飯塚のキャッチレスリングは、試合前からなんとなく危惧していたとおり、凡戦に終わってしまったわけである。

まあ、高校生レベル対決なのだから仕方ないと言ってしまえばそれまでなのだが、負けるわけにはいかない対抗戦。しかもキャッチルール。こうなる可能性は十分にあったのだから、週プロのリポートのように鈴木を責める気になれないのが本音だ。

それよりも解説席にいたライガーと鈴木との舌戦のほうにこそ、スポットを当てるほうが面白いと思うのだが、どうだろうか？

なにしろ、互いに「バ〜カ」と言い合う小学生レベルの口喧嘩。それがテレビ中継（カットされなければ）されると思うと今から楽しみになってくる。

そもそもこの口喧嘩は飯塚がマウスピースをしていないと、鈴木がアピールしたところから始まったらしい。そのアピールを目にしたライガーが、「マウスピースをするのは自由と試合前に決まっていたんだよ。アイツはルールも知らないでリングに上がってるのか、バ〜カ」と、鈴木に聞こえるように言ったことから火の手は上がる。

鈴木とすれば飯塚の額を手の平で押すなど気持ち良く格下扱いして楽しんでいたところを水をさされた結果となり、頭に血が昇るは、動きは固くなるはと、本当にライガーの解説はタチが悪かったということなのだ。

2Rには組み手争いから足をつ

俺のプロレスが正しい！

★第5試合/キャッチレスリング（5分2R）
○鈴木みのる（パンクラスMISSION）×飯塚高史（新日本プロレス）●
（2R判定3-0）
※採点…20-19、20-19、20-19

▲マウントポジション、サイドポジションと鈴木は縦横に動き、一瞬のスキを見つけてアキレス腱固めへ！

▼鈴木のアキレスに対抗して飯塚も足を狙う。ところが、ここで鈴木は「極まってねえよ」と。飯塚は「極まってるよ」と言い返し、前代未聞の口喧嘩が勃発！

After the fight

鈴木のコメント（勝）

「今回、ルールで2Rって決まってたから、まあ最初から1R目は様子を見ようと。2R目のあのアキレス腱は極めたかったですね。（飯塚は）思ってた以上に体力もあるし、バランスもいいし、力もあったし。あのライガーの馬鹿の変な解説が途中で聞こえたんで"こいつはこんなことも知らねえのか"とか。くだらない、茶化すしかできないんですよ。（鈴木選手にとって新日本とは？）敵です」

飯塚のコメント（負）

「当然、緊張感もありましたし。やっぱ昔をちょっと思い出しましたけど。パンクラス対新日だったんですけど、個人としても負けられないなと。（闘い終わった後に話しかけてたのは？）まあ"またやろう"ってことです。俺もね、このままじゃ終わらせたくないし、アイツとやって勝ちたいし向こうも納得していないだろうし」

▲試合後は飯塚のセコンド中西学と握手。新日本対鈴木みのるの闘いはまだまだ続く

グラウンドで圧倒！渋谷、一本勝ち！

▲1Rは新日本の矢野通の腰の重さに苦戦した渋谷だったが、いったん寝かせて上を取れば完全に渋谷ペース

▲マウントパンチを連打し、ひるんだところを腕十字。教科書どおりの攻めで見事一本勝ち！（2R2分25秒）

▲1Rは押していた矢野だが、一本負けに呆然。対抗戦初戦はパンクラスの完全勝利だった

かみ、飯塚を倒すとすかさずマウントを奪取。さらにはサイドを取ったりとポジショニングを楽しんだのちアキレス腱固めに移行。飯塚も足を極めにいくが、この時、鈴木は「極まってねえよ」とライガーに聞こえるように挑発！　飯塚&ライガーは「極まってるよ！」と言い返したり、もはや試合は鈴木VSライガー&飯塚組という様相を呈していたわけだ。

はっきり言ってこういう状態で試合に集中するのは至難の技。しかも打撃がないから観客に伝わりやすい怒りの表現も出しづらい。これが凡戦に見えてしまった最大の原因だと思うのである。

だから会場のファンはこの試合を楽しむことはできないのは当然であり、試合後、鈴木が「全世界の格闘家、プロレスラー、俺たちがパンクラスだ！　ナメるな、バ～カ！」とマイクアピールしたことの意味も分からないのであった。

あのバ～カとは観客ではなく、ライガーに向かって言っていたのである。「弱いからそこに座っているのかよ、オメーなんかいつでもブチ殺してやる！」という、その後の鈴木のアピールは、観客にも届かせようとした鈴木の親切心であって行儀が悪いわけではなかったのだ。

いや、ホントに鈴木みのるという男は面白い。パンクラスの中で常に異質であり、プロレス・格闘技界でさえも異質な存在感を見せる彼の試合は、いついかなる時でもリング外の動きを見据えているから目が離せない。

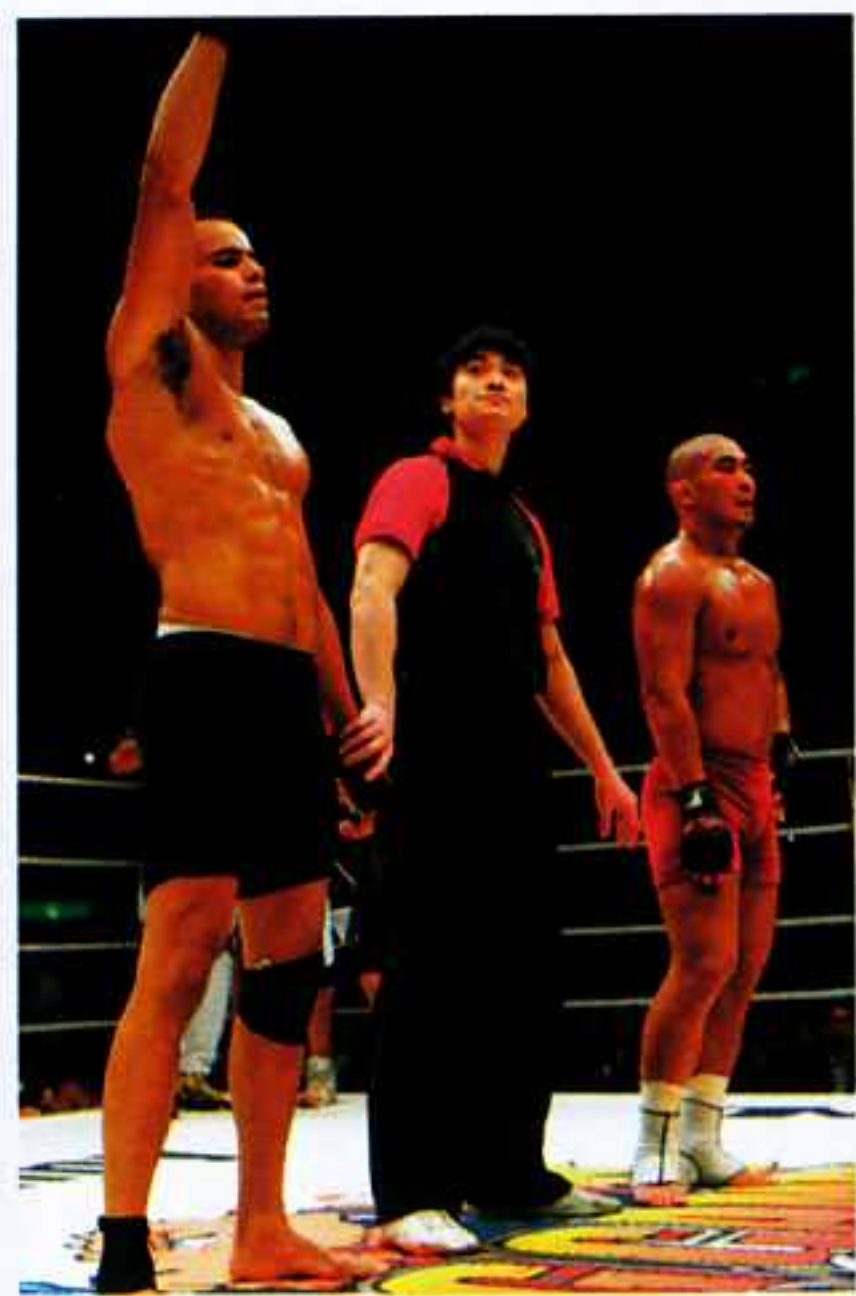
テレビ中継が楽しみだ！

（ブチ）

國奥、血まみれ！

グレイシーとの打撃戦に散る！

▼3－0の判定負け。負けたとはいえ、國奥の意地の闘いは十分に評価できるだろう

▶顔面に蹴りを叩き込むクラウスレイ・グレイシー。総合の闘い方を熟知していた

◀國奥のパンチは何度もクラウスレイの顔面を捕らえてグラつかせていた。だが、クラウスレイの反撃も鋭く突破口にならなかった

右の眉をカットされ、たびたびドクターチェックとなった國奥。それでも果敢に打撃戦を挑んでいった

★第6試合/ミドル級5分3R
○C・グレイシー × 國奥麒樹真●
〈ハウフ・グレイシー柔術アカデミー〉 〈パンクラスism〉
（3R判定3-0）
※採点…30-28、30-29、30-28

初の総合格闘技戦に挑むクラウスレイ・グレイシーは、新世代のグレイシーらしく打撃のテクニックもタックルも完全に熟知している様子。1R最初は國奥と打撃戦を展開し、国奥のパンチが大きくなってくるとすかさずタックルにいくなど試合巧者ぶりを発揮する。しかもテイクダウンしてからは自ら立ち上がって顔面を踏みつけにいくなど寝技にこだわるわけではないのが闘いづらい。2Rでは完全に打撃戦となり、國奥も積極的にパンチを振っていく。ところがクラウスレイの左フックが国奥のテンプルを捕らえ、國奥はダウン気味に倒れ、マウントまで奪われて攻め立てられる。3Rにはクラウスレイの右ストレートを浴びた國奥が眉をカットし、流血。ドクターチェックののち試合は再開されるも打撃戦は続き、國奥の顔は見る見る血まみれとなる。それでもひるまない國奥は何度かクラウスレイをグラつかせることに成功するが、倒すに至らず、ゴングとなってしまった。残念だ！　（ブチ）

尾崎社長の総括

「次に何をやるべきかが見えた大会でしたね」

「覚悟を持って今回、試合したんで（ベルトが）流出したことに関してはしょうがないです。近藤に関しては誇りに思ってます。よくやったと思います。カードを決めた時は全敗でもおかしくないと覚悟してたので、お客さんには、判定が多くて不満もあるでしょうし、僕らもKOとか一本がほしかったんですけど、選手たちはよくやったと思います。（ジョシュの）防衛戦はウチのリングじゃなければできないということではないんで。ウチのオフィシャルジャッジ、レフェリーとルールがあれば。（ジョシュVS髙橋戦は）上井さんとお話して結論を出していきたいです。最終的にジョシュ選手からタイトルを奪うのはウチの選手だと僕は思ってます。パンクラスがこれから何をすべきか、何をやらなければいけないかが出てきた大会でしたね。最初からお祭りにする気はまったくなかったんで。次につながる10周年興行だったと思います。そういう意味では満足です」

▶休憩明けにパンクラス顧問・船木誠勝が挨拶。名台詞の数々で一部を騒然とさせた。「パンクラスは旗揚げ当初から完全実力主義を打ち出して……いや、疑問に思う人もいるかもしれないですけども、実際そうやってやってきました。フタを開けてみないとどういう興行になるか分からない。今回の10周年興行も、前半、なんとなくそういう形になってます。これからはもっとシビアな目でパンクラスを見てください。これからも応援、罵声、たくさん待ってますんで、どんどん投げていってください」

▼観衆は主催者発表で1万500人（満員）。パンクラスファンはもちろん、新日ファンも数多く詰め掛けていた

9.15 DEEP
最終情報!
大田区体育館大会

いざ、9・15DEEP秋の陣!

上山龍紀&長南亮

vs 桜井"マッハ"速人戦!

vs 須田匡昇戦!

U-FILE 2番勝負!

9・15DEEP大田区体育館大会。上山龍紀と長南亮というUファイル勢の2人が須田匡昇と桜井"マッハ"速人との大一番を迎える! 崖っぷちで防衛戦に臨む上山。マッハの『プライド 武士道』出場阻止を狙う長南。DEEP秋のビッグマッチに挑む2人の意気込みをガチャーッとお届けする。

DEEPミドル級チャンピオン

上山龍紀

ベルト防衛に絶対の自信アリ！

9・15DEEPで行われるミドル級タイトルマッチはチャンピオン上山龍紀にとって初の防衛戦となる。だが、3月にノンタイトルで桜井“マッハ”速人と対決で敗れた上山は初防衛戦にしてすでにあとがない状況。この土壇場で迎える相手は修斗とスーパーブロウの2冠王・須田匡昇という強敵だ。果たして上山はベルトを守りきれるのか！

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎山口比佐夫

——今回DEEPで須田選手とタイトルマッチということになりましたけど、その前にマッハ戦についてやっぱり聞いておきたいですね。

上山　最初のヒザありましたよね。あれで記憶が飛びまして覚えてないんですよね、試合内容を。だから、最初の1分だったら語れるんですけど。

——ヒザっていうのは4点ポジションのヒザ蹴り？

上山　はい。僕安心してたんですね。両手両足付いてるからヒザ蹴りはこないなって。でも、ダ～ンッてきて「あれ？ルール変わったのかな？」って思ってたら。

——記憶が飛んだと（笑）。田村さんが「反則だ」って言ってリングに上がったんでしたよね。

上山　でも、それも後から聞いて、「そうだったんだ」って。

——ビデオで見た感想は？

上山　う～ん、記憶飛んでたわりにはよくやったんじゃないかと（笑）。本当体調が最悪でしたからね。拳も骨折してたんで、打撃も使えないんで。

——そういえば、あの頃試合数がかなり多かったですよね。

上山　はい。1カ月に3試合ぐらい。

——やってましたよね。あの時期は、Uファイルがガ～ッときてた時で興行も増えてたし、Uファイル独自の興行もあったし。だから、上山さんが出る以外なかったっていうのは凄くあったと思うんですよね。いま考えると。男の中の男だよって、田村さんが言ってもいいぐらいの働きはしてましたけどね（笑）。

上山　まぁ言われてもちょっと怖いですけどね。

——「また頼むぞ」って言われそうですもんね。

上山　フフフ。

——さすがにマッハさんも「俺をナメるなよ」と試合後に言ってましたからね（笑）。

上山　もうボロボロの状態で上がりました。取材では「大丈夫です」とかって言ってたんですけど、内心は「絶対ダメだ」って思ってて。でも、今回は大丈夫なんで。やってみないと分からないですけど自信はあります。

——それは非常に期待できますね。とはいえ、今回上山選手は初の防衛戦で既に正念場っていうところがあると思うんですね。

上山　試合するのも半年ぶりなんで、そ

ういう不安もあるんですけど。

―それに須田さんっていうのは、また修斗の選手ですからね。

上山 そうですね。今、須田選手って2冠ですよね、修斗とスーパーブロウルの。ここ最近でも凄く強くなってると思うし、全体的に凄くバランスのいい選手。アラがないと思うんですよ。

―そういう人とタイトルマッチですから力が入ってくると思うんですよね。

上山 そうですね。試合当日までまだ分かんないですけど、ケガしないでいったのなんて1年ぶりなんですよ。だからちょっとこのままのベストコンディションでいったら面白いんじゃないかって。本当かなりの自信がありますね。

―いいですね。だけど本当、僕ら須田さんが強い人だっていうのはもちろんあるんですけど、やっぱり元Uインターの男として頑張ってほしいですね。それに須田さんって柔道もやってたんで、かなり無理矢理ですけど、田村VS吉田戦の雪辱みたいなものも見てみたいですね。

上山 はい（笑）。

―こう言うとアレですけど、須田選手は柔道衣を着て来てほしいぐらいですね（笑）。それで上山さんは入場曲を変えて、ヒゲも伸ばしたままで。

上山 いま、ちょっと伸びてますからね（笑）。

―ともかくDEEPよりももっと上。『プライド』とか、『武士道』のほうも狙っていってほしいんですよ。自信満々って言うんで、信じますけどね。

上山 はい、それを信じてください。

―でも、練習とか大丈夫ですか。町田のジムがオープンして指導だってやらなきゃいけない状況ですけど。

上山 今、朝から晩までジムにいますね。練習もしてますけど、いろいろやらなきゃいけないんで。

―道場長ですからね。練習相手はいますか？

上山 ジム生相手にしたりとか、名前は言えないんですけど、いろんな選手も来てくれてるんで。重い人ばっかりなんで、凄い練習になりますね。

―ボクシングのほうも練習してますか。

上山 してますね。今、体調が良すぎて練習ができるんで体重が落ちてるのが心配なぐらいですね。

―それはマズいんじゃないですか。

上山 だから、いま食べるようにしてますね。

―ところで、何か試合後に言いたいこともあるそうですね。

上山 それは試合後に（笑）。僕、この世界に入ってまずチャンピオンになってそして防衛する、ここまでが目標だったんですよね。それをまず目標を達成したいなって思ってて、それが後一歩まで来てるんで。遠足もそうじゃないですか。

―帰るまでが。

上山 遠足（笑）。それと一緒で、チャンピオンも防衛するまでがチャンピオン。それをデカク載っけておいてください。遠足は、帰るまでが遠足。チャンピオンは防衛するまでがチャンピオン。

体調はこれまでで一番です。絶対に防衛できると思います

―じゃあまずチャンピオンの折り返し地点まで来てるわけですね。

上山 そうですね。後一歩です。今回かなり気合いも入ってるんで。で、田村さんの試合のセコンドにも付かせていただいて、力も入りましたし。

―で、試合後何を言いたいんですか？ヒントはありますかね？

上山 そうですねぇ。まだ考え中なんですけど、どうかなぁ、もし負けたらもうDEEPには上がんないかもしれないです。はい。

―でもそんなこと言ったって、田村さんが出ろって言ったら出るしかないと思うんだけど。

上山 それぐらいの気持ちで。

―じゃあ『武士道』？

上山 どうなんですかねぇ。その『武士道』もあんまり把握できてないんで。

―マッハさんがいるじゃないですか。

上山 いますねぇ。

―その辺は気持ちは動かないですか？

上山 どうですかねぇ。たぶん今回の勝敗によっても変わってくると思うんで。とりあえずこのタイトルマッチ終わってからですね、全ては。全然方向が違ってくるんで。だから正念場ですね。大事な試合です。

―最後に上山さんのゴールはなんですか。

上山 ゴールは、そうですねぇ……とりあえず師匠越えですかね。

―田村さん越えですか。

上山 自分は本当はUスタイルが一番やりたいんですよ。バーリ・トゥードも大切ですけど、元々はUスタイルやるためにこの世界に入ってきたんで。

―Uインターですもんね。

上山 だからそれをやっぱり一番に考えたいなっていうのはあります。それに考えてみたら自分バーリ・トゥードは6戦か7戦くらいしか経験ないんですよ。

―そういえばそうですね。

上山 DEEPで窪田選手とやったのがあれが初めてなんですよ、何気に。

―つまりバーリ・トゥード一年坊主だと（笑）。

上山 考えたら（笑）。

―それを言ったら田村さんもそんなにやってないですからね。ということを考えるとUファイルの選手はなんか凄いですね。かたやDEEPミドル級チャンピオン、かたや金メダリストを苦しめた人というか。センスがいいんですかね（笑）。

上山 それ書いといてください（笑）。

―センスが良くてベストコンディションの上山さんに期待します！ ■

◀3月4日に行われたマッハとのノンタイトル戦は最初の4点ポジションでのヒザ蹴りで記憶が飛び、無意識状態で闘っていたという上山

U-FILEの異端児 長南亮

マッハの武士道出場阻止宣言！

昨年12月のDEEPで須田匡昇と歩けないような足の状態ながら3R闘い抜き、その底力を見せた長南亮。田村潔司率いるU-FILE CAMPでは他の選手とひと味違う雰囲気を醸し出している男だ。その長南の次なる相手は、上山に圧勝しているマッハに決定。初のビッグネームを前にも、まったく臆することのない長南の声を聞けぇぇぇ!

撮影◎山口比佐夫
聞き手◎小松魔裟夫

——長南さんはうちの取材は初めてだと思うんですけど、Uファイルの中では異端児的なイメージがありますよね。

長南 そうですね。あの枠の中にはまとめられたくないっていうのはありますね。まぁ、自分よりも若い選手が多いので、あえて言わせてもらいたいことなんですけど。危機感が感じられないんですよね。だって、田村さんの名前で試合に出られるわけじゃないですか？ よそよりも試合に出ることに関しては、有利だと思うんですよ。出られるんだから、チャンスを生かさないと。結構みんな簡単に負けているんじゃないかなぁと思うんですよね。次に負けたらやばいぞっていう危機感がないというか欠けてますね。他のUファイルの連中と自分が違うのは、見てくれも違うと思うんですけど、一番違うのは意識だと思うんですね。自分なんかはよそを見ているんで。

——よそ?

長南 結構、出稽古に行っているんで、自分。もっと恵まれていない環境でやっている選手もいるわけじゃないですか。フリーの選手とか、大きなところに所属していない選手なんかは、もっと強さに貪欲なんですよね。練習姿勢なんかでも。

——その辺から、いい意味でUファイルの中で浮いているっていうイメージは感じますね。ところで、その出稽古はかなり前から行っているんですか？

長南 去年の6月のDEEPで石川英司選手と闘った後からですかね。その前に5月2日に実家のほうでバイクで事故りまして（笑）。

——ワッハハハハ。サラッと言いますね。

長南 試合には間に合ったんですけど、ヒジがぱっくり割れまして（笑）。80歳ぐらいのおじいちゃんが軽トラックで飛び出してきて、バイクは廃車になり、それで2週間ぐらいほとんど動けなくて、仕事もできないし、練習もストップしてしまったんですよ。それで髙阪さんにお願いして、練習させてもらう形を作ってもらったんですよ。それからですね。

——なるほど。そもそも格闘技はいつから始めたんですか？ 極真なんですよね。

長南 そうですね。高校の時に2年半ほどやっていたんですけど、雑念の多い時期だったんで（笑）。やってたって言っていいのかっていうぐらいしかやっていないですね。審査会も行かなかったし、だから普通の緑帯で止まっちゃっているんですよ。東京に出てきて、Uファイルに入る前までは現場でずっと働いていまし

たね。

―東京にはなんで出てこられたんですか？

長南　あの頃は若かったんで、いろいろありましたけど、とりあえず地元を離れたかったんで。野望がいっぱいあったんですよ。

―野望！　どんな野望があったんですか？（笑）。

長南　いろいろありましたね、あん時は（笑）。でも仕事以外何一つ満足にできなかったんで、5年ぐらい経った時に、これじゃあ地元にいるのと一緒だと思ったんですよ。格闘技は好きだったんで、とりあえず好きな格闘技をやってみようと。ちょうど会社を変わった時で、ジムの近くにある会社を探そうと思って、まありングスが好きだったんで、それが一番の理由でUファイルに入ったんですよ。

―プロデビューは自分の意志で考えたんですか？

長南　微妙ですね。ジムに入って1年ぐらい経った時に、自分にプロの試合の話が来て、こんなヤツがプロの試合に出ていいのかなぁと思ったんで。こんないつも力仕事をしてから練習して疲労も溜まっているし、物理的に考えて不可能だと思ったんですよ。

―でも、その肉体労働が格闘技をやる下地になっているような気がしますね。

長南　あ、それはありますね。空手をやめてから5年間何もやっていなかったんで、普通できるわけないっていうか、肉体的にも学生時代と比べて落ちてきていると思うんですよ。でも、若い連中とやっても力は自分のほうがあるし、動きもいいし、毎日汗流していたおかげだと思うんですよ。

―なるほど。長南さんの格闘技界での目標ってなんですか？

長南　デビューした時は上にいきたいっていうのはあったんですけど、今は有名になりたいとかじゃなくて、とにかく強い人と闘いたいというのがありますね。考え方的に言うと、武道的っていうか。修行だと思うんですよ、練習も試合に出ることも。試練を乗り越えて、肉体的な強さだけじゃなくて、精神的な部分を磨いていきたいっていうのが、格闘技やっているうえでの目標ですね。引退しても、そういうところで培った精神力はいろんな分野で役に立つと思うんで。

―ということで、強いマッハ選手との試合ですね（笑）。

長南　願ってもない相手ですね。

―どうですか、マッハさんは。同じジムの上山さんが負けてしまいましたけど。

長南　そんなに周りが騒ぐほど、2人の差はなかったなと思うんですよね。ポジショニング的には上山さんのほうが良かったと思うんですけど、マッハさんのほうは攻撃力があったっていう感じで。

―マッハさんの印象はどんなふうに受けましたか？

長南　やっぱり強いですよね。でも、必要以上にとらえないようにしているんですよ。最初、必要以上に大きくとらえていたんですね。でも、ずっと出稽古に行ってって、強い選手と練習すると、べつにマッハ選手が最強なんじゃないんだなぁと思ったんですよね。勝って、自分ももっと上の選手と闘いたいっていうふうに、意識が変わってきて。それまでは大一番だと思っていたんですけどね。

マッハさんの『プライド』出場を阻止する楽しみが増えましたね

―出稽古が精神的にもいい作用を及ぼしているんじゃないですか？

長南　実際、気持ちの面だけでなく、肉体の面でもそうですね。高瀬選手とスパーをやると寝技は凄い強いし。

―え？　もしかしたら、出稽古先は吉田道場？（笑）。

長南　吉田道場ですね。ああ、でもそれは吉田VS田村戦が終わってからですけどね。前から行きたかったんですけど、さすがにやばいだろうと思って（笑）。

―ああ、そうなんですか。まあ、マッハ戦なんですけど、さっき撮影の時にも「『プライド武士道』に出させない」って言っていたじゃないですか。

長南　一言欲しかったですよね。「『プライド武士道』には出ますけど、その前に長南戦頑張ります」とか。そういうのがなくて、何事もなかったかのようにすぐ「『プライド』出ます」みたいにしていたのが見ていてムカついて（笑）。まあ、いいんですけどね、上の選手ですから。こっちはこっちでそれを阻止する楽しみが増えましたから。

―じゃあ、逆に燃えますよね。

長南　そうですね。それがあったから、精神的にプラスになりましたね。

―長南さん自身、『武士道』や『プライド』に上がりたいっていう気持ちはありますか？

長南　そうですね。上のステージですし。上のステージイコール強くて魅力のある選手がいっぱいいるということですからね。ただ、出るにあたって田村さんの名前は出たくないし出てはいけないと思うんですよ。出させてもらえるのはありがたい話なんですけど、実績の話じゃないなら、出たくないですよね。

―実力を評価してくれと。特に今は強い日本人選手を望まれていますからね。

長南　でも、もう何年かしたら世界に勝てない状況ではなくなると思うんですよ。柔道とかレスリングの選手もこっちの世界を狙っているし、レベルは凄い上がっていると思うんですよ。だから、これから日本の逆襲が始まっていくんじゃないですかね。

―じゃあ、その先頭に立って、闘うと。

長南　先頭っていうか、今いる世代で自分たちの時代を作っていきたいですね。■

DEEP 12th IMPACT in OHTAKU

《決定対戦カード》

★DEEPミドル級タイトルマッチ

上山龍紀〈王者/U-FILE CAMP.com〉	vs	須田匡昇〈挑戦者/CLUB J〉
桜井"マッハ"速人〈マッハ道場〉	vs	長南 亮〈U-FILE CAMP.com〉
ドス・カラスJr〈AAA〉	vs	ブラッド・コーラー〈Team Extreme〉
三島☆ド根性ノ助〈総合格闘技道場コブラ会〉	vs	加藤鉄史〈PUREBRED大宮〉
MAX宮沢〈荒武者総合格闘術〉	vs	百瀬善規〈禅道会〉
桜井隆多〈総合格闘技R-GYM〉	vs	藤沼弘秀〈荒武者総合格闘術〉
石井 淳〈超人クラブ〉	vs	鋼 侍〈総合格闘技塾　破天荒〉

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

9/12,9/19の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によって放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは9月5日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25時40分～26時10分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

注意！

放送休止のお知らせ！

9月26日のSRSはお休みさせていただきます。くれぐれもご注意ください！

9/12

飛び出せ日本人ファイター！

『PRIDE 武士道 事前特集』

9月12日（金）25:40～26:10

10月5日（日）、さいたまスーパーアリーナにて開催される『プライド』の新ブランド、『PRIDE 武士道』の事前特集を放送予定！　異種格闘技戦やチーム対抗戦など『プライド』とは一味違ったものを行っていくというこの大会。8.10『PRIDE GP 2003 開幕戦』では、出場予定選手として桜井“マッハ”速人、三島☆ド根性ノ助らが紹介されるなど期待度満点！　果たして誰が参戦するのか？いったいどんな仰天カードが飛び出すのか？　ファン大注目の『PRIDE 武士道』をSRSでは総力をあげて徹底取材します！　お楽しみに！

やはりエースはマッハか!?

9/19

鋭意企画中！

9月19日（金）25:40～26:10

申し訳ございません！　9月19日放送分に関しては、現在企画中でございます。アッと驚くような内容を用意する予定なので、オンエアを楽しみにお待ちください！

必見！

フジテレビ系列の番組から BSフジ

9/11（木）～15日（月）19:00～20:55（延長あり）
『世界柔道2003 決勝ラウンド』（完全生中継）

※地上波、CSの放送スケジュールは、P70～71の『TV GUIDE』を参照。

◆フジテレビ『世界柔道2003』公式ホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/sports/judo/index2.html

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
9/11（木）	フジテレビ739	世界柔道2003 第1日 予選ラウンド	9：50～16：30	『世界柔道2003』第1日 予選ラウンドを生中継。男子100キロ超級・棟田康幸&100キロ級・井上康生、女子78キロ超級・塚田真希&78キロ級・阿武教子
	スポーツ・アイ ESPN	新極真魂	12：30～13：00	最強の格闘技とは何か？ 故大山総裁が築き上げた空手道を継承する極真戦士達をあらゆる角度から掘り下げ、その強さを探る。再放送9/13・21：00～、15・23：30～、16・24：30～、17・21：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	16：00～17：00	キックボクシングフリークにお送りするキック専門番組。キック界の最新情報や試合速報、選手のゲスト出演など、まさにキック版『生でGONG×2！』MCは大江慎、片岡未来
	フジテレビ	世界柔道2003 第1日 予選ダイジェスト	16：00～16：59	『世界柔道2003』第1日 予選ラウンドの模様をダイジェストで放送
	フジテレビ	世界柔道2003 第1日 決勝ラウンド	19：00～20：54	『世界柔道2003』第1日 決勝ラウンドの模様を生中継
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	総合から空手、キックまで格闘技界の最新情報満載！ 再放送9/12・15：00～、13・8：30～、17・17：00～と23：30～、20・8：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	20：30～21：00	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。再放送9/12・15：30～、13・9：30～、17・17：30～、20・9：00～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	K-1、PRIDEなどの格闘技イベント最新情報「Featuring event」や旬の格闘家を紹介する「Featuring Fighter」などをぎっしり詰め込んだ300秒。再放送9/12・24：52～、13・17：22～、14・12：22～
	フジテレビ739	世界柔道2003 第1日 決勝ラウンド	23：50～27：10	『世界柔道2003』第1日 決勝ラウンドの模様を録画中継
	Jスカイスポーツ2	ワールド修斗	24：00～26：00	5.31にアメリカ・インディアナ州で開催の『ミッドウエスト・ファイティング・チャンピオンシップ』を放送。再放送9/12・14：55～、13・12：55～
9/12（金）	フジテレビ739	世界柔道2003 第2日 予選ラウンド	9：50～16：30	『世界柔道2003』第2日 予選ラウンドを生中継。男子90キロ級・矢嵜雄大&81キロ級・秋山成勲、女子70キロ級・上野雅恵&63キロ級・谷本歩実
	フジテレビ	世界柔道2003 第2日 予選ダイジェスト	16：00～16：59	『世界柔道2003』第2日 予選ラウンドの模様をダイジェストで放
	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	16：55～17：55	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。9.21修斗・名古屋大会の阿部裕幸vsジョン・ホーキ戦直前情報ほか。再放送9/14・11：55～、15・17：00～、16・26：00～、17・7：00～
	フジテレビ	世界柔道2003 第2日 決勝ラウンド	19：00～20：54	『世界柔道2003』第2日 決勝ラウンドの模様を生中継
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの『PEIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.11』#2。再放送9/17・24：30～
	フジテレビ739	世界柔道2003 第2日 決勝ラウンド	23：50～27：10	『世界柔道2003』第2日 決勝ラウンドの模様を録画中継
	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00	9/11を参照。 再放送9/13・11：00～、14・27：00～、18・16：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイ ESPNと同内容
	フジテレビ	SRS	25：40～26：10	➲P69
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	26：00～27：00	7.21に開催の『第73回新空手道交流大会』を放送
9/13（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	8：00～8：30	9/11を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	9：00～9：30	9/11を参照
	フジテレビ739	世界柔道2003 第3日 予選ラウンド	9：50～16：30	『世界柔道2003』第3日 予選ラウンドを生中継。男子73キロ級・金丸雄介&66キロ級鳥居智男、女子57キロ級・茂木仙子&52キロ級・横澤由貴
	BS朝日	ワールドプロレスリング 完全版	15：30～17：53	休止
	フジテレビ	世界柔道2003 第3日 予選ダイジェスト	16：30～17：30	『世界柔道2003』第3日 予選ラウンドの模様をダイジェストで放送
	フジテレビ	世界柔道2003 第3日 決勝ラウンド	19：00～20：54	『世界柔道2003』第3日 決勝ラウンドの模様を生中継
	フジテレビ739	世界柔道2003 第3日 決勝ラウンド	23：50～27：10	『世界柔道2003』第3日 決勝ラウンドの模様を録画中継
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	8.28大阪府立体育館大会。中西学VS村上一成ほか
9/14（日）	フジテレビ739	世界柔道2003 第4日 予選ラウンド	9：50～16：30	『世界柔道2003』第4日 予選ラウンドの模様を生中継。男子60キロ級・野村忠広&無差別級・鈴木桂治、女子48キロ級・田村亮子&無差別級・薪谷翠or塚田真希
	フジテレビ	世界柔道2003 第4日 予選ダイジェスト	16：00～17：25	『世界柔道2003』第4日 予選ラウンドの模様をダイジェストで放送
	フジテレビ	世界柔道2003 第4日 決勝ラウンド	19：00～20：54	『世界柔道2003』第4日 決勝ラウンドの模様を生中継
	フジテレビ739	世界柔道2003 第4日 決勝ラウンド	23：50～27：10	『世界柔道2003』第4日 決勝ラウンドの模様を録画中継
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	24：25～25：55	9.12日本武道館大会を緊急1時間拡大スペシャルで放送。小橋建太VS永田裕志ほか
9/15（月）	フジテレビ739	世界柔道2003 最終日 予選ラウンド	13：00～16：00	『世界柔道2003』 最終日 予選ラウンドを生中継。男女国別団体トーナメント
	パーフェクトチョイス Ch.176	DEEP 12th IMPACT	15：00～	9.15大田区体育館大会を完全生中継。上山龍紀VS須田匡昇、桜井"マッハ"速人VS長南亮ほか。詳しくは『DEEP 12th IMPACT』PPV情報にて
	フジテレビ	世界柔道2003 最終日 予選ダイジェスト	16：00～17：24	『世界柔道2003』最終日 予選ラウンドの模様をダイジェストで放送
	フジテレビ	世界柔道2003 最終日 決勝ラウンド	19：00～20：54	『世界柔道2003』最終日 決勝ラウンドの模様を生中継
	フジテレビ739	世界柔道2003 最終日 決勝ラウンド	23：50～27：10	『世界柔道2003』最終日 決勝ラウンドの模様を録画中継
9/16（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継 ZST	22：00～24：00	9/7にZepp Tokyoで開催の『ZST4』を放送。再放送9/17・19：00～、21・15：00～、25・25：00～
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	『プライドX』吉田秀彦編
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	アメリカから『Smack Down』の最新映像をお届け。出演：ガレッジセールほか
9/17（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	9/11を参照。再放送9/18・20：30～、19・15：30～、20・9：30～、21・27：00～、24・17：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継 DEEP	25：00～27：00	7.13『DEEP 11th IMPACT』グランキューブ大阪大会。三島☆ド根性ノ助VS今成正和ほか。再放送9/20・15：00～、25・10：00～
9/18（木）	Jスカイスポーツ1	ワールド修斗	9：00～11：00	9/11のJスカイスポーツ2を参照。再放送9/19・23：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	9/11を参照。再放送9/19・15：00～、20・8：30～、21・27：30～、24・17：00～と23：30～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20：00～22：00	船木ヒストリー#12
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	9/11を参照。再放送9/19・19：22～、20・17：22～、21・12：22～
9/19（金）	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20：00～22：00	船木ヒストリー#13
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	9/12を参照。『PRIDE.11』#3。再放送9/24・24：30～
	スポーツ・アイ ESPN	新極真魂	23：00～23：30	9/11を参照。再放送9/20・17：00～、23・10：30～

ON THE AIR 9/11～9/26

格闘技番組ガイド TV&RADIO

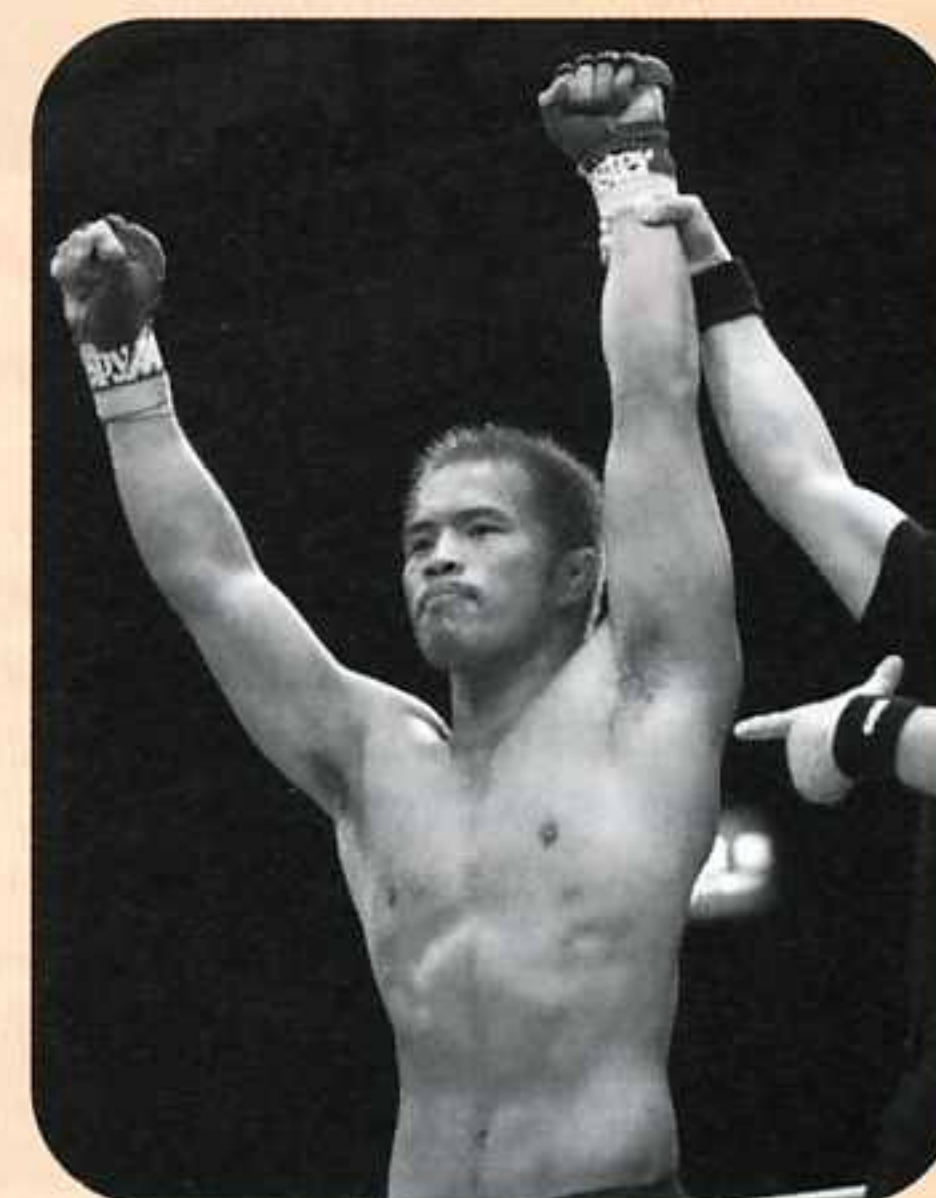
『DEEP 12th IMPACT』PPV情報！ パーフェクトチョイス CH.176

9月15日（月・祝）15:00～試合終了までの完全生中継！
視聴料金：2,000円/番組
※14:30より事前カウントダウン番組（ノースクランブル放送）あり

◆再放送スケジュール

9/15（月･祝）21:00～（Ch.177）
9/16（火）21:00～（Ch.176）
9/17（水）21:00～（Ch.177）
9/18（木）21:00～（Ch.176）
9/19（金）23:00～（Ch.176）
9/21（日）21:00～（Ch.176）
9/25（木）21:00～（Ch.176）

◆お問い合わせはスカイパーフェクTV！カスタマーセンター　☎0570-039-888（受付時間10:00～20:00）

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
9/19（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00	9/11を参照。再放送9/20・11：00～、21・26：00～、23・27：00～、25・16：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイESPNと同内容
	Jスカイスポーツ1	SHOOT 3/60	25：00～26：00	9/12のJスカイスポーツ2を参照。再放送9/22・11：00～、23・21：00～
	フジテレビ	SRS	25：40～26：10	➲P69
9/20（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング　完全版	15：30～17：53	休止
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	17：30～19：00	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。80.9.30NWF認定ヘビー級選手権、アントニオ猪木VSケン・パテラ戦ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　修斗	19：00～21：00	9.5後楽園ホール大会。山本“KID”徳郁VSカレブ・ミッチェル、新人王トーナメント各階級準決勝戦ほか。再放送同日・25：00～
	GAORA	角田信朗チャンネル～魂のもと～	21：00～22：00	「愛と涙と感動の浪花男」K-1戦士・角田信朗を応援していく番組。格闘技界そしてタレントとしても活躍する角田信朗の素顔に迫る。再放送9/21・19：00～、23・18：00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	9.14名古屋レインボーホール大会。蝶野正洋、坂口征二VS高山善廣、真壁伸也ほか
9/21（日）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	18：30～20：00	9/20を参照。81.5.1タイガーマスクVSダイナマイト・キッド、アントニオ猪木VSスタン・ハンセン（NWF封印試合）ほか
	日本テレビ	K-1 SURVIVAL 2003	21：00～22：24	9.21横浜アリーナで開催の『K-1 SURVIVAL 2003』を即日放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE特別番組（仮）	22：00～24：00	ミドル級GP検証などを予定。再放送9/23・25：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：25～25：55	9.12日本武道館大会
9/22（月）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	18：30～20：00	9/20を参照。81.9.23スタン・ハンセンVSアンドレ・ザ・ジャイアント、アントニオ猪木VSタイガー戸口ほか
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20：00～22：00	6.7ディファ有明大会。KEI山宮VSニルソン・デ・カストロほか
9/23（火）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	18：30～20：00	9/20を参照。81.11.6アブドーラ・ザ・ブッチャーVSディノ・ブラボー、アントニオ猪木VSラッシャー木村ほか
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20：00～22：00	6.22大阪・梅田ステラホール大会。稲垣克臣VS國奥麒樹真ほか
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	『プライドX』エメリヤーエンコ・ヒョードル編
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	9/16を参照
9/24（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	9/11を参照。再放送9/25・20：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	9/17を参照
9/25（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	9/11を参照
	GAORA	週刊格闘JAM!	21：52～22：00	9/11を参照
9/26（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00	9/11を参照
	フジテレビ	SRS	25：40～26：40	休止

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『K-1 WGP 2003 in ラスベガス・バーゼル・パリ』

発売：ポニーキャニオン　制作：フジテレビ映像企画部
DVD4,800円（税別）/9月18日（木）発売

今年のワールドGPも熱いぜ！

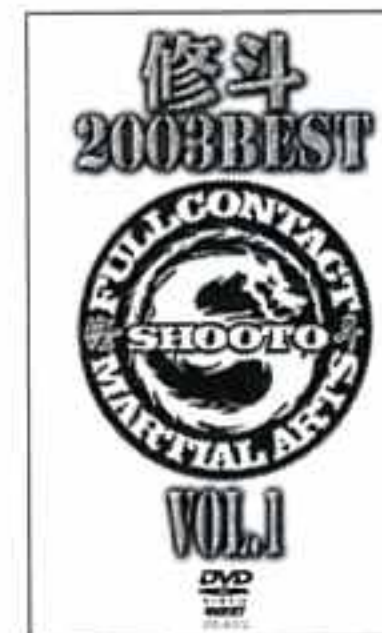
K-1オフィシャルDVDシリーズ第3弾は、ナント5.2ラスベガス大会、5.30バーゼル（スイス）大会、6.14パリ大会の3大会を完全網羅！『K-1 WORLD GP 2003 開幕戦』の出場権を賭けた予選トーナメントはいずれも激戦ばかり。ラスベガスをカーター・ウィリアムス、バーゼルをピヨン・ブレギー、パリをアレクセイ・イグナショフがそれぞれ制し、10.11開幕戦の切符を手にした！　トーナメントでの名勝負、名場面もバッチリ収録！　開幕戦をさらに楽しむための予習にはもってこいだ！　他にも角田信朗引退試合や、ジェロム・レ・バンナ復帰戦などワンマッチも見どころ充実！　特典として『角田信朗引退！　データ＆フォトグラフ』が付いちゃうということで、これはもう見逃せないぞ！

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『修斗 2003 BEST vol.1』

発売：クエスト
DVD円5,600円（税別）/9月19日（金）発売

2003上半期の総集編が早くも登場！

長年の悲願であった世界タイトルの制定を果たした修斗。その記念すべきメモリアルイヤーとなった2003年は、競技人口の増加とレベルアップを裏付ける数多くの名勝負が生まれた。修斗トップランカー同士の激闘、そして虎視眈々と次代を狙う恐るべきニューフェイスの台頭など今年も激しいうねりが巻き起こる！　この作品にはナント全25試合も収録！5月9日、ハワイで行われた『スーパーブロウル29』の須田匡昇VSイーゲン井上、山本“KID”徳郁VSジェフ・カーランなどファンにとっては見たくてたまらないカードが目白押しだ！　［他の主な収録試合、植松直哉VSジョン・ホーキ（1.24後楽園）、佐藤ルミナVSヨアキム・ハンセン（3.18後楽園）、ホブソン・モウラVS漆谷康宏（5.4後楽園）］

〈新作紹介❸〉 It's HOT!

『リトアニア BUSHIDO』

発売：クエスト
DVD5,600円（税別）/9月19日（金）発売

異国の地で日本人戦士が大暴れ！

アメリカ、ブラジル、オランダ、ロシア、そして日本。格闘技先進国として名前が挙がる各国に対し、スカンジナビアやバルチックなどの北欧諸国は、長く格闘技不毛の地と思われてきた。しかし近年、修斗で佐藤ルミナ、五味隆典らを破ったヨアキム・ハンセンをはじめ多くの選手が頭角を顕わしており、いま格闘技界で注目が集まりつつある地域となっている。この作品は4月5日、リトアニアの首都ヴィリニュスで行われた『BUSHIDO』の模様を収録！　PRIDEヘビー級王者エメリヤーエンコ・ヒョードルのリトアニア初上陸や、小谷直之、今成正和、矢野卓見、所英男ら『ZST』勢の参戦など注目カードが目白押し！　観客が過熱するあまり軍隊まで出動するなど、いろんな意味でこれは必見だぞ！

RENTAL RANKING（8/1～8/31調べ）

1. 『褐色の貴公子 前田憲作』 クエスト
2. 『EVOLUTION 前田憲作VS立嶋篤史』 クエスト
3. 『シュートボクシング 最強バイブル』 クエスト
4. 『第7回コンバット・レスリング選手権大会』 クエスト
5. 『合気完成90日 合気行法』 メディアエイト

1位 『褐色の貴公子 前田憲作』
龍の魂が熱く燃える！

3カ月連続でレンタルランキングトップの座を守り抜いたこの作品。前田ファンにとっては忘れられないだろう1994年11月30日、マイケル・リューファットを必殺ブラスター・ソードで斬って落とした試合ももちろん収録。キック好きならこれは絶対に見るべし！

『フィットネスショップ格闘技　水道橋店』

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

ランキングにご協力いただいている格闘技ショップ『フィットネスショップ水道橋』では、9月21日（日）に『今成正和 足関柔術セミナー』、9月28日（日）に『弘中邦佳 柔術無料セミナー』を開催！　各セミナーとも定員になり次第締め切りますので、参加希望者はお早めに申し込みください！　詳しいお問い合わせは上記まで！

SELL RANKING（8/1～8/31調べ）

1. 『THE LEGEND of KINGDOM』 クエスト/10,000円（税別）
2. 『COMBAT WRESTLING 10th ANNIVERSARY』 クエスト/5,600円（税別）
3. 『御舘 透 ジークンドーへの道』 クエスト/5,600円（税別）
4. 『修斗 1997-1999』 クエスト/10,000円（税別）
5. 『BEST SELECTION OF THE CONTENDERS』 クエスト/5,600円（税別）

1位 『THE LEGEND of KINGDOM』
幻の王国が時をここに甦る！

オープンフィンガー・グローブを着用しての顔面打撃を認めるなど、過激なルールでありながら週1ペースで興行を行うという、あまりにもムチャな団体だったキングダム。若かりし頃の桜庭和志、高山善廣、金原弘光らの雄姿はまさに貴重映像だぞ！

※表示価格は全て税別価格

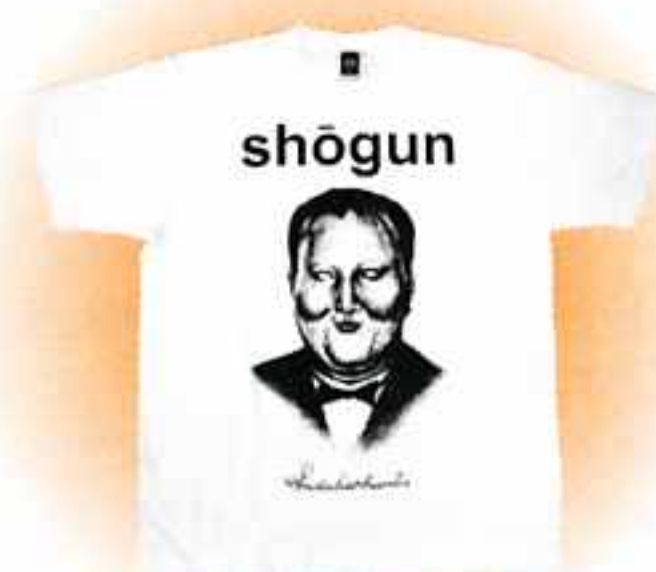
GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈おすすめグッズ❶〉 Recommend

『ショーグン・タニカワTシャツ』

グレート・アントニオ/3,500円（税別）

んあ～！　タイソンも知っていた!!

K-1イベントプロデューサーこと我らが将軍様のサダハルンバ谷川氏。先日、見事にマイク・タイソンとの契約を交わし、今まさにノリにノっている状態です!!　発売当初、「これはさすがに着れない」と言っていたアナタ！　今、このTシャツを着れば、運が上昇すること間違いなしですよぉー!!

〈おすすめグッズ❷〉 Recommend

『ボブ・サップTシャツver.4』

グレート・アントニオ/4,000円（税別）

祝・“ザ・ビースト”復活!!

K-1ラスベガス大会で“怪人”キモを相手に見事、復帰戦を飾った“ザ・ビースト”ボブ・サップ。試合後には、あのマイク・タイソンと乱闘劇を繰り広げるなど暴れっぷりはさらにパワーアップ！　また、Tシャツも復帰戦勝利後、飛ぶように売れてます！　買うなら今しかないですよぉー!!

グレート・アントニオ
スタッフ　臂武史

「みなさん、グレート・アントニオ店内SUMMER SALEにお越しいただけたでしょうか？　大好評につき、9月も店内SUMMER SALE続行しちゃいます！　本当にビックリする価格で販売してますので、ぜひ一度遊びに来てください！」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3219-9550
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜）

GOODS RANKING

1. 『ファスティング・ダイエット』 杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
2. 『ショーグン・タニカワTシャツ』 グレート・アントニオ/3,500円（税別）
3. 『元気ですか!ジュース』 杏林予防医学研究所／4,800円（税別）
4. 『マルチミネラルビタミン』 杏林予防医学研究所／7,000円（税別）
5. 『グレート・アントニオ猪木Tシャツ（type.c)』 グレート・アントニオ/4,000円（税別）

1位 『ファスティング・ダイエット』

ファスティングの秋!!

いよいよ秋到来です！　夏のツケがそろそろ体に出てきている頃ではないでしょうか？　気持ちいい“食欲の秋”にするためにも、『ファスティング・ダイエット』を行なって心も体もリフレッシュしてはいかがでしょうか？

BOOK（番外編）
新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『紙でプロレス ソリチュード』

柳沢忠之　山口日昇著/ぴあ
本体価格 1,600円/発売中

ある意味、業界の最強コンビ！！

第1章の「北朝鮮発、ボブ・サップ行」から始まって、「また語らせるのか、馬場と猪木」「山口日昇がインドで大ブレイク」「私をディズニーランドへ連れてって」「橋本真也、恥知らずの美学」「SMAPよりも、ちあきなおみ？」「田舎もんとニューロシア人」「目標は、打倒・ヒョードル！」「桜庭、アブダビコンバットへ！？」「そして。ソリチュードへ」と、とにかく、よく言えば縦横無尽、悪く言えば支離滅裂で節操なし！　な柳沢忠之（小社社長）と山口日昇（紙のプロレスRADICAL編集長）の対談集。こんなステキな本が「ぴあ」から出てしまうのだから、世の中捨てたもんじゃない（？）。担当の大澤さん、本当にご苦労さまです。というわけで、目次を見ただけではなんの本なのか、まったく分からないこの『紙でプロレス　ソリチュード』（ちなみにソリチュードは孤独って意味）。320ページもあるから、ヒマな人はぜひ読んでみて！　笑えて勉強にもなるよ。

〈新刊紹介❷〉 It's HOT!

『ジャンクSPORTS アスリートたちのナイショ話⑤』

KKベストセラーズ
本体価格 1,143円/発売中

今回はサップ、角田、さらにサダハルンバ谷川編集長も登場！

早いもので、『ジャンクSPORTS アスリートたちのナイショ話』もシリーズ第5弾！　もちろん、この本は皆さんご存知のように、フジテレビの人気番組『ジャンクSPORTS』（毎週火曜日23:00～23:30/フジテレビ系全国26局ネット）を単行本化したものなんだけど、放送で見ていた内容も、改めて活字で見ると、これがまた実に面白いし、新たな発見も。今回の巻には、ボブ・サップや角田信朗師範、さらにサダハルンバ谷川本誌編集長が出演した時の内容も収録されているので、放送を見逃した人は（ちゃんと放送を見た人にも）ぜひ見てほしい！　また、いろいろな分野のトップアスリートが明かす体験談は、面白いだけでなくタメになる内容もタップリ。司会の浜田雅功の巧みなトークに乗せられて、普段はなかなか聞けない本音やヤバ～イ裏話も飛び出していて、改めて読むとビックリ！　中でも、スポーツ選手たちの「お金」の話には、一般市民としては、あんぐり……。

Et cetra

ゴールドジム 神戸元町より セミナー開催のお知らせ！

ゴールドジム 神戸元町では10月5日（日）に『平直行柔術セミナー』、10月19日（日）に『中尾受太郎 特別セミナー』を開催！ 2人の華麗なテクニックを伝授してもらえる絶好のチャンスを見逃すな！

◆日時/『平直行 柔術セミナー』：10月5日（日）
『中尾受太郎 特別セミナー』10月19日（日）
どちらも14:00～15:30
◆場所/ゴールドジム 神戸元町（神戸市中央区明石町47 ニッケビル5F）
◆参加費/ゴールドジム会員1,000円 ビジター3,000円（ともに税別）
◆お問い合わせ/ゴールドジム 神戸元町☎078-334-3434

レッグロックからイベント情報3連発！

【『武藤敬司 プロレスの砦』公開収録＆グッズフェアinイースト21】
◆日時/9月15日（月・祝）13:00～
◆場所/イースト21プラザ（東京都江東区東陽6-3-2、営団地下鉄東西線『東陽町』より徒歩7分） ※雨天決行（イースト21プラザ横のふれあい広場で開催）
◆内容/サムライTV『武藤敬司 プロレスの砦』公開収録［メインキャスト：武藤敬司、特別ゲスト：カズ・ハヤシ（全日本プロレス）、河野真幸（全日本プロレス）、R.C.T（根本はるみ、小林恵美、五十嵐結花、かわいかおり、星野香）。その他、当日販売のオリジナルグッズを購入した人の中から先着260名に武藤敬司＆カズ・ハヤシのサイン＆握手会、武藤敬司のレア・グッズオークションを開催予定

【レッグロック シャイニングセール'03】
◆日時/9月21日（日） 10:30～17:00
◆場所/後楽園ホール5階展示場
◆概要/レッグロック並びに全日本プロレスグッズセール（最大50％OFF）、レッグロック新商品発売、NEW『W-1』Tシャツ販売、コスチューム・チャンピオンベルト展示など。スペシャルプロジェクト第1弾：武藤敬司社長との名刺交換＆握手会（参加条件：SALEにて対象商品3,000円以上購入した人、先着100名）、スペシャルプロジェクト第2弾：大抽選会（はずれなし、10月日本武道館大会チケット、第2回武藤塾無料参加券、武藤敬司使用済コスチュームなど豪華商品多数）

【第2回武藤塾】
好評だった『武藤塾』の第2回講義を早くも開催！ 前回の講義内容をさらに掘り下げて行うので、第1期生も満足できる内容となっているぞ！ さらに今回初めて参加する人にも親切丁寧に指導！ 個人レッスンにも力を入れていくということで、アナタも武藤敬司と一緒にグッドシェイプだ！
◆日時/9月28日（日） 13:00～16:00（12:45開場）
◆場所/ゴールドジム さいたまスーパーアリーナ（JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線『さいたま新都心』駅より徒歩2分。JR埼京線『北与野』駅より徒歩7分）
◆参加費/15,000円 ※武藤塾Tシャツタイプ2、HCAタブレット付 ※チケットはチケットぴあでも発売中！ 室内シューズ、タオル、トレーニングウェア、筆記用具は要持参

◆全てのお問い合わせ/レッグロック☎03-3234-0969

パンクラスからグッズ情報2連発！

【パンクラス×So-net コラボレーションTシャツ誕生！】
パンクラス・オフィシャルサイト（http://www.pancrase.co.jp）では、この度、オンラインショップを『Pancrase store』（http://www.so-net.ne.jp/pancrase/）としてリニューアルオープン！ 定番のツアーTシャツに加え、10周年記念にあわせて、パンクラスismをモチーフにした『Pancrase store Original Tシャツ』（2型）をサイト販売するぞ！ シンプルながらもスタイリッシュなデザインは必見！ ゲットしたければ今すぐアクセスすべし！
■『Pancrase store Original Tシャツ』詳細

・『Pancrase store Original T-001』
◆価格/3,500円（税別）
◆カラー/白、黒
◆サイズ/M、L
◆デザインポイント/『pancrase ism』、『hybrid wrestling』の2つの言葉を極々シンプルに前面にプリント。一切の無駄を削ぎ落とし、スタイリッシュさを追求した秀逸のデザイン

・『Pancrase store Original T-002』
◆価格/3,500円（税別）
◆カラー/白、黒
◆サイズ/M、L
◆デザインポイント/パンクラスのロゴマークをアレンジした『Pancrase store』オリジナルロゴを前面にプリント。『pancrase ism』の文字とのバランスを計算し尽した"シンプル・イズ・ベスト"なデザイン

【パンクラス10周年記念 HYBRID BOX販売！】
旗揚げ10周年を迎えたパンクラスでは、記念出版として『パンクラス10周年記念 HYBRID BOX』を完全受注生産にて発売！ 購入した人には特典として、8.31両国国技館大会で選手が使用したシューズ、グローブの他、船木誠勝、鈴木みのるのレアモノアイテムを抽選でプレゼントするぞ！ パンクラスファンは即ゲットせよ！
◆内容/1.写真集『PANCRASE 19932003』：旗揚げ戦から現在までの名勝負激写、選手秘蔵写真など。8.31両国国技館大会の激闘も収録。収録写真はオール未発表！
2.『パンクラス10周年 HYBRIDポスターコレクション』：1993.9.21の旗揚げ戦から2003.8.31両国国技館大会までの大会ポスター50枚を冊子として編集
3.CD『パンクラス10周年 HYBRID CD』～セレクト版・選手入場曲集～：店頭では手に入らない曲、未発表曲を含む4曲を収録（パンクラステーマ曲、船木誠勝＆鈴木みのる入場曲など）。ファン垂涎の1枚！
4.『パンクラス10周年 HYBRID Tシャツ』：パンクラス×ユナイテッド・アローズのコラボレーションTシャツ！
5.直筆サイン色紙：船木誠勝、鈴木みのる、菊田早苗、近藤有己の4名による、最初で最後の貴重な直筆サイン色紙！

◆販売予価/9,800円（税・送料別）
◆予約方法/パンクラス・オフィシャルサイト（http://www.pancrase.co.jp）にて受付。※予約受付数が予定数に満たない場合、発売を見合わせる場合もあり）
◆お問い合わせ/『パンクラス10周年 HYBRID BOX』制作委員会（エイベックス株式会社内）☎03-5413-8594、FAX03-5413-8812

『小野寺力と行くタイ・ムエタイ体験ツアー』開催！

トリプルエートラベル株式会社では、11月7日（金）～10日（月）の4日間にわたって『小野寺力と行くタイ・ムエタイ体験ツアー』を開催！ 新日本キック協会の人気選手・小野寺力と一緒にタイ＆ムエタイを思う存分堪能したい人は、今すぐ申し込もう！ もちろん女性の人も大歓迎！
◆期間/11月7日（金）～10日（月）
◆費用/88,800円 ※5日間コース希望者は4,000円増し
◆日程/7日（金）：17:25成田発 全日空915便にて一路、タイの首都バンコクへ。10:25バンコク着。着後、送迎バスにてアジアホテルへ
8日（土）：ホテルにて朝食後、バスにてムエタイジムへ。午前中はムエタイ体験。その後レストランにて昼食。12:30頃よりサムットプラカンワニ園へ出発。夕方までワニ園を見学。その後バンコク市内のレストランにて美味しいタイ料理を堪能しながらの夕食会。アジアホテルに戻った後はフリー。希望者には『リキと夜のマル秘オプションツアー』へご案内。
9日（日）：ホテルにて朝食後、終日自由行動。希望者には『リキと行くマル秘オプションツアー』へご案内。23:45バンコク発 全日空916便にて帰国の途へ
10日（月）7:20成田着。現地解散
◆条件/航空機：全日空利用 ホテル：アジアホテル（2名1室） 食事条件：朝食2回、昼食1回、夕食1回 その他：ムエタイ体験、ワニ園の入園料
◆定員/38名 ※定員になり次第締め切り
◆お問い合わせ/トリプルエートラベル株式会社（担当：内貴）☎03-3524-4260

▲小野寺と一緒にタイを満喫しよう！

猛者は全員集合！ 大会出場者大募集！

【ストライプル早稲田同好会 GRAPPLES'GALA in WASEDA 2003】
◆日時/11月3日（月・祝） 計量10:30 試合開始12:00
◆場所/東京・早稲田大学 本部キャンパス 柔道場（営団地下鉄東西線『早稲田』駅より徒歩10分）
◆内容/アマチュアフリースタイル柔術・ワンマッチ、グラップリング・ワンマッチ、3on3柔術・ワンマッチ
◆参加資格/18歳以上で感染症のない健康な男女（未成年者は保護者のサインが必要）
◆参加費/一般3,000円 学生2,000円（2試合目以降はそれぞれ1,000円引き） 3on3柔術は1チーム9,000円（学生6,000円）
◆応募方法/所定の参加申し込み書に必要事項を記入し、押印、参加費を同封の上、参加費を現金書留で下記の申し込み先に郵送。 ※大会当日払い希望の人は500円増し。学生の人は、学生証のコピーを提出
◆申し込み先/〒358-0045埼玉県入間市寺竹681-5 ストライプル早稲田同好会代表 晝間貴雅
◆締め切り/10月18日（土）必着
◆お問い合わせ/ストライプル早稲田同好会部長☎090-5555-7565牧野隆太郎

【第18回全日本アマチュアシュートボクシング選手権 力炎館大会】
◆日時/10月26日（日） 計量9:00 試合開始10:00
◆場所/東大阪アリーナ（近鉄奈良線『八戸ノ里』駅より徒歩10分）
◆参加資格/健康な満15歳以上の男女（未成年者は保護者の同意が必要）
◆内容/アマチュアシュートボクシングルールに則って行われるトーナメント
◆参加費/7,000円
◆応募方法/所定の参加申し込み書に必要事項を記入し、押印、参加費を同封の上、現金書留で下記の申し込み先に郵送
◆締め切り/10月14日（火）必着
◆申し込み先/〒577-0057 東大阪市足代新町6-19 丸高ビル205 力忠勝
◆お問い合わせ/大会事務局☎06-6782-7174、力炎館☎06-6724-3667

宇月田麻裕の 北斗占い®

Mahiro Utsukita

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

9/11～9/25

★北斗占いとは★
古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブコク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

破軍星

全体運
夏の疲れが出て、調子はイマイチって感じ。ムリして頑張ると、その反動で却って大きなミスをしてしまいそう。少しリラックスする時間を作るべき。秋の行楽シーズン、ちょっと遠出をして海や山で新鮮な空気に触れてみると○。

恋愛運
劇的な恋愛が始まる予感。「この人だ」と思える女性には即アプローチ！　二人のキャラが生かされるような、エネルギッシュなカップルになれそう。

勝負運
一瞬の油断が命取りに。気を引き締めて。

健康運
カロリー計算を怠るとウエイトオーバー。

金運
敬老の日には祖父母へプレゼントをすると○。

★ラッキーカラー★
ピンク
★ラッキーアイテム★
乗用車
★ラッキースポット★
山

武曲星

全体運
あなたを悩ませていた障害がなくなり、温めていたプランを実行に移せるチャンス。ネットで役立つ情報があるので、こまめにチェックすると、さらにクオリティーの高いものになるハズ。結果を残すために、一点集中で行こう！

恋愛運
精神的な絆を大切にすると良い時なので、二人の悩みや夢について話し合ってみて。お互いの理解が深まり、真のパートナーとして相手を認められるハズ。

勝負運
カンが冴えて勝利の波に乗れそうな予感。

健康運
暴飲暴食を控えれば体調は回復傾向に。

金運
大きな買物の前には念入りにリサーチを。

★ラッキーカラー★
ラベンダー
★ラッキーアイテム★
バッグ
★ラッキースポット★
コンサート

廉貞星

全体運
凶兆星があなたの言動を狂わせピンチに！　常に周囲の状況に目を配り、余計なことを言ったりしたりしないように注意を払おう。また、疲れがたまると頭の回転も鈍りがちになり、ドツボにハマるので十分に睡眠時間を取ること。

恋愛運
恋愛においても、あなたの軽率な言動により、恋人との関係にヒビが入る暗示。浮気はもちろんのこと、なるべく誤解を招くような行動は避けたい時。

勝負運
不調なので深追いしないのがベスト。

健康運
ストレスをため過ぎないよう気を付けて。

金運
お金のかかる趣味は避けるようにしよう。

★ラッキーカラー★
ベージュ
★ラッキーアイテム★
枕
★ラッキースポット★
自宅

文曲星

全体運
あなたの能力が認められ、次々と仕事を任されそう。つまらなく思える仕事も多そうだけど、一つずつ真面目に取り組んでみよう。すると、意外な楽しさを発見したり、これからの人生の方向性を決めるには有意義な体験になるハズ。

恋愛運
昔の恋愛にいつまでもこだわるのはNG。カップルは、彼女を不安にさせるし、フリーは、新しい出会いの芽を摘んでしまうことに。未来志向で行こう。

勝負運
勝負のバイオリズムの見極めがカギに。

健康運
肩こりや筋肉痛にはストレッチが効果的。

金運
祝い事にはケチらずお金を出すとグッド。

★ラッキーカラー★
ホワイト
★ラッキーアイテム★
紅茶
★ラッキースポット★
オープンカフェ

禄存星

全体運
秋の気配とともに体力が回復し、交戦モードに突入。仕事や格闘技はもちろんのこと、ランチの行列並びからプレミアチケットの電話予約まで、良い意味で人と競うことがあなたの活力になる時。どんどん勝負を挑んでいこう。

恋愛運
やや波乱含み。会えばケンカ……、なんてことになりがちに。少し冷却期間を置いてみては？　フリーは、出会いのチャンスは少ないので自分磨きに励もう。

勝負運
強気な姿勢でも冷静さは失わないこと。

健康運
動き過ぎるとケガが心配。足元に注意して。

金運
無計画に浪費すると後半ピンチになりそう。

★ラッキーカラー★
レッド
★ラッキーアイテム★
スパゲッティ
★ラッキースポット★
スイミングプール

巨門星

全体運
運気自体は平凡。ただ、それだけに流されやすい状況になるため、注意が必要。今が今年の終盤を盛り上げる大切な時期と肝に銘じて、目標を立て直し、努力を始めよう。さらに、ライバルを作ると気合いが入り、好結果につながりそう。

恋愛運
本気で「彼女が欲しい」と思わないと、恋が始まる可能性が低い時。ビジュアルより中身重視で選んだほうが好調な交際に進展。まずは会話をして判断。

勝負運
モチベーションを上げていけば勝負運UP！

健康運
健康食品が疲労回復に効果がありそう。

金運
見栄を張って散財しそう。堅実を心掛けて。

★ラッキーカラー★
ブルー
★ラッキーアイテム★
健康食品
★ラッキースポット★
銀行

貪狼星

全体運
吉兆星が輝いています。人のためにしてあげてきたことが、ここにきて人望を高める暗示。一躍脚光を浴びる存在になるので、このまま謙虚さを忘れず、周囲と協力していこう。公私ともに、あなたの大きな夢に近付けるチャンス。

恋愛運
ひと夏が過ぎ、関係が次のステージへ進める時。お互いをより深く知る努力を。フリーは、最新の秋のファッションで決めると恋人ゲットのチャンス到来。

勝負運
過去のデータを参考にしていくとグッド。

健康運
基礎代謝を高めるトレーニングをしよう。

金運
ギャンブルで臨時収入が期待できそう。

★ラッキーカラー★
グリーン
★ラッキーアイテム★
スニーカー
★ラッキースポット★
イタリアンレストラン

宇月田麻裕プロフィール
ハッピネスファクトリー代表。読売新聞連載、TBSテレビ「ワンダフル」出演など、新聞・雑誌・テレビなどで活躍中。NTT・Vポータル TEL.0570-0033-03「テレフオンナンバー占い」、「アジアン占術物語http://www.nifty.com/asian/、鑑定&占いスクール開講。著書「もっともわかりやすい宿曜占星術」（説話社）好調発売中。
URL:http://www.happiness-f.com　mail order@happiness-f.com

グレート・アントニオ PRESENTS　第10回

元気があれば何でもできる！

ヤマダ元気塾

予防医学講座

山田豊文｜文
TOYOFUMI YAMADA

ストレスとカラダの反応

ストレスを起こす原因

- **物理的ストレス** … 高温、騒音など
- **生物学的ストレス** … 病原菌の侵入など
- **精神的ストレス** … 人間関係、精神的な苦痛など
- **化学的ストレス** … 栄養不足など

前回のお話では、スポーツにおけるストレスの影響をご説明し、ストレス解消のための呼吸法や香りの効果についてご紹介しましたが、今回もそのストレスについて、より具体的にお話ししていきたいと思います。

日常生活の中で、体の不調、病気の原因としてストレスが大きく関与していることにお気付きの方も多いかと思います。

食事や環境などの条件が全て整っていても、ストレスだけが原因で病気になってしまうことさえあります。

ストレスを起こす理由も、不安や怒り、悲しみ、緊張といった精神的なものから、ケガや痛み、疲労、アレルギーなど身体的なものまでさまざまです。

特に、格闘家をはじめとするスポーツ選手も強いストレスにさらされる環境にあります。それは、厳しいトレーニングや試合、そして精神的な重圧が原因です。

現在では、ストレスは「なんらかの刺激が体に加えられた結果、体が示したゆがみや変調」と定義されています。

その考え方を大きく前進させたのが、オーストリアの生化学者であるハンス・セリエでした。

セリエは体内のホルモン分泌に関する研究の過程で、数匹のネズミに刺激を与えることにより、どのネズミにも3つの共通した生体反応が起こることに気付きました。この3つの反応とは、

・副腎皮質の肥大
・胸腺や脾臓の萎縮
・胃や十二指腸の出血と潰瘍

なぜこのような症状が起こるかというと、体に受ける刺激に対してコーチゾンというホルモンが分泌されるからです。

コーチゾンは腎臓の上にある副腎皮質から分泌されますが、ストレスが慢性化すると副腎に連続して負担がかかり、結果として副腎が肥大してしまいます。また体がコーチゾンなどストレスホルモンの分泌を最優先するために免疫システムが抑制され、免疫システムの司令塔である胸腺や脾臓が萎縮します。同じ理由で粘液の分泌も低下し、胃や十二指腸に潰瘍が起こります。

一般的にステロイドホルモンとはコーチゾンのことで、炎症と免疫反応を効果的に抑えるため、医療現場ではアレルギーなどの対症療法に用いられます。

ストレスの状態は、①警告期、②抵抗期、③疲はい期の3つに分類できます。

警告期は、ストレスのショックを受けることにより血糖値が下がり、神経の働きが鈍くなる時期です。

抵抗期は、糖の合成を活発にするコーチゾンが分泌される時期で、ストレスに抵抗するためのエネルギーが生まれます。

疲はい期では、ストレスが長引くか、あるいは新しいストレスが加わることによって抵抗力が失われていきます。こうなるとストレスの原因を取り除いたり、適切な栄養を摂取しないと死に至ります。

人間は死に至るほどのストレスを受けなくても、胸腺の萎縮により白血球の生産量が減り、免疫力が低下しているので、風邪などの感染症にかかったり、ガンなど重い病気を引き起こす恐れもあります。

以上がハンス・セリエのストレス理論と言われているものです。

またストレスにより、体内では次のような大きな変化もみられます。

・副腎からのアドレナリンとノルアドレナリンの分泌促進
・血液中の亜鉛濃度低下と銅濃度の増加

アドレナリンとノルアドレナリンは、本能に根ざしたホルモンです。もともとは、危機に瀕し、闘争や逃走を瞬時に行えるように体を反応させるものでした。

その結果、血管の拡張や胃腸の運動低下、血圧の上昇、あるいはけいれんのような過度な筋肉の運動が起こります。

野生の動物であれば、身の危険を感じたら本能に従って「闘争」し、「逃走」しなければ死に至ります。しかし現代の日常生活では、本能に反して我慢を強いられる状況のほうが多いかもしれません。このようにしてストレスを積み重ねていくと、不整脈、過敏性腸症候群、パニック症候群、抑うつ状態など、精神と身体のさまざまな変調をきたしていくのです。

血液中における亜鉛と銅の濃度の変化についてですが、これはストレス時に大量に発生する活性酸素に対する反応によるものです。

活性酸素に対する防御策として、肝臓ではメタロチオネインというタンパク質が合成され、血液中にはセルロプラスミンと呼ばれるタンパク質が放出されます。

メタロチオネインの合成には主として亜鉛が、セルロプラスミンには銅がそれぞれ関わります。

つまり、必然的に亜鉛が肝臓へ移動し（血液中の亜鉛濃度低下）、血液中の銅濃度が増えることになるわけです。

以上のように、体内ではストレスに対してさまざまな反応が起こっています。その時、ストレスに耐えられない人々と、ストレスを足がかりに建設的な方向性を打ち出すことのできる人々がいます。性格や考え方による部分もありますが、この両者の違いに大きく影響するのはやはり「栄養」です。前述したようなホルモンも、ホルモンを分泌する器官も、必要な栄養素が揃わなければ適切に機能せず、ストレスにうまく対処することはできないのです。

次回はこの栄養素について具体的にお話ししたいと思います。■

プロフィール

杏林予防医学研究所所長
医学（分子栄養学）博士

1949年生まれ。ガンの治療法として米国ではよく知られるゲルソン療法など、野菜ジュースを使った体質改善に早くから着目。その効果について研究を重ね、予防医学理論に基づいた独自のジュース断食法「ファスティング」を確立。単なるダイエットとは一線を画した美容や健康管理の手段として、多くの著名人やスポーツ選手から絶大なる信頼を得ている。わかりやすく明快な指導が人気で、読売ジャイアンツの宮崎キャンプでの講演や『おもいッきりテレビ』への出演など、各方面で活躍。また、アントニオ猪木氏、長嶋茂雄氏、メジャーの新庄剛志選手や読売巨人軍の原辰徳監督、工藤公康投手、広島東洋カープの前田智徳選手など、数多くのプロスポーツ選手の栄養指導も積極的におこなっている。

イラストレーション＝松本晴夫

ザッツ・ムチャリブレ ㉞

山本隆司

この夏、何があったというんだ！

今年は夏がなかった。

夏がない年っていったい、どういうことになるのだろうか？

9月3日、午後11時40分。京成線の立石の駅を降りて、自転車置き場に向かう。ああ、そういえば夕方、東京ではもの凄い落雷があった。ゴロ、ゴロ、ゴロ、ドカーンというすさまじさ。

おかげで山手線は内回り、外回りとも運転がストップ状態。都会に雷というのは痛快である。

ガチャ、ガチャ、ガチャと100個ぐらい落ちてほしい。この街は腐りきっている。目覚めよ、TOKYOと叫びたくなる。

そういえばこんな東京の街に夏なんか、これっぽっちもくれてやる必要がなかったのかも。そう考えれば私も納得できるのだ。

自分の自転車を見つけるとサドルが雨で濡れていた。そこから私の家までは自転車で5分もかからない。小さな神社を通りかかった時、ミ、ミ、ミ、ミーンという蝉の鳴き声が聞こえてきた。

なんてか弱い鳴き声だ。それもこんな夜中に鳴くな。お前も今年は勘が狂ったんだろうなあ。冷夏じゃ、地中から地上に出ようとしても、タイミングを逸した。

それでこんな夕立ちがあったあとの深夜、マヌケに地中から出てきたというわけか？　それって最悪としか言いようがないぞ。

どうせ、さあ、お前はミ、ミ、ミーンと2、3回、鳴いたらそのあと地上に墜落してお腹を見せたまま死に絶えるんだろう。

夏の終わりと共にお前らの亡骸が道に転がっているんだよ。勘弁してほしいよ。もし、私が死んでもう一度、この世に生まれ変わることがあっても、蝉だけには絶対なりたくないからな。

この夏、マット界に何があったというのだ。PRIDEミドル級のトーナメント？　新日本プロレスのG1クライマックス？

季節というのは、夏というのはプロレスと格闘技の世界にあっては、もう一つの重要なパーソナリティーでもあるのだ。

そこに夏がなかったらマット界だって、盛り上がるわけがない。去年は『Dynamite!』というビッグイベントがあった。

興行は1回、とんでもないことをやったら、次からはそれよりスケールの小さいことは、もはやできなくなるのだ。

みんなその意味を分かっていない。夏とは要するに1年の中でピークを作ることである。

最高のものを知った時、人は初めて自分の中に価値観のチェックポイントを持つことができる。

あるいは物事にはハードルの違いがあることが分かる。生きているということは、いかにしてそれに出会うかどうかである。

近頃、思うことはこの出会いに偶然性がない。意外性がない。ダイナミズムがない。そのことによって我々の人生が、どんどんプアになっている。

こうなったら「日本を捨てろ！」というか、そうでなかったら「時代を捨てろ！」というしかないのだ。空間と時間の両方を捨てて生きる。それは果たして可能なことなのか？　今の私はもうそこまできている。もはや未練なんか何一つないんだから、ホントに。■

はみ出し ターザン情報　ターザン山本の「一揆塾」塾生募集中——大好評の「一揆塾」は、現在、毎週木曜日の19:30〜21:00、場所は水道橋の闘道館で開講中。お問い合わせは☎03-3512-2080

スリー、ツー、ワン、ゼ〜ロワン！

あぶもぐ 名古屋場所 8日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

（シンペイ・タナカ・東京都世田谷区・？歳）
◆下品さがたまらないマイク・タイソンさん

冷夏だと思っていたら、秋になって暑さがぶり返してきました。皆さん、体に気を付けて秋場所観戦に精を出してください！

『サラダ記念日』

冷蔵庫といえば奥から緑色の水の入ったビニール袋が出てきた。しばらくして、3カ月前に買ったキュウリだと気が付いた。

3カ月前といえば、桜庭がホイスに勝った時だ。あの頃は、女房もまだこの家にいたんだ。浩志はなんだかとても寂しくなった。

「こんな気分でいるのは嫌だ」と思い、浩志はビデオを観ることにした。こんな時は電流爆破マッチに限る。浩志はおもむろにビデオを探す。しかし、だ。どこにもないのだ、ビデオが。

出ていった女房の意地の悪い笑顔が、頭に浮かんだ。浩志は改めてあの女が嫌になった。

数日後、浩志はあの女が住む部屋の前にいた。

表札を確かめる。間違いない。この部屋だ。

浩志はインターホンを押す。

ピーンポーン。

「だ〜れ？」

中から女の声がする。

浩志は逃げる、ひたすら逃げる。

逃げながら浩志は考える。「あと3回分だな」。

（OH！ギャル・マックでバイト109・19歳）

遅れてきた夏の感想文

『お笑い男の星座2』を読んで

私はこの本のパート1を何度も繰り返し読んだが、このパート2も何度も読み返したくなる内容である。

各章でよかった所を順にあげる。まず、序章で文芸春秋の担当編集者の目崎敬三氏に「読書人口がいない」と言ったことに対して博士が、「ジャングルが危機に瀕しているなら、ジャングルを守るとか言ってないで、ジャングルを作りゃいいじゃねぇか！」と猪木さんのセリフで返した箇所。この部分は全国の国語教師に読ませるべきだ。そうすれば、最近問題になっている学生の学力低下も国語に関しては少しはましになるはずだ。

そして第一章での鈴木その子さんとキッドの関係は、SRS・DX98号の『ザッツ・ムチャリブレ』に書かれていた「山口百恵と阿木耀子の関係」に匹敵するものがあると思う。

それとキッドの2人が、その子さんに冠するネガティブな知識を知り尽くしていたのにも関わらず、先生の前ではそのことを口にせず、「お笑い」に徹する姿勢に感動した。

第二章では、ダチョウ倶楽部での一番の常識人は竜ちゃんという話に、「悪役レスラーほど私生活はいい人」というプロレス界のエピソードをちょっと思い出した。それとダチョウとキッドの過去の話もよかった。

第三章は、一世風靡セピアの武闘派エピソードがよかった。それと飯島直子さんは、心の広い素敵な女性だと思った。

第四章は、やはりたけしさんの「オイラがやったらもっと話題になった」という発言がよかった。たけしさんは偉大だ。

それと博士と警察のやりとりは面白かった。本当の警察は、ドラマほど格好良くないけど、その代わりドラマにない格好良さがあることを見事に表現していた。

それと三章でも四章でもダンカンさんが重要なキーパーソンになってる。恐るべきダンカン。

それと第五章を読んで思ったのだけれど、浅ヤンはひょうきん族のようにDVDを出してほしい。それとエガちゃんとオウムが人知れず対決していた話は驚いた。

そして最終章、あの言葉では表現できないぐらいの凄いイベントをキチンと活字で表現したキッドは凄い。まさに、究極の活字プロレスである。

そして番外編も素晴らしい。あの紙プロの吉田豪さんがインチキなガクト扱いされているのは笑った。それと一茂を『プライド』に上げようとした話もよかった。こうなったら、百瀬さんには千代の富士の息子の『プライド』参戦も実現させてほしい。

それと最後のページに書かれた「あの話」とはなんなのか？　はっきり言って、パート3も絶対買います。

（安倍正典・北海道札幌市・30歳）

◆夏も終わってしまいましたけど、もったいねぇので載せます。でも、長いなぁ。

真夏の主役たち？

（甥っ子の名は和志・？・？歳）

（小川徹・埼玉県八潮市・17歳）

どうも、SRS・DXの皆さんとターザン山本さん、こんにちは。私は昔、全日本プロレスとDDTの会場で山本さんとお会いした者です。DDTの時は名刺をお渡ししました。私は今、格闘技を通じて整体師の勉強をしていて、福祉の勉強会もしています。スポーツや格闘技を通じて福祉とかに役立てたいと思います。今の格闘技界はいろんなジャンルが対抗戦をしています。それを通じて世界中の人たちが交流しあうことはよいことだと思います。山本さんもSRS・DXの皆さんもいろいろ頑張ってください。また何かありましたらよろしく。

（小林哲也・東京都大田区・？歳）

◆山本さん、覚えてますかぁ？　覚えてねぇんだろうなぁ、きっと。

ターザン山本の顔を大きく載せるのはやめてほしい。ハッキリ言って、目に毒だ。

（岡田義尚・千葉県市川市・14歳）

◆中学生からのクレームです！　そんなに目の毒なのか？

話は遅くなりますが、『プライドGP』の会場でターザンと握手しました。ハッキリ言って誌面で見ていたターザンは少しキモかったけど、実物は想像以上のいい男だった。俺はSRS・DXでターザンを見る目があの日以来変わった!!　応援してるぜ！

（野中幹夫・東京都新宿区・29歳）

◆ほら、実物を見たら印象が変わったという人もいるんですよ。皆さん、会場ではターザンを探しましょう。

シーザー武志会長と中村カタブツ君、こんにちは。8月28日号「侍の掟」にて私の質問にお答えくださり、ありがとうございました。「Sオブ・ザ・ワールド」の住人許可もいただいたので、これからも我が道を行きたいと思います。

（米光ゆかり・東京都練馬区・32歳）

◆今回はお悩みが書いてなかったので、こちらのほうに載せてしまいました。「シャイな悩みにそれシュート」係の方、ごめんなさい！

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

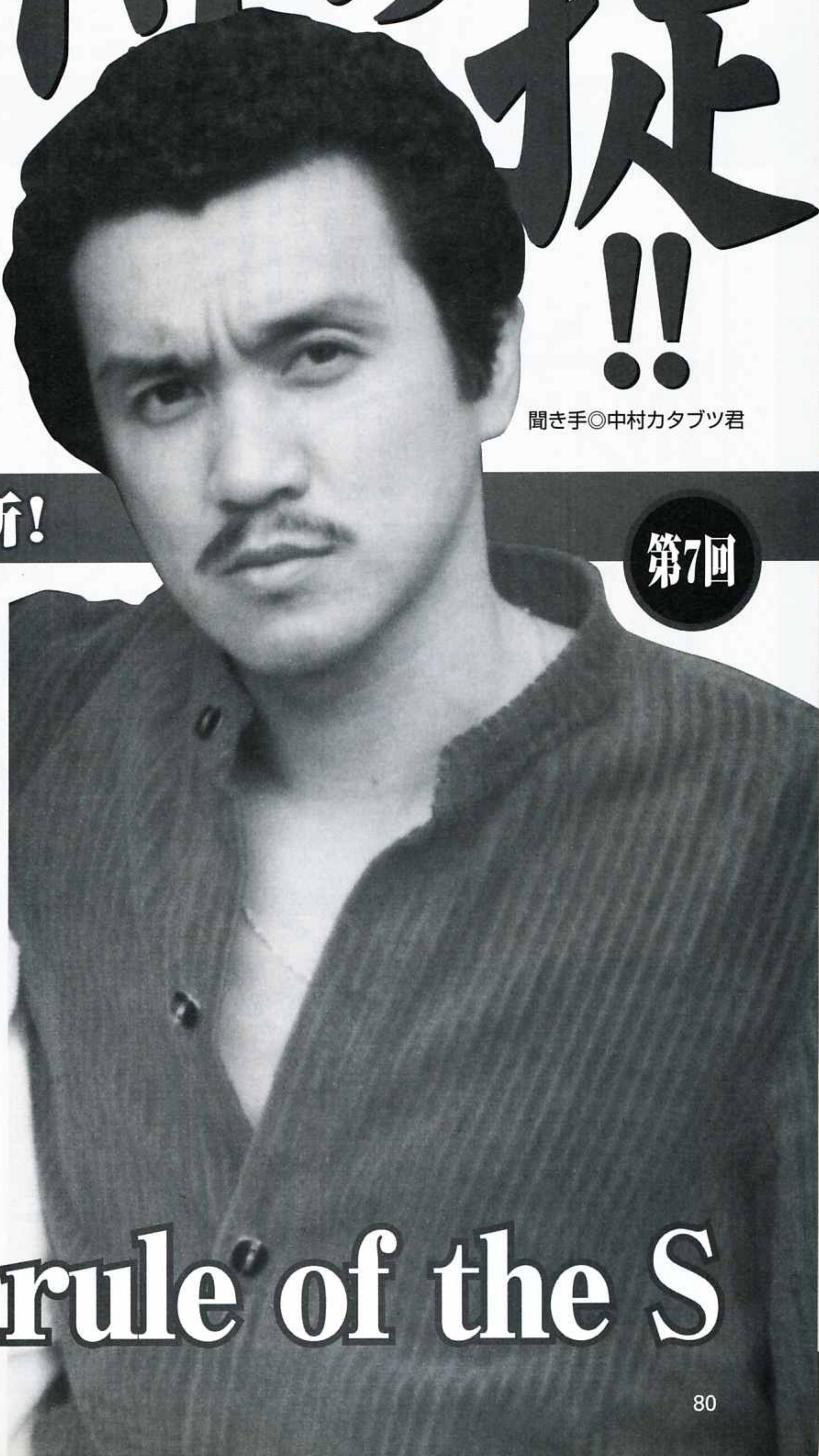
あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

シーザー武志の侍の掟!!

聞き手◎中村カタブツ君

お前の人生一刀両断!

第7回

チンケな悩みを打ち、蹴り、投げる!

会長！　女の子にモテる酒の飲み方ってありますか？　全裸になるしか能のない僕にカッコイイ、酒の飲み方を教えてください！　よろしくお願いしまッス！

（栃木県　全裸～マン）

やっぱり今の若い女ってのはあまりチャラチャラしてるより、男らしく飲んでいる奴のほうが好きなんじゃないかな。

だから、全裸は男らしい！（笑）。でも、そこまでやると軽々しいんだよね。オレは思うんだけど逆に「女なんか相手にしてないぞ」みたいなさ、知らん顔して飲んでいる奴のほうが、女って気になるんじゃないの。ガツガツしないのが一番格好良いよね。

いつも言ってるでしょ、男は我慢と忍耐と意地だって。酒だって同じだよね。

あとどんな酒を飲んだらいいかというと、それは焼酎！　今、オレ、焼酎にハマっていますから（笑）。

黙って焼酎をあおってればモテるよ！

男・シーザーの容赦なき壮絶人生相談!

この前彼が借りてきた庖丁人のビデオを見たら、会長が出てるじゃないですか！　ビックリすると同時に惚れてしまいました。同時に隣りにいる男がホントに小さく見えてしまいましたね。ということで、そいつとはその2日後に別れたんですが、会長のような強くて男っぽい男にモテるにはどうしたらいいですか？　会長の言うとおりに変わってみせます！

（北海道　ゴク妻候補）

こういうのは困るねぇ。ホント、困るでありますよ（笑）。いやぁ、オレの言葉が原因で別れちゃったら責任取らなきゃいけないからね。あ、もう別れてるのか（笑）。じゃあ、責任取るか……って取れないよなぁ……。困るなぁ、オレ好みの女になるって言われても、どうしていいか分からないでありますよ。

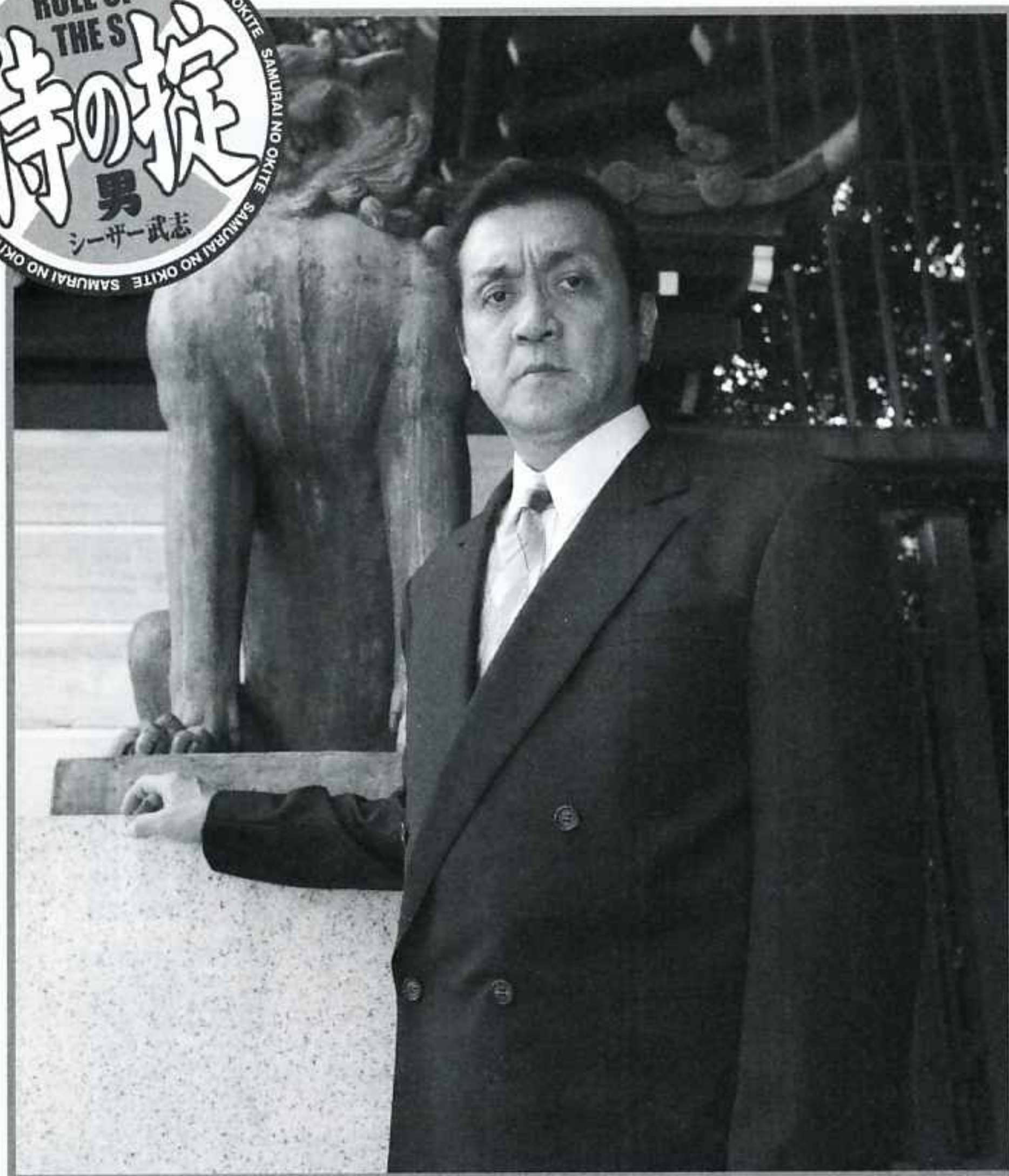
女の好み？　強気だけどオレのことを理解して、尊敬してくれるやつだったらいいね。

髪型？　長いのもいいけど、短いのもいいでありますよ。

いや、緊張しちゃうよ、こういうのは。もう勘弁して。困っちゃうよね。女の質問だけは、ほんと分からない！

私の彼氏はとても面白いんですけど、最後にはいつも下ネタで落とすんです。私自身はそれがとても好きなので、全然構わないんですけど、この前初めて両親に紹介した時もそういう話を始めて、シ

rule of the S

RULE OF THE S
侍の掟
男
シーザー武志

ョックを覚えました。べつに彼にショックを受けたのではなくて私の父が一緒になってそんなことを言い出して、2人で盛り上がったのがビックリしたんです。真面目な父だと思っていたのに。男ってみんな下ネタが好きなんですか？

（千葉県　下ネタ大好き）

結構いい奴じゃない？　この彼（笑）。初対面で、下ネタを話せる砕けた親子っていけてるよ。

だって、オレ、女房の親とは今でもそんな話できないよ。向こうでは「真面目なシーザーさん」で通ってるから、そんな話なんてしたらもう……終わるね、オレも。逆にそれぐらいできる親子関係って羨ましいね。オヤジさんにしても娘にはしゃべれないことを娘の彼氏としゃべれるってのは、これは凄いいい関係だと思うね。オレのほうが憧れるよ。

オレの娘はこの彼女と同じで、オレのことを怖い厳しいお父さんだと思ってるんだよね。だから、この相談ページだって見せられないしね、『アサ芸』だって読んだら捨てちゃうもん（笑）。

男なんてみんなそうだよ。スケベ（笑）。だから、この彼女はお父さんを軽蔑しないで、男は砕けた時に下ネタが出るくらいの仲なんてのは凄いいい仲なんだから、逆にあなたの彼氏に感謝をしなさいって言いたいね（笑）。

いま仕事が忙しくて仕方ありません。まあ、忙しいのは問題ないんですが、自分で納得できる仕事、下準備も含めてできないことが悩みなのです。苛立ちます。ジレンマです。相手の会社のことを調べたり、自分の体調が完璧ではない状態で会議に臨まなければならないことが不安でもあります。正直に言えば、怖いです。

日本刀持ってるヤツを殴ったり、俺は何回死にかけたかなぁ（笑）

格闘技の選手の方々はよくケガをおして試合に出てますが、そういう時はどうしているんですか。どうにもならない状況で、結果を出さなければならない場合、何を一番に考えたら結果を残せるんでしょうか？

（東京都　ジャングルファイター）

恐怖から逃げようとすると、恐怖ってずっと続くんだよね。逆に言えば、もう恐怖のどん底に自分を追いやってしまうと人間って開き直れるんで、自分本来の姿で闘えるんですよ。

仕事なんかでもこれは一緒だと思うんだけど、自分を追い詰められるとこまで追い詰めて、開き直れるところまで自分を追いやれば、自分の実力って倍くらい出てくるはずだよ。

あのね、オレのアバラ骨は一本飛び出しているんだよね。パンチで折れたんだけど、でも、そのままずっとやってきたからね。だから当時のビデオ見ると、痛そうにアバラのところを触りながら試合をやっているよね。

骨が肺に刺さったら死ぬとか言うけど、なんとかなるんじゃないかって思ってやってきたら、なんとかなってきたしね、オレ（笑）。逆に怖いとか考えてもどうにもならないしね、これが仕事なんだから。緒形も土井も前田も宍戸も伸びる選手はみんなこういうのを経験してるから。つまり、そこが正念場であり、チャンスであるってことだよ。

会長はこれまで怖い経験をしたことありますか？

（熊本県　ホラー好き）

怖いことあるよ、何回も死にかけたもんね。昔、ヤクザ同士の喧嘩の手助けに行った時は日本刀でバチンバチンやりあってる相手にパンチを入れたことがあったよね。殴ったヤツはガクンって倒れたけど、あれは怖かったよね。一つ間違ったら、オレが死んでたもん。あとは西成の事件。あそこには、しのぎ屋っていう手配師を恐喝する悪い集団がいたんだよ。そいつらに呼び出された時は「もうアウトだな」って思ったけどね。でも、絶対に呼び出されても行かなかったら助かった。それと、オレ、トビ職もやってたじゃない？　だから、高速道路を組み立てる仕事とかやってたんだけど、鉄鋼がオレのほうにビューンって飛んできたこともあったね。とっさに避けたけど、あれはボクシングやっててよかったなと思ったよ、ほんとに。

あとはボクシングの試合でスリップした拍子に相手に頭を踏まれてさ。ん？　凄すぎる？　そうだよね（笑）。よく生きてるよね、オレ、今（笑）。■

どうだ、この壮絶な人生！　善と悪とが渾然一体だからこそ、会長の言葉には真実があり、コクがある。こんなシーザー会長に君たちの悩みをぶつけてみたくないか？　恋の悩みからイジメ問題、嫁舅問題に親にも言えない性癖まであらゆる苦悩をシュートしてくれるはず！

〈あて先〉

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
(株)ローデス　SRS・DX編集部
「シャイな悩みにそれシュート」係

「温故知新と私」……ターザン山本

我が青春の『ザッツ・レスラー』……。それは見る側のファンタジープロレスだった……

書評をやってほしいと言われた。私は人の本は読まないのだ。まず、面倒くさいという気持ちが先に立つ。

目の前に突き出されたのは本年度の江戸川乱歩賞受賞作の『マッチメイク』。著者は不知火京介という人。

プロレスを題材にしたミステリーということらしい。全376ページの大作だ。読む時間がない。パス。こんなに分厚い本は手に取っただけで尻込みする。

それと同時に私はプロレスのことについては一応、専門家として知識はあるのでたぶん、文章や内容をチェックしながら読むことになってしまう。

校正しながら読むと言ったら分かっていただけるはずだ。その点でも書評は無理だ。もう一冊は『紙でプロレス　ソリチュード』。これは『SRS・DX』で座談会をやっている柳澤忠之氏と『紙のプロレス』の山口日昇編集長が、対談して本にしたもの。

この2人と私は友人関係にある。基本的に人の座談会も私は、読まない主義なのだ。読んでいたらその時点で「オレだったらこう発言する！」とそっちのほうに走ってしまうからだ。

ひとことで言うと私は自分が主役でないと、興味も好奇心も起きない。そういうタイプの人間である。

私としては『SRS・DX』の座談会を、本にしてほしかったんだよなあ。この件については今でもこだわっている。

なんとかならないものなのか。第一、もったいないじゃないか？　あんな面白い座談会は他のジャンルでもないんだからさあ。こうなったら私がなんとか考える。このままじゃ絶対に終わらないぞ。

それはさておき先にあげた2冊の本の書評については、私の親友でもある吉田豪ちゃんに任せることにしよう。書評名人はあっちなんだから。

人の領域を侵してはだめだよ。人間には得意、不得意があるんだし。もし、間違ってこの本を読むことがあり、気紛れで書評する気になったら、その時は私のWebマガジン「マイナーパワー」のほうでやろうと、そう思っている。

いつになるかまったく予定はたっていないので、期待されると困るのだ。しかもそのWebマガジンは、1カ月500円とっている有料サイトなんだよね。

さあ、ここまでは例の前ふり。前置きみたいなもの。これからやっと本題に入ることにしよう。人生、急がば回れである。それはチョット意味が違うか？

まあ、いい。フェイント殺法はいつものことだと思ってくれ。ぐだぐだ言いながら結局、今から書こうとしていることといったら、自分の本の宣伝なんだよ。

相変わらず公私混同のクセは、なおらないみたいだよ。しかし、考えてみたら私に〝公〟なんて初めからあるわけない。オール、すべて、ぜ～んぶ〝私〟しかないんだよなあ。ということは私の中では何も混同なんかしていないわけだよ。

この世の中で無邪気なものほど強いものはない。ただし、それは無神経とは違う。無神経は人を不快な気分にさせるだけ。かわいい無邪気さは世のため、人のため、エンターテインメントになる。

私が言っているのはそのことなのだ。無邪気なことがメルヘンやファンタジーにつながっていった。それが『週刊プロレス』時代に連載していたエッセイ『ザッツ・レスラー』なんだよ。

よくもまあ『週刊プロレス』の編集長をやりながら、毎週というか毎日、チョー、チョー、忙しい時間の中で、あんなお伽話を書けたもんだよ。

あれはミラクルだったと、今でも私はそう思っている。もとはと言えば私はアジテーションの天才なのだ。言葉は、言語は、コピーはファンや読者のハートと頭の両方をぶち抜く弾丸になると、私はずっと前からそう信じていた。

雑誌を作っていたらみんな私みたいなスナイパー、狙撃兵にならないとね。エディターはスナイパーになるべし。

かくして私は『週刊プロレス』をプロレス界の〝問題児〟〝暴れん坊〟にしていった。いいんだよ。物議をかもせないマガジンは、屁以下なんだから。

取材拒否？　全然、怖くない。よしよしよし、相手も本気になったか？　つまり私のメッセージとアジテーションは敵と味方の両極端にしか届かないんだよ。

だって私はその両極端にしか、はじめから興味ないんだから。こっちの思うツボではないか？　大成功というものだ。

時代の狙撃兵は逆にいつ、どこで狙わ

ザッツ・レスラー リターンズ

ターザン山本

ボクのプロレス、ボクの夢

byターザン山本

かつて「週刊プロレス」誌上にて連載された、ターザン山本編集長珠玉のエッセイ
それはありし日のプロレスの記憶。厳選148編がいまここに復刻！

れているか分からない。一寸先は闇だということである。そんな孤独な狙撃兵に一番、必要なものはなんなのか？

誰もいないところで一人ポツンとつぶやく〝子守歌〟さ。闘いがシビアであればあるほど、我が身がいつも危険にさらされていればいるほど、心の救いになるのが〝子守歌〟というわけさ。

私は『週刊プロレス』の編集長をやっていて、どこかで自分の心を毒抜きする必要を感じて、それで『ザッツ・レスラー』を書く気になったのだ。

週刊誌という雑誌を作っていると、体の中にアク、不純物、毒がどんどん溜まってくるものなんだ。そのアク抜き、不純物は取らないとだめなんだよ。

そのためには私の文章だけではとても無理だ。誰か私が書いた文章にイラストを描いてほしい。イラストというよりも絵本の絵みたいなものである。

その私の夢をバッチシとかなえてくれた人が、松本晴夫さん。この人がまたふわっとした見る人の気持ちをハッピーにするイラストを描いてくれたのだ。

もう、私にとって最強にして最良のパートナーである。最初の頃、私は『ザッツ・レスラー』はレスラーのことだけを書くべきだと考えていた。

なぜならこの世界の主役はあくまでプロレスラーだからだ。ところがある時から私は、自分のことを書いてもいいんだと思うようになった。

はっきりした理由はない。このページがもし私だけのものだとしたら、私が主人公になったとしても不自然なことにはならない。それも〝あり〟なのだ。

この本来は越えてはならない一線を越えてしまったところに『ザッツ・レスラー』の面白さがあったと思っている。

かくして私はレスラーでもないのにプロレスラーと同じになっていった。私のリングは『週刊プロレス』という雑誌である。そこでは相手レスラーと試合はしなかったが、活字によるパントマイムでプロレスをやっていたのだ。

プロレスファンなら誰でも少年のような心を持っているはずである。そうしないとプロレスは、何も見えてこないし分かりようがない世界だからだ。

私はそのことを証明するために『ザッツ・レスラー』を書き続けた。1週間に1回だけ詩人になるようなもの。

危険なアジテーターが詩人になるというのも、考えたら楽しい話ではないか？　今となっては『週刊プロレス』時代、私にとって一番いい思い出は、この『ザッツ・レスラー』になっているのだ。

それを今回、新紀元社さんがリターンズして、再び世に出してくれた。こんなにうれしいことはない。私の人生はどうみてもラッキーの連続である。

この復刻版の『ザッツ・レスラー』が思わぬところで人の目に触れることになった。22歳のある若者が同じトシの彼女と結婚。11月には子供が生まれる。

彼は大のプロレスファンだが、彼女のほうはプロレスに興味はなかった。しかし今ではなぜか彼が買ってきた『ザッツ・レスラー　リターンズ』が彼女の愛読書になっているという。

身重の彼女は時々、寝る前にこの私の本を読んでそれこそ、子守歌のようにしているのだ。プロレスファンではない女のコに届いたというのは大きい。

やっぱり最後は自慢話になったか。ちなみにこの2人にベートーベンの交響曲「田園」をすすめたら、その「田園」がかかるたびにお腹の中の子供が激しく踊り出すというのだ。これって『ザッツ・レスラー』に書きたい話だよね……。■

編集後記

▼ここ最近昼夜問わず散歩ばかりしている。近所に大きな寺があり、家からどの方向に進んでも墓地や社にでくわす。そのせいで、真夜中に懐中電灯片手に徘徊すれば、巡回中の警官に墓荒らしと疑われ、社のあたりでは賽銭泥棒でも扱うかのように職務質問される始末。その際警官は俺の目を見て話すのではなく、俺の輪郭を凝視してくる。どこぞの犯罪者の顔と照らし合わせるかのように。（野尻）

▼秋になれば、食欲やら読書やらスポーツやらいろんな『〜の秋』がある。どうして秋をきっかけにして、何かに没頭しなければいけないのだろうか？　何かとセットにして結びつけられている秋も、さぞかしいい迷惑をしてるだろう。しかしそれ以前に「お前は1人では生きていけない季節なんだよ」とそっと教えてあげたかったりもして。でも、僕はそんな秋が好きだ。理由は特にない。（佐藤）

▼入稿で忙しい1週間。気になるニュースが2つあった。まず一つは東スポの「猿が格闘界デビュー」という記事。猿のやっちゃんは空手が得意で、居酒屋で接客係をしているそうだ。居酒屋『かやぶき』で居酒屋のオーナーはK—1ならぬS—1（サルワン）の開催を目論んでいるらしい。もう一つは北尾光司と立浪部屋の復縁。これはめでたい話だ。私はまた表舞台で活躍する北尾を見てみたい。（小松）

▼食玩（コンビニとかで売ってるちっちゃなフィギュア付きのお菓子）にハマッてしまった。アポロやスプートニクといった宇宙開発史がモチーフの『王立科学博物館』。けっこうな散財だったけど、それでも全種類集め切った時の充実感ときたらたまんなかったね。しかし不安なのは、これが「シリーズ第1弾」らしいこと。集め続けるしかないんだが……。楽しいけど辛い。それがマニアの業。（橋本）

▼水泳の北島、体操の鹿島、そして陸上の室伏、末續、野口、千葉と、世界大会での日本人の活躍が、冷夏を熱くしてくれた。でも、ボクの楽しみはやっぱり世界柔道。「柔道はお家芸だから日本が強いに決まってる」なんて思ってる人も多いけど、実は今ではフランスやドイツのほうが日本より競技人口も多いし人気もあるのだ。簡単に勝てないからこそ応援にも熱が入る。頑張れ、ニッポン！（林）

▼9月のカレンダーを見て驚いた。15日が「敬老の日」で23日が「秋分の日」で、1カ月に2日も祭日がある。15日は月曜日、23日は火曜日だ。下手すると土曜日を休みと考えれば、その二つの週は3連休と4連休になるではないか？　こんなことしていたら日本人はだめになる。祭日はなくせ。なくてもいい。土曜日も休みにするなである。もう私は日本という国と日本人が大嫌いになった。（山本）

SRS・DX
2003年9・25&10・9 No.102

発行・発売　株式会社扶桑社
〒105-8070
東京都港区海岸1-15-1
販売部 ☎03-5403-8859

協力　フジテレビジョン
フジテレビ出版

編集　株式会社ローデス
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
編集部 ☎03-3295-4445

発行人　満賀主水

編集人　谷川貞治

DESIGNER　梅村あゆみ
岩村唯是
水町由美子
su・plex
溝口真穂
小林善夫
2in1
ナール企画
NORTON
野尻雅友

シュートボクシング協会会長
シーザー武志

映画監督
三池崇史

×

格闘技と男の魅力を語り尽くす

昭和魂対談!

デタラメでエネルギー溢れる男たちを描かせたら世界一の映画監督・三池崇史。一方、三池作品にたびたび登場し、ギラギラした男っぽさを迸らせるシュートボクシング会長シーザー武志。この生々しい2人の男たちが男の闘いざまを語り合うスペシャル対談。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎中村ミノル

——今日はお二人に格闘技の魅力をあらゆる角度から語っていただきたいのですが、まず、三池監督は格闘技好きとしてはよく知られていますし、真樹道場で空手の茶帯を持ってるんですよね。

三池　いえいえ、違います。それはこの前出た「監督中毒」って本の唯一の間違いで、なろうと努力はしたんですけど（苦笑）。だから、空手をやり始めた理由は子供みたいなものでやっぱりブルース・リーであり、沢村忠ですよね。あぁいうほんとのヒーローが我々が子供の頃にいたじゃないですか、メディアの中に。それが映画を作っていくと実像として「目の前に本物がいる!」っていうのでもっと近寄ってみたいという（笑）。

——それはシーザー会長に会った時もありました?　「ヒーローに会えた!」っていう。

三池　シーザーさんはヒーローと言うより暴れん坊ですよね（笑）。

シーザー　ワッハハハ。俺は真面目だよ。

三池　紙一重というか。あの、そういう点では生きているところは違うんですけど、なんかエリートじゃない感が大好きなんですよ（笑）。

——『喧嘩の花道・大阪最強伝説』みたいなもんですからね。

シーザー　あれもVシネ?

三池　はい。シーザーさんも出ていましたよね。飲んだくれて工事現場でバァーっと暴れたり（笑）。息子役だった北村一輝は今テレビドラマで上戸彩の父親役をしてますよ。

シーザー　彼から「父ちゃんはションベンだ」って言われてさ、ウチの女房がいつも「あれいい、あれいい」って笑ってるよ（笑）。監督とやって面白いのは、べつに芝居を考えなくていいところ。や

うじゃないものがやっぱりリアルなもの

る時は緊張しますけど、監督は急に違うことをやるんだよね（笑）。

三池　だから、台本とかって現場に集めるエサみたいなもんですから（笑）。集めちゃえば演じる人がいてスタッフもいてっていう関係ができて、テストをやる瞬間に自分たちが〝どう暴れたいんだ〟とか〝昨日飲み過ぎたから早く終わるといいな〟っていうのもあったりで、そういういろんなことがゴチャ混ぜになって、そういう瞬間に自分では映画の価値ってあると思うんですよ。ライブな感じっていうか。

シーザー　『不動』って作品では俺、双子のおじいさんでホモという一人二役だったからね（笑）。

三池　銀髪と金髪の双子だったんですけど、あれはカツラを半分ずつ色分けして鏡に映しているだけなんですよ。ワンカットも合成カットってないんですよ、実は（笑）。

シーザー　だから、面白かったけどよく

シーザーさんはヒーローというより暴れん坊ですよね（三池）

分からなかったんだよ（笑）。

三池　結構、金に貧しい状況で作りましたからね。要は余裕があったり、金があったら〝映画はこうすべきだ〟というルールに従わなきゃならないんですけど、自分らは「この予算でこのメンバー集めてこの日数じゃ絶対撮れねえよな」ってことやるから。だから自由なんですよ。現場に入ったら「自由に闘っていいよ」ってボクは解釈してるんですよ。

シーザー　だから、迫力が出るんだよ。

三池　いやでも、シーザーさんも凄いですよ。昔、SBの武道館興行『グラウンド・ゼロ』の演出をしたんですけど、突然ルール変えちゃうんですからね。ルール関係ないですもん。「もう一回やれ」とか（笑）。

シーザー　吉鷹の引退試合だったんだけど、特別なんだから行けっていうね。

三池　なんて言うんですかね、普通は引退試合だから、まあそれなりにやって最後の形としての3Rをやればいいのに、3R目に「お前、本気でいっていいぞ!　あとの責任はオレが取るから倒しちゃえよ!」って言ってましたからね（笑）。

シーザー　ワッハハハ!　言ったね。

三池　それをオレは横で聞いてて「じゃあ、そうなった時にどんな音楽かければいいだろう?　ともかくそれに備えるか!」って思って（笑）。でも、吉鷹選手は冷静に試合をしてるんですね、きちんと興行としてのバランスを見て。でも、シーザーさんは壊そうとするんですから!

シーザー　ふふふ。いや、最近思うんですけど若い奴らのほうが大人ですね。ちゃんとルールに則って試合をする。だから、オレ、異常に宙に浮いているよね（笑）。

三池　だから、「行けッ!　やっちゃえ!」ってなる（笑）。「あとでどうなってもオレが責任を持つ」っていうのがあるんでしょうね。

シーザー　最後は「どうもすみませんでした」って言えばいいかなって（笑）。ノーマルに終わるよりも、その瞬間、お客さんと一体になって興奮を味わうほうをオレは選ぶよね。そこのところがプロだと思うんですよね。ただ普通に終わっちゃったら、金払って来る必要ない。そうじゃなくてね、死に物狂いでバッカンバッカン殴って殴られて、「やってまうでエ!」っていうのがあるから、「負けたけどあいつのファンになるよ」っていうのがあるんだと思う。

三池　っていうか「客は納得してもオレは納得しねえぞ」みたいな感覚が絶対にあると思いますよ（笑）。

シーザー　それじゃないと面白くないと思うんだよ。例えば、映画見て「うわぁ、面白ぇな、これ」ってあるよ。でも、そ

を引きずっているみたいな（笑）。

シーザー武志×三池崇史
昭和魂対談!

うじゃないものがやっぱりリアルなものにはあるじゃないですか。そこをやっぱり格闘家は見せないと。今の格闘家ってないですよ。ノーマルどおりだよ。

——そのリアルさが格闘技の迫力と醍醐味になるんですね。

三池 だって、後楽園ホールで飲むビールほど酔っぱらうもんはないですから、ほんとに（笑）。失礼だと思うんですよ。そこで名も知らぬ人間たちがバッチバチにやっているのに「自分はビール飲んで見てる！」みたいな（笑）。逆に言うと、そこがまた心地いいのかも分からない。なんか、こうどちらかでないと。ただ、見て、ほんとに見て、ほんとに応援してっていうのか、自分が闘うべきかですよね。もしかしたら、闘えない自分が悔しいのかもしれないですね。

シーザー 悔しいっていうか、照れじゃないですかね。そうでもない？

三池 いやぁ、格闘家は凄いですもん。信じられないですもん。

シーザー 監督を見ていると照れの部分があって、酒を飲むと別世界の中のものに見えちゃうみたいな。違うんですか？

三池 う〜ん、ただ飲んじゃいますよね。後楽園に着くとシートに着く前にとりあえず売店（笑）。またいい位置にあるんだよね、後楽園の場合。シートに座った頃に一杯空いちゃうから（笑）。

シーザー だけどさぁ、あの紙コップの中って少なくないですか？　いや少ないですよ、量は。

三池 ワハハハ！　でも、ほんと酔っちゃいます。でも、最近思ったのが、「絶対オレは死なない」って思ってるからリングで闘えるんだろうなってことですね。どこか楽観的な部分もあるのかなって。端から見ると「あれ、死ぬよね？」って思ってるのに（笑）。

シーザー 監督が言われるようにね、殺伐としたもんが薄くなっているんですよね。彼らはスポーツとしての格闘技。ボクらは殺し合いのね。「これでオレの人生終わるかなぁ？」みたいな、その頑張り方みたいなのは今の子にないですね、多分。そういうのは、逆にいえば、ナンセンスだと思っている。

——「殺し合いくらいの気持ちで挑まないとダメだ」と。

シーザー いや、そのくらいの気持ちでいっているヤツのほうが、ストイックなヤツのほうが、ファンは見ていて感動しますよね。感動するというか、入っちゃう。

「おまえ、芝居でもやりすぎとちゃうんか？」ってね（笑）（武志）

——そういう、男の意地みたいなものがあるから三池作品が評価されるのであり、格闘技の会場で意地が見えるから観客が沸くんだと思うんですね。特にシュートボクシングの会場っていうのは、リングの中央で男たちが闘い、その周りにはシーザー会長をはじめとしてちょっと怖い人たちがいる。もちろん上玉のおねえちゃんたちもいて、さらにその中には俳優の清水健太郎さん、力也さん、やべきょうすけさんたちがいると。もう、そのまんまこれ映画になるだろうっていうワクワクする現場なんですよね（笑）。

三池 だから、昭和なんだと思いますよ。ボクなんかもどっちかというと、どっかで昭和にこだわりがありますね。梶原一騎であるとか。シーザー会長自身も凄い昭和っぽいじゃないですか。なんか戦後を引きずっているみたいな（笑）。

シーザー ワッハハハ！　そう？

三池 例えば、安藤昇さんの、戦後の渋谷の実録モノを大作でやろうとしたら、やれる役者がいないんですよ。芸能界で。今の役者じゃどう格好つけても無理ですよね。でも、シーザーさんが立っていれば……。

——ハマリますねぇ（笑）。

三池 それはやっぱり作れるものじゃないですからね。そういうキャラクターというか存在感は大きいですよね。映画は偽物なんだから、本物の匂いを持った存在がいないと。かつては撮影所も、ある程度は本物だったんですよね。東映の太秦撮影所は日常的に極道の人たちがいて、役者の面倒を見て飯を食いにいってワァーっていうのがあったから、やっぱりああゆう深作さんの世界みたいなのが作れるわけじゃないですか。で、もともと役者という生き方そのものが、えらくやくざに近いわけですよ。合法的なやくざというか。「他で何もできねえから」って奴もいたわけだから。でも、もうそういう匂いはなくなっている。

シーザー だから、監督はオレたちみたいな変なのを喜んで使うんだよ（笑）。

三池 でも、格闘家にも二種類ありますよね。

シーザー 二種類？

三池 ボクが好んであれするのはやっぱりシーザーさん。昭和っぽい。あとは……「ろくな死に方しないんじゃないか？」っていう匂い（笑）。

シーザー ワッハハハ！

三池 破滅型の人で、でもどっこい生きてて強いっていう。要は映画の役とは全然逆というね。で、もう一つのほうはプロデューサーサイドっていうか制作サイ

ドが何かのジョイントして、要は旬だってことでの関わり。だから、今、ボクが撮っているヤツはボブ・サップ。初日でボブ・サップで、次の日魔裟斗と緒形拳を撮るという、そういう時代劇（笑）。

——ボブ・サップで時代劇？

三池　お坊さんなんですけど。暴れん坊で日に焼けたお坊さん。もうなんでもありです（笑）。

シーザー　喋るんですか？

三池　喋ります、英語で。でも、時代劇（笑）。

シーザー　ワッハハハ！　魔裟斗はどうですか？　面白いですか？

三池　役者としての才能はかなりありますよ。やっぱりナルシストだから。結構もう慣れていますよ。

——あの具志堅さんとのCMも凄いいい感じですよね。

三池　爽やか（笑）。

シーザー　そんなのがあるの？

三池　嘘っぽいCMがあるんですよ。妙に爽やかな（笑）。でも、彼らと違ってシーザーさんの格闘家としての旬な時は既に映画を撮る前にあって、全然次元が違う物なんですよ。昔の試合のビデオとかたまに見せてもらっているんですけど、無茶だよなぁ、闘い方がねっていう。こういう人についてくる人たちって、どういう人たちなんだろうって。看板変えたらそのまま組を作れるんじゃないかって思いますよ（笑）。

シーザー　ワッハハ！　もし、そうなったら、結構喧嘩強いよ、うちの組（笑）。でも、オレは勝（新太郎）さんと死ぬ前くらいにずっと一緒だったんだけど、やっぱり、役者でもああいう人は凄いですね。

三池　凄いですね。

シーザー　全身から全部出ていますよね。同じだなって思う。例のパンツの事件だって、誰かほかの人間が持ってきたものを自分が罪を被ったみたいだね。それで「玉緒、お前のお袋には面倒かけているから、よろしく言っといてくれよ」みたいなこと言ったり、一緒に食事してても「こりゃあ、上物かもしれねえなぁ」って当然言い出したりさ、「勝さん、それほうれん草ですよ」って（笑）。良い悪いじゃなくて、この人がいることによって何かが輝くってことが大事なことじゃないかなって思うよね。

後楽園ホールで飲むビールほど酔っぱらうもんはない（三池）

三池　今はだから、メディアが扱う善悪というか、記事にする基準というか、楽しもうとする基準が結構みみっちいですよね。もっと違う楽しみ方ってあると思う。勝さんの事件にしても「なんでパンツなんだよ」「やっぱりパンツしかないよ」みたいな視点でも、あればもっと面白くなるのに、「誰かが不倫しました」ってだけで喜々として伝え、喜々として喜ぶのは逆に危機感が出てきますね。

シーザー　いやぁ、でも、オレさぁ、アサヒ芸能とか大好きなんだよな（笑）。

三池　ワハハハ！

——男らしいですね（笑）。そういえば、監督の『新宿黒社会』って作品では、会長と女優の柳愛里さんとの絡みは絶品でしたね。

シーザー　誰それ？

——いや、会長の下半身にヨーグルトを塗りつけてナメた方です（笑）。

シーザー　オォ！　アレはいいねぇ（笑）。「これはもう芝居じゃなくなってきたかな」って思って、監督に言ったの「これやっちゃうとどうなるんですか？」って（笑）。

三池　ワハハハ！　それはもう芝居じゃないですから（笑）。でも、それはそれでいいんですよ、そういう状況を楽しんじゃえば。役者として来ている場で「勃ってきたらやっちゃってもいいんですか？」ってボクに聞いてくる美学っていうね（笑）。

シーザー　いやぁ、本気になっちゃうよね。でもね、監督だって人を乗せるのはうまいんだよね。暴動のシーンなんか「こらぁ〜！　おらぁ〜！　お前っ〜！」って自分で叫んでリードするわけよ。

三池　映っていないハジッコにいるんですよ。で、そうなるとボンッとシーザーさんの背中に誰かがぶつかるともうお芝

PROFILE

三池崇史（みいけ・たかし）

1960年、大阪府出身。横浜放送映画専門学院（現・日本映画学校）卒業。91年にオリジナルビデオ『突風！ ミニパト隊』で監督デビュー後、劇場映画、ビデオ、テレビドラマで活躍、監督作品はなんと50本を超える。おそらく、いま現在、世界で最も多忙・多作な映画監督。『新宿黒社会』、『DEAD OR ALIVE』、『殺し屋1』などヤクザ、アクション系で知られるが、SPEED主演の『アンドロメディア』、ミュージカル仕立ての『カタクリ家の幸福』などジャンルを問わず傑作、話題作を連発。欧米でも評価が高く、『牛頭GOZU』はカンヌ映画祭でも上映。本誌編集部・橋本はロンドンのタワーレコードの一番目立つ場所に『DEAD OR ALIVE』のポスターが張られているのを見てド肝を抜かした。98年にはシュートボクシング『GROUND ZERO』武道館大会の演出も手がける。そんな三池監督の最新作は『リング』シリーズなどで知られる角川ホラー第6弾にして柴咲コウ映画初主演作『着信アリ』（2004年正月第2弾、全国東宝系にてロードショー予定）。そして来春には哀川翔主演100本記念作品、宮藤官九郎脚本の特撮変身ヒーローもの（！）『ゼブラーマン』（東映配給）が公開予定！

居じゃないんですよ。ある力をドンッと越えると瞬間的に本能的にグッと見るわけですよね（笑）。

シーザー 「お前、やりすぎとちゃうんか？」ってね（笑）。バンって来ると「おい、芝居でもやりすぎちゃうんか、こら」って。その表情が撮りたいんですよ、監督は。

――やっぱりそういう生々しい部分なんですね。

三池 要は不良っぽい人（笑）。ていうか不良。自分は不良っぽい人だったんで、そこからずっとコンプレックスがあるんですよね。で、シーザーさんは不良とかって次元じゃない（笑）。

シーザー 喜んでいいのかな（笑）。でも、監督も八尾の出身でしょ。あの辺はもうホンットにガラ悪いですよね。

三池 シーザーさんの世代っていうのは本当に凄い世界だったじゃないですか（笑）。ボクらが小学校の頃に凄い世界だなって思ってて、でも、歳取ったらその世界に入らないといけないわけですよ。

シーザー 日韓連合っていう凄い大きい暴走族があったんだよね。

三池 凄い名前でしょ？

シーザー もうそのままよ（笑）。

三池 そこにいろいろあるわけですよ。ボクなんかはその下に属してる集団について走っていただけなんです（笑）。でも、シーザーさんは……。

シーザー オレはね、2番目のオヤジが村田組って組を持ってたから、16くらいでやくざになろうかキックボクサーになろうかだから。

三池 どういう選択ですか、他になかったんですか（笑）。

シーザー 「やくざは後でもできるなぁ」って思ってそれがキックボクサーの始まりでしたね。

三池 だから、やっぱりなるべくしてなっちゃっているんですよね。そういうのって憧れちゃうんですよね。だって、今じゃ映画でそんな設定作ったら「嘘っぽいからダメだよ」って言われる（笑）。

シーザー そうかもしれないね（笑）。

――では、最後に会長を役者さんとして見てどう思いますか？

三池 いいですよ。ますます良くなっていくんだもん。シーザーさんは本当は主役タイプなんですよね。日本映画は特にそうなんですけど、主役ってみんなヘタなんですよ。石原裕次郎にしても高倉健にしても菅原文太にしても。でも、選ばれし人間が主役としてそこにいて、芝居では出せない魅力を出すわけですよ。それをみんな求めているんですよ。

シーザー う〜ん、そうかな（笑）。

三池 だから『踊る大捜査線』のパート3を今までの倍、20億をかけます。主役も変えますから撮ってください」って言われたらボクは迷わずシーザーさんです。織田裕二なら20億が10倍になる可能性は高いですよ。でも、それってたかが10倍でしょ。でも、200億、300億になる可能性があるのはシーザー武志なんですよ（笑）。

――そんなダイナミックなものをぜひとも見たいです！ ■

シーザー武志×三池崇史

昭和魂対談！

最近の若い奴は俺より大人だね。ルールに則って試合する（武志）

9.23 SB後楽園大会は総合戦士と他流試合3連発！

『"S" of the World vol.5』
9月23日（火・祝） 後楽園ホール
OPEN/17:00 START/17:30

〈決定対戦カード〉

アンディー・サワー〈オランダ/リンホージム〉	VS	カルロス・コンディット〈アメリカ〉
土井広之〈シーザージム〉	VS	ビクトー・ヘルナンデス〈アメリカ〉
宍戸大樹〈シーザージム〉	VS	レミギウス・モリカビュチス〈リトアニア〉
三原日出男〈シーザージム〉	VS	歌川暁文〈U.W.F.スネークピットジャパン〉

メインでは『K-1ワールドMAX』で屈辱のTKO負けを喫したアンディー・サワーが復活！ アルティメットS.F.チャンピオンという総合系ファイターのカルロス・コンディットと対戦する。今年に入って長期欠場から復帰、徐々に本来の力を取り戻しつつある日本のエース・土井広之も、MMAシュートファイティングチャンピオン、ビクトー・ヘルナンデスを迎え撃つ。サワー、土井ともに11月の『K-1 MAX』（ワンマッチ大会）を睨んでいるだけに、本領発揮のKO勝利でアピールしたいところだろう。また今大会では『ZST』でKOの山を築き上げているリトアニアのレミギウス・モリカビュチスがSB初参戦。いきなりSライト級王者・宍戸大樹と対戦することになった。危険を顧みないにもほどがあるシーザー会長の大博打マッチメイク。総合ファイターの他流試合3連発で"立ち技VT"シュートボクシングの真価が問われる！

男は地獄で歌う

——小林聡、雌伏の日々

全日本キックの看板選手・小林聡がリングから遠ざかって4カ月が経つ。単なる〝試合ペース〟の問題ではない。手痛い連敗を喫し、客席へグローブを投げ込んで以来の欠場だから気になっているファンも多いはずだ。雌伏の日々、小林は何を考え、どこに向かおうとしているのか。

文◎橋本宗洋

「あの時、オレは一度死んだんですよ」

今まで打倒ムエタイでやってきて、なん

そして悪夢の2連敗……。

▲まだ"リハビリ期間"ということで、それほど激しい練習はしていないという。それでも、そのパンチ、蹴りには充分すぎるほどの殺気が張っていた

右ヒジが曲がらない状態での連戦……「意地を張るのにも疲れてましたね」

「あの時、オレは一度死んだんですよ」

そう小林聡は言う。あの時、とは5月23日に行われた全日本キックの『ライト級最強決定トーナメント』準決勝・花戸忍戦のことだ。小林はそれに先立つ3月の1回戦で任治彬にKO負け、決勝大会ではリザーブマッチを行うはずだったのだが、任の負傷欠場で急きょ準決勝進出を果たしたのだった。

団体のエースが、同じ大会で2度も負けることは許されない。背水の陣で臨んだ花戸戦だったが、結果は判定負け。本調子とはほど遠い動きのまま花戸の力に押し切られた小林の姿に〝限界〟を感じた者も多かった。

試合後。小林はリング上でグローブを外すと、それを客席に投げ入れた。まさにその瞬間、小林聡というキックボクサーは〝一度死んだ〟のだ。

「体が動かない自分がいて、なんか重りを持ってるみたいで。(花戸戦が)終わった時はもう、とにかく〝疲れた〟って。このトーナメントに出場するかどうかで連盟ともいろいろあって、意地張ってるのにも疲れたし、キックボクサーでいることにも疲れた。それでグローブを外したんです。〝もうここにはいたくない〟って気分でしたね……」

それまでの小林は、タイのチャンピオン3人と闘い(ラジャダムナンのライト級王者テーパリットにはKO勝ちを収めている)、敵地で行われる大イベント『ムエマラソン』にも出場するなど〝打倒ムエタイ〟に邁進していた。団体もそれを全力でバックアップした。だが今年3月、全日本キックは日本人中心の『ライト級最強決定トーナメント』を開催。もちろんエースとして、小林にも出場の要請があったのだが、それが気に入らなかった。

今まで打倒ムエタイでやってきて、なんでここで日本人のトーナメントなんだよ。しかもK―1MAXが盛り上がってるこの時期に、同じようなことやろうなんて。ルールはヒジなしだって? 何を考えてんだ!

観客にとってはたまらない企画だったし、小林も「プロは客呼んでナンボ」と出場はした。それでも、連盟に対して意地は貫き通したかった。戦前、小林は「優勝してこのトーナメントを破壊する」とも言っている。だが、それができるほどの状態ではなかったのだ。ケガ。それも重症だった。

「2年前、(ジャン・)スカボロスキーとやった時、強烈な左ミドルをもらってからですね。腕を傷めやすくなってたんですよ」

蹴りの衝撃で右ヒジの軟骨がはがれ、関節付近をネズミのように動き回った。さらに昨年9月、世界最高の左ミドルキックの使い手・サムゴーに叩き潰されてさらに悪化。

「でも、その時は気持ちが打倒ムエタイに燃えてたんで。気合いでなんとかなると思って麻酔しながら試合して」

しかし、もう今年に入るとごまかしようがなくなった。動き回っていた関節ネズミがヒジの内側に入り込み、直接神経を痛めつけた。腕が90度以上曲がらない。練習中、ちょっと押されただけでも激痛が走った。ネズミが当たる前腕部・上腕部の骨にも異常をきたしていた。

「歯を磨いたり、ヒゲを剃ったりもできない。腕立ても左手だけでやってましたね。パンチも、振り切るのがダメなんですよ。よけられてスッポ抜けるのが恐いから、右はアッパーしか出せない」

そんな状態での、トーナメント出場。そして悪夢の2連敗……。

「いや、その時だって勝てると思ってやってたんですよ。〝誰だってどっかしらケガしてんだよ〟って。まぁ甘かったですよね。やっぱり、負け続けないと踏ん切りがつかなかった」

小林が手術に踏み切ったのは6月20日のこと。切除したネズミは、病院で「(レントゲン写真を)資料としてとっておく」と言われるほどの大きさだったらしい。

「新田(明臣)くんが3回もお見舞いに来てくれましたよ。辞めてほしくないみたいで。田舎の友達も、今度激励会を開いてくれるんですよね」

あらためて、自分が周囲にどれだけ支えられているかが分かった。ただ、励まされるまでもなく、手術を決意した段階

▲5月23日、『全日本最強決定トーナメント』での花戸忍戦。ケガもあって好調時とはかけ離れた動きしか見せられなかった小林は判定負け。グローブを客席に投げ込んでリングを降りた。今のところ、これが最後の試合になっている

賭け続けなきゃバクチには勝てない　最後に勝つのはオレですよ

で気持ちは切り替わっていたのだ。キッチリ治して、勝負に出ると。

「31歳にもなって〝生まれ変わった〟っていうのもアレですけどね（笑）」

休んでいる間、内面でちょっとした変化もあった。

「若い連中の指導したりするじゃないですか。そうすると〝頑張ってんなぁ〟なんて感心したりね。あと、この前ジムの先輩の試合があったんですよ。勝ったんでバカみたいに喜んで朝まで騒いで、そんでケイタイなくしちゃった。今まで人の試合なんて気にしたことなかったんですけどね。〝やべぇ、オレも歳くったのかな〟って（笑）」

今はまだ右腕に軽いしびれが残っている状態。本格的な練習は10月に入ってからになるという。具体的なことはそれから先の話。体が満足に動かないのに、あれがしたいこれがしたいと理想だけ語るような男ではないのだ。

ただ、いくつか考えていることはある。花戸、それに最大の敵であるサムゴーには借りを返さなければいけないだろう。それから……。

「予想がつくようなカードを組まれんのは嫌ですね。〝どうせ出直しとかいって格下とやらせんだろ〟みたいなね。それより目指すは番場蛮。復活のヒントは『侍ジャイアンツ』ですよ」

梶原一騎原作の野球マンガ。鯨と闘って死んだ父を持つ破天荒な男・番場蛮が主人公である。その中に出てくるエピソードが〝モリ師の丹次〟。鯨の腹の中に飲まれた丹次は、そのモリで鯨の腹を突き破って生還する。番場蛮も、同じように巨人軍という巨大な存在に入団、つまり腹に飲まれて、そこで大暴れするというわけだ。

「オレも嫌いなヤツ、大きなヤツに一回食べられるかもしれない、と。腹を突き破って出てくるか、胃液で溶かされるかは分かんないですけどね」

何をするにしても、欠場明けの小林に険しい道が待っているのは間違いないだろう。といって、楽な道を選ぶような男であるはずもない。

「道なんてねぇ、自分で作ればいいだけの話ですよ」

これまでだってそうだった。団体の分裂や倒産、ジムの移籍、それに手痛い敗北。何度も〝これからどうなるんだ〟という状況に追い込まれながら、それでも生き残ってきたのだ。少林寺拳法を習い始めた小学生の時から、格闘技の世界で生きていくと決めていた。それ以外の人生なんて、今さら考えられるわけがない。だったら、賭けに勝つしかないのだ。

「どれだけ負けても、賭け続けなきゃバクチには勝てないですからね。そんで……最後に勝つのはオレですよ」

〝男は地獄で歌うもの!!〟——どん底の二軍生活の中で、番場蛮が言い放った名台詞である。■

Profile……

小林聡（こばやし・さとし）

★所属/藤原ジム
★生年月日/1972年3月16日
★出身地/長野県
★身長/170センチ
★戦績/56戦38勝（27KO）16敗2分、WPKC世界ムエタイ・ライト級＆WKA世界ムエタイ・ライト級王者
★得意技/左フック、ローキック

冷静さ加わり〝強さ〟倍増！

ノゲイラ

次は王座挑戦か！ K－1にも興味!!

KID、一発KO!!

▲開始早々、KIDはいきなりタックルと見せてのロングフック。しかし、惜しくも顔面にジャストミートしなかった

▲リングに上がると、躍るようにウォーミングアップをしていたKID。表情にも余裕が感じられる

▲ミッチェルをなぎ倒したKIDは、すぐさまパウンドに

▲手足の長いミッチェルをグラウンドパンチで仕留めるのに時間がかかると判断したKIDは、すぐさまスタンドでの勝負に切り替える

▲175センチのケイレブ・ミッチェルと163センチのKID。下から見上げるKIDの目つきはやはり怖い

「勝つことは分かっていたから どういうふうに勝とうかと。KOで勝てて嬉しいッスね」

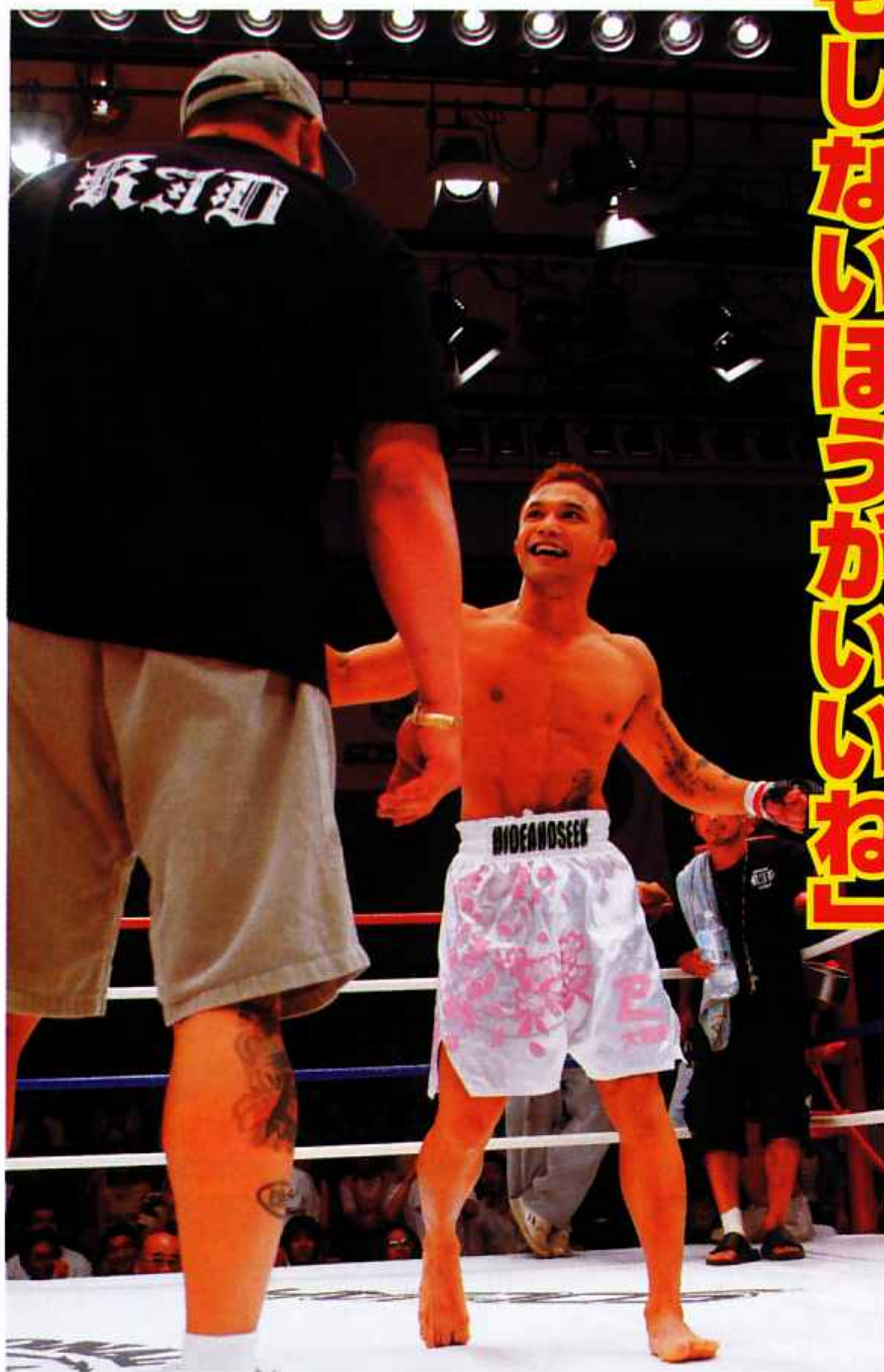
怖さはファイターとしての最大の武器であり、魅力でもある。しかし、その怖さを感じさせてくれるファイターというのは、なかなかいるもんじゃない。まして、演技や演出でなく、ナチュラルに怖さがにじみ出ている選手となると、ごく稀だと言っていい。

しかし、KIDは間違いなくそのごく稀な選手の一人と言っていいだろう。ただ、当たり前のことではあるが、インタビューに答える時や試合前後に言葉を交わす時のKIDは、多少尖った部分はあるにしても、相手を威嚇するようなところがあるわけではないし、周囲を脅えさせるような振る舞いをするわけではない。

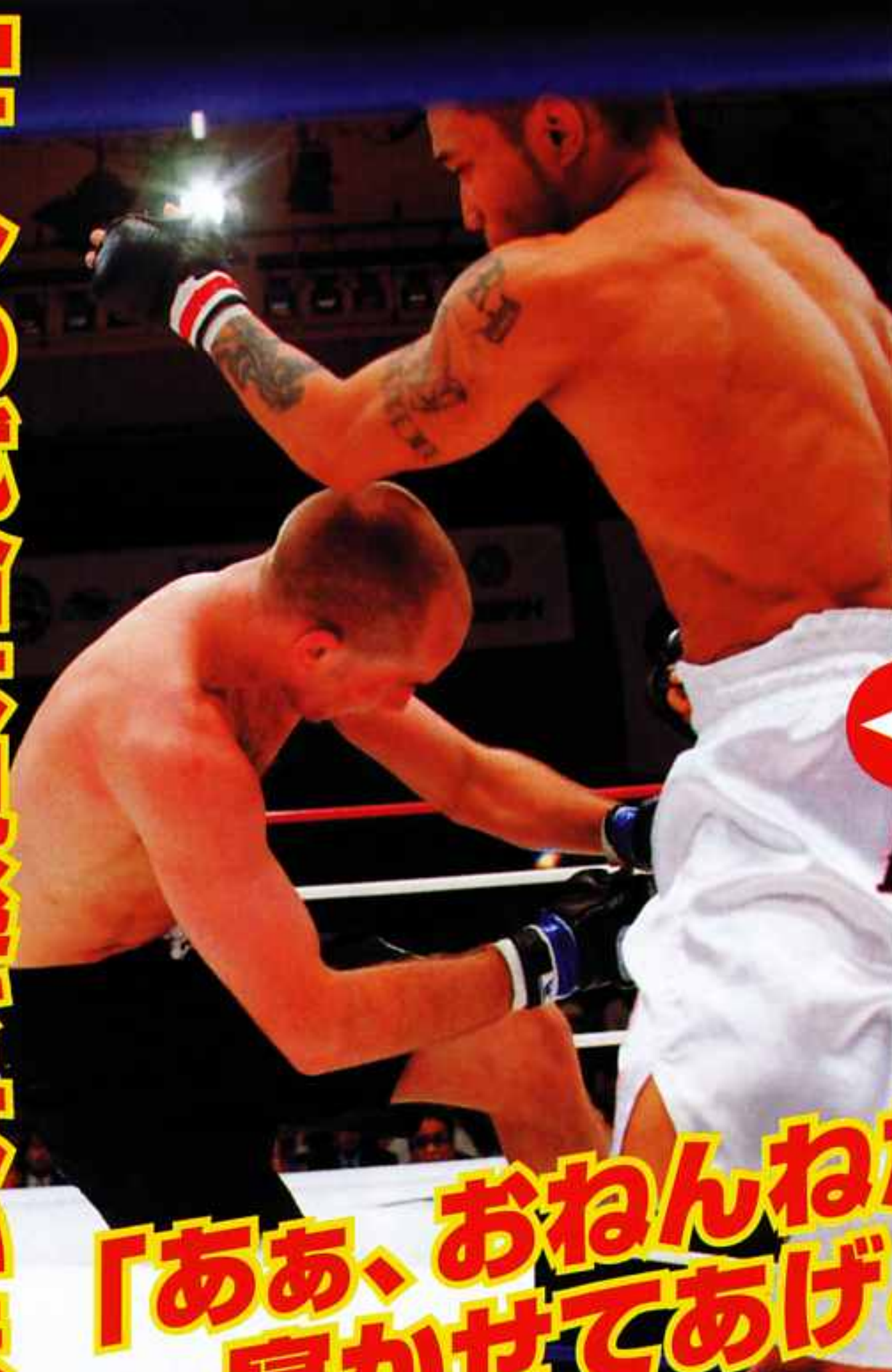
ところが、リングに上がった瞬間から放たれる強烈なオーラ、対戦相手と対峙した時に、相手のみならず観客までも呑み込んでしまいそうな凄みは、ヴァンダレイ・シウバやマイク・タイソンと比較しても決して負けてはいない。

最近では、試合を受けてくれる選手がいなくなってきたと言うのも、うなずける。いくらプロのファイターと言えども、こんな危険な選手とわざわざやらなくてもと思うのは当然だ。たとえ、選手本人が「やってやる!」と意志を固めたとしても、マネージャーや師匠からしたら、「まぁ、今やらなくてもいいんじゃないか」とやんわりと対戦を避けようと思うのは仕方のないことかもしれない。

結局、今回、KIDは早くから試合出場が決まっていたものの、対戦相手が決まらず、ギリギリでの発表となった。そう考えると、直前のオファーにもかかわらず、

「オレの試合は見逃さないほうがいい。瞬きもしないほうがいいね」

▲兄貴であり師匠でもあるエンセン井上の祝福を受けるKID。最高の笑顔だ

「あぁ、おねんねだな、寝かせてあげよう」

▲◀前蹴りを出しながら距離を詰めてきたミッチェルに対し、KIDは退きながら右フック一閃

▶虚空を見つめるミッチェル。「今までだったら（倒れた後に）2、3発めり込ませていたかもしれないけど、冷静だったから。あぁ、おねんねだなと、寝かせてあげようと」（KID）

▲◀試合がわずか40秒で決まったため、KIDは「やりたりない」とばかり、腕立て伏せのパフォーマンスまで見せた

After the fight

KIDのコメント　勝

「勝つことは分かっていたから、どういうふうに勝とうかなと思っていたんだけど、KOで勝てたんで嬉しいッスね。最初のパンチがここ（前腕部分）に当たったんで、ちょっと退いて当てれば拳に当たるかなと。そしたら、相手が来てくれたんで、ちょんとやったら（倒れてた）。補強する点はレスリングでもグラウンドでもいっぱいあるし、まだ全然途中段階。いつになっても納得できないから、まだ強くなれると思ってるし。自分がどの程度のレベルか、やってみないと分からないけど、チャンピオンシップはやりたいッスね。ノゲイラとやっても、オレがKOするか、オレが落とされるかどっちか。どっちにしても見てて面白いと思うよ」

★第10試合/メインイベント（5分2R）

○ 山本“KID”徳郁 × C・ミッチェル ●
〈PUREBRED大宮〉　〈アメリカ/シーザー・グレイシー・アカデミー〉
（1R0分40秒、TKO勝ち）
※右フックでミッチェルが失神し、レフェリーが試合をストップ

KIDとの対戦を受け入れ、逃げることなく真っ正面から闘いを挑んだミッチェルの勇気は、称賛したい。まぁちょっと無鉄砲というか、身の程知らずだったとは思うが。

それにしてもKIDの試合にはハズレがない。試合前からドキドキさせてくれる上に、試合が始まったら、一瞬たりとも目が離せないほどスリリングだ。試合中はもちろんだが、相手を倒した後も、何かしでかしそうな〝危険な香り〟がプンプンと漂っている。

この日も、右フック一発でミッチェルを倒したKIDは、一瞬、倒れたミッチェルに襲いかかるような素振りは見せた。しかし、相手が完全失神状態であることに気付くと、「あぁ、おねんねだ。寝かせてあげよう」と、自分も相手の横に寝るパフォーマンスまで見せる余裕。今までのKIDはともするとやり過ぎ」で観客がひいてしまうところもあったが、こんなパフォーマンスなら大歓迎。観客も大いにノレるってもんだ。

KID自身も「前までだったら2、3発めり込ませていたかもしれないけど、やっぱ冷静になってたから」と、ちょっと大人発言。

〝怖さ〟だけでなく〝冷静さ〟という武器を身に付けて、さらなる進化を遂げたKID。いよいよノゲイラとのチャンピオンシップが見えてきた。さらに、最近、キックボクシングの渡辺ジムに通い、打撃に磨きをかけるKIDはK－1にも興味を抱いているという。

「オレの試合は見逃さないほうがいい、瞬きもしないほうがいいね！」こんなかっこいいセリフ、誰にでも言えるもんじゃない。（林）

PROFESSIONAL SHOOTO
9・5★後楽園ホール

塩沢、昨年の新人王を問題にせず タイトル挑戦にまた一歩前進！

▶寝技も強いが、打撃にも定評のある塩沢。右のジャブはいい感じでヒットした

▼小外刈りでテイクダウンした塩沢は、サイド→バックと移行。最後はスリーパーホールドできっちり極めてみせた

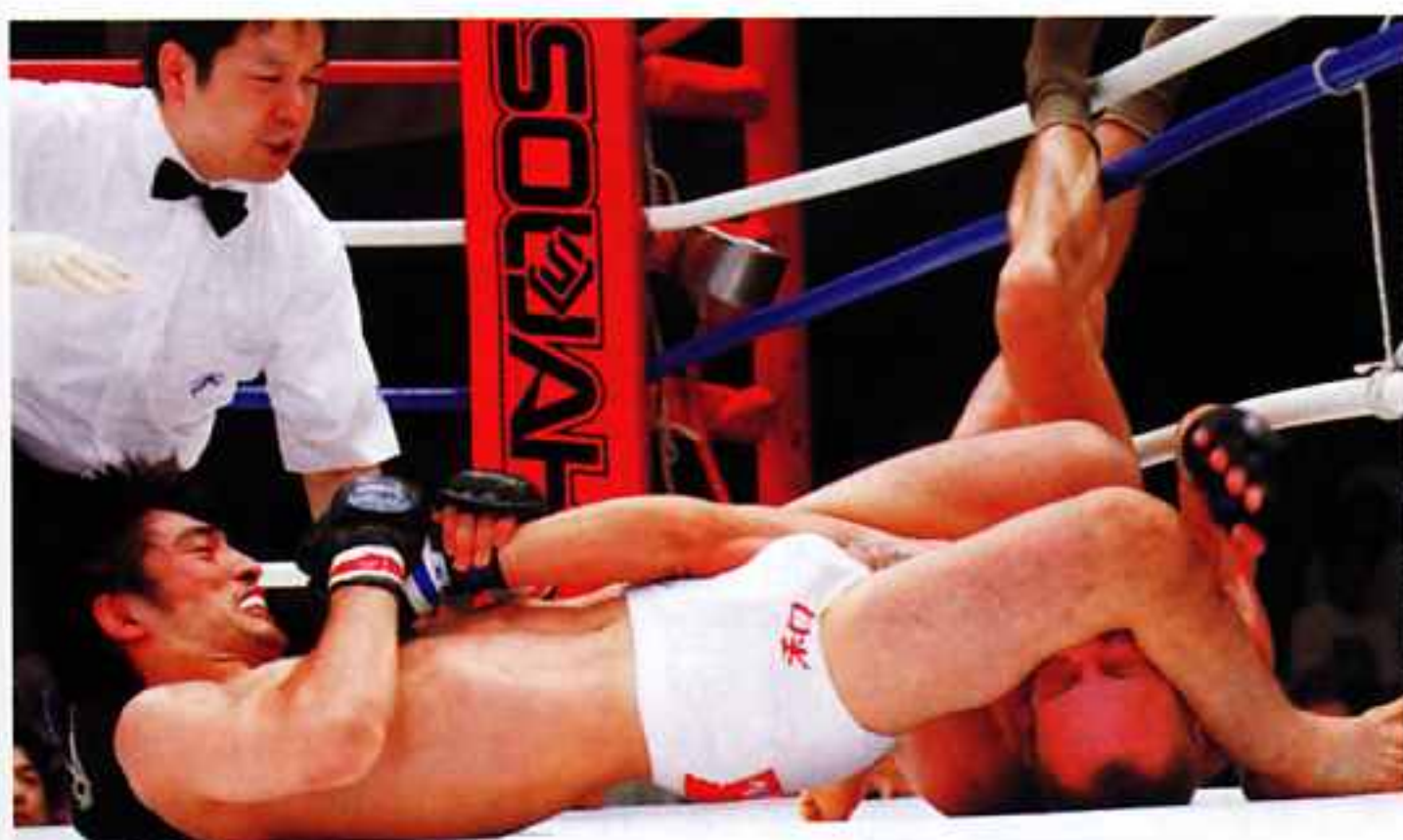
★第8試合/フェザー級 5分3R
○塩沢正人〈和術慧舟會〉×小松 晃〈総合格闘技道場コブラ会〉●
（2R4分19秒、スリーパーホールド）

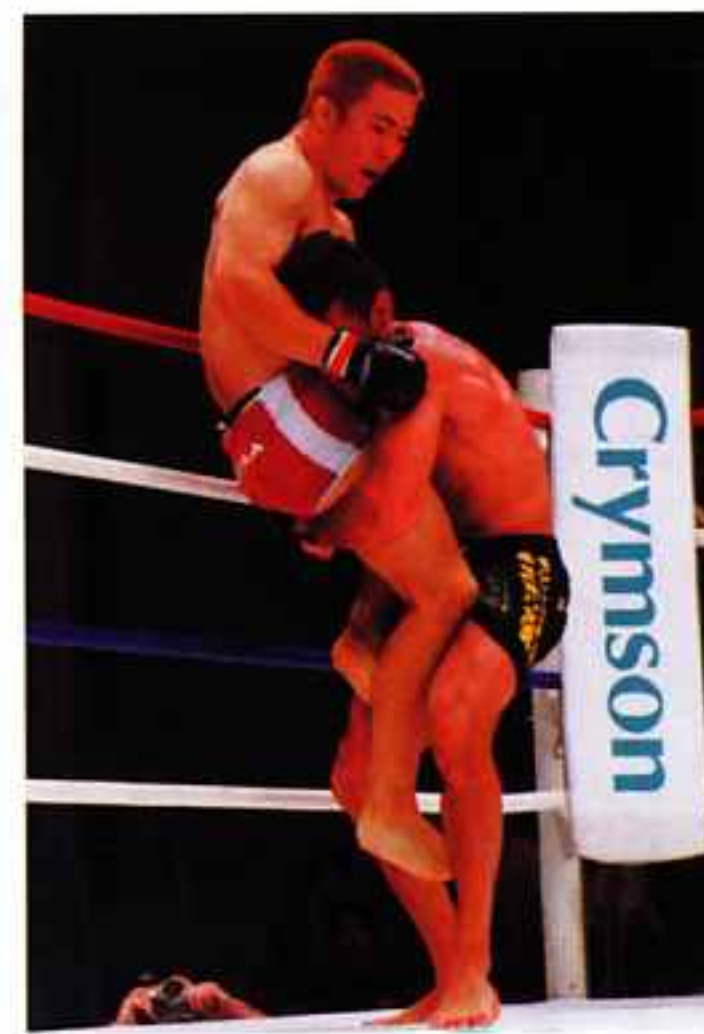
▲小松に快勝し新王者・松根良太への挑戦に、また一歩近付いた塩沢

リトアニアからの刺客は1勝1敗

▶初参戦のリトアニア・ブシドー協会の先陣を切ったケツティス・スミルノヴァス（リトアニア／アウドラジム）は、スタンドの打撃で井上正也（パレストラ加古川）を圧倒。打たれ強さを見せた井上だったが、1R終了後にドクターチェックを受け、無念のTKO負け

▼勝ったケツティスはバック転のパフォーマンスまで見せた

◀もう一人のリトアニアからの刺客デニサス・アルフィレーヴァス（リトアニア／スコルピオナス）は、門脇英基（和術慧舟會）に腕ひしぎ十字固めを極められ、あえなくタップ。3分45秒

八隅、粘着質のジュニオールにまったく持ち味出せず

▲八隅孝平（パレストラ東京）はブラジルの21歳の新星ルイス・ブスカペ・ジュニオール（ブラジル／ウニベルソ・アトレチコ・ファイトチーム）の執拗なグラウンド攻撃に持ち味を出せず、結局、3-0（30-28、30-28、29-28）の判定負け

◀ジュニオールの高速タックル、さらに抱え上げてのテイクダウンに、八隅は常に後手に回ってしまった

▶1Rにはインサイドガードからパンチを当てるシーンもあった八隅。しかし、ジュニオールは下になっても巧かった

新日本キック

Full Spark's～烈輝～

9.7★ディファ有明

もう、疲れました

まさか……復帰戦で判定負け！
武田幸三、涙の休養宣言

、号砲も轟かず
あって武田幸三ではない

格闘技には勝者と同じ数だけ敗者がいる。歓喜の隣には必ず失意がある。敗戦にも確かな明日が見えたなら、悔しくたって笑ってみせることもできるだろう。だが、そうでなかったらどうか。

武田幸三には今日の敗戦に、明日を見ることができたのだろうか。彼が口にした答えは、実に悲しいことだが『否』だった。

「疲れました」

冷え冷えとして見える試合後の控室、武田はやっと一言をしぼり出す。

「次の約束はできない。精神的にも肉体的にも、今の自分にはリングに上がる資格はないでしょう」

言葉を聞く者は慰めひとつかけることはできない。ついさっきまでのディファ有明、ファンのやりきれないヤジが飛び散っていたのをまだはっきりと憶えている。

「つまらない」「金返せ」「やる気あるのか」「帰っちゃうぞ」

仕方ない。この日の武田は、ついに一度も「らしい」姿を見せなかった。それどころか、しつこいだけで、さしたる力があるとも思えない対戦者ポール・リーの突進をさばくことができず、散漫な攻撃ばかりが目についた。

K―1MAXの惨敗から、まだ2カ月だ。あの時、ラドウィックにKOされた武田はひどいダメージを蒙った。身も心もまだ痛みを引きずっていたことだろう。

それに新たな試みが生んだ苦戦だったかもしれない。ボクシングを本格的に習い始めた。教えを請うのは渡辺剛氏。あの具志堅用高を世界ジュニアフライ級王者にまで育て上げた人物である。

「最初にキックボクシングありき

新日本キック
Full Spark's～烈輝～
9.7★ディファ有明

あの武田の闘魂はどこに行ったのか。リーの単調な攻めにもまったく対応できないまま

相手は前に出てくるだけだが、どうしても止められない

▲武田の攻撃といったらこの左ジャブだけ。その後のパンチも蹴りも出なかった

▲後手に回った武田は防戦ばかりに躍起。これではこの男の持ち味はまったく活かせない

◀これといった強力な武器はないが、とにかくリーは攻め続けた

「最初にキックボクシングありきだから、彼の持ち味である右ストレート、ローキックをしっかり維持するために今までの倍以上練習してほしい。その上で何をボクシングから取り入れるかだね。そしてK―1仕様にするには、攻防にしっかりとリズムができていないといけないな」（渡辺氏）

この日の勝敗に限って言えば、これが裏目に出た。左ジャブはよく出たが、リーの突進を止めることはできない。さらにこのジャブにつながるコンビネーションによって初めて生まれるリズムなのに、その次はさっぱり出てこない。パンチにしろ、キックにしろ全て散発だった。早い話、渡辺氏の理論を消化しきっていないのだ。ボクシングとキックボクシングが織りなすラビリンスにはまり込んだまま、武田はどうしても這い出すことができなかった。

だから、試合はあまりにももどかしい。体系的な攻撃が組み立てられない。かといって、対戦者の力量をしっかり引き出すほど受けの強さも見せられない。ペタペタとキック、パンチを突き当ててくるリーに、武田はひとしきり反撃を試みるが、そのうちズルズルと後退を繰り返す。3Rには飛びヒザを連発してみせるが、それでも流れは変わらず、場内もまったくしらけきったまま。

4Rも5Rも、武田に迫力は見られず、虚しいまでに平坦なラウンドが重なっていくばかりだ。きわどくてもリーの勝利というジャッジ2名の採点は、まったくもって当然だった。

「負けちゃいけない、という気持

新日本キック
Full Spark's～烈輝～
9.7★ディファ有明

「今の自分にプロを名乗る資格はない」
豪打の勇者は再び帰ってくるのか……

「お客を喜ばすことができない。チケット代を返さなければならない」。失意の武田の言葉は途切れがちだった

▶今となっては「超合筋」のニックネームも虚しい

▶フライ級チャンピオンになって２戦目の建石智成（尚武会）は気負いが目立って大苦戦。吉川靖（伊原道場）に辛くも判定勝ち（２－０）

◀不敗のホープ、森田亮二郎（藤本ジム）は歯切れのいい攻防で観客を魅了したが、トゥンソンノーイ（タイ）の左カウンターでダウンを喫し、最後はヒジで切り裂かれて、5RTKOで無念の初黒星（2分28秒）

▲判定の瞬間、当然ながら両者の表情は対照的だった

★第13試合/メインイベント（3分5R）
○P・リー×武田幸三●
〈オーストラリア〉〈治政館〉
（5R判定2-0）
※採点…50-48、50-50、50-48

ちが強すぎて、つい見てしまったんです。消極的でした」

「こんな試合じゃチケット代をお客さんに返さなくちゃいけない」

「休みたい。この10年間、自分なりに頑張ってきたつもりです。休みは正月くらいしかなかった。ちょっと疲れました」

「疲れた」を何度聞いたことだろう。自らを追い込むコメントばかり並べ立てる武田の目から流れ出るものは、なかなか乾くことはなかった。男のそんな涙は恥辱だろうか。そんなことはない。どこまでも自分の弱さを語れるからこそ、闘う者全ては美しい。

リングは単なるエンターテインメントの場ではない。自らに立ち向かう勇気に震える、厳かな空間なのだ。もっと強くなりたいと挑んだ武田の試行錯誤もまたドラマ、次にきちんと完結編が用意されるなら、今日のことはすっかり忘れてもらえる。体の芯まで忍び寄る疲れが癒えたと思ったら、いつだって帰ってくるがいい。30歳、今どきの格闘家にとって、老け込む年ではない。それにこのリングこそ、武田幸三という男がもっとも映えてきた場所なのだ。

ただ、この日の闘いが、K―1を目指し、だからこそボクシングを習得した結果なら、誰かが言ったこの言葉だけは素直に受け止めてもらいたい。

「試合は練習の成果を試すところではない。自分が磨き上げたものを表現する場所である。決して混同してはいけない」

それだけを理解できていれば、次回の武田は今日とは違う武田のはず。

（宮崎）

正道軽量級王者・大渡博之、重量級にチャレンジ！

この経験は〃世界〃で活かせ！

価値ある挑戦を終え、いよいよ次は極真世界大会！

極真世界大会代表の大渡博之は軽量級3連覇を目指すのではなく、なんと重量級にエントリー。準々決勝で沢田秀男と対戦し敗れはしたものの、11月の世界大会に向けて確かな手ごたえを掴んだ

旗判定は0―2であったため再延長の可能性もあったが、主審の金泰泳は沢田を支持。大渡にとっては、掴みによる2度の注意が痛かった

撮影◎糸井孝康

★重量級/準々決勝

○沢田秀男
〈東大阪本部〉

（延長3－0優勢勝ち）

●大渡博之
〈東京本部〉

※本戦は1－0で沢田

今から21年前の昭和57年10月、場所は同じ大阪府立体育会館で正道会館の第1回全日本空手道選手権が開催されて以来、これまで計22回（1999年からウェイト制に移行）全日本選手権が行われてきた。

そして今年、正道カラテの歴史において初めて全日本タイトル（それも一気に二階級で）が他流派に流出してしまうという非常事態が起きてしまった。

閉会式で行われた大会総括で角田信朗最高師範は、「間が違えば、間違い。間が抜ければ、間抜けである」という絶妙な言い回しで、タイトル流出の1つの要因である間合いの取り方について指摘していた。確かに角田最高師範の言うとおり、間合いを詰めすぎて〃掴み〃による注意を受ける選手が多く見られたのは事実だ。逆に、他流派の選手は積極的に一本を狙いにいき、のびのび闘っていたように思われる。正道の牙城を守ることは大前提であるが、闘い方が守りになってはいけないことを今大会では、強く感じた次第だ。

だが、その一方で加藤達哉が重量級三連覇という偉業を達成したのはお見事だ。今年6月、極真全日本ウェイト制で優勝候補に上げられながら、まさかの初戦敗退と

▶「体ごともっていかれた」と大渡が言うように、沢田のようなパワフルな攻撃を仕掛けてくる選手を相手に、いかに打撃をもらわず自分の間合いで闘えるかが、大渡にとって今後の課題となる

▲下段蹴り、下突き、ヒザ蹴りで攻撃パターンを組み立てたかった大渡だが、ヒザを負傷していたためヒザ蹴りが思うように出せなかった。世界大会までどのくらい回復できるか気になるところだ

▶蹴りの得意な加藤にとって、これまで突きの技術向上は最重要課題とされていた。野田貢（総本部）と闘った準決勝では、その課題であった突き（左中段突き）でなんと一本勝ちを奪った

二階級を他流派が制す！

◀〈軽量級〉20歳という若さで初の偉業を達成した横山剛（士道館）。決勝は永田勝哉（総本部）と再延長の末、5—0で勝利。これには横山の空手の師匠で、人気プロレス団体・闘龍門JAPANの岡村隆志社長（士道館西日本本部長）も大喜び

▶〈中量級〉長身を活かしたヒザ蹴りを武器に勝ち上がってきた新本泰司（白蓮会館）が、吉田裕幸（真盟会館）と対戦。本戦5—0で下し他流派対決を制した。さらに新本はMVPも獲得した

村尾、二階級制覇！

◀〈軽重量級〉肉体改造でのパワーアップ成功の結果、準決勝の春山成千（総本部）戦では、試割り判定で驚異の瓦26枚割りに成功した村尾健司（南大阪本部）。決勝では地主正孝（総本部）を本戦4—0で下し、一昨年の中量級以来の優勝で2階級制覇を成し遂げた

▲大渡を下した沢田は、続く準決勝で北島悠悠（白蓮会館）と対戦。延長戦では、終始攻め続け圧倒し5—0で勝利

優勝は加藤達哉 堂々の三連覇達成！

▶最近、負けが込んでいただけに、この優勝を足がかりに加藤は完全復活を目指す

▲「新人戦の頃のような気持ちで、今大会に臨んだ」と言う加藤。決勝戦では、後半バテながらも積極果敢に攻撃を仕掛け、難敵・沢田に4—0で優勢勝ち

【重量級トーナメント】 ※ベスト8

- 加藤達哉【東京本部】
- 北田　彰【東大阪本部】
- 野田　貢【総本部】
- 近藤正将【東京本部】
- 大渡博之【東京本部】
- 沢田秀男【東大阪本部】
- 若林寿治【総本部】
- 北島悠悠【白蓮会館】

られながら、まさかの初戦敗退という〝正道のエース〟としてこの上ない屈辱を味わった加藤。

今大会では、ディフェンディング王者として守りに入るのではなく、原点に戻りアグレッシブな闘いを披露。準決勝では、加藤にとって課題とされていた突きで一本を取るなど、汚名返上に燃える加藤の決意が感じられた。加藤の持ち味である蹴りを活かしながら、さらに突きをこれから強化できれば、今後さらなる活躍が望めるとともに、悲願の極真全日本大会制覇も夢ではないと言えるだろう。

そして極真と言えば、極真ウェイト制軽量級で第4位の成績を上げ、今年11月に行われる極真世界大会の代表に選出された大渡博之が、今大会ではなんと重量級に挑戦し、大きな注目を集めた。

大渡は準々決勝で、過去に中、軽重量級の二階級制覇を達成している沢田秀男と対戦。相手から余計な打撃をもらわないよう前後左右の動きを意識しながら、下突きを中心としたキレのあるコンビネーション攻撃で一気に攻め込むという対重量級スタイルで、互角に渡り合った。結果、敗れはしたものの世界大会まで残り2カ月を切り、実戦をとおして「いける！」という手ごたえと、これから取り組むべき課題が明確になったことだけでも、大渡の挑戦は大きな価値があったはずだ。

振り返れば、話題や課題が豊富だった今年の全日本大会。対外意識がより強くなる中、いま正道カラテは過渡期にある。今後いかなる進化を遂げるのか、選手各々にかかる期待は大きいのだ。（佐藤）

消極的ファイトにより2R、延長1Rにイエローカードを出されたコヒ。
とにかくもどかしさだけが残る試合となってしまった

代打出場のフン・ファーにまさかの判定負け！

コヒ、K-1 MAX そして“最強”への道に早くも黄信号！

★第7試合/打撃特別ルール（3分3R）

○H.ファー〈タイ〉 × 小比類巻貴之〈チームドラゴン〉●

（延長2R判定3－0）

※採点…3者ともに10－9。本戦は0－1で小比類巻、延長1Rは1－0でファー。ファーと小比類巻は消極的ファイトで2R、延長1Rにそれぞれイエローカードを1枚ずつ出されている。

当初、小比類巻貴之は、沖縄の嘉手納空軍基地に勤務しながら、キックボクサーとしてMAキックで快進撃を続け、今回のビッグチャンスを掴み取ったDAVIDと対戦するはずだった。

しかし、試合4日前の8月26日未明、DAVIDは水ぼうそうを発症。当然、感染症ということで試合ができるわけもなくDAVIDは、リングに上がる前に無念のドクターストップとなった。そこで急きょ代打出場としてコヒの対戦相手に決まったのが、フン・ファーだ。と、ここまでが対戦カード変更に至るまでの流れである。

フン・ファーの経歴を簡単に紹介すると、普段は谷山ジムのコーチとして〝ミット持ち〟をしている一方で、タイ国イーサンウェルター級王座を保持する現役ムエタイ戦士だ。今年4月には、シュートボクシングのリングで後藤龍治と対戦。最後は失神KOで敗れはしたものの、1Rでは右ストレートで後藤をダウン寸前まで追い込んだりと壮絶な打撃戦をやってのけており、かなりタフでなかなかのファイターだ。

さて、試合直前になって対戦相手が代わってしまったコヒではあるが、相手によってファイトスタイルを変えたりするタイプではないので大きな影響を受けるということはなかったはずだ。だが、コヒもDAVIDとの対戦は楽しみにしていただけに、そこあたりで多少モチベーションが下がるということも、もしかするとあったかもしれない。前回の『IKUSA3』で判定までもつれ込んだことに対し「次は必ずKOで勝つ」と

前に！前に出るんだ！

◀判定が出た直後、遠くを見つめ唇を噛み締めたコヒ。まさかの結末に女性ファンからは悲鳴が

ファンの前で公約していたコヒ。

IKUSA 4 ～宴～

FIREWORKS

8.30★六本木velfarre

前に！前に出るんだ！！しかし、その想いはコヒに伝わらず……

ファーのミドルをキャッチしてローキックやパンチを当てていったコヒ。確かにローは効いていた

▲ファーの左右から繰り出される鋭いミドルキックでコヒの右腕、左わき腹は変色し腫れ上がった

幾度もコヒの右ハイがクリーンヒットしているのだが、なかなか倒れないファー。打たれ強さはゾンビ級

◀[illegible]まさかの結末に女性ファンからは悲鳴が

◀シュートボクシングからスーパーバンタム級王者森谷吉博（シーザージム）が参戦。3Rには右ハイでダウンを奪うなど新鋭・仲里卓也（真樹沖縄）を相手に終始圧倒。SB王者の貫禄を見せつけた（判定3－0）

◀このところ負けが続き、崖っぷちに立たされていたHAYATO（FUTURE－TRIBE）は、R－SE期待のホープ阿部勝（クロスポイント）に判定勝ち（3－0）。ボクシングテクニックに成長の跡が見られたが、KO勝ちを目前で逃したのは惜しい

After the fight

ファーのコメント　勝

「小比類巻のローは凄く強くて足が痛かったよ。3Rが終わった時に勝ったと思ったから、延長はないと思ってたんだけど。前に攻めてこられると辛いけど、相手が見てくれてたんで良かった。小比類巻も強いけど、後藤のほうがハートが強かったと思う。4日前に出場が決まって、練習もほとんどしてないよ。再戦？もう試合するのを辞めて、僕はミット持ちに専念したいよ（笑）」

小比類巻のコメント　負

「（試合を終えた感想は？）見てのとおりです。（前に出ていかなかったのは？）……見てのとおりです」

ファンの前で公約していたコヒ。対戦相手に関係なくKO勝利にこだわって試合に臨むことができれば、なんら心配することはないだろうと思われた。しかし……。

コヒがこの試合でこだわりを見せたのは、KO勝利ではなく〝蹴り〟だったのではないかと、ふと試合を見ながら感じた。それならコヒが無理に間合いを詰めなかったのも、フン・ファーのミドルキックをキャッチしながら軸足にローキックを叩き込んだり、ハイキックを出すためのフェイントとなるジャブを放っていったのもなんとなく納得できるのだ。

つまり、コヒに向かって「もっと打ち合って前に出ろ」だとか「もっとパンチで攻めろ」などと要求することはナンセンスだということ。ましてや「コヒもボクシング練習したら？」なんて言うのはもってのほか。確かに魔裟斗やアルバート・クラウスを代表するように現在のK－1MAXは、ボクシングテクニックに秀でた者がトップに君臨している。だが、コヒは「蹴りで勝つ」と言っている以上、見る側としては「この頑固者！」と言ってあげるような、そう田村潔司を見るような感じで、コヒのことも見たらいいのではないかと筆者は考えたわけだ。

ただ、今回の負けはあまりにもみっともないし、かっこ悪すぎる。周りに非難や心配をされるうちはまだいい。ただ、これが当たり前となっては……。試合後、どの質問にも「見てのとおりです」としか答えなかったコヒ。ならば、見たままの率直な気持ちを言おう。コヒ、これはヤバいぞ！　（佐藤）

IKUSA 4 ～宴～
FIREWORKS
8.30★六本木velfarre

土井広之、汗をかく間もなく未知の強豪・ハマーを蹴殺！

★第6試合/シュートボクシングルール（3分3R）
○土井広之〈シーザージム〉 × キース“ハマー”ネズビット〈アメリカ〉●
（1R1分19秒、TKO勝ち）
※3ノックダウン。ハマーは土井の左ローキックでダウン2、左ヒザでダウン1

復帰後、2連敗と波に乗れなかった土井。この勝利で一気に巻き返しを図る

▶米国キック界で数々のタイトルを総ナメにするなど、鳴り物入りで参戦してきたハマーであったが……

▲内股のローキックに磨きをかけていたという土井。“キラーロー”はさらなる進化を遂げているのだ

▶最後はローをもらってうずくまるハマーのアゴにヒザがジャストミート。あまりにも強烈な一撃だった

振り返ってみれば、この試合はシュートボクシングルールで行われたのだが、土井広之は〝打〟でハマーを3度マットに沈めたものの〝投・極〟はまったく見せていない。それにもかかわらず、この日集まった観客から「シュートボクシングって凄いな」という声があちこちから聞こえていた。観客が「凄い」と感じたわけ、それはやっぱり〝強さ〟を見せつけたことに他ならない。土井にとっても、いつもと違う戦場で闘うことで刺激される部分や新たな発見も少なからずあっただろう。この勝利を足掛かりに、土井はこれから〝外国人天国〟と揶揄された己のリングでサワー、チャップマン、ウェインに借りを返していかなければならないのだ。それはSBのエースとして、土井に与えられた使命でもあり、本人もそれを十分に自覚しているはずだ。9・23後楽園ホール、土井はホームリングで米国の総合格闘家を迎え撃つ。もうこれ以上、借りは増やせないのである。（佐藤）

韓国の虎の猛攻に危機一髪！新生・小次郎、ホロ苦の再出発！

★第5試合/打撃特別ルール（3分3R）
○小次郎〈Kスクワッド〉 × ナミイル〈韓国〉●
（2R1分39秒、KO勝ち）
※パンチ連打。ナミイルは2Rに小次郎の右ローキックでダウン1

再出発をKO勝利で飾ったものの、己のふがいなさにご覧の表情の小次郎

▶リング上にいるナミイルをひと睨みして入場してきた小次郎。気合い十分だ

▲後ろ上段回し蹴りやソバットなどの足技だけでなく、豪腕をブンブン振り回すナミイル。度胸満点、なかなかのファイターだった

▲ナミイルの猛攻を一撃で止めた小次郎のローキック。ローを上手く使うことでパンチも徐々に当たり始め、フィニッシュへと繋いだ

小次郎は今年3月のK—1MAXで武田幸三と闘って以来、久しぶりの実戦。ゴングが鳴る前から気持ちが入りすぎて、高見盛ばりにガッチガチの小次郎。それでもってナミイルに先制攻撃を許してしまったから、さあ大変。半身の構えから踏み込んで放つナミイルの変則的なパンチが次々と小次郎に襲いかかる。実戦から離れていた影響は小次郎にとって予想以上だったようで、なかなか自分の距離で闘えない。2R序盤には、ナミイルのラッシュでダウン気味に倒れた小次郎だが、これをレフェリーがスリップと判断したため命拾い。小次郎もこれでようやく目が覚めたのか、パンチ一辺倒だった闘い方を捨て、ローキックで攻撃を組み立てることに。この判断が結果的に逆転KO勝利へと結びついた。「自分に危機感を感じた」と試合後に反省しきりだった小次郎。ホロ苦の再出発となったが、ここで落ち込むわけにもいかない。目指すものが先にあるかぎり。（佐藤）

Series ジョシカク! 15

久保田有希

ケガで長期欠場! でも焦ってない理由

撮影◎糸井孝康
文◎橋本宗洋

5月のファティア・アバハイヤ戦でヒザの前十字靭帯を断裂、長期欠場中の久保田有希。9月からは所属を荒武者からPURE BRED京都に移して心機一転、練習に励んでいる。かつては、その実力と、どこか不安げな試合後の表情のギャップが印象的だった久保田だが、最近は環境面でも精神面でも大きな転機を迎えたようだ。試合のメドが立たない状況でも「焦ってないです」と久保田は言う。

「一般社会に初めて出た時、自分がなんにも知らないのがショックで……」

この10年近く、久保田有希は常に揺れ続けてきたんじゃないかという気がする。柔道を始めたのが小学校低学年の時。最初はただ楽しくて、夢中だった。それが高校、社会人と柔道を続けるにつれて揺らぎ始める。

「プレッシャーが凄かったです。高校の時は“県大会ぐらいでは絶対負けちゃいけない”とか、社会人になると“会社の看板背負ってるんだから”とか」

病気もあって会社を辞め、柔道からも離れた。それから約5年間は普通の社会人。これがまたやっかいで……。

「子供の頃から柔道やって、習い事もいっぱいして。中学まで部活で陸上もやってたんです。その後はひたすら柔道じゃないですか。初めて一般社会に出た時、なんにも知らない自分がショックで。女の子と会話ができないんですよ。洋服のこととか全然。それまでジャージ着てれば済む生活でしたから。ブランドっていえばナイキかアディダスっていう（笑）」

揺れていたからこそ、バランスを求めてもいたのだろう。総合格闘技を始めてからも普通の仕事をしてきた。今の久保田は、格闘家としては珍しいくらい“(いい意味で）普通の常識”を持った人である。

総合格闘技を始めたのは、知り合いだったプロレスラー・宮沢誠（MAX宮沢）に誘われてのことだった。

「『L-1』に出てみないかって。“出て後悔はしないから”って言われて」。その『L-1』でのマーロス・クーネン戦は完敗。意識を失ったまま救急車で運ばれた。

「救急車の中で“もうやりたくない”って何度も言ってたみたいです。でも時間がたつと、やっぱり悔しくなってくるんです。今でも思い出すと悔しい（笑）」

その後は『SMACK GIRL』や『AX』で常にトップ戦線で闘ってきた。でも久保田には、その強さとは裏腹にどこか自信なさげな雰囲気があったのも確か。

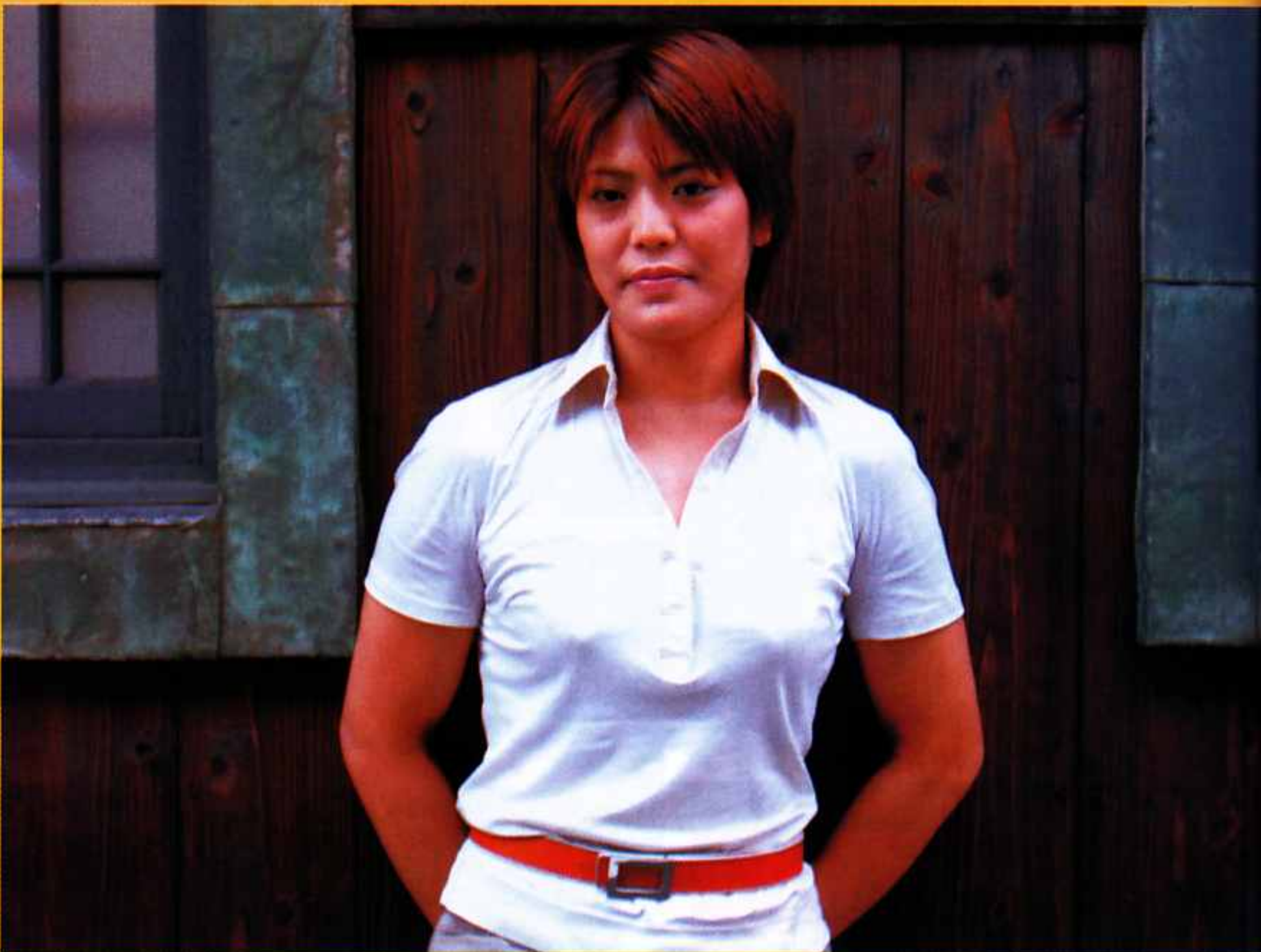
「最初に闘ったクーネンの強さが基準になっちゃってたから。自分に自信がなくて。気持ちが弱かったんです」

いくら練習が楽しくても、どれだけ試合に勝っても揺れていた久保田の心。変化のきっかけは今年に入ってからの2試合だった。マイラ・コンディ戦、ファティア・アバハイヤ戦と国際戦で2連勝。「自分なりにいい試合ができて」やっと自信が付いてきた。アバハイヤ戦では左ヒザ前十字靭帯断裂という大ケガを負い、現在は長期欠場を余儀なくされているが、焦りはないという。

「焦って試合するより、ちゃんと治してからいい試合をしようって。ジムも移籍したし、心機一転です、はい」

よっぽど強気な選手でもヘコんでしまいそうな状況を、久保田は落ち着いて受け止めている。ずっと揺れ続け、悩み続けてきたから得られる、そんな強さもある。■

▲ケガもあってハードな練習はできない状況だが、決して表情は悲観的ではなかった

▼8月末に京都に引っ越してきたばかり。「やっぱりこっちは暑いですねぇ」

PROFILE

久保田有希（くぼた・ゆうき）

★所属／PUREBRED京都
★生年月日／1974年8月28日
★出身地／静岡県
★血液型／O型
★身長／170センチ
★体重／65キロ
★戦績／14戦10勝3敗1分
★得意技／下からの十字
★趣味／お絵書きロジック

心機一転 頑張ります!!

文◎橋本宗洋

Girls SHOCK II 9.7★北沢タウンホール

9・7女子キックで総合ファイター全勝！

渡邊久江が試合キャンセル！……よりも大事なテーマ

撮影◎乾 晋也

◀『スマック』常連の坂口一美も念願のキック初参戦。DRAGON GYMのFUKY 510と対戦し、パンチで2度倒してKO勝利となった。以前は蹴りばっかりの選手だったが、今回はかなりパンチも練習してきた模様。「これからはこっち中心でやっていきたいです」（坂口）

▲約10年前の女子キックブームを知るベテラン・NORIKO（Team Dii）とキャリア14戦のジェット・イズミの対戦。試合は的確かつ力のある左フックと右ミドルを中心に攻めたNORIKOの判定勝ち（3－0）となったが、さすがに両者とも他とはケタが違うハイレベルな攻防を繰り広げた

▼メインではグレイシャアAki（彰考館）が渡邊久江の代打として登場した韓国の李甲善（リー・ガップソン）にKO勝ち。メインのプレッシャーに打ち勝ち、猛烈なラッシュで2ノックダウンを奪ってみせた

元・生ゴンギャルにしてスネークピットでプロレスラーばりの猛特訓を積んだ経験もある坂本宗緒子（チーム品川）。横田志保（藤原ジム）と対戦し、序盤は互角の展開だったものの3Rに右ストレートでダウンを奪って3－0の判定勝ち

▶金井広美（GF2）は総合も含めてこれが初勝利。藤原ジムの岡本裕子からパワフルなカウンターの右フックで2度ダウンを奪ってKO勝ちとなった

◀パワフルな連打で判定勝ちを収めたのは石山絵理（TEAM LIMIT）。akinori（現在はAACC所属ながら過去シーザージムに在籍）のしぶとい反撃を土壇場で振り切った

《その他の試合結果》

●妃口慧〈S.V.G.〉	（判定3-0）	成沢紀予●〈ソーチタラダジム〉
●大島椿〈JMTC〉	（判定3-0）	CHIHIRO●〈DRAGON GYM〉
●ASAMI〈士心館〉	（判定2-0）	四十内としえ●〈青春塾〉

メインに出場予定だった渡邊久江の〝体調不良〟による欠場が発表されたのは、大会の10日ほど前だった。女子のプロ打撃格闘技確立を目指す『ガールズ・ショック』の中で、渡邊は欠かせない存在なのだから本当に残念。

ただ、この2回目の開催では、それ以上の課題というか『ガールズ・ショック』の現状も見えた。『スマックガール』出場経験のある選手が5人出場し、その内キックが本職であるジェット・イズミを除く4人の〝総合系〟選手が、全員勝ち星を挙げたのだ（みんなストライカーではあるけれど）。

なぜこうなるかと言えば、踏んだ場数の違いだろう。単純に力量が同じでも、初めてのリングで緊張しまくっていては、プロの舞台に場慣れしている総合系選手に勝つことはできない。

これからデビューしようという女子キックボクサーは、まだまだたくさんいるという。彼女たちにどれだけの場数を踏ませられるか、つまり大会を定着させられるかが当面の『ガールズ・ショック』の課題であり、存在意義。そして「やっぱり本職は凄い」と総合勢に言わせた時、本当の意味でこのジャンルはスタートする。（橋本）

《本日のKO賞！》
★印が〝総合系〟選手

◎グレイシャアAki〈彰考館〉
※1R0分40秒、2ノックダウン

★金井広美〈GF2〉
※2R0分23秒、2ノックダウン

★坂口一美〈GF2〉
※2R1分57秒、2ノックダウン

GI-Feminino
9.1★北沢タウンホール

初めての、女子だけのプロ柔術大会は熱くって、しかも"癒し系"

フジメグ、トーナメントを制し初代プロ柔術クイーンに!

▲準決勝の藤城郁美（Az柔術アカデミー水道橋）戦では華麗な投げ技の数々を披露したフジメグ。最後は腕絡みで一本勝ちし、格の違いを見せつけた

▲ジョシュ・バーネットも優勝したフジメグを抱え上げて祝福

▶クイーンズカップトーナメント優勝を果たしたフジメグこと藤井惠。サンボ、柔道で培った高いポテンシャルで柔術女王に輝いた

▼「ブラジリアン柔術を始めたのは、4年前に日本に来てから」というアンジェラだが、昨年はブラジルの大会で優勝している実力者。フジメグ戦は最後の最後まで大接戦だった

▲女子柔術界をリードする女王的な存在・茂木康子は準決勝でアンジェラに敗れたものの、3位決定戦では大逆転勝利で会場を熱狂させる試合を見せ面目を保った

撮影◎長尾 迪

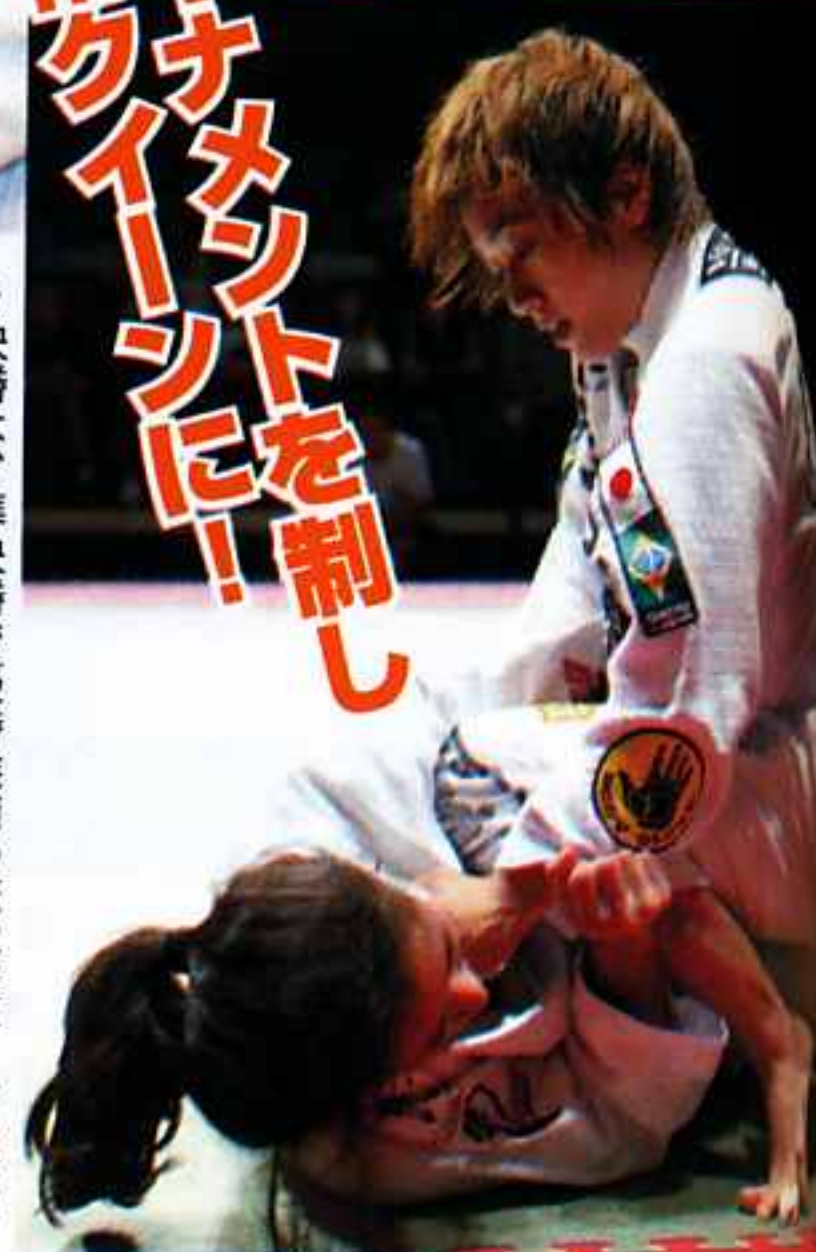
▶決勝は、準決勝で優勝候補の茂木康子（ストライプル）を破ったアンジェラMATSUNAGAと対戦。息詰まる激戦の末、僅差（アドバンテージ2-0）でフジメグが勝利を勝ち取った

▶終了間際には、得意の背負い投げを見せたフジメグ。フジメグの投げ技は何度も会場を沸かせた

◀初めての女子だけのプロ柔術大会。観客は関係者や友人、仲間が多かったせいかアットホームな大会だった。これからもぜひ続けていってほしい

★第8試合/クイーンズカップトーナメント決勝戦（紫帯ブルーマ級/7分一本勝負）

○藤井　惠
〈AACC〉

（ポイント0-0、アドバンテージ2-0）

●アンジェラMATSUNAGA
〈ホチャ柔術〉

初めての女子だけのプロ柔術大会『GI―femino（フェミニーノ）』。

今大会の一番の見どころは、サンボの女王フジメグこと藤井惠と、日本の女子柔術界をリードする茂木康子の激突（決勝対決）だった。

ところが、茂木が準決勝でまさかの敗退。決勝は、フジメグと茂木を破ったブラジル人のアンジェラMATSUNAGAの対決となった。

観客のほとんどが出場選手の友人や仲間や関係者で、声援もそういう感じのものが多かったが、決勝の手に汗握る攻防には、会場中が固唾を呑み、フジメグの優勝には大きな拍手と歓声が送られた。

熱気とともに、心から選手たちを応援する優しい空気にあふれていた会場には、居心地の良ささえ感じたほどで、大会としてはまずまずの成功と言っていいだろう。

とはいえ、『GI-um』や『GI-02』の時のように、世界屈指のトップ柔術家が出場し卓越した技術を見せてくれたわけでもなく、プロ大会としての物足りなさを感じたのも確か。しかし、今大会が女子柔術の歴史において、エポックメーキングな出来事であることは間違いない。

（林）

Topic!

ナナチャンチン、ついにプロレスデビュー！

▲K－DOJOのリングでお船と対戦したナナチャンチンだが、4の字固めでギブアップ（3分15秒）。フィールドを移しても連敗記録は更新中！

▶ブーイングを浴びながらリングへ向かう。コスプレせずに入場するのはプロになって初めてかも

◀途中まではナナチャンチンが優勢だった。マウントパンチを振るい、なんとパンチでダウンを奪うシーンまで！

ナナチャンチン、プロレス進出！　最近K-DOJOのリングに乱入を繰り返していたのだが、ついに8月31日、Blue Fieldで行われた大会『CLUB-K SUPER if』でお船と対戦。敗れはしたものの「技を受けるのって凄く恐いけど、楽しかった。マイクアピールもブーイングが返ってきて、その反応が気持ちいい。なんか“やり遂げた！”って感じ」と、プロとしての充実感を得た模様。これからは“プロ格”（死語？）戦士としてのナナチャンチンに期待だ！

撮影◎佐久間立秋

※本誌101号、108～109ページの『Seriesジョシカク』におけるナナチャンチン選手の記事において「古巣でもあるプロレス団体KAIENTAI DOJO」、「9月16日の後楽園大会で女子レスラー・お船と異種格闘技戦を行うことになった」との記述がありましたが、いずれも誤りでした。お船VSナナチャンチン戦の試合期日は正しくは8月31日（日）、会場は千葉BlueFieldです。ナナチャンチン選手およびKAIENTAI DOJO関係者の皆様に深くお詫び申し上げるとともに、ここに訂正させていただきます。なお、この試合およびKAIENTAI DOJOに関する詳細情報は、こちらのHPをご参照ください。〈KAIENTAI DOJOオフィシャルHP〉http://www.k-dojo.co.jp/

女子格闘技 **Gals2**

8.30★北沢タウンホール

▲スタンドに勝機を見い出したい篠原だったが、打ち負ける場面も

“喧嘩女王”復活ならず！

篠原光、新世代たま★ちゃんに完敗

▲再三、腕十字を仕掛けられた篠原。なんとか極めさせずに粘ったが、劣勢は明らか

撮影◎丸山剛史

▶グラウンドではマウントも取られるなど圧倒されてしまう

◀いいところなく判定で完敗。次は『スマックガール』で完全復活を狙うことになる

《全試合結果》

★第6試合／総合ルール（5分2R）
○たま☆ちゃん〈SOD女子格闘技道場〉（判定3-0）篠原光〈チーム南部〉●

★第5試合／総合ルール（5分2R）
○虎島尚子〈RJW CENTRAL〉（1R4分12秒、腕ひしぎ十字固め）小八ヶ代真紀〈ストライプル〉●

★第4試合／ブラジリアン柔術・女子青帯ガロ級（6分一本勝負）
○村野麻子〈Az乙女チック柔術倶楽部〉（ポイント判定4-0）高田博美〈ストライプル〉●

★第3試合／総合ルール（5分2R）
○野口若菜〈パレストラ古河〉（判定3-0）金子和美〈TEAM YANO〉●

★第2試合／ブラジリアン柔術・女子青帯チャレンジ ガロ級（6分一本勝負）
○吉田正子〈パレストラ福島〉（ポイント判定4-0）新井寛子〈東京イエローマンズ〉●

★第1試合／グラップリングルール（3分3R）
○古館由紀〈Team Roken〉（1R2分59秒、三角絞め）石川千恵〈B-CLUB〉●

やはり現実は甘くなかったということか。かつて〝喧嘩女王〟とも呼ばれた篠原光だが、1年ぶりの本格復帰となる今回はまったくいいところなく敗れてしまった。相手の攻撃をしのぐのが精一杯、という感じで、篠原は5分2Rの試合時間を終えてしまった。

対戦相手のたま☆ちゃんは、ちょうど篠原が『スマックガール』から姿を消すのと同時期に出てきた選手。試合3日前に右肩を亜脱臼したのも大きかっただろうが、それよりも篠原にとっての大きな敵は、女子総合格闘技という新興ジャンルの流れの速さだったのかもしれない。

「練習はしたけど、やっぱりまだまだですね」と篠原。以前のような〝勢い〟ではなく、これから必要なのは本当の実力。それを一番感じているのは、当の篠原本人だろう。それが分かっている以上、この日の結果と内容には、そう悲観的になる必要はない。これからだ、これから。　（橋本）

iなび
http://www.pta.be

地域別検索システムだから早い!!

地域別に女性登録数の多いサイトを一発検索！コード「６９３９」を入力すると、各サイトで無料体験できるポイントが付いてくる！

Sコード 5005 対応機種

エイチ・ドコモ・ビー
http://H.docomo.be

究極の出会いサイトが大集結!

ケータイ発情娘。出没中！　サービスコード２６２０でトータル３万円分無料ポイント進呈中。即レス即アポで好みの子と出会える！

Sコード 5001 対応機種

恋のお便り
http://koi.to/kso

完・全・無・料　会いたい放題!

♀の携帯番号とアドレスが見れる！無料だから！サクラ無し！ひやかし無し！ポイントを気にすることなく写メ＆アド交換…

Sコード 5006 対応機種

ドルフィン
http://okyan.net/s

10円から遊べる!そそる素人娘

ゆるい素人娘を集中的に集めた10円から遊べる出会い系！恥ずかしい写メ交換！実際に会っていいことも！女の子の多さにオドロキ！

#9705→BOX番号083

Sコード 5002 対応機種

モバッチャオ!
http://www.55315.com

カンタン検索で出会っちゃお!

イチオシ優良人気サイトを検索できるスグレモノサイト。今なら合計３万円分無料ポイントがもらえるよ！コード「６９２４」

Sコード 5007 対応機種

無料タダメール
http://0141.to/?tds

完全無料で♡出会いをサポート!

刺激的なイマドキのギャルから、密かに誘いを待っている淑女まで…まずはお食事から。無料なので、一度試してみる価値アリだぞ!!

Sコード 5003 対応機種

iモードHEAVEN
http://375375.com

女性に人気のサイトが集合!

熟女からＯＬ・10代の娘まで、女性層に人気のサイトのみを集めたリンク集。各サイト無料ポイント付きだから選べる！出会える！

Sコード 5008 対応機種

完全無料DEAIサイトFACE
http://i-face.to/a

やったらハマる無料画像付掲示板

一切無料なのに女の子の電話番号＆メアド＆画像＆声付き！わずらわしいＢＯＸ私書箱を使わず即メル友をゲット！！

菜摘ちゃん(19)学生
ntm@ezweb.ne.jp

Sコード 5004 対応機種

サイトにアクセスするのに超便利な! Sコードの使い方

「いちいちサイトのアドレスを入力するのがメンドクサイ!」という方にうってつけ!
あらかじめ携帯に[http://dau.jp]を登録しておけば後は各サイト紹介の左上にあるコード番号を入力すればあっという間に各サイトに接続されます。
詳しくは右図の手順を参照してね♥

① http://dau.jp — ブックマークから dau.jpを選択
② コード入力 4011 送信 — コード番号を入力 送信を押す
③ www.$$$.com — サイトのアドレスが表示されるので 選択してクリック
④ www.$$$.com のサイト — サイトに接続

大人の女優名鑑
http://postjam.com/av/

女優のカラダってキレイだな～

ソフト～ハードまで。サイト構成は良心的でダマシリンクなど一切無し。安心して歴代のＡＶ女優の○○を高画質で堪能できるぞ！

Sコード 5015 対応機種

あんたの子供
http://qo-op.to/baby/

天才?野獣?赤ちゃん大予言HP

彼とワタシで「愛の結晶」を作る子作りシュミレーションゲーム。診断結果は何と５７２８種類！あんたの赤ちゃんはどうよ

Sコード 5009 対応機種

グリードアイランド
http://k-t.to/gi/

無人島で恋人や仲間と生き残れ!

バーチャル無人島を舞台に繰り広げる新たなゲームサイト。携帯で恋人を作ったり、仲間を作ったり戦いながら生き残る通信ゲーム！

Sコード 5016 対応機種

フォレストマーチ
http://id.forest-march.com/

写メで簡単ホームページを作ろう!

かわいい☆ホームページを持ちたい人必見！携帯でもパソコンでも簡単に作れるよ（^_^）写メ・ｉショットもＯＫ！かなり楽しめます♪

Sコード 5010 対応機種

QOOP
http://qo-op.to/

女の子だもの、知らなきゃソン!

夏に向けてダイエット！今人気のアイテムは何？話題のコスメは？女の子の知りたい情報発信中～当然恋バナ占い裏テク何でもアリ！

Sコード 5017 対応機種

￥メール
http://yenmail.com/

参加無料!簡単ゲームで現金当る

￥メールは毎日がチャンス！結果がスグに出るスロットは毎日チャレンジ可能で当ると現金１万円！クイズもあってダブルチャンス！

Sコード 5011 対応機種

ちゃんぷ～
http://k-t.to/cnp/

☆爆笑☆ネタのメールが満載!!

世の中にある爆笑面白メールを毎日ご紹介！時事ネタ、ギャグ、恐怖にちょっぴりＨも！画像で！文字で！着声で！待ち時間で一笑い

Sコード 5018 対応機種

無料着メロ!メロディックス
http://melodix.net/b

超高音質の着メロ♪がなんとタダ

最新ドラマ挿入曲！要チェックアーティストのアルバム全曲特集！発売前の新曲！面倒な操作やメルマガ登録無しで使い放題！！

Sコード 5012 対応機種

iジャケットパラダイス
http://mtjp.jp/CD/

★大好評★話題の人気待受サイト

このアイドルってこんな曲出してたっけ！？そんなここだけのレアな画像がザックザク！最新機種からちょっと古めの端末まで全対応

Sコード 5019 対応機種

知りたい気持ち
http://www.k-t.to/kimochi/

どうしても気になる人の本音!!

なかなか聞けない！！彼や友達の本音…！！でもやっぱり知りたい…そんな人はここへ。相手にメールするだけで本音が分かっちゃう

Sコード 5013 対応機種

パットランド
http://patland.com/

完全無料!写メ全キャリア対応

全キャリア画像対応！完全無料♪今時画像で出会うのは当たり前！チャット、掲示板、プロフィール！出会いのツールを完全装備！！

Sコード 5020 対応機種

Girls♥Safe Labo
http://qo-op.to/gsl/

女の子のカラダ真面目に考えよっ

キモチイのもいいけど避妊は？病気予防は？今まで無かった！本格派♀のえっちバイブル快感も安全も手に入れたい普通の女の子へ♪

Sコード 5014 対応機種

できれば3日間、無理なら1日間、あるいは一食だけでも――。

食べることを休んでみませんか？

グレートアントニオ 誌上通販

大反響!! 7/23 O.A.『ディスカバ!99』で、保坂尚輝さんが『ファスティング・ダイエット』で、6キロ減量に成功したことを告白!!

内臓を休めて代謝をアップ、無駄な脂肪と有害物質を撤去する。ファスティングとは、“カラダのリセット”です。

今、現代人のカラダは、あなたが思っている以上に疲れ、汚れ、
ダメージを受けています。
なぜでしょう?

あなたがこれまで深く考えずに食べてきたもの、
嗜好の赴くままに食べてきたもの、
カラダにいいと誤解して食べてきたもの、
それらすべてが今のあなたのカラダを作っているので、
本来の正常な働きができるカラダとは、
ほど遠い状態になっているからです。
農薬や食品添加物などの有害物質や環境ホルモンも、
あなたのカラダに溜まっています。

まずは、それらをカラダから排除しなくてはいけません。
あなたが生まれたときから休みなく働き続けている、
食道、胃、肝臓、十二指腸、大腸、膵臓、胆嚢、腎臓などを
休息させてあげなくてはいけません。

ファスティングは体重を落とすだけでなく、
「カラダを一度リセット」するための療法です。
ファスティングは、食べ物を消化するために使われていたエネルギーを、
新しい組織を再生するための活動に回すことができる、
現代人に必須のプログラムなのです。

杏林予防医学研究所所長／『ファスティング・ダイエット』開発者
山田豊文

80種類以上の植物を自然発酵させて作りました。

プロスポーツ選手や芸能人の間でブームの断食。これは内臓を休息させて代謝を活性化させることにより、脂肪の燃焼や体内毒素の排出を促す美容健康療法です。その際、飲用されているのが、この『ファスティング・ダイエット』。

『ファスティング・ダイエット』は、大自然の緑の中でたくましい生命力を秘めて育った野草や野生植物を主に、農薬や化学肥料を使わずに栽培された新鮮な野菜・果物・穀類・海藻・貝化石などの原料にハチミツを加え、一年間以上の時間をかけ、天然の栄養分を損なうことなく独特な技術で自然発酵させた理想的な酵素飲料です。

多種類の酵素・ビタミン・ミネラルやアミノ酸などがバランスよく含まれています。減量だけでなく、肌やカラダの調子が良くなりますので、健康を願う人の栄養補助飲料として、また美容飲料として、どなたでも安心してお召し上がりください。

ファスティングのおこないかた

3日間ファスティング（3日で本品3本使用）

1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。これを3日間続けます。4日目の朝食はお粥からはじめ、3日かけて徐々に復食していきます。

1日間ファスティング（本品1日1本使用）

1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。月3回の実行が効果的。翌日の朝食はお粥からはじめ、1日かけて徐々に復食していきます。

半日間ファスティング（27日で本品3本使用）

朝または夜の食事をファスティングジュース40ccに切り替えます。

Mineral & Herb
Fasting Diet ファスティング ダイエット
NU Nourish Supplement
Mineral & Herb
Fasting Diet
Supplement

Mineral & Herb Fasting Diet

（360ml×3本入り）
18,000円（税別）

開発検定／杏林予防医学研究所　〒604-8151 京都市中京区烏丸通蛸薬師西入る橋弁慶町227 第12長谷ビル5F
販 売 元／株式会社ローデス　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F

栄養素表示

● 品名 清涼飲料水
● 内容量 360ml×3
● 栄養表示／100g（約80ml）あたり

項目	値
水分	49.9g
エネルギー	198kcal
たんぱく質	0.3g
ナトリウム	12.9mg
灰分	0.6g
カルシウム	15.4mg

原材料表示

野草 ヨモギ、ドクダミ、タンポポ、オオバコ、クコ、クマザサ、ツユクサ、松の葉、オトギリソウ、ハトムギ、カンゾウ、アカザ、アマチャヅル、キダチアロエ、ナンテンの葉、カワラケツメイ、エゾウコギ、イチョウ、カキドオシ、アマドコロ、スギナ、ケツメイシ、ツルナ、桂皮、ハブ茶、アカメガシワ、アケビの実、忍冬、杜仲の葉、ハブソウ、ヤマイモ、ウコン、マタタビ　他
野菜 トマト、きゅうり、キャベツ、ホウレンソウ、パセリ、大根、ブロッコリー、れんこん、人参、玉ねぎ、かぶ、もやし、ごぼう、しいたけ、じゃがいも
果物 りんご、パパイヤ、パイナップル、レモン
その他 塩水湖水低塩化ナトリウム液（塩水湖水ミネラル液）、根こんぶ、貝化石、果糖（蔗糖）、黒糖、オリゴ糖

スポーツ界芸能界でもファスティングが大ブーム！

ダイエットが気になる**美川憲一さん**もファスティングを体験しています。
3日で5kgのダイエットに成功したそうです。
（参考：「ファスティングダイエット」アスキー・コミュニケーションズ刊より）

アントニオ猪木さんはファスティングを定期的に体験しています。
3日間で10kg体重が減ることもあるそうです。ご存じのとおり、いつも元気です。
（参考：「ファスティングダイエット」アスキー・コミュニケーションズ刊より）

お仕事を休めない**小池栄子さん**は、自宅で手軽に断食できるファスティングを体験しました。
「小顔になり腰回りもすっきり。一気に体重が落ちたけど、胸の大きさは変わらなかった」と、笑顔です。
（参考：デイリースポーツ／2002.1/3号より）

デザイナーを募集しています!!

グレート・アントニオのために八面六臂の大活躍をしてくれるデザイナーを募集しています。興味のある方は右記をご覧の上、履歴書をお送りください。ご応募お待ちしております。

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F （株）ローデス スタッフ募集係

※書類選考を通過した方にのみ面接の日程をご連絡いたします。なお、合否に関するお問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。

●職種・業務内容
デザイナー（WEBページ作成など）

●資格
明るく楽しく、かつ根性もあり冴えてる方。

●勤務地
東京都千代田区神田錦町3-14-12

●待遇
当社規定に準じます。

●応募
2003年9月30日必着で、履歴書（写真貼付）、作品などを下記宛に送付してください。（※応募書類は返却できません）

終わらない大セール！ Tシャツ、フィギュアが安すぎ！

店頭では最大85％OFFの決算セールをまだまだ開催中です。急いでお越しください！

ご注文方法

『グレート・アントニオ』＆『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル

ご注文は電話 or サイト受付のみです

☎ 0570-007800 ※携帯電話からは掛かりません。

☎ 03-3295-4450 ※携帯電話でも掛かります。

【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp

ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com

【24時間受付】

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

ACCESS MAP

格闘技専科 グレート・アントニオ

○神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

【パンクラス 提供】
パンクラス10周年記念大会Tシャツ
（チャコールグレー、サイズL・XL）

BACK

FRONT

1名様

※8月31日の両国国技館大会の記念Tシャツ。3,675円（税込）。◎パンクラス商品の通信販売は、郵便局備え付けの振替用紙を使い、通信欄に、商品名・サイズ・数量を記入の上、税込金額に発送手数料630円（税込）を加えた金額を振り込んでください。なお、購入金額が10,000円以上の場合は発送手数料無料。《払込先》00160-4-417605《加入者名》パンクラス

パンクラス10周年記念Tシャツ（非売品）

おめでとう！パンクラス

1名様

※こちらは、パンクラス10周年記念パーティで来場者に配られた記念Tシャツ（非売品！）。ファン垂涎モノだぞ

【アルゼ 提供】 ボブ・サップがパチスロになった！！

パチスロ
『BEAST SAPP』
発表記念マウスパッド

パチスロ
『BEAST SAPP』
発表記念パンフレット

1名様

1名様

※タイソンとの激突も、実現に向けてドンドン進行中のサップ。これから再びサップブームがやってくること間違いなし！ まずはパチスロ。みんなも見かけたらちょっと打ってみたら！？（ともに非売品）

DX PRESENT 読者プレゼント

火星はまだまだよく見えるぞ！
たまには夜空を見上げてみよう

【クエスト 提供】
プロ修斗の2003年上半期総集編！
DVD『修斗 2003 BEST vol.1』

1名様

※名勝負、好勝負が多数生まれた2003年上半期の修斗。その中から厳選した25試合が収録されたこの一枚。5月にハワイで行われた山本"キッド"徳郁vsジェフ・カーラン戦、須田匡昇vsイーゲン井上戦も入っているぞ！ 価格5,600円（税別）、好評発売中！

【LAUNDRY 提供】
全国を制覇するTシャツブランド
『LAUNDRY』から
プロレス・格闘技シリーズ
"FIGHTING LAUNDRY" スタート！

3名様

FRONT

BACK

FIGHTING LAUNDRY×
アントニオ猪木Tシャツ

※『LAUNDRY』の商品・ショップに関する詳細は、http://www.collaboration.co.jp/laundry/まで。全日本プロレスの小島聡ともコラボレート中！

【本誌編集部 提供】

2名様

ナナチャンチン
サイン入りチェキ

いったいどこまで負け続けるのか？

※"負けキャラ"としてすっかり定着してしまった感のあるナナチャンチンだが、本人はいつだって真剣そのもの。格闘技に賭ける一途な気持ちに、熱狂的なファンも多い！ 頑張れ、ナナチャンチン！

【バンダイ 提供】
ガンダムファン喜べっ！！
バンダイから大人気のガンダムシリーズを
一気に大プレゼント！

各1名様

PlayStation2用
ゲームソフト
機動戦士
ガンダム戦記

PlayStation2用
ゲームソフト
機動戦士ガンダム
ギレンの野望
ジオン独立記念日

PlayStation2用
ゲームソフト
機動戦士ガンダム
ギレンの野望
ジオン独立記念日
攻略指令書

PlayStation2用
ゲームソフト
ジオニックフロント
機動戦士ガンダム
0079

PlayStation2用
ゲームソフト
機動戦士ガンダム
SEED

※とにかく幅広い年齢層のファンから大人気の機動戦士ガンダム。今回は、バンダイさんより、ガンダムファンに超嬉しい！ プレステ2用ゲームソフトを一気に5タイトルプレゼント！！ みんなまとめて欲しい！……とは思うけど、とりあえず1本選んで応募すべし！ 『機動戦士ガンダム ギレンの野望 ジオン独立記念日 攻略指令書』のみ3,800円（税別）。その他は6,800円（税別）

【カプコン 提供】
PlayStation2用ゲームソフト
『魔界英雄記マキシモ
マシンモンスターの野望』

3名様

アクションゲームと言えば、やっぱカプコンでしょ！

※『魔界』って聞くだけで"激ムズ"アクション！ って思わず気合いが入ってくるファンも多いのでは……？ プレステ2ってことでグラフィックもキレイだし、やればやるほど面白くなること間違いなし！ 9月18日発売予定。6,800円（税別）

応募券は忘れずに！

官製ハガキに応募券を貼って、
（1）郵便番号・ご住所・電話番号
（2）お名前
（3）年齢・ご職業
（4）希望プレゼント
（5）今号で面白かった記事とその理由
（6）今号で面白くなかった記事とその理由
（7）本誌に対する意見・感想を書いて、右記までご応募ください！

あて先
〒101-0051
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『読者プレゼントDX係102』まで
締め切り……2003年9月25日（木）（当日消印有効）

応募券 102
SRSDX 読プレ